

# 令和7年度 痴漢被害実態把握調査 報告書



## I アンケート調査実施要領

---

■ 調査目的

- 痴漢は車両内や駅構内など公共空間での発生が多く、加害者との面識がない割合が高いことから被害の申告をためらう暗数化しやすい犯罪である。
- そこで、若年層を中心に都内の痴漢被害の実態及びその傾向を継続調査し、調査結果を踏まえて痴漢被害をなくすための具体的な対策に反映する。
- 令和5年度は、初の大規模調査として被害実態を把握するため生涯経験を中心に調査を実施したが、継続的に経年変化を把握するため、令和6、7年度はここ1年の被害状況を中心に調査を実施。

■ 痴漢の定義

- 迷惑防止条例で禁止される下記等の行為。

禁止される行為	内容
痴漢行為 (5条1項1号)	衣服その他の身に着ける物の上から又は直接に人の身体に触れること。 ・ 体を触られた ・ ボタン等を外された ・ 体を密着された ・ 髪に触られた
卑わいな言動 (5条1項3号) の一部	社会通念上、性的道義観念に反する下品でみだらな言語又は動作。 ・ 匂いをかがれた ・ 息を吹きかけられた ・ カバン等を押し付けられた ・ AirDrop等で画像を送られた・見せられた

※盗撮行為（5条1項2号）は対象外。

■ 調査方法

- WEBアンケート調査

■ WEBアンケート調査実施要領

調査依頼対象	一都三県在住の16～69歳の方		
要件	<p>A 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢被害経験有り 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方 16～39歳</p> <p>B 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢目撃経験有り 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方 16～69歳</p> <p>C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方 痴漢被害経験、痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせた経験が生涯で一度もない方 16～69歳</p>		
回答数	A 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢被害経験有り	16～24歳 25～39歳	500件 500件
	B 最近1年間で電車内・駅構内の痴漢目撃経験有り	16～69歳	500件
	C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し	16～69歳	1000件
スケジュール	2025年8月1日～8月27日		
備考	C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しに関しては、性別、年代別に、人口統計に準じた回答比率になるように割付		

# 調査実施要項

- C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し割付について

➤ 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無しの方のみ性別、年代別に、人口統計に準じた回答比率となるように割付

## 割付

年代	男性	女性	合計
～19歳	50	50	100
20-29歳	90	90	180
30-39歳	90	90	180
40-49歳	90	90	180
50-59歳	90	90	180
60-69歳	90	90	180
合計	500	500	1000

## 有効回収数

年代	男性	女性	ノンバイナリー	合計
～19歳	60	50	4	114
20-29歳	90	93	9	192
30-39歳	94	91	7	192
40-49歳	94	90	-	184
50-59歳	98	98	2	198
60-69歳	101	92	-	193
合計	537	514	22	1073

## ■ 調査実施機関

- 株式会社イード

■ 調査項目一覧

1) スクリーニング調査	<input type="radio"/> 性別・性自認	<input type="radio"/> 年齢	<input type="radio"/> 職業・学校
	<input type="radio"/> 住まい、通勤・通学先 (以下、通勤通学時の電車利用の)	<input type="radio"/> 交通機関利用状況	
	<input type="radio"/> 乗車頻度	<input type="radio"/> 乗車時間	<input type="radio"/> 混雑度
	<input type="radio"/> 車内でしていること		
	<input type="radio"/> 痴漢被害の有無 (ここ1年／それ以前)	<input type="radio"/> 被害にあった場所 (ここ1年／それ以前／直近)	
	<input type="radio"/> 痴漢目撃等の有無 (ここ1年／それ以前)	<input type="radio"/> 被害を目撃等した場所 (ここ1年／それ以前)	
	<input type="radio"/> 痴漢に遭わないためにしていること	<input type="radio"/> 暮らし、これまでの経験、周りの人との関係	
	<input type="radio"/> SNS、動画配信サービス利用状況		
	<input type="radio"/> 施策の認知度	<input type="radio"/> 施策の認知経路	
	<input type="radio"/> ダウンロードの有無 (痴漢撲滅キャンペーンについて)	<input type="radio"/> ダウンロードしていない理由	
	<input type="radio"/> 特設サイトに望ましい掲載情報 (痴漢撲滅プロジェクトの静止画または動画について)	<input type="radio"/> 効果的なキャンペーン方法	
	<input type="radio"/> 共通アイコンの認知度	<input type="radio"/> 共通アイコンの認知経路	
	<input type="radio"/> 共通アイコン以外の静止画または動画の認知度 (「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方について)	<input type="radio"/> 共通アイコン以外の静止画または動画の認知経路	
	<input type="radio"/> 認知の有無	<input type="radio"/> 認知ルート	

■ 調査項目一覧（つづき）

2) 本調査	
A 被害者調査 (電車内・駅構内)	<div>○都内での痴漢被害回数（直近） （以下、直近の痴漢被害にあった）</div> <div><div>○時期（月）</div><div>○時間帯</div><div>○移動目的</div></div> <div><div>○混雑度</div><div>○車両内の位置*</div><div>○被害が止まった理由</div></div> <div><div>○被害時にしていたこと</div><div>○被害内容</div><div>○被害が止まったか</div></div> <div><div>○被害時の対応</div><div>○対応により被害が止まったか</div><div>○気づいた周囲の人の反応</div></div> <div><div>○被害時の気持ち・状態</div><div>○周囲の人は気づいたか</div><div>○気づいた周囲の人の反応</div></div> <div><div>○周囲の人が助けてくれた方法</div><div>○助けにより被害が止まったか</div><div></div></div> <div><div>○届け出・相談等の有無（直後、しばらく後）</div><div></div><div></div></div> <div><div>○届け出・相談等をしなかった理由（直後、しばらく後）</div><div></div><div></div></div> <div><div>○連絡した機関名</div><div>○当該機関の認知ルート</div><div></div></div>
B 第三者調査 (電車内・駅構内)	<div>○都内での痴漢目撃等回数（直近） （以下、直近に痴漢被害を目撃等した）</div> <div><div>○時期（月）</div><div>○時間帯</div><div>○混雑度</div></div> <div><div>○車両内の位置*</div><div>○被害内容</div><div></div></div> <div><div>○被害に気づいたきっかけ</div><div>○痴漢被害の確信の有無</div><div></div></div> <div><div>○目撃等時の行動</div><div>○行動により被害が止まったか</div><div>○行動をした理由</div></div> <div><div>○行動しなかった理由</div><div>○周囲の人の行動</div><div></div></div> <div><div>○周囲の人の行動により被害が止まったか</div><div>○届け出・連絡の有無</div><div></div></div> <div><div>○連絡した機関名</div><div>○当該機関の認知ルート</div><div>○連絡しなかった理由</div></div> <div><div>○痴漢被害の帰結</div><div></div><div></div></div>

※ \*印は電車内被害者のみの設問

■ 調査項目一覧（つづき）

C 共通設問	<p>（相談機関について）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○認知の有無</li><li>○相談しやすい方法</li><li>○援助に対する考え方</li><li>○援助行動に向けて後押しとなる事項</li><li>○被害者の助けとなる事項</li><li>○効果がありそうな取組</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○認知ルート</li><li>○痴漢を目撃したら援助行動を取るか</li><li>○痴漢撲滅のために重要な事項</li><li>○被害者の助けとしてできそうな事項</li><li>○東京都の痴漢対策等への意見</li></ul>
--------	--	--

# 調査実施要項

## ■ 配信・回答者数

- 本アンケートの配信数・回答者数等の詳細は以下の通り。

①配信数	本アンケートを依頼した人数	78,700 (スクリーニング 回答者数 24,194)
②スクリーニング調査回答者数	スクリーニング調査に全問回答した人数 (以下の除外要件に該当する方を除く) <ul style="list-style-type: none"><li>➢ 年齢：15歳以下、70歳以上</li><li>➢ 住まい：東京都以外 かつ 職業：専業主婦・主夫、無職 (東京都に通勤・通学しないと想定できる方)</li><li>➢ 通勤・通学に電車を利用しない方</li><li>➢ その他明らかに不誠実な回答</li></ul>	11,959
③本調査回答者数	A 最近1年間で電车内・駅構内の痴漢被害経験有り 16～24歳 25～39歳 B 最近1年間で電车内・駅構内の痴漢目撃経験有り C 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し (スクリーニング調査から本調査へ進んだ方のみ)	1,007 502 505 754 1,073

## Ⅱ 痴漢被害・目撃等経験

### 【分析対象】

- スクリーニング調査の配信総数のうち、居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答比率になるように配慮して配信して回収したデータ（n=11,959）を分析対象とした。
- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方で、通勤・通学に電車を用いる方のうち、電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方（＝被害者）、もしくは電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方（＝第三者（目撃・居合わせ者））の比率（被害率、目撃・居合わせ率）を算出した。
- その上で、被害者や第三者の特徴を分析した。

■ 配信割付

- 居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答者構成となるように留意。
- 一都三県在住者のうち、16～69歳を対象に、SC回答者が概ね下記の構成になるように配慮。
- 居住都県別、性別、年代別に、人口統計に準じたに比率を設定（40～69歳は30%に設定）。
- 性別・年代別の調査協力率を加味して、配信数を決定し配信した。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	1.8%	2.8%	3.4%	3.1%	3.3%	5.9%	20.3%	40.1%
	女性	1.7%	2.8%	3.3%	3.0%	3.1%	5.7%	19.7%	
埼玉県	男性	1.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.5%	3.0%	9.8%	19.1%
	女性	1.1%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%	2.8%	9.2%	
千葉県	男性	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	2.5%	8.3%	16.1%
	女性	0.9%	1.1%	1.1%	1.1%	1.2%	2.4%	7.8%	
神奈川県	男性	1.4%	1.8%	1.9%	1.8%	2.0%	3.9%	12.8%	24.7%
	女性	1.3%	1.7%	1.7%	1.7%	1.8%	3.7%	12.0%	
計		10.4%	14.0%	15.3%	14.6%	15.7%	30.0%	100.0%	

■ 回答状況

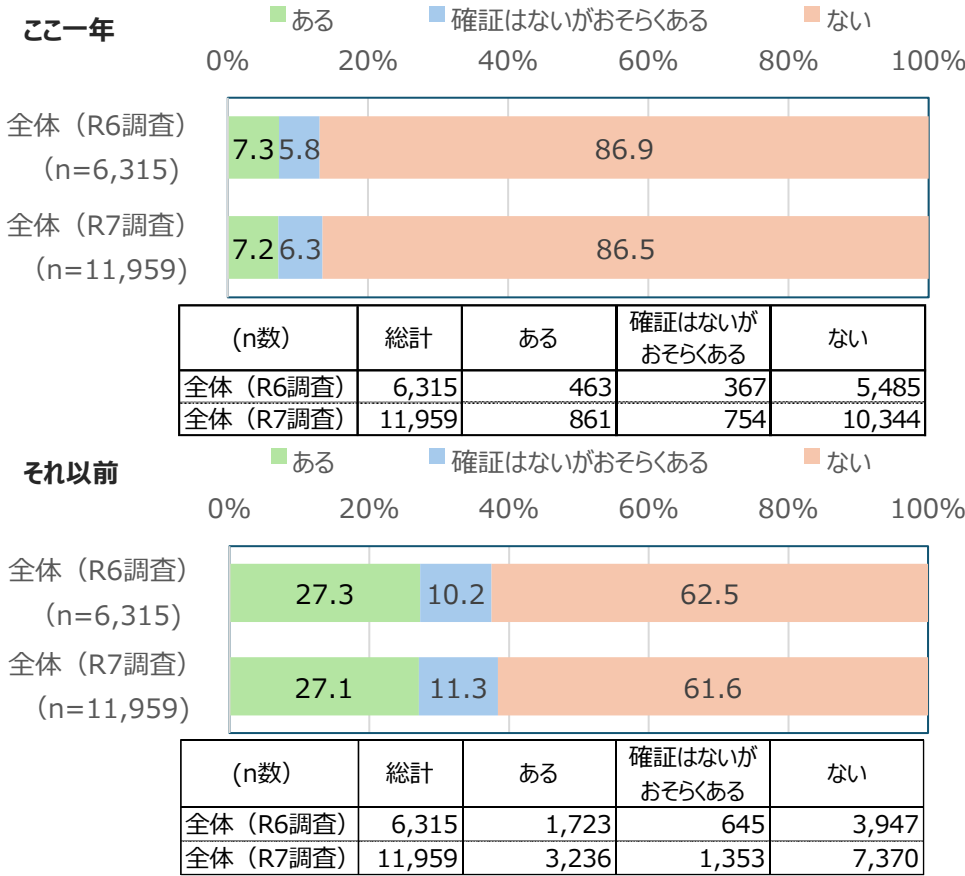
- 回答者の居住都県別、性別、年代別の構成は下表のとおりとなった。
- 目標（前ページ）と比較して、①居住都県別には東京都の比率が高いがそれ以外の三県のバランスはとれている、②性別では女性がやや多いが、男性等からの回答も4割強得られている、③年代別では10代、20代前半がやや少ないが他年代のバランスはとれている、との結果となった（①、②については「東京都による痴漢被害実態把握調査」であることも影響していると言える）。
- この結果から、回答者構成は、痴漢被害経験率等の統計算出に向けて、一定の信頼度を有するものと判断した。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	0.9%	1.8%	3.2%	5.1%	5.5%	11.6%	28.1%	68.6%
	女性	3.3%	5.5%	7.9%	6.2%	6.0%	11.3%	40.2%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	0.1%	0.0%	0.1%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	
	その他	0.0%	0.0%	-	-	-	-	0.0%	
埼玉県	男性	0.2%	0.3%	0.5%	1.0%	1.2%	2.1%	5.2%	11.1%
	女性	0.5%	1.3%	1.4%	0.9%	0.7%	1.2%	5.9%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	0.0%	-	0.0%	-	-	0.0%	0.0%	
	その他	-	-	-	-	-	-	0.0%	
千葉県	男性	0.0%	0.2%	0.4%	0.7%	0.8%	2.1%	4.3%	8.3%
	女性	0.4%	0.7%	0.9%	0.6%	0.6%	0.6%	4.0%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	-	0.0%	0.0%	-	-	-	0.0%	
	その他	-	-	-	-	-	-	0.0%	
神奈川県	男性	0.2%	0.5%	0.7%	1.0%	1.1%	2.6%	6.0%	12.0%
	女性	0.5%	1.4%	1.2%	1.0%	0.7%	1.1%	5.9%	
	ノンバイナリー/Xジェンダー	0.0%	0.0%	-	0.0%	0.0%	-	0.1%	
	その他	-	-	-	0.0%	-	-	0.0%	
計		6.2%	11.8%	16.1%	16.5%	16.7%	32.7%	100.0%	

※居住都道府県、性別、年齢のすべてに回答いただいた方から、一都三県以外の在住者を除いた11,940名の構成比。

痴漢被害経験① SC13. 痴漢被害の有無

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方の被害率（「ある」、「確証はないがおそらくある」の合計）は、ここ1年で13.5%（昨年比+0.4ポイント）、それ以前で38.4%（昨年比+0.9ポイント）となり、いずれも昨年度調査より微増している。
- 上記結果から、生涯経験を算出すると、39.7%（昨年比+0.7ポイント）となり、昨年度調査より微増している。

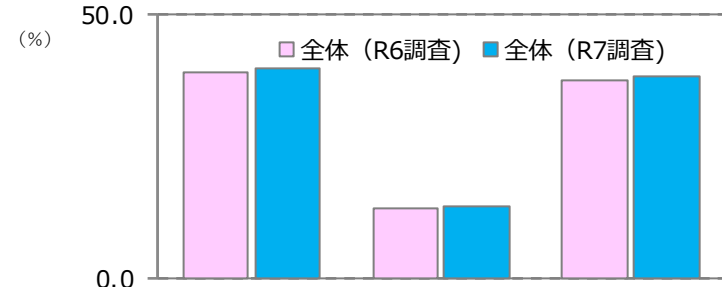


※生涯経験  
n数内訳

(n数)	R6調査	R7調査
「ここ1年」のみの被害者	92	163
「それ以前」のみの被害者	1,630	3,137
「ここ1年」「それ以前」の両方被害者	738	1,452
合計	2,460	4,752

※ここ1年、1年以上前の双方に被害にあった方がいるため、生涯経験=ここ1年の被害経験+1年以上前の被害経験とはならない。

痴漢被害率（場所を問わず）



	n数 (総計)	生涯経験	ここ1年での被害 経験	1年以上前の 被害経験
全体 (R6調査)	6,315	39.0	13.1	37.5
全体 (R7調査)	11,959	39.7	13.5	38.4
男性	5,211	15.9	8.5	15.1
女性	6,695	58.3	17.3	56.5
ノンバイナリー/Xジェンダー	50	38.0	18.0	36.0
その他	3	66.7	66.7	33.3

(n数)	生涯経験	ここ1年での被害 経験	1年以上前の 被害経験
全体 (R6調査)	2,460	830	2,368
全体 (R7調査)	4,752	1,615	4,589
男性	828	444	786
女性	3,903	1,160	3,784
ノンバイナリー/Xジェンダー	19	9	18
その他	2	2	1

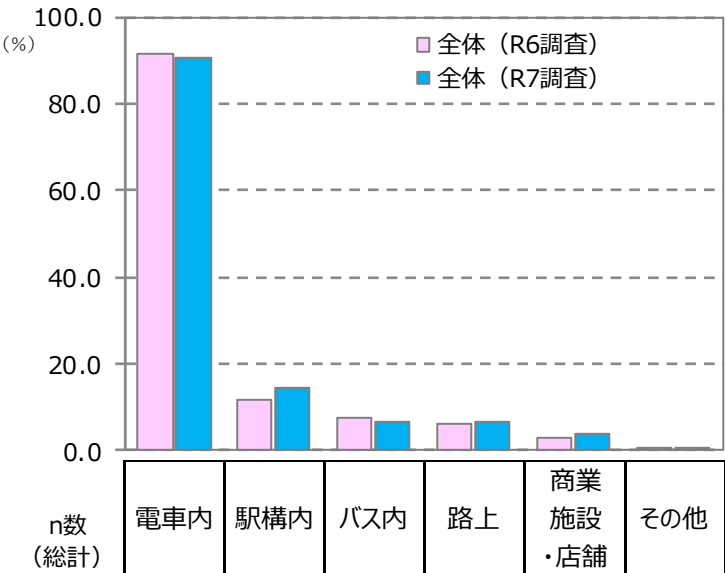
SC13. あなたは、次の期間に、痴漢被害にあったことがありますか。  
生涯経験はSC13-1.13-2より算出

# 痴漢被害経験②（場所を問わず） SC14. 痴漢被害にあった場所(MA)

- ここ1年：「電車内」（90.5%）、「駅構内」（14.4%）、「バス内」（6.6%）の順が多い。
- それ以前：「電車内」（89.8%）、「路上」（14.4%）、「駅構内」（9.7%）の順が多い。
- いずれも昨年度調査と同傾向であり、電車内での被害がほぼ9割を占めている。

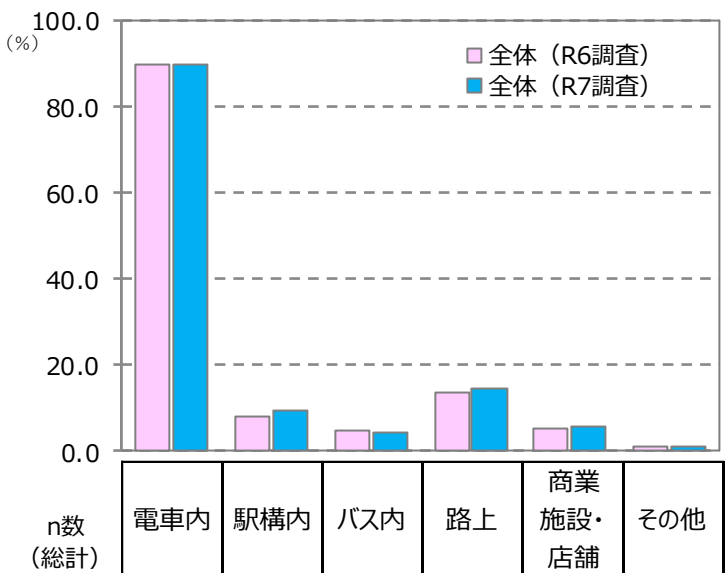
SC13で「ここ一年」/「それ以前」に痴漢被害にあったことが「ある」「確証はないがおそらくある」と回答した方のみ

## ここ一年



	n数 (総計)	電車内	駅構内	バス内	路上	商業 施設 ・店舗	その他
		n数	n数	n数	n数	n数	n数
全体 (R6調査) (%)	830	91.6	11.8	7.3	5.9	2.9	0.7
(n数)		760	98	61	49	24	6
全体 (R7調査) (%)	1,615	90.5	14.4	6.6	6.4	3.8	0.7
(n数)		1,462	232	106	103	62	11

## それ以前



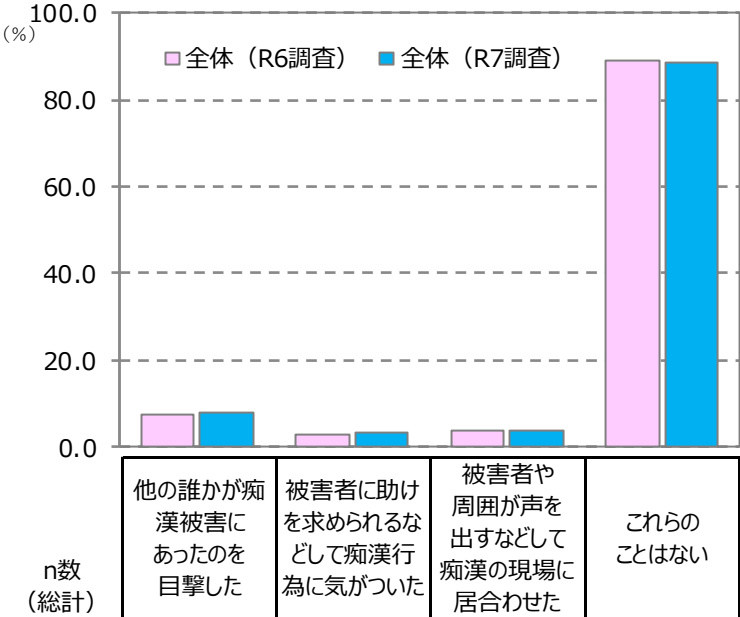
	n数 (総計)	電車内	駅構内	バス内	路上	商業 施設・ 店舗	その他
		n数	n数	n数	n数	n数	n数
全体 (R6調査) (%)	2,368	89.9	8.3	4.8	13.9	5.4	1.0
(n数)		2,128	197	113	328	127	24
全体 (R7調査) (%)	4,589	89.8	9.7	4.6	14.4	5.7	1.2
(n数)		4,120	444	210	662	260	57

SC14. それぞれの期間で、痴漢被害にあった場所をお答えください。複数ある場合は当てはまるものすべてをお答えください

痴漢目撃等経験①（場所を問わず） SC16. 痴漢被害の現場における目撃等の有無(MA)

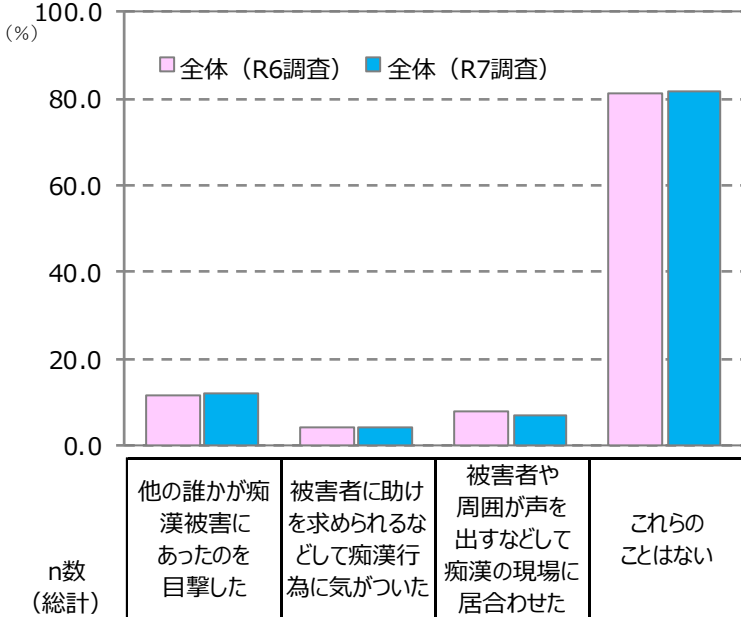
- ここ1年：「痴漢被害を目撃した」は7.9%（昨年度調査比+0.4ポイント）、「痴漢行為に気がついた」は3.0%（昨年度調査比+0.1ポイント）、「痴漢の現場に居合わせた」は3.4%（昨年度調査比-0.3ポイント）となり、目撃や認知は微増傾向にある一方、居合わせた割合は微減している（複数回答）。
- それ以前：「目撃した」は11.8%（昨年度調査比+0.4ポイント）、「気がついた」は4.2%（昨年度調査比-0.1ポイント）、「居合わせた」は6.9%（昨年度調査比-1.0ポイント）となり、痴漢行為の「目撃」は微増、「気づき」と「居合わせ」はほぼ横ばいとなっている。

ここ一年



全体 (R6調査) (%)	6,315	7.5	2.9	3.7	89.0
(n数)		473	183	232	5,622
全体 (R7調査) (%)	11,959	7.9	3.0	3.4	88.7
(n数)		941	362	408	10,605

それ以前



全体 (R6調査) (%)	6,315	11.4	4.3	7.9	81.0
(n数)		718	270	499	5,113
全体 (R7調査) (%)	11,959	11.8	4.2	6.9	81.4
(n数)		1,409	499	826	9,736

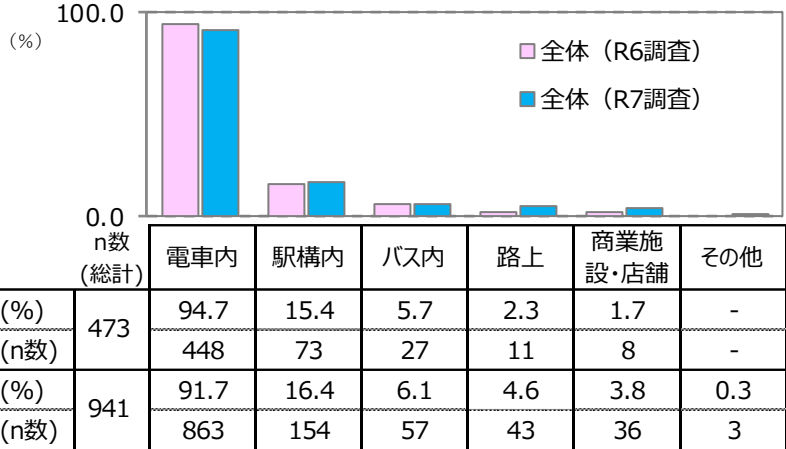
SC16. あなたは、それぞれの期間で、次のようなかたちで痴漢の被害を目撃したり、気が付いたり、痴漢の現場に居合わせたことはありますか。

# 痴漢目撃等経験②（場所を問わず） SC17-1.痴漢目撃・居合わせ場所 ここ1年(MA)

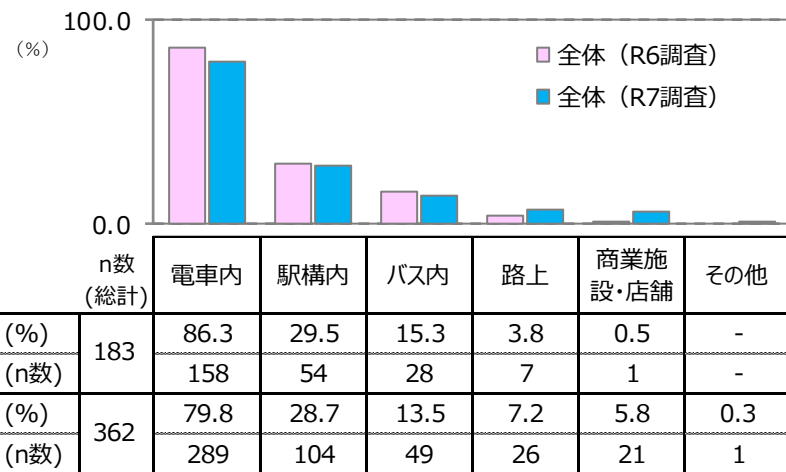
- 目撃した：「電車内」（91.7%）、「駅構内」（16.4%）、「バス内」（6.1%）の順が多い。
- 気がついた：「電車内」（79.8%）、「駅構内」（28.7%）、「バス内」（13.5%）の順が多い。
- 居合わせた：「電車内」（85.3%）、「駅構内」（25.0%）、「バス内」（7.1%）の順が多い。
- いずれも、昨年度調査と比べて「路上」や「商業施設・店舗」での増加が見られる。

## ①他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した

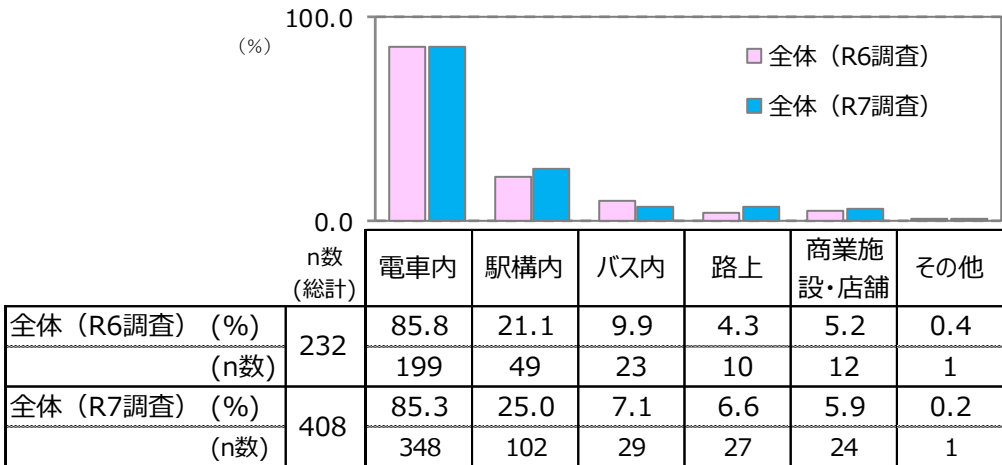
SC16で「ここ一年」で該当する項目に「ある」と回答した方のみ



## ②被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた



## ③被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた

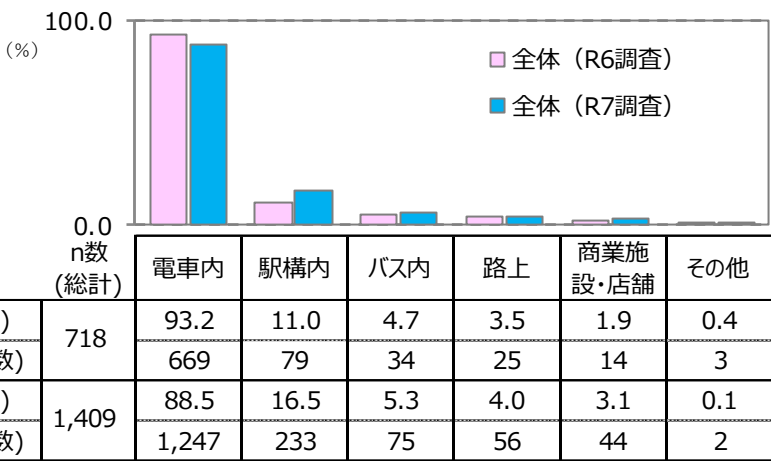


SC17. それはどこで起きましたか。それぞれ当てはまるものすべてをお答えください。（ここ1年）

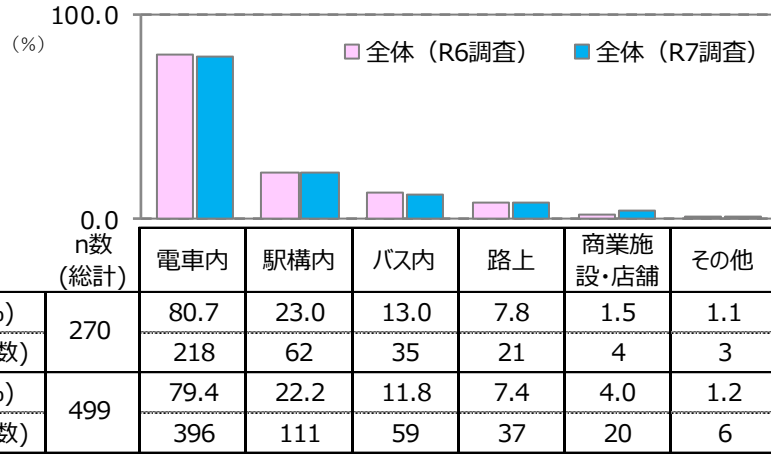
痴漢目撃等経験③（場所を問わず） SC17-2.痴漢目撃・居合わせ場所 それ以前(MA)

- 目撃した：「電車内」（88.5%）、「駅構内」（16.5%）、「バス内」（5.3%）の順が多い。
- 気がついた：「電車内」（79.4%）、「駅構内」（22.2%）、「バス内」（11.8%）の順が多い。
- 居合わせた：「電車内」（85.2%）、「駅構内」（21.7%）、「路上」（4.5%）の順が多い。

①他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した

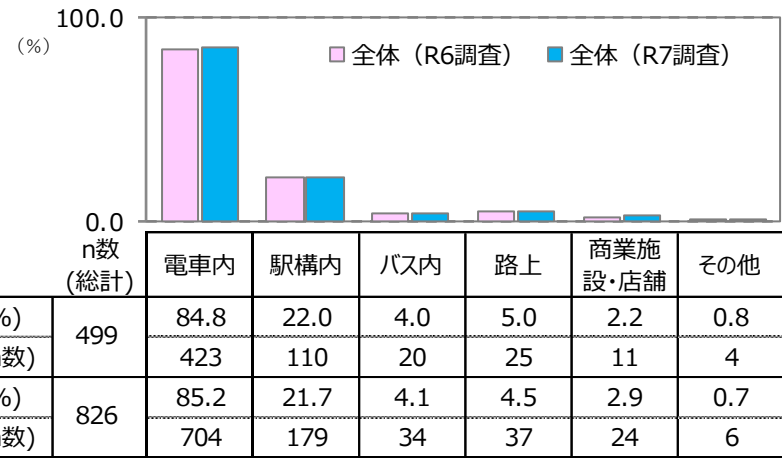


②被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた



SC16で「それ以前」で該当する項目に「ある」と回答した方のみ

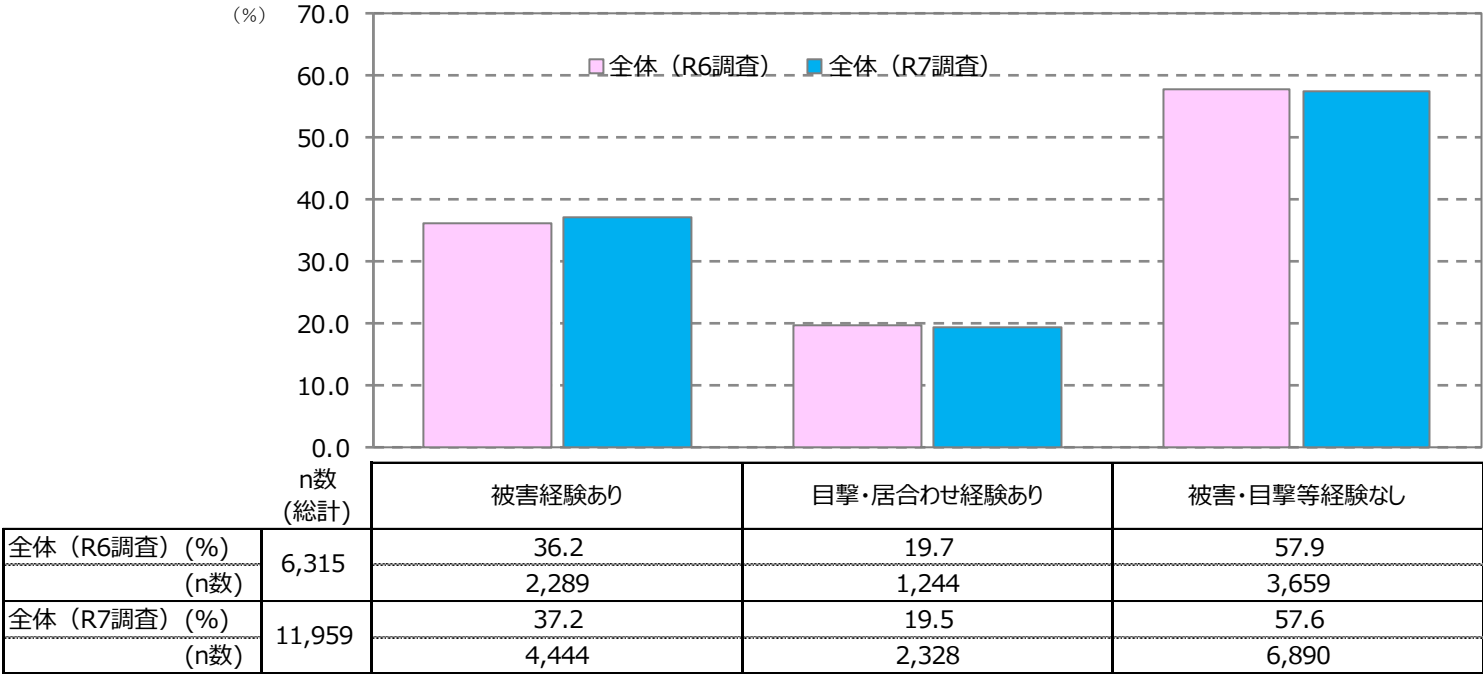
③被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた



SC17. それはどこで起きましたか。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。（それ以前）

# 痴漢被害・目撃等経験①（電車内・駅構内、生涯経験）（MA）

- 電車内・駅構内での痴漢被害経験（生涯経験）については、「被害経験あり」が37.2%（昨年度調査比＋1.0ポイント）となり、昨年度調査より微増している。
- 一方、目撃・居合わせ経験（生涯経験）については、「目撃・居合わせ経験あり」が19.5%（昨年度調査比－0.2ポイント）となり、昨年度調査より微減している。

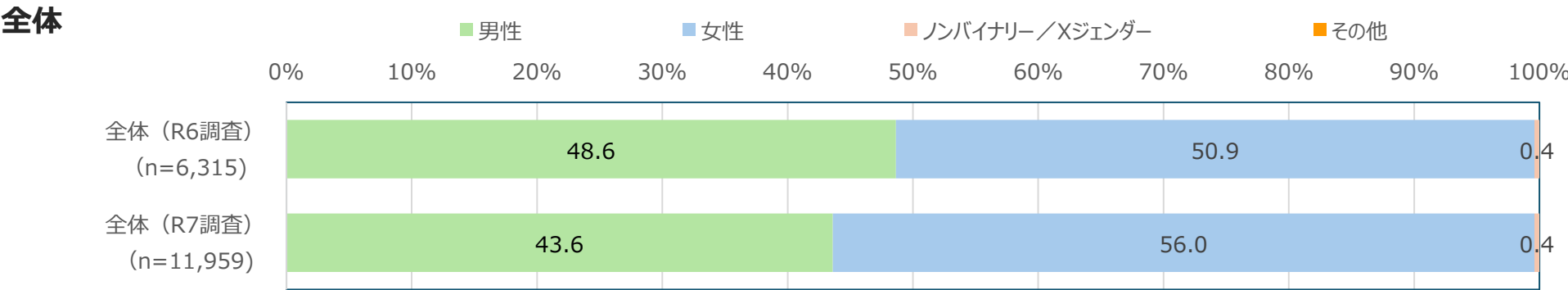


※被害経験、目撃・居合わせ経験の双方にあった方がいるため、全体を足して100%とはならない。

SC14.SC17より算出

# 痴漢被害・目撃等経験②（電車内・駅構内） SC1. 性別/性自認①

- 性別/性自認構成は、全体で「女性」が56.0%、「男性」が43.6%と、やや女性が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、「女性」は54.3%（昨年度調査比－2.0ポイント）と減少し、「男性」は15.1%（昨年度調査比－0.1ポイント）と微減している（生涯経験）。
- 目撃・居合わせ経験ありは、「女性」は19.4%（昨年度調査比－0.4ポイント）と微減し、「男性」は19.6%と横ばいとなった（生涯経験）。



経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R6調査)	6,315	36.2	19.7	57.9
男性	3,070	15.2	19.6	74.5
女性	3,216	56.3	19.8	42.1
ノンバイナリー/Xジェンダー	28	35.7	17.9	57.1
その他	1	100.0	-	-

経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R7調査)	11,959	37.2	19.5	57.6
男性	5,211	15.1	19.6	75.3
女性	6,695	54.3	19.4	43.8
ノンバイナリー/Xジェンダー	50	36.0	12.0	62.0
その他	3	33.3	33.3	66.7

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験③（電車内・駅構内） SC1. 性別/性自認②(n数)

## 全体

	n数 (総計)	男性	女性	ノンバイナリー/Xジェンダー	その他
全体(R6調査)	6,315	3,070	3,216	28	1
全体(R7調査)	11,959	5,211	6,695	50	3

## 経験別R6調査(n数)

	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	2,289	1,244	3,659
男性	3,070	468	602	2,288
女性	3,216	1,810	637	1,355
ノンバイナリー/Xジェンダー	28	10	5	16
その他	1	1	-	-

## 経験別R7調査(n数)

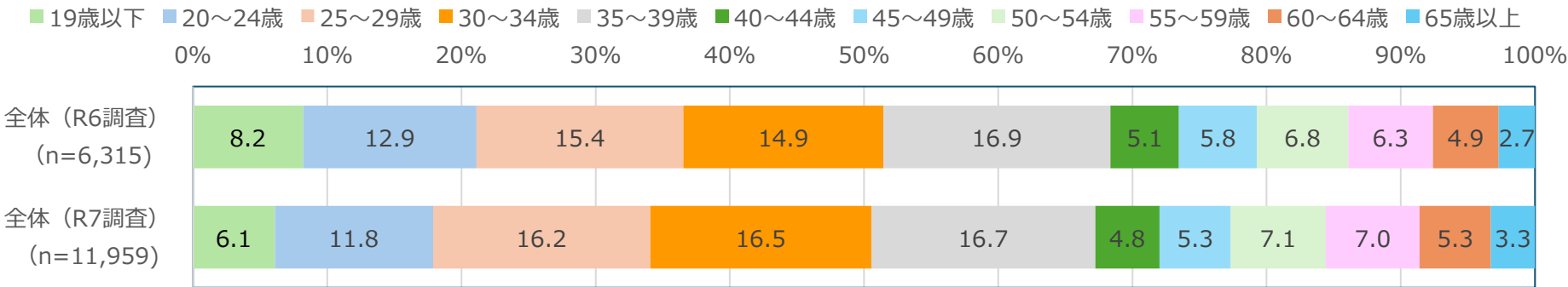
	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	4,444	2,328	6,890
男性	5,211	787	1,020	3,923
女性	6,695	3,638	1,301	2,934
ノンバイナリー/Xジェンダー	50	18	6	31
その他	3	1	1	2

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験④（電車内・駅構内） SC2. 年代①

- 年代別では10代、20代前半がやや少ないが他年代のバランスはとれている。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、「20代～40代」で4割前後と多く、「10代」、「50代以上」で2～3割。
- 目撃・居合わせ経験ありは、多くの年代で2割前後。

## 全体



## 経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R6調査)	6,315	36.2	19.7	57.9
19歳以下	517	29.4	13.7	66.2
20～24歳	813	42.3	23.7	52.9
25～29歳	973	42.4	23.2	53.5
30～34歳	940	36.6	20.9	58.3
35～39歳	1,068	37.7	20.5	56.0
40～44歳	324	40.4	16.7	54.9
45～49歳	369	40.9	18.2	53.7
50～54歳	431	30.4	15.3	62.2
55～59歳	398	26.1	19.6	63.3
60～64歳	311	25.1	15.4	66.6
65歳以上	171	22.2	15.2	68.4

## 経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R7調査)	11,959	37.2	19.5	57.6
19歳以下	735	32.5	13.7	64.5
20～24歳	1,413	45.4	23.8	50.7
25～29歳	1,933	42.5	21.9	54.2
30～34歳	1,972	37.3	20.9	57.4
35～39歳	1,996	35.2	19.0	59.4
40～44歳	572	42.3	22.9	51.7
45～49歳	629	40.7	19.4	53.7
50～54歳	851	31.5	15.0	61.6
55～59歳	832	32.1	15.5	61.4
60～64歳	635	27.7	15.3	63.9
65歳以上	391	24.6	17.6	66.8

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC2. あなたの年齢をお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験⑤（電車内・駅構内） SC2. 年代②(n数)

## 全体

(n数)	n 数 (総計)	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
全体（R6調査）	6,315	517	813	973	940	1,068	324	369	431	398	311	171
全体（R7調査）	11,959	735	1,413	1,933	1,972	1,996	572	629	851	832	635	391

## 経験別R6調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	2,289	1,244	3,659
19歳以下	517	152	71	342
20～24歳	813	344	193	430
25～29歳	973	413	226	521
30～34歳	940	344	196	548
35～39歳	1,068	403	219	598
40～44歳	324	131	54	178
45～49歳	369	151	67	198
50～54歳	431	131	66	268
55～59歳	398	104	78	252
60～64歳	311	78	48	207
65歳以上	171	38	26	117

## 経験別R7調査(n数)

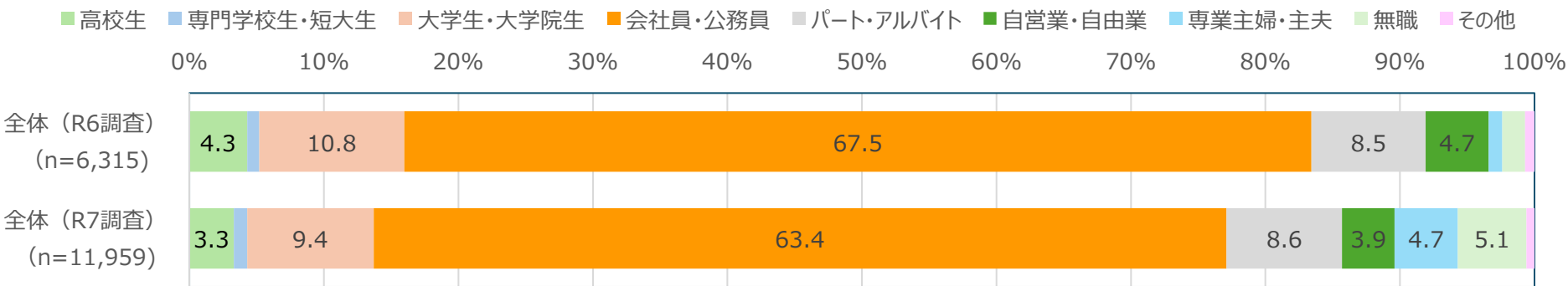
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	4,444	2,328	6,890
19歳以下	735	239	101	474
20～24歳	1,413	642	336	716
25～29歳	1,933	821	424	1,047
30～34歳	1,972	735	412	1,132
35～39歳	1,996	702	379	1,185
40～44歳	572	242	131	296
45～49歳	629	256	122	338
50～54歳	851	268	128	524
55～59歳	832	267	129	511
60～64歳	635	176	97	406
65歳以上	391	96	69	261

SC2. あなたの年齢をお答えください。

痴漢被害・目撃等経験⑥（電車内・駅構内） SC3. 職業/学校①

- 職業/学校構成は、全体で「会社員・公務員」（63.4%）、「大学生・大学院生」（9.4%）、「パート・アルバイト」（8.6%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、「専業主婦・主夫」、「パート・アルバイト」などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「大学生・大学院生」、「会社員・公務員」などで、目撃・居合わせ経験のある回答者は2割を超えている。

全体



※2%未満はデータレベル非表示

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R6調査)	6,315	36.2	19.7	57.9
高校生	269	31.2	11.9	63.6
専門学校生・短大生	59	39.0	16.9	59.3
大学生・大学院生	683	36.6	22.0	58.0
会社員・公務員	4,262	35.2	21.2	58.3
パート・アルバイト	534	43.1	12.5	54.3
自営業・自由業	294	41.2	20.4	53.4
専業主婦・主夫	61	65.6	9.8	34.4
無職	109	26.6	4.6	71.6
その他	44	25.0	20.5	63.6

経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R7調査)	11,959	37.2	19.5	57.6
高校生	390	33.3	13.1	63.8
専門学校生・短大生	118	36.4	13.6	61.9
大学生・大学院生	1,130	40.6	22.8	54.7
会社員・公務員	7,581	35.9	21.7	58.1
パート・アルバイト	1,030	43.1	13.1	53.9
自営業・自由業	471	35.9	18.9	57.5
専業主婦・主夫	565	54.2	12.9	44.4
無職	604	24.5	8.4	71.4
その他	70	34.3	12.9	58.6

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験⑦（電車内・駅構内） SC3. 職業/学校②(n数)

## 全体

(n数)	n数 (総計)	高校生	専門学校生・ 短大生	大学生 ・大学院生	会社員 ・公務員	パート ・アルバイト	自営業 ・自由業	専業主婦 ・主夫	無職	その他
全体（R6調査）	6,315	269	59	683	4,262	534	294	61	109	44
全体（R7調査）	11,959	390	118	1,130	7,581	1,030	471	565	604	70

## 経験別R6調査(n数)

	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	2,289	1,244	3,659
高校生	269	84	32	171
専門学校生・短大生	59	23	10	35
大学生・大学院生	683	250	150	396
会社員・公務員	4,262	1,501	905	2,483
パート・アルバイト	534	230	67	290
自営業・自由業	294	121	60	157
専業主婦・主夫	61	40	6	21
無職	109	29	5	78
その他	44	11	9	28

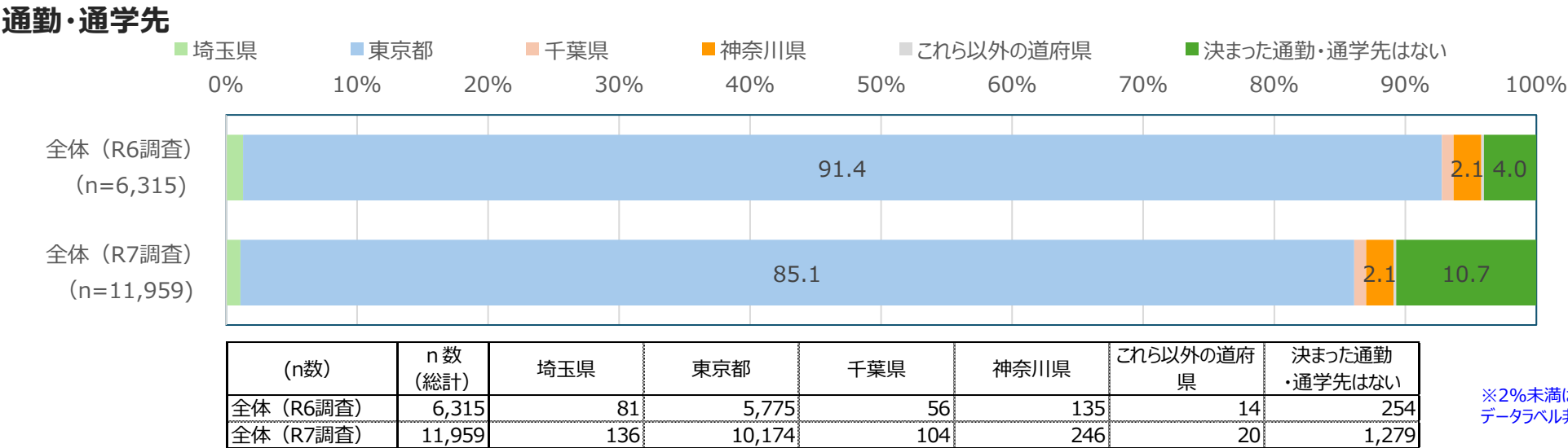
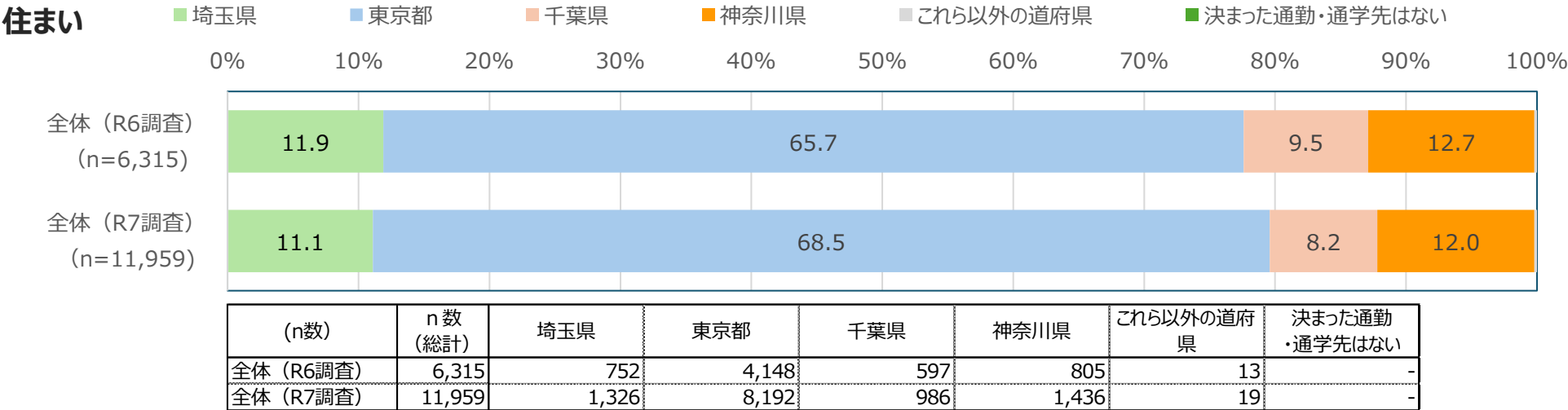
## 経験別R7調査(n数)

	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	4,444	2,328	6,890
高校生	390	130	51	249
専門学校生・短大生	118	43	16	73
大学生・大学院生	1,130	459	258	618
会社員・公務員	7,581	2,721	1,646	4,401
パート・アルバイト	1,030	444	135	555
自営業・自由業	471	169	89	271
専業主婦・主夫	565	306	73	251
無職	604	148	51	431
その他	70	24	9	41

SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験⑧（電車内・駅構内） SC4. 住まい/通勤・通学先：全体

- 住まい構成は、全体で「東京都」（68.5%）、「神奈川県」（12.0%）、「埼玉県」（11.1%）、「千葉県」（8.2%）となっている。
- 通勤・通学先構成は、「東京都」が85%以上を占める。



※2%未満は  
データラベル非表示

SC4. あなたのお住まい、通勤・通学先は以下のどれにあたりますか。

# 痴漢被害・目撃等経験⑨（電車内・駅構内） SC4. 住まい：経験別

■ 被害・目撃等経験別では、被害経験、目撃・居合わせ経験ともに、住まいの都県による大きな差異は見られない。

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	36.2	19.7	57.9
埼玉県	752	35.0	20.9	58.1
東京都	4,148	37.5	19.6	57.2
千葉県	597	31.3	19.1	62.6
神奈川県	805	34.5	19.4	58.6
これら以外の道府県	13	46.2	38.5	38.5
決まった通勤・通学先はない	0	-	-	-

経験別R6調査(n数)

全体（R6調査）	6,315	2,289	1,244	3,659
埼玉県	752	263	157	437
東京都	4,148	1,555	812	2,371
千葉県	597	187	114	374
神奈川県	805	278	156	472
これら以外の道府県	13	6	5	5
決まった通勤・通学先はない	0	0	0	0

通勤・通学先は85%以上が東京都の為、非掲載とした

経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	37.2	19.5	57.6
埼玉県	1,326	35.4	21.0	59.3
東京都	8,192	38.1	19.3	56.9
千葉県	986	33.6	19.3	60.6
神奈川県	1,436	36.1	19.1	57.9
これら以外の道府県	19	15.8	5.3	78.9
決まった通勤・通学先はない	0	-	-	-

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

経験別R7調査(n数)

全体（R7調査）	11,959	4,444	2,328	6,890
埼玉県	1,326	469	278	786
東京都	8,192	3,122	1,585	4,660
千葉県	986	331	190	598
神奈川県	1,436	519	274	831
これら以外の道府県	19	3	1	15
決まった通勤・通学先はない	-	-	-	-

SC4. あなたのお住まい、通勤・通学先は以下のどれにあたりますか。

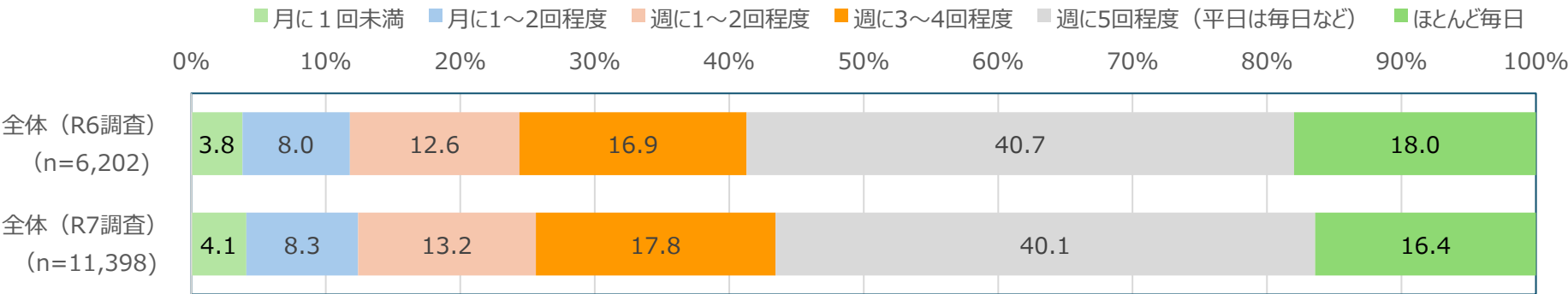
痴漢被害・目撃等経験⑩（電車内・駅構内） SC9. 電車利用頻度①

- 電車利用頻度構成は、全体で「週5回程度」（40.1%）、「週3～4回程度」（17.8%）、「ほとんど毎日」（16.4%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験、目撃・居合わせ経験ありで、ともに電車利用頻度が高いほど微増する傾向。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車利用頻度との相関をみている点に留意。

全体

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体（R6調査）	6,202	36.5	20.0	57.5
月に1回未満	234	35.9	15.8	60.7
月に1～2回程度	495	34.5	14.9	60.0
週に1～2回程度	780	33.7	16.0	60.6
週に3～4回程度	1,051	37.1	19.8	56.8
週に5回程度（平日は毎日など）	2,527	35.1	20.4	58.5
ほとんど毎日	1,115	42.2	25.2	52.2

経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体（R7調査）	11,398	37.6	20.1	57.0
月に1回未満	470	34.5	12.3	61.9
月に1～2回程度	949	37.5	17.1	57.4
週に1～2回程度	1,510	38.4	16.2	58.0
週に3～4回程度	2,028	36.9	21.2	57.6
週に5回程度（平日は毎日など）	4,571	36.3	19.9	57.6
ほとんど毎日	1,870	42.1	26.0	52.6

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC9. あなたは普段、どれくらいの頻度で電車に乗っていますか。

# 痴漢被害・目撃等経験⑪（電車内・駅構内） SC9. 電車利用頻度②(n数)

## 全体

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

(n数)	n 数 (総計)	月に1回未満	月に1～2回程度	週に1～2回程度	週に3～4回程度	週に5回程度 (平日は毎日など)	ほとんど毎日
全体（R6調査）	6,202	234	495	780	1,051	2,527	1,115
全体（R7調査）	11,398	470	949	1,510	2,028	4,571	1,870

## 経験別R6調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,202	2,266	1,240	3,569
月に1回未満	234	84	37	142
月に1～2回程度	495	171	74	297
週に1～2回程度	780	263	125	473
週に3～4回程度	1,051	390	208	597
週に5回程度（平日は毎日など）	2,527	888	515	1,478
ほとんど毎日	1,115	470	281	582

## 経験別R7調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,398	4,291	2,290	6,495
月に1回未満	470	162	58	291
月に1～2回程度	949	356	162	545
週に1～2回程度	1,510	580	244	876
週に3～4回程度	2,028	748	430	1,168
週に5回程度（平日は毎日など）	4,571	1,658	909	2,631
ほとんど毎日	1,870	787	487	984

SC9. あなたは普段、どれくらいの頻度で電車に乗っていますか。

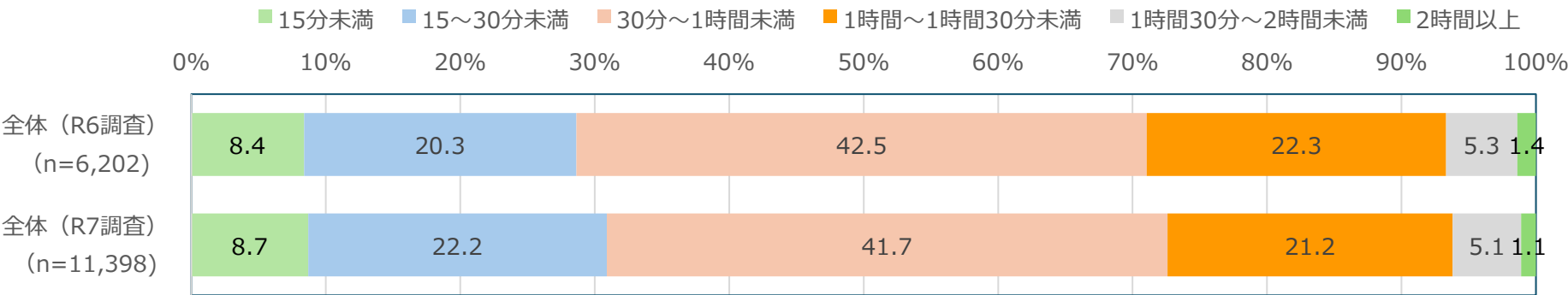
# 痴漢被害・目撃等経験⑫（電車内・駅構内） SC10. 電車の1回の利用時間①

- 電車利用時間は、全体で「30分～1時間未満」（41.7%）、「15～30分未満」（22.2%）、「1時間～1時間30分未満」（21.2%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験ありは、多くの区分で4割弱。
- 目撃・居合わせ経験ありは、多くの区分で2割前後。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車の1回の利用時間との相関をみている点に留意。

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

## 全体



## 経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R6調査)	6,202	36.5	20.0	57.5
15分未満	518	32.2	16.0	61.2
15～30分未満	1,258	38.0	17.9	56.8
30分～1時間未満	2,633	37.8	20.0	56.3
1時間～1時間30分未満	1,380	35.4	23.0	58.3
1時間30分～2時間未満	329	34.3	21.3	59.0
2時間以上	84	28.6	21.4	66.7

## 経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体 (R7調査)	11,398	37.6	20.1	57.0
15分未満	989	33.6	12.2	62.8
15～30分未満	2,527	39.3	18.8	55.7
30分～1時間未満	4,750	38.3	20.3	56.5
1時間～1時間30分未満	2,420	36.4	23.6	56.7
1時間30分～2時間未満	586	38.1	23.4	56.1
2時間以上	126	31.7	20.6	65.1

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC10. 電車の1回の移動（片道、乗り換えも含みます）は、どのくらいの時間がかかりますか。

# 痴漢被害・目撃等経験⑬（電車内・駅構内） SC10. 電車の1回の利用時間②(n数)

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

## 全体

(n数)	n数 (総計)	15分未満	15～30分未満	30分～ 1時間未満	1時間～ 1時間30分未満	1時間30分～ 2時間未満	2時間以上
全体（R6調査）	6,202	518	1,258	2,633	1,380	329	84
全体（R7調査）	11,398	989	2,527	4,750	2,420	586	126

## 経験別R6調査(n数)

	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,202	2,266	1,240	3,569
15分未満	518	167	83	317
15～30分未満	1,258	478	225	715
30分～1時間未満	2,633	995	527	1,483
1時間～1時間30分未満	1,380	489	317	804
1時間30分～2時間未満	329	113	70	194
2時間以上	84	24	18	56

## 経験別R7調査(n数)

	n数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,398	4,291	2,290	6,495
15分未満	989	332	121	621
15～30分未満	2,527	993	474	1,408
30分～1時間未満	4,750	1,821	962	2,682
1時間～1時間30分未満	2,420	882	570	1,373
1時間30分～2時間未満	586	223	137	329
2時間以上	126	40	26	82

SC10. 電車の1回の移動（片道，乗り換えも含みます）は、どのくらいの時間がかかりますか。

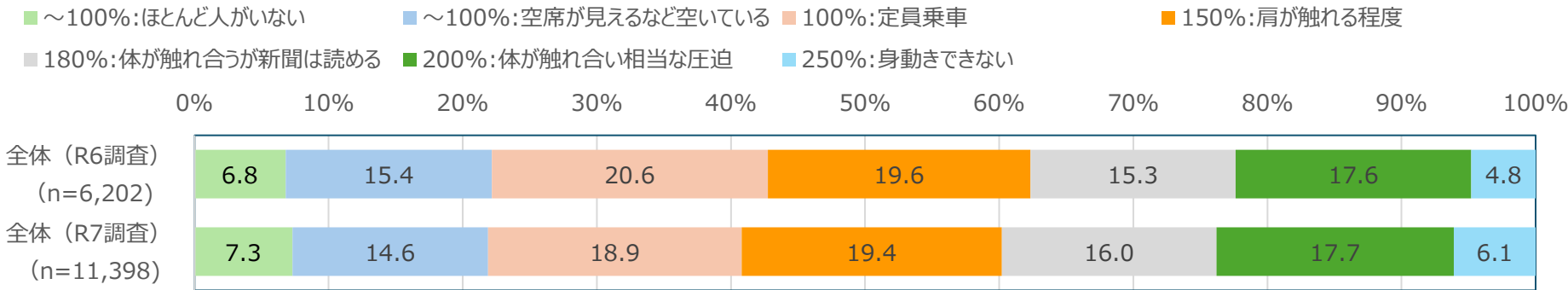
# 痴漢被害・目撃等経験⑭（電車内・駅構内） SC11. 利用電車の混雑度①

- 混雑度は、全体で「～150%」（19.4%）、「100%」（18.9%）、「200%」（17.7%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別では、被害経験あり、目撃・居合わせ経験ありともに、混雑度が高いほど増加している。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の利用電車の混雑度との相関をみている点に留意。

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

## 全体



## 経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,202	36.5	20.0	57.5
～100%:ほとんど人がいない	420	33.1	10.0	64.8
～100%:空席が見えるなど空いている	954	28.2	14.2	65.7
100%:定員乗車	1,277	29.0	15.3	65.8
150%:肩が触れる程度	1,213	35.3	20.3	58.5
180%:体が触れ合うが新聞は読める	946	41.1	23.0	52.1
200%:体が触れ合い相当な圧迫	1,094	47.9	29.7	44.9
250%:身動きできない	298	49.3	26.5	46.0

## 経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,398	37.6	20.1	57.0
～100%:ほとんど人がいない	832	32.6	13.3	62.3
～100%:空席が見えるなど空いている	1,659	31.0	13.0	65.2
100%:定員乗車	2,157	32.4	17.2	62.6
150%:肩が触れる程度	2,208	35.1	21.3	58.8
180%:体が触れ合うが新聞は読める	1,829	40.2	23.1	53.1
200%:体が触れ合い相当な圧迫	2,014	46.7	26.6	47.8
250%:身動きできない	699	51.1	23.3	44.6

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC11. あなたが普段乗っている電車の混雑度（最も混雑している区間）についてお答えください。

# 痴漢被害・目撃等経験⑮（電車内・駅構内） SC11. 利用電車の混雑度②(n数)

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

## 全体

(n数)	n 数 (総計)	～100%:ほとんど 人がいない	～100%:空席が 見えるなど 空いている	100%:定員乗車	150%:肩が 触れる程度	180%:体が 触れ合うが 新聞は読める	200%:体が 触れ合い相当 な圧迫	250%:身動き できない
全体（R6調査）	6,202	420	954	1,277	1,213	946	1,094	298
全体（R7調査）	11,398	832	1,659	2,157	2,208	1,829	2,014	699

## 経験別R6調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,202	2,266	1,240	3,569
～100%:ほとんど人がいない	420	139	42	272
～100%:空席が見えるなど空いている	954	269	135	627
100%:定員乗車	1,277	370	195	840
150%:肩が触れる程度	1,213	428	246	709
180%:体が触れ合うが新聞は読める	946	389	218	493
200%:体が触れ合い相当な圧迫	1,094	524	325	491
250%:身動きできない	298	147	79	137

## 経験別R7調査(n数)

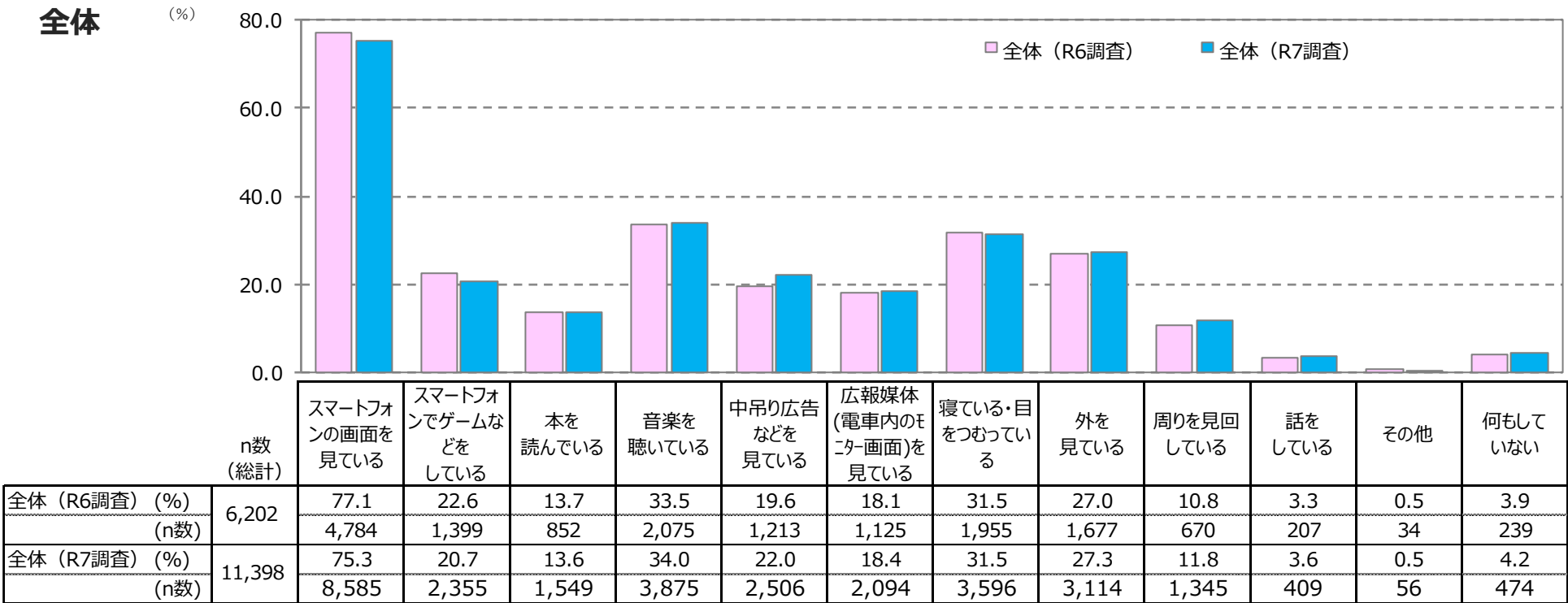
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,398	4,291	2,290	6,495
～100%:ほとんど人がいない	832	271	111	518
～100%:空席が見えるなど空いている	1,659	514	216	1,082
100%:定員乗車	2,157	698	371	1,350
150%:肩が触れる程度	2,208	775	471	1,299
180%:体が触れ合うが新聞は読める	1,829	735	423	971
200%:体が触れ合い相当な圧迫	2,014	941	535	963
250%:身動きできない	699	357	163	312

SC11. あなたが普段乗っている電車の混雑度（最も混雑している区間）についてお答えください。

痴漢被害・目撃等経験⑯（電車内・駅構内） SC12. 電車乗車中の行動(MA)：全体

■ 普段、電車乗車中にしていることは、全体で「スマートフォンの画面を見ている」（75.3%）、「音楽を聴いている」（34.0%）、「寝ている・目をつむっている」（31.5%）、「外を見ている」（27.3%）の順が多い。

SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ



SC12. あなたは普段、電車に乗車しているときに、どのようなことをしていますか。(いくつでも)

痴漢被害・目撃等経験⑰（電車内・駅構内） SC12. 電車乗車中の行動(MA)：経験別

- 被害・目撃等経験別では、「話をしている」（47.9%）、「周りを見ている」（46.8%）、「中吊り広告などを見ている」（45.3%）などで痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「周りを見回している」（27.7%）、「スマートフォンでゲームなどをしている」（27.0%）「本を読んでいる」（26.9%）、などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車乗車中の行動との相関をみている点に留意。  
SC5で「通勤通学」あるいは「通勤通学以外」で使用している交通機関で「電車」と回答した方のみ

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,202	36.5	20.0	57.5
スマートフォンの画面を見ている	4,784	37.0	19.9	57.0
スマートフォンでゲームなどをしている	1,399	39.9	25.2	52.8
本を読んでいる	852	38.8	25.7	54.0
音楽を聴いている	2,075	43.1	23.2	51.0
中吊り広告などを見ている	1,213	41.2	25.2	51.1
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	1,125	41.8	24.1	51.0
寝ている・目をつむっている	1,955	39.6	20.7	54.1
外を見ている	1,677	39.9	22.9	53.5
周りを見回している	670	41.2	27.3	51.9
話をしている	207	44.0	24.6	52.2
その他	34	29.4	5.9	67.6
何もしていない	239	24.3	11.3	71.5

経験別R6調査(n 数)

全体（R6調査）	6,202	2,266	1,240	3,569
スマートフォンの画面を見ている	4,784	1,770	952	2,725
スマートフォンでゲームなどをしている	1,399	558	353	739
本を読んでいる	852	331	219	460
音楽を聴いている	2,075	895	482	1,058
中吊り広告などを見ている	1,213	500	306	620
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	1,125	470	271	574
寝ている・目をつむっている	1,955	774	404	1,058
外を見ている	1,677	669	384	898
周りを見回している	670	276	183	348
話をしている	207	91	51	108
その他	34	10	2	23
何もしていない	239	58	27	171

経験別R7調査(%)

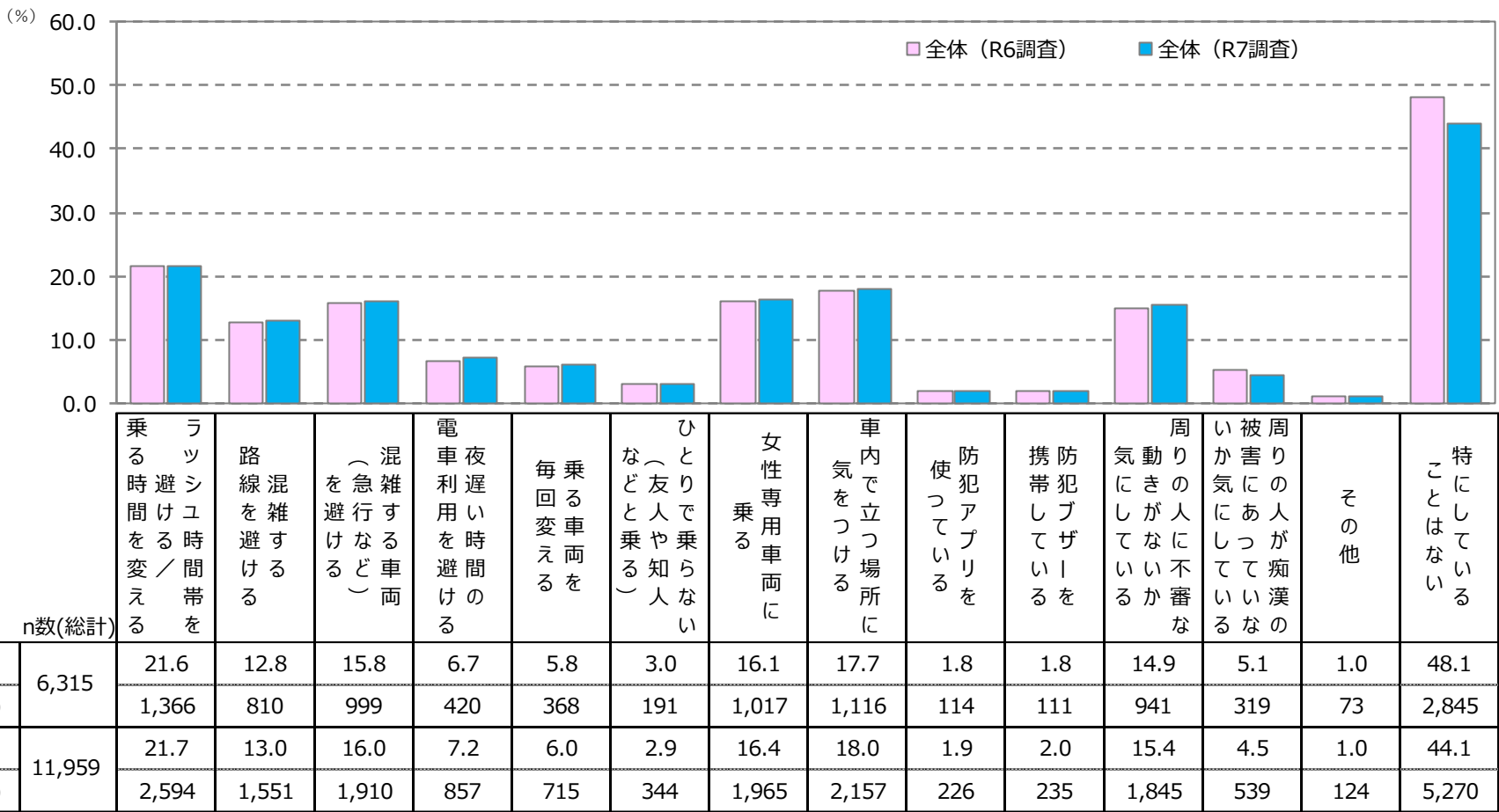
	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,398	37.6	20.1	57.0
スマートフォンの画面を見ている	8,585	38.1	19.4	56.6
スマートフォンでゲームなどをしている	2,355	42.8	27.0	50.7
本を読んでいる	1,549	42.2	26.9	51.3
音楽を聴いている	3,875	43.0	22.5	52.1
中吊り広告などを見ている	2,506	45.3	24.5	47.9
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	2,094	43.6	23.9	49.2
寝ている・目をつむっている	3,596	40.0	19.6	54.1
外を見ている	3,114	42.8	22.2	51.0
周りを見回している	1,345	46.8	27.7	46.4
話をしている	409	47.9	20.5	48.7
その他	56	30.4	14.3	62.5
何もしていない	474	21.5	8.4	75.1

経験別R7調査(n 数)

全体（R7調査）	11,398	4,291	2,290	6,495
スマートフォンの画面を見ている	8,585	3,274	1,664	4,861
スマートフォンでゲームなどをしている	2,355	1,009	637	1,195
本を読んでいる	1,549	653	417	794
音楽を聴いている	3,875	1,667	871	2,019
中吊り広告などを見ている	2,506	1,136	614	1,200
広報媒体(電車内のモニター画面)を見ている	2,094	914	501	1,030
寝ている・目をつむっている	3,596	1,439	704	1,944
外を見ている	3,114	1,332	692	1,588
周りを見回している	1,345	629	372	624
話をしている	409	196	84	199
その他	56	17	8	35
何もしていない	474	102	40	356

関連行動①（電車内・駅構内） SC18. 電車内で痴漢被害を避けるための行動(MA)：全体

■ 電車内で痴漢被害を避けるための行動は、全体で「特にしていることはない」（44.1%）、「ラッシュ時間帯を避ける/乗る時間を変える」（21.7%）、「車内で立つ場所に気をつける」（18.0%）、「女性専用車両に乗る」（16.4%）の順が多い。



SC18. 現在、あなたは、電車内で痴漢の被害にあわないために、次のようなことをしていますか。(いくつでも)

関連行動②（電車内・駅構内）
 SC18. 電車内で痴漢被害を避けるための行動(MA)：経験別①

- 被害・目撃等経験別では、「乗る車両を毎回変える」/「防犯アプリを使っている」（ともに67.3%）、「防犯ブザーを携帯している」（66.4%）などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「防犯アプリを使っている」（59.7%）「防犯ブザーを携帯している」（58.3%）、「乗る車両を毎回変える」（45.5%）などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※被害・目撃等の生涯経験と、現在の電車内で痴漢被害を避けるための行動との相関をみている点に留意。

経験別R6調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	36.2	19.7	57.9
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	1,366	50.4	34.0	42.2
混雑する路線を避ける	810	48.3	36.5	42.1
混雑する車両（急行など） を避ける	999	52.7	32.1	40.7
夜遅い時間の電車利用を 避ける	420	55.7	31.7	38.8
乗る車両を毎回変える	368	64.9	43.8	28.3
ひとりで乗らない （友人や知人などと乗る）	191	58.6	45.5	32.5
女性専用車両に乗る	1,017	62.8	26.0	34.4
車内で立つ場所に気をつける	1,116	56.6	28.0	37.1
防犯アプリを使っている	114	55.3	47.4	36.0
防犯ブザーを携帯している	111	55.0	52.3	33.3
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	941	60.9	30.1	33.0
周りの人が痴漢の被害にあっ ていないか気にしている	319	54.2	42.3	34.5
その他	73	49.3	21.9	42.5
特にしていることはない	2,845	17.5	8.4	77.6

経験別R7調査(%)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	37.2	19.5	57.6
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	2,594	52.8	35.7	40.7
混雑する路線を避ける	1,551	53.1	37.4	39.5
混雑する車両（急行など） を避ける	1,910	54.1	32.2	39.3
夜遅い時間の電車利用を 避ける	857	54.0	35.4	40.6
乗る車両を毎回変える	715	67.3	45.5	26.4
ひとりで乗らない （友人や知人などと乗る）	344	54.7	41.3	38.7
女性専用車両に乗る	1,965	64.2	26.5	32.7
車内で立つ場所に気をつける	2,157	56.7	26.1	38.7
防犯アプリを使っている	226	67.3	59.7	26.1
防犯ブザーを携帯している	235	66.4	58.3	25.5
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	1,845	57.4	28.2	37.0
周りの人が痴漢の被害にあっ ていないか気にしている	539	54.2	42.5	35.4
その他	124	46.8	22.6	47.6
特にしていることはない	5,270	17.3	7.1	78.4

※全体比+10pt以上(=■), +5pt以上(=■), -5pt以下(=■), -10pt以下(=■)

SC18. 現在、あなたは、電車内で痴漢の被害にあわないために、次のようなことをしていますか。（いくつでも）

関連行動②（電車内・駅構内）
 SC18. 電車内で痴漢被害を避けるための行動(MA)：経験別②(n数)

経験別R6調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R6調査）	6,315	2,289	1,244	3,659
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	1,366	688	464	577
混雑する路線を避ける	810	391	296	341
混雑する車両（急行など） を避ける	999	526	321	407
夜遅い時間の電車利用を 避ける	420	234	133	163
乗る車両を毎回変える	368	239	161	104
ひとりで乗らない （友人や知人などと乗る）	191	112	87	62
女性専用車両に乗る	1,017	639	264	350
車内で立つ場所に気をつける	1,116	632	313	414
防犯アプリを使っている	114	63	54	41
防犯ブザーを携帯している	111	61	58	37
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	941	573	283	311
周りの人が痴漢の被害にあって いないか気にしている	319	173	135	110
その他	73	36	16	31
特にしていることはない	2,845	499	239	2,207

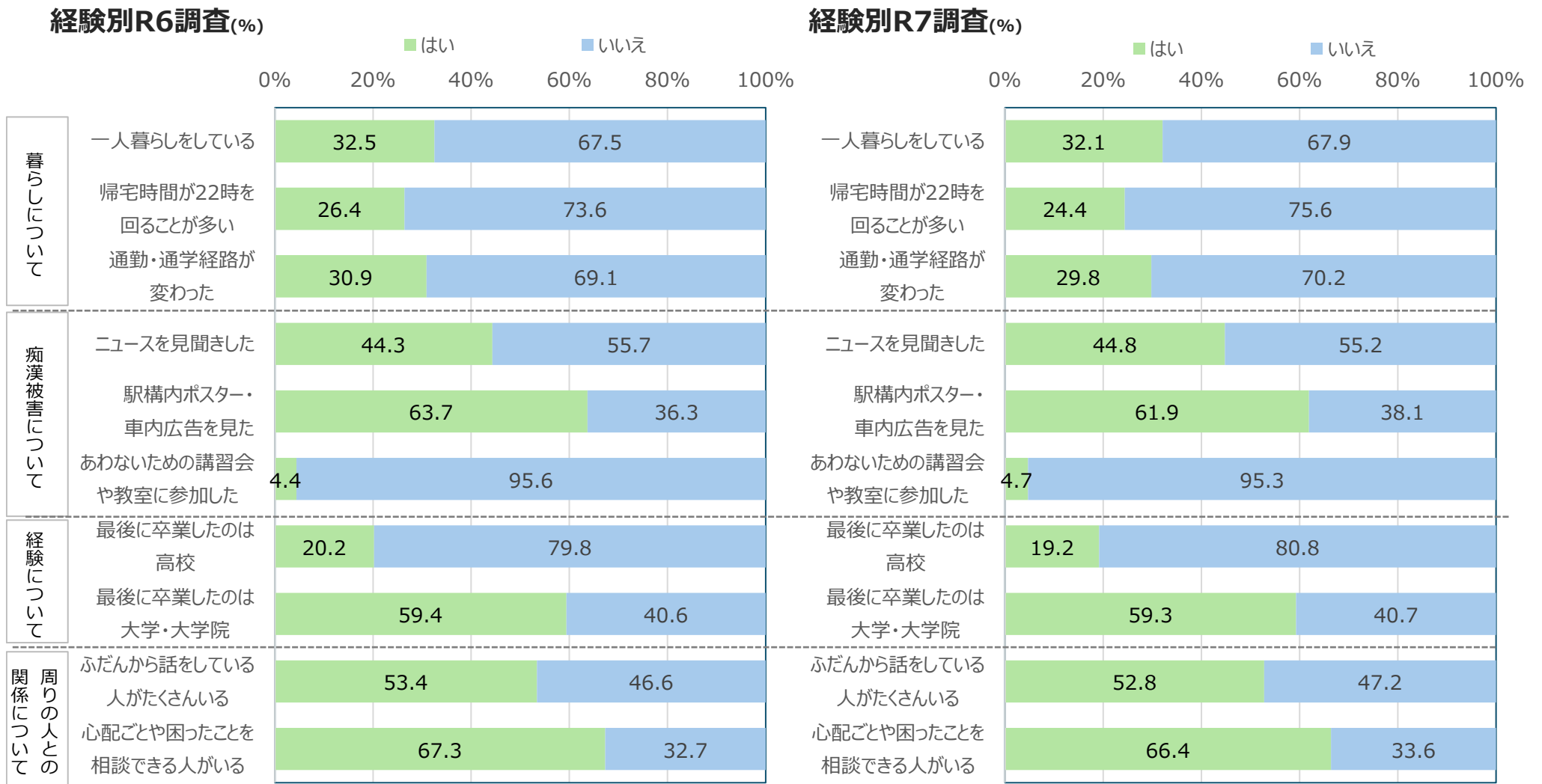
経験別R7調査(n数)

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ 経験あり	被害・目撃等 経験なし
全体（R7調査）	11,959	4,444	2,328	6,890
ラッシュ時間帯を避ける ／乗る時間を変える	2,594	1,369	925	1,057
混雑する路線を避ける	1,551	823	580	612
混雑する車両（急行など） を避ける	1,910	1,033	615	750
夜遅い時間の電車利用を 避ける	857	463	303	348
乗る車両を毎回変える	715	481	325	189
ひとりで乗らない （友人や知人などと乗る）	344	188	142	133
女性専用車両に乗る	1,965	1,261	521	642
車内で立つ場所に気をつける	2,157	1,224	564	834
防犯アプリを使っている	226	152	135	59
防犯ブザーを携帯している	235	156	137	60
周りの人に不審な動きがないか 気にしている	1,845	1,059	521	683
周りの人が痴漢の被害にあって いないか気にしている	539	292	229	191
その他	124	58	28	59
特にしていることはない	5,270	910	373	4,133

SC18. 現在、あなたは、電車内で痴漢の被害にあわないために、次のようなことをしていますか。（いくつでも）

関連行動③（電車内・駅構内） SC19. 関連する行動等：全体①

■ 関連する行動等で「はい」との回答が多いのは、全体で「心配事や困ったことを相談できる人がいる」（66.4%）、「駅構内ポスター・車内広告を見た」（61.9%）、「最後に卒業したのは大学・大学院」（59.3%）の順。



経験別R6調査(n数)

	n 数	はい	いいえ
一人暮らしをしている	6,315	2,054	4,261
帰宅時間が22時を回ることが多い	6,315	1,666	4,649
通勤・通学経路が変わった	6,315	1,951	4,364
ニュースを見聞きした	6,315	2,795	3,520
駅構内ポスター・車内広告を見た	6,315	4,022	2,293
あわないための講習会や教室に参加した	6,315	281	6,034
最後に卒業したのは高校	6,315	1,274	5,041
最後に卒業したのは大学・大学院	6,315	3,748	2,567
ふだんから話をしている人がたくさんいる	6,315	3,373	2,942
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	6,315	4,250	2,065

経験別R7調査(n数)

	n 数	はい	いいえ
一人暮らしをしている	11,959	3,839	8,120
帰宅時間が22時を回ることが多い	11,959	2,919	9,040
通勤・通学経路が変わった	11,959	3,568	8,391
ニュースを見聞きした	11,959	5,356	6,603
駅構内ポスター・車内広告を見た	11,959	7,397	4,562
あわないための講習会や教室に参加した	11,959	561	11,398
最後に卒業したのは高校	11,959	2,293	9,666
最後に卒業したのは大学・大学院	11,959	7,088	4,871
ふだんから話をしている人がたくさんいる	11,959	6,312	5,647
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	11,959	7,943	4,016

関連行動④（電車内・駅構内）
 SC19. 関連する行動等：経験別

- 被害・目撃等経験別では、「痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した」（74.3%）、「帰宅時間が22時を回ることが多い」（49.7%）、「転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった」（47.6%）、などで、痴漢被害経験のある回答者の割合が高い。
- また、「痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した」（72.7%）、「帰宅時間が22時を回ることが多い」（33.8%）、などで、目撃・居合わせ経験のある回答者の割合が高い。

※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の関連する行動等との相関をみている点に留意。

経験別R6調査(%)「はい」回答の割合

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
一人暮らしをしている	2,054	40.0	24.1	54.7
帰宅時間が22時を回ることが多い	1,666	49.3	33.0	44.7
通勤・通学経路が変わった	1,951	46.4	27.3	47.8
ニュースを見聞きた	2,795	43.7	30.0	48.3
駅構内ポスター・車内広告を見た	4,022	40.5	24.5	52.2
あわないための講習会や教室に参加した	281	68.3	65.5	20.6
最後に卒業したのは高校	1,274	37.4	19.9	57.1
最後に卒業したのは大学・大学院	3,748	37.5	21.5	56.5
ふだんから話をしている人がたくさんいる	3,373	43.0	23.9	50.8
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	4,250	40.9	21.6	53.3

経験別R7調査(%)「はい」回答の割合

	n 数	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
一人暮らしをしている	3,839	40.7	24.9	53.8
帰宅時間が22時を回ることが多い	2,919	49.7	33.8	44.4
通勤・通学経路が変わった	3,568	47.6	28.4	46.2
ニュースを見聞きた	5,356	45.6	29.8	47.2
駅構内ポスター・車内広告を見た	7,397	43.1	25.6	50.2
あわないための講習会や教室に参加した	561	74.3	72.7	19.3
最後に卒業したのは高校	2,293	37.6	18.5	57.7
最後に卒業したのは大学・大学院	7,088	39.0	21.7	55.1
ふだんから話をしている人がたくさんいる	6,312	44.1	24.4	50.1
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	7,943	42.6	22.1	51.9

経験別R6調査(n数)「はい」回答数

一人暮らしをしている	2,054	822	495	1,123
帰宅時間が22時を回ることが多い	1,666	822	550	744
通勤・通学経路が変わった	1,951	905	532	933
ニュースを見聞きた	2,795	1,221	839	1,351
駅構内ポスター・車内広告を見た	4,022	1,629	986	2,099
あわないための講習会や教室に参加した	281	192	184	58
最後に卒業したのは高校	1,274	476	254	727
最後に卒業したのは大学・大学院	3,748	1,404	804	2,119
ふだんから話をしている人がたくさんいる	3,373	1,450	807	1,713
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	4,250	1,739	920	2,264

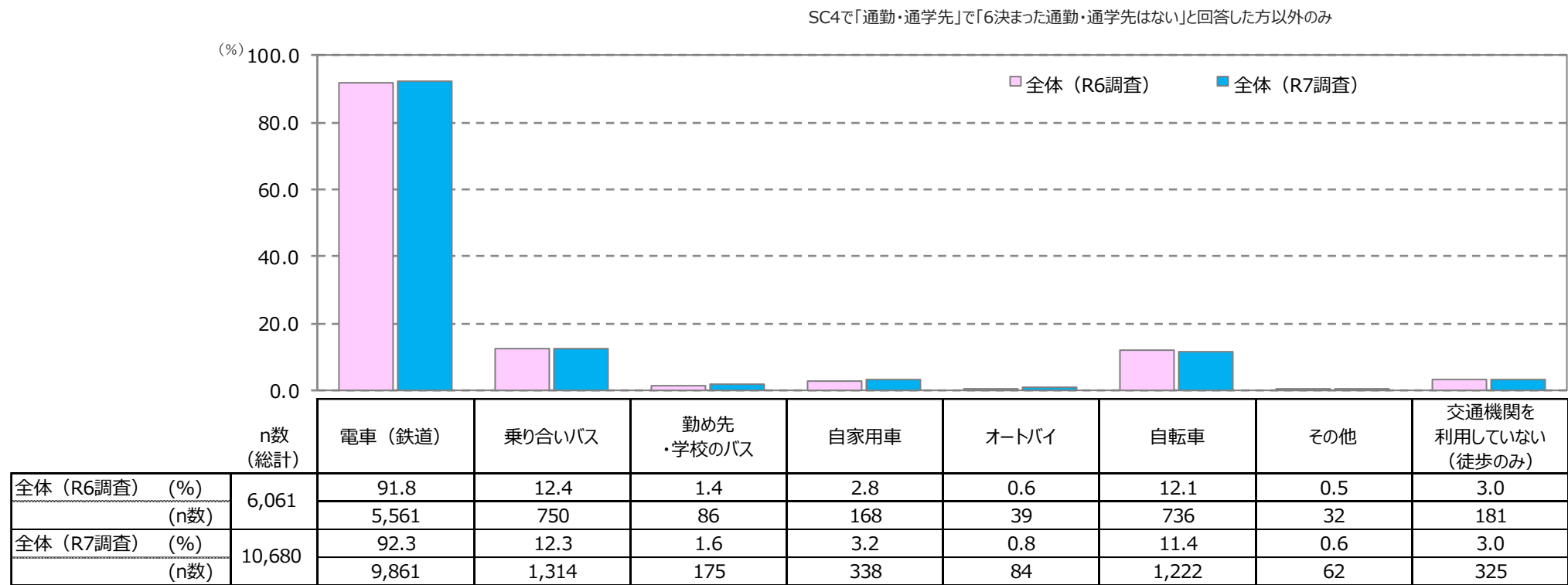
経験別R7調査(n数)「はい」回答数

一人暮らしをしている	3,839	1,561	955	2,067
帰宅時間が22時を回ることが多い	2,919	1,451	988	1,295
通勤・通学経路が変わった	3,568	1,699	1,013	1,649
ニュースを見聞きた	5,356	2,443	1,595	2,526
駅構内ポスター・車内広告を見た	7,397	3,190	1,896	3,715
あわないための講習会や教室に参加した	561	417	408	108
最後に卒業したのは高校	2,293	862	424	1,322
最後に卒業したのは大学・大学院	7,088	2,764	1,541	3,904
ふだんから話をしている人がたくさんいる	6,312	2,784	1,542	3,164
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	7,943	3,381	1,754	4,121

SC19. 次の質問に、「はい」が「いいえ」でお答えください。

# 利用交通機関① SC5-1. 利用交通機関：通勤・通学(MA)

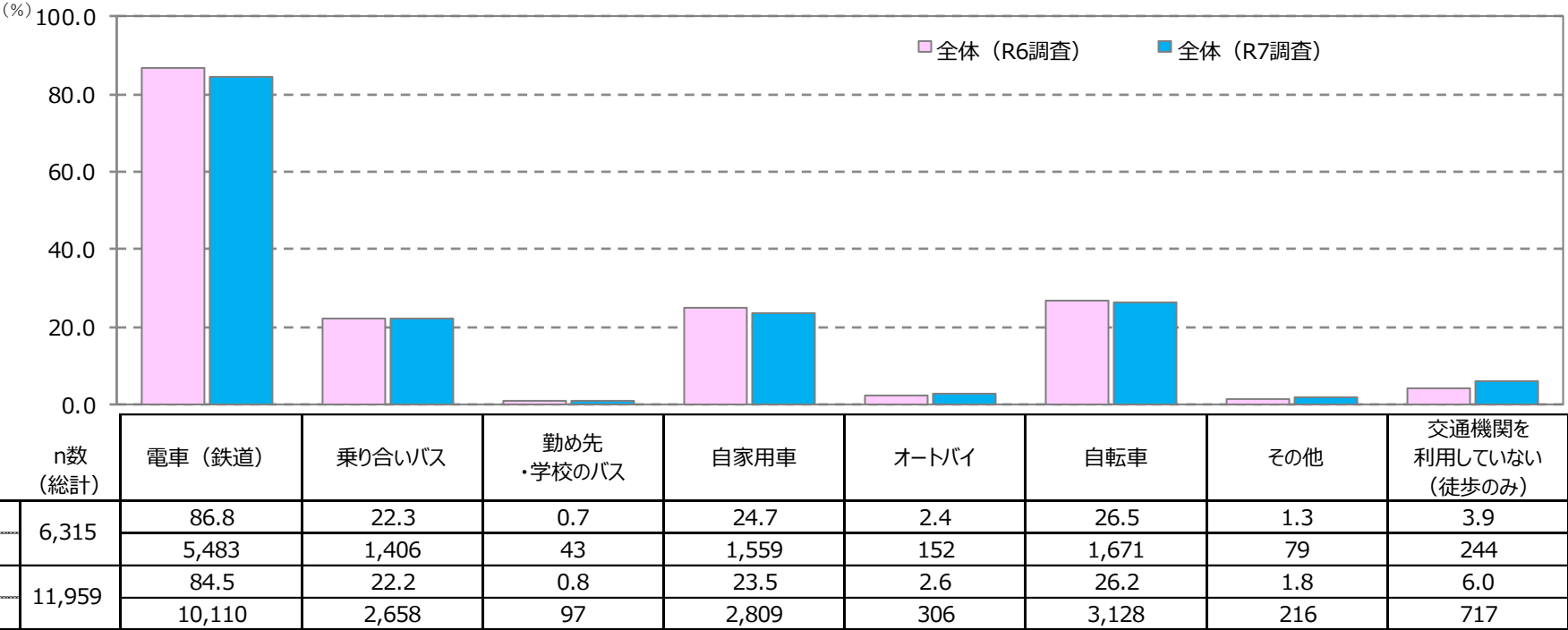
■ 通勤・通学での利用交通機関は、全体で「電車（鉄道）」（92.3%）、「乗り合いバス」（12.3%）、「自転車」（11.4%）の順が多い。



SC5. あなたは、次の場面で以下の交通機関を使っていますか。(通勤・通学)

# 利用交通機関② SC5-2. 利用交通機関：通勤・通学以外(MA)

■ 通勤・通学以外での利用交通機関は、全体で「電車（鉄道）」（84.5%）、「自転車」（26.2%）、「自家用車」（23.5%）、「乗り合いバス」（22.2%）の順が多い。

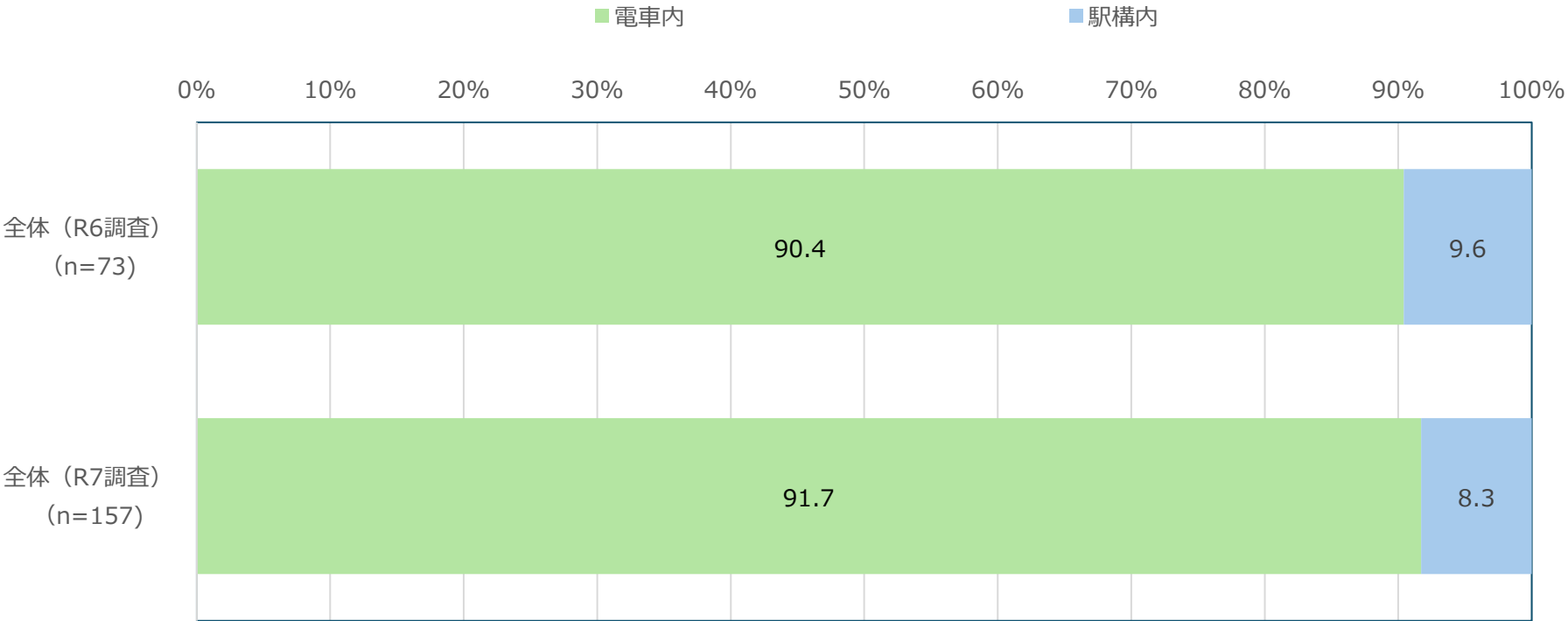


SC5. あなたは、次の場面で以下の交通機関を使っていますか。(通勤・通学以外)

# 痴漢被害場所 SC15. 痴漢被害にあった直近の場所

■ ここ1年で「電車内」「駅構内」両方で痴漢被害にあった方の直近の被害場所は、「電車内」が91.7%を占めている。

SC14で「ここ1年」で「1 電車内」「2 駅構内」を両方選択した方のみ

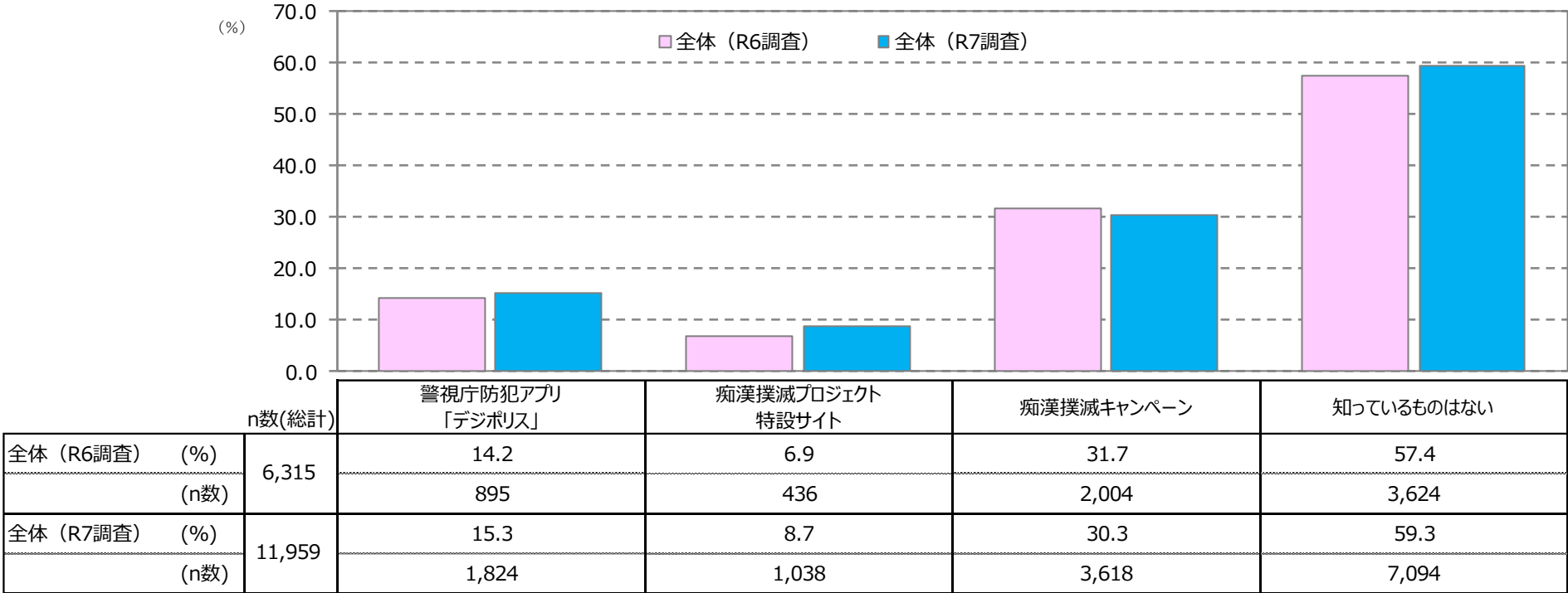


(n数)	総計	電車内	駅構内
全体 (R6調査)	73	66	7
全体 (R7調査)	157	144	13

SC15. 前問で「電車内」「駅構内」両方を選択した方にお伺いします。痴漢被害にあった「直近の場所」をお答えください。

# 痴漢に関する事業① SC21. 東京都実施の痴漢に関する事業認知状況（MA）

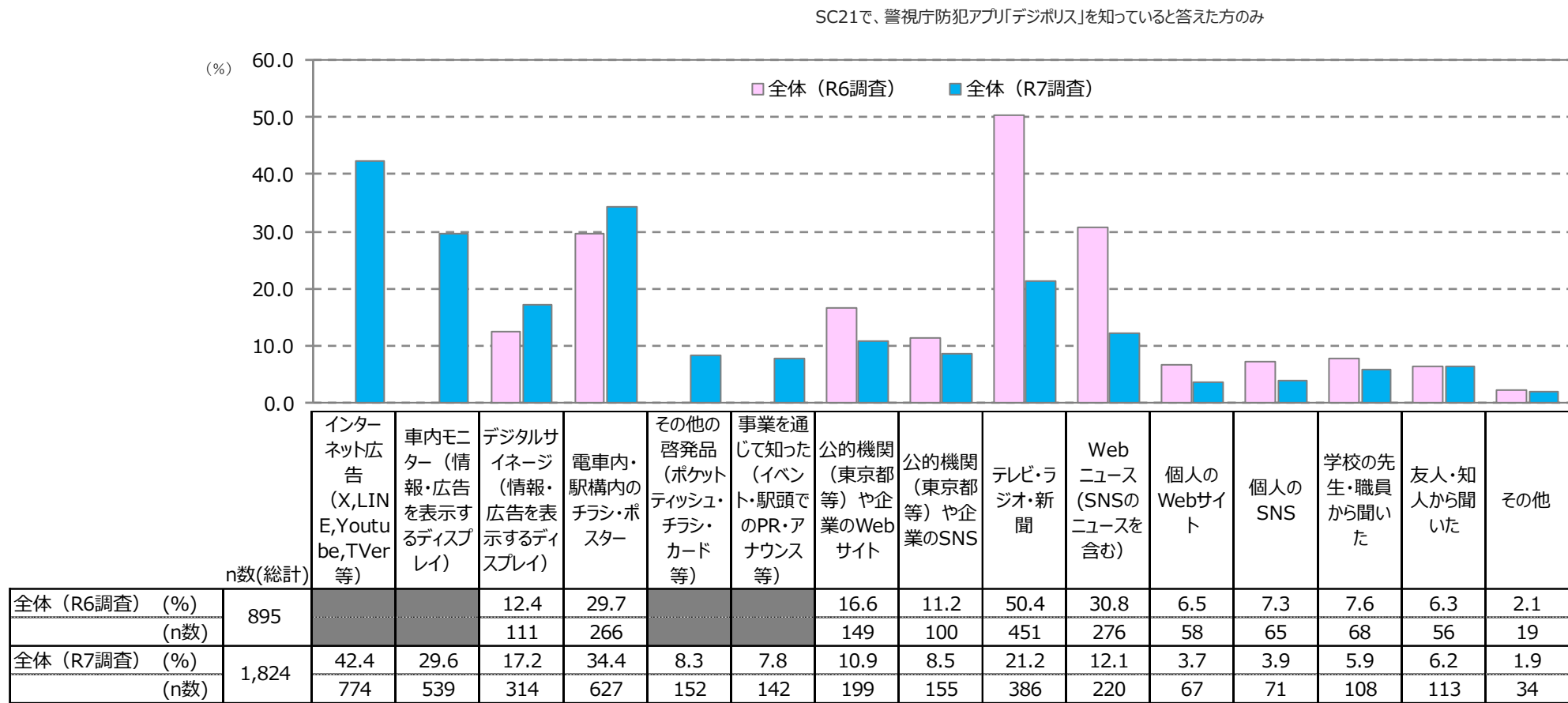
- 東京都実施の痴漢撲滅のために実施している事業の認知状況は、全体で「知っているものはない」（59.3%）、「痴漢撲滅キャンペーン」（30.3%）、「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」（15.3%）の順が多い。
- 「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」、「痴漢撲滅プロジェクト特設サイト」は、昨年度調査と比べて微増している。



SC21. 東京都が痴漢をなくすために実施している以下の事業のうち、あなたが知っているものをすべて選んでください。

痴漢に関する事業② SC21S-1. 事業認知方法：警視庁防犯アプリ「デジポリス」(MA)

- 警視庁防犯アプリ「デジポリス」の認知ルートは、全体で「インターネット広告（X,LINE,Youtube,TVer等）」（42.4%）、「電車内・駅構内のチラシ・ポスター」（34.4%）、「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」（29.6%）の順が多い。

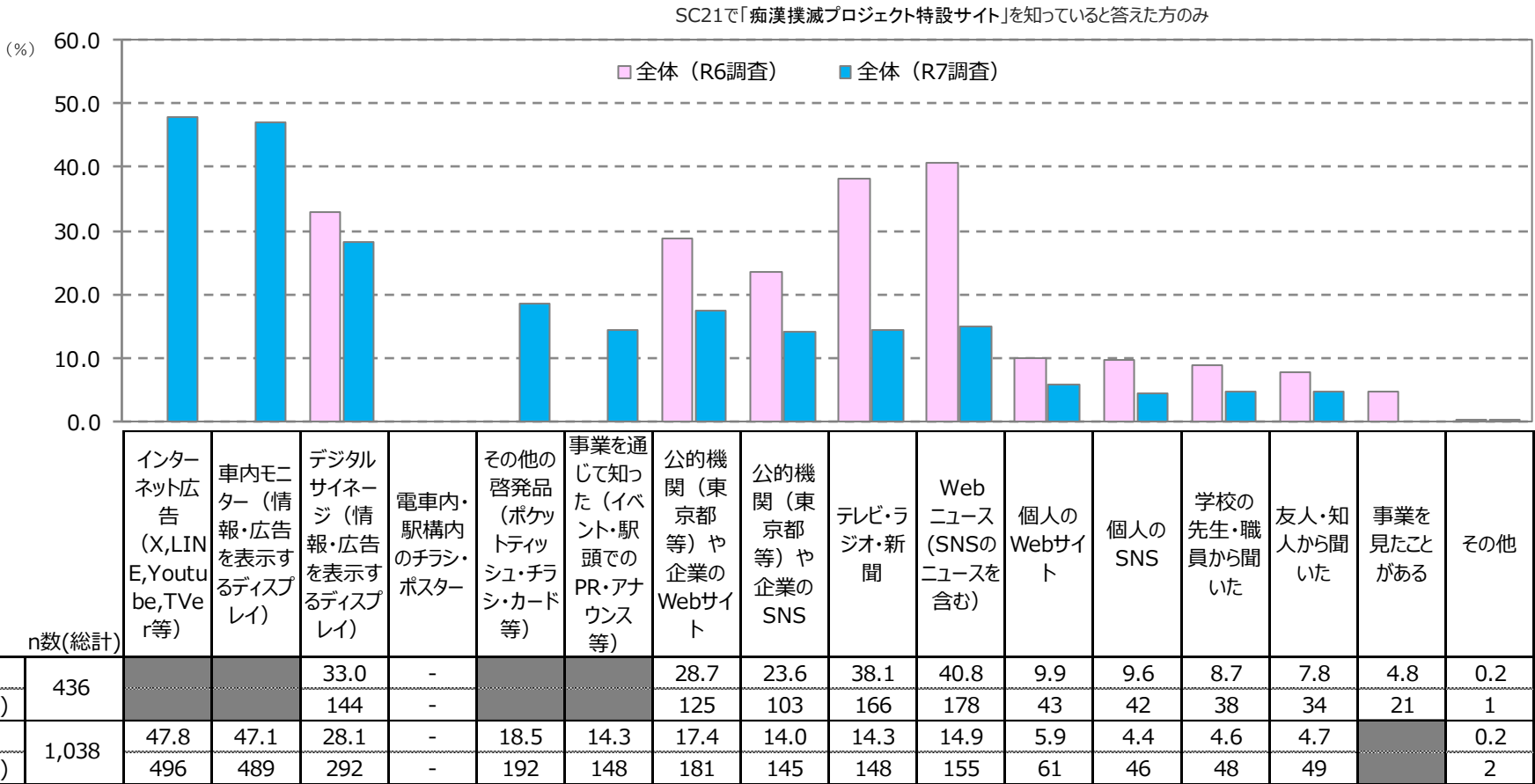


グレーでハッチングした部分はR6項目なし。  
R7「学校の先生・職員から聞いた」はR6「学校」  
R7「友人・知人から聞いた」はR6「友人・知人」と表記

SC21S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてお答えください。（警視庁防犯アプリ「デジポリス」）

痴漢に関する事業③ SC21S-2. 事業認知方法：痴漢撲滅プロジェクト特設サイト(MA)

■ 「痴漢撲滅プロジェクト特設サイト」の認知ルートは、全体で「インターネット広告（X,LINE,Youtube,TVer等）」（47.8%）、「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」（47.1%）、「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」（28.1%）の順で多い。

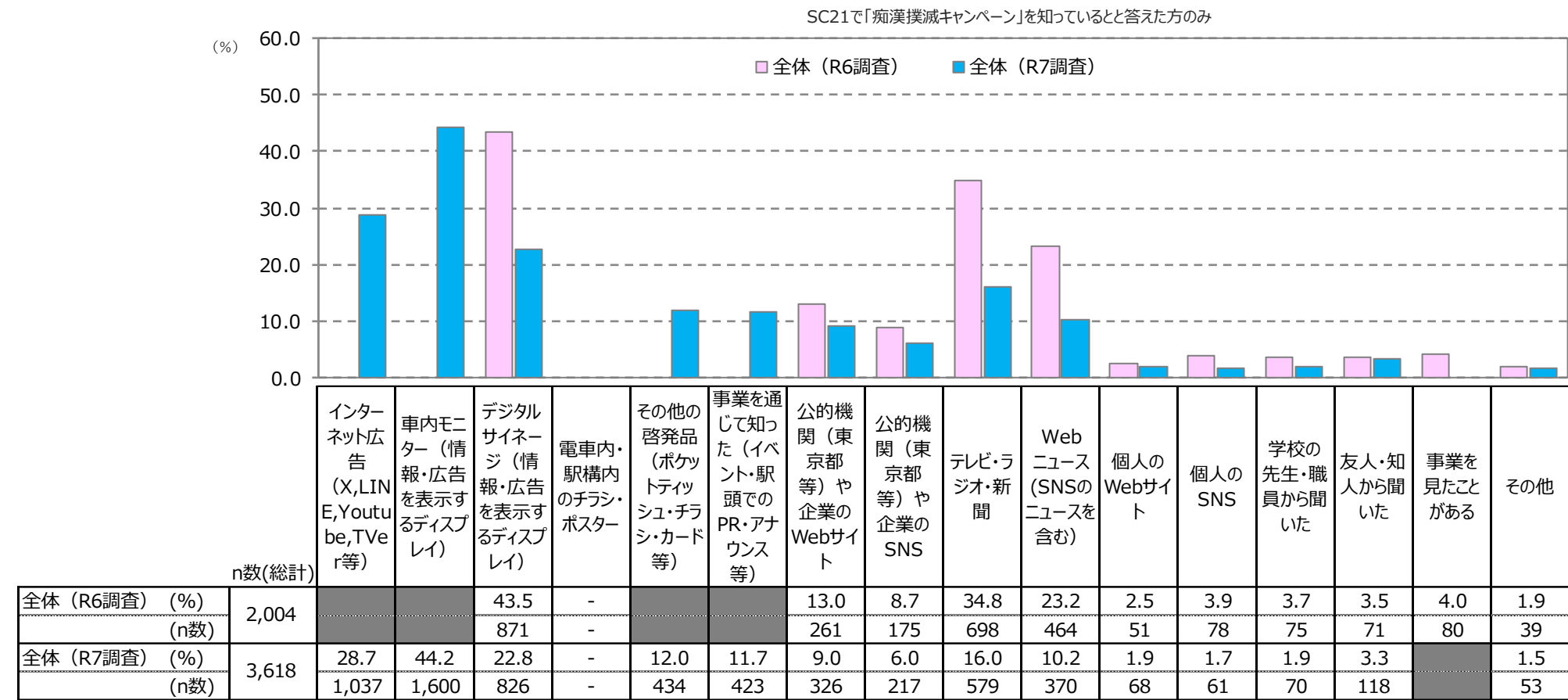


グレーでハッチングした部分は調査年で項目なし。  
R7「学校の先生・職員から聞いた」はR6「学校」  
R7「友人・知人から聞いた」はR6「友人・知人」と表記

SC21S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてをお答えください。（痴漢撲滅プロジェクト特設サイト）

痴漢に関する事業④ SC21S-3. 事業認知方法：痴漢撲滅キャンペーン(MA)

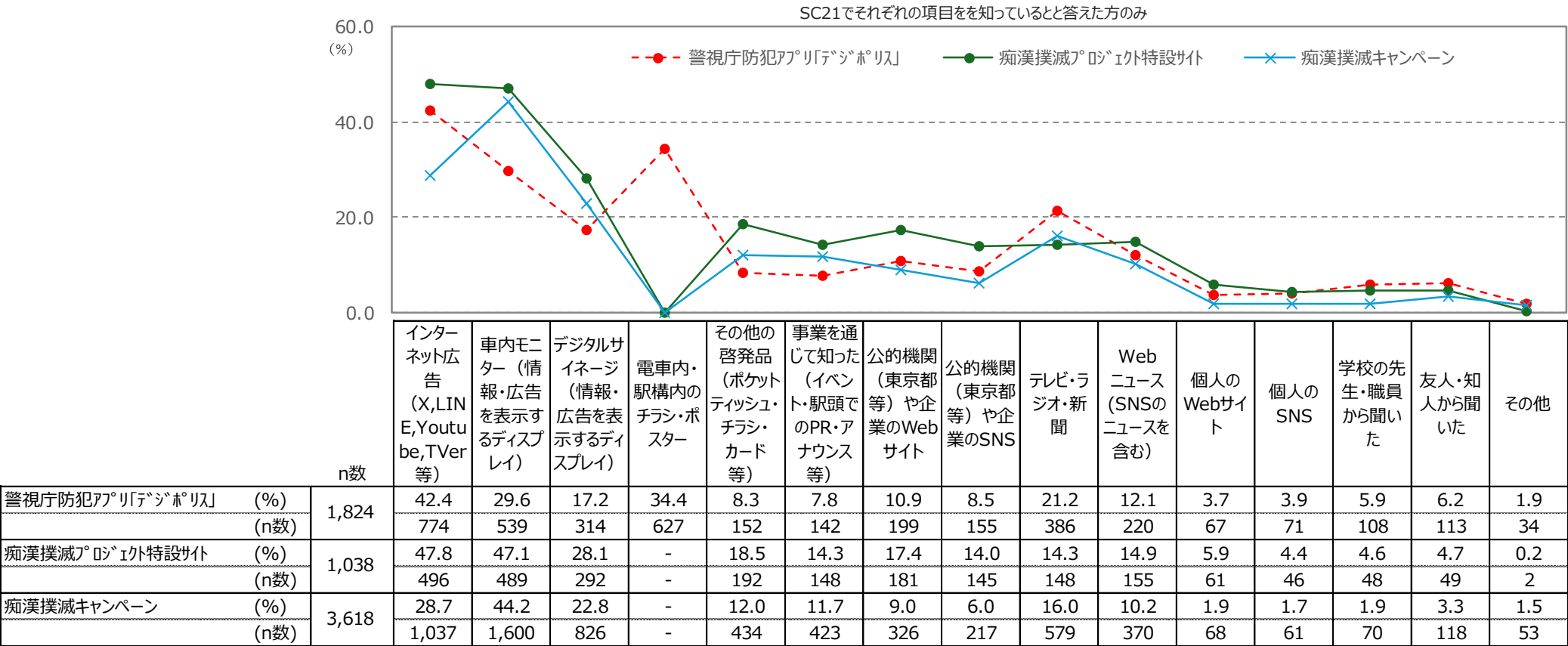
■ 「痴漢撲滅キャンペーン」の認知ルートは、全体で「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」（44.2%）、「インターネット広告（X,LINE,Youtube,TVer等）」（28.7%）、「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」（22.8%）の順が多い。



グレーでハッチングした部分は調査年で項目なし。  
R7「学校の先生・職員から聞いた」はR6「学校」  
R7「友人・知人から聞いた」はR6「友人・知人」と表記

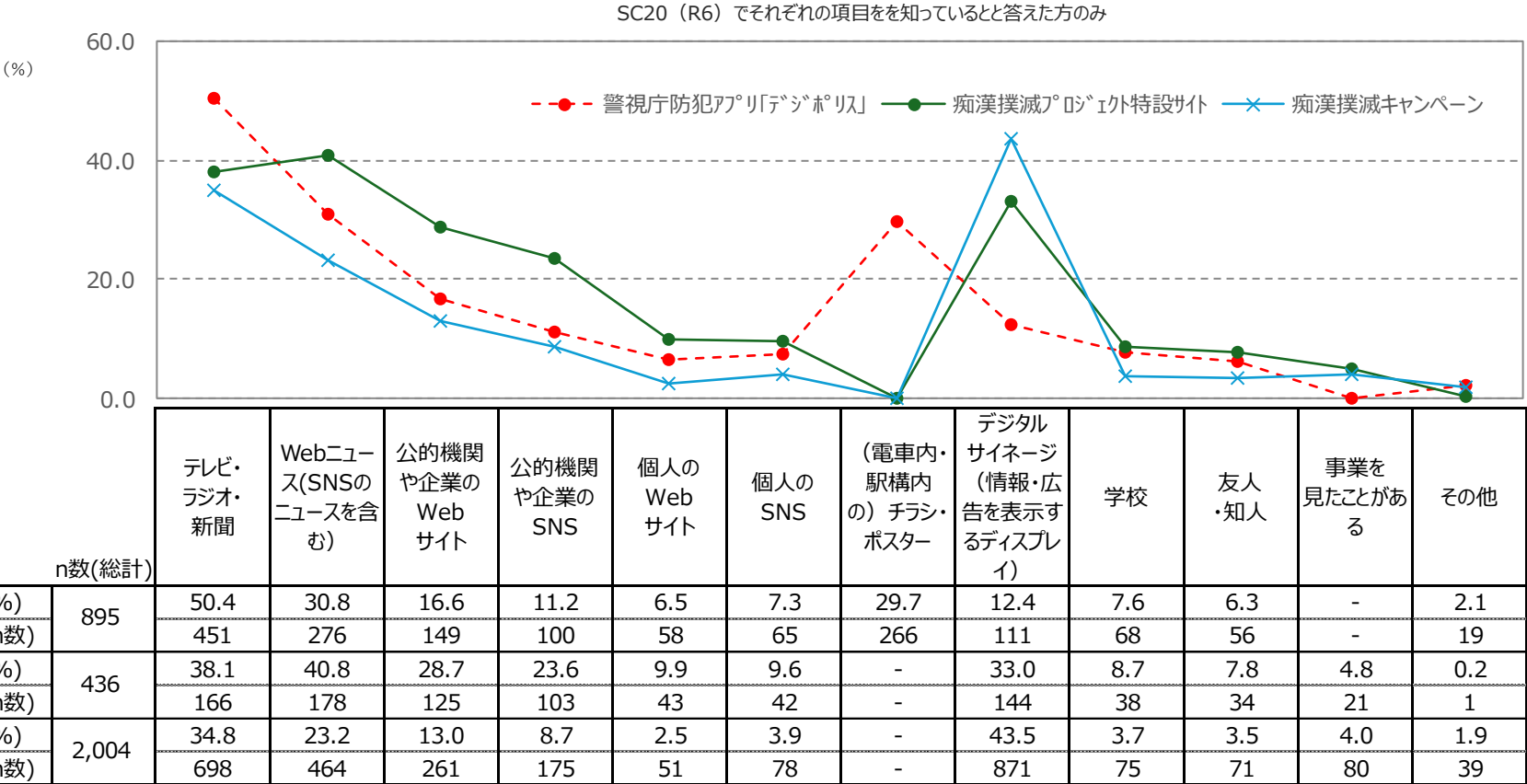
痴漢に関する事業⑤ SC21S. 事業認知方法比較(MA) R7

- 東京都実施の痴漢撲滅のために実施している事業の認知については、「インターネット広告（X,LINE,Youtube,TVer等）」、「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」、「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」などでの認知が高い。



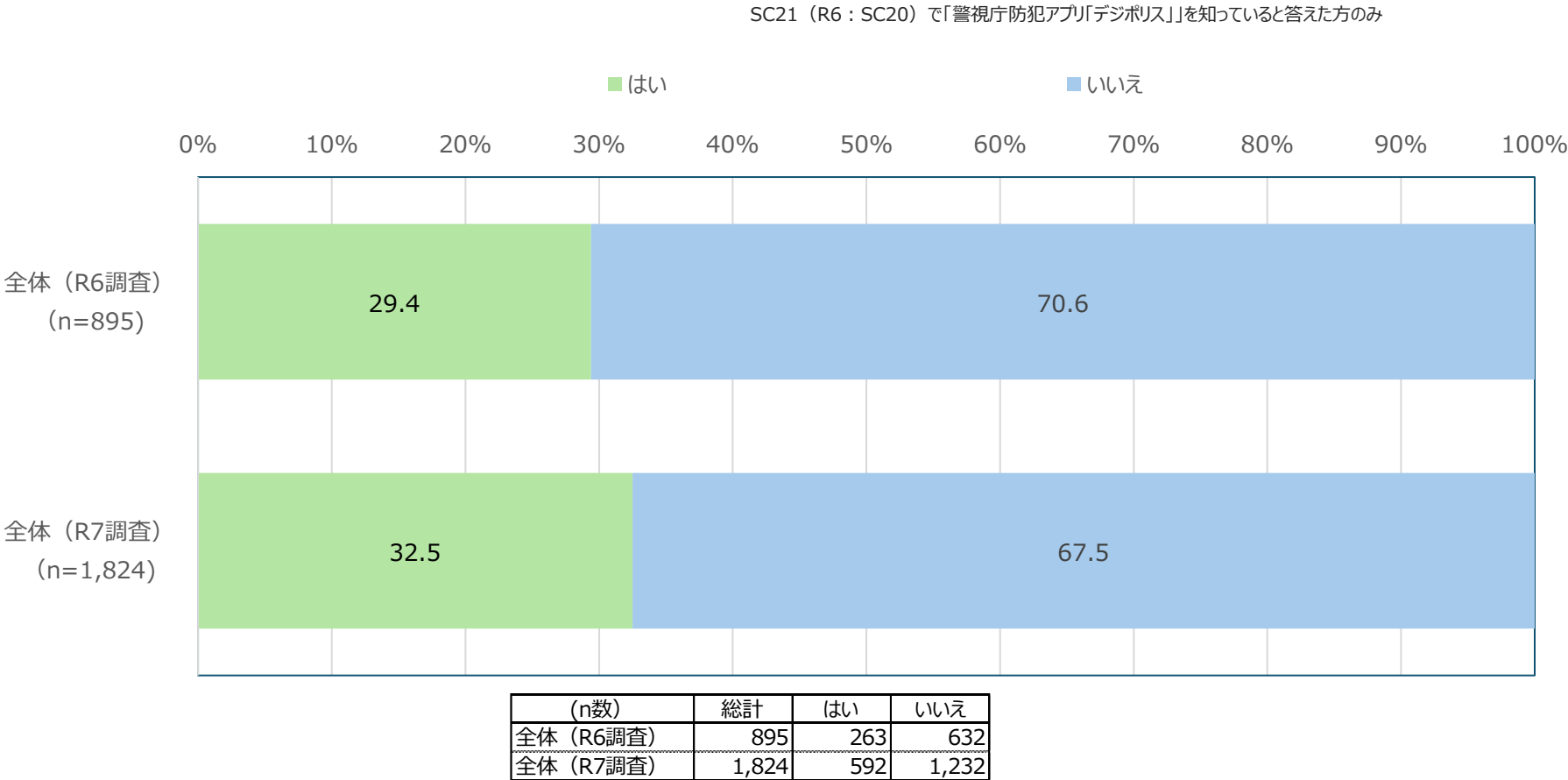
SC21S. 以下の事業をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてをお答えください。

痴漢に関する事業⑤ SC21S. 事業認知方法比較(MA) R6(参考)



警視庁防犯アプリ「デジポリス」① SC22. 警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしているか

■ 「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」のダウンロード率は、全体で32.5%となり、昨年度調査と比べて微増している。

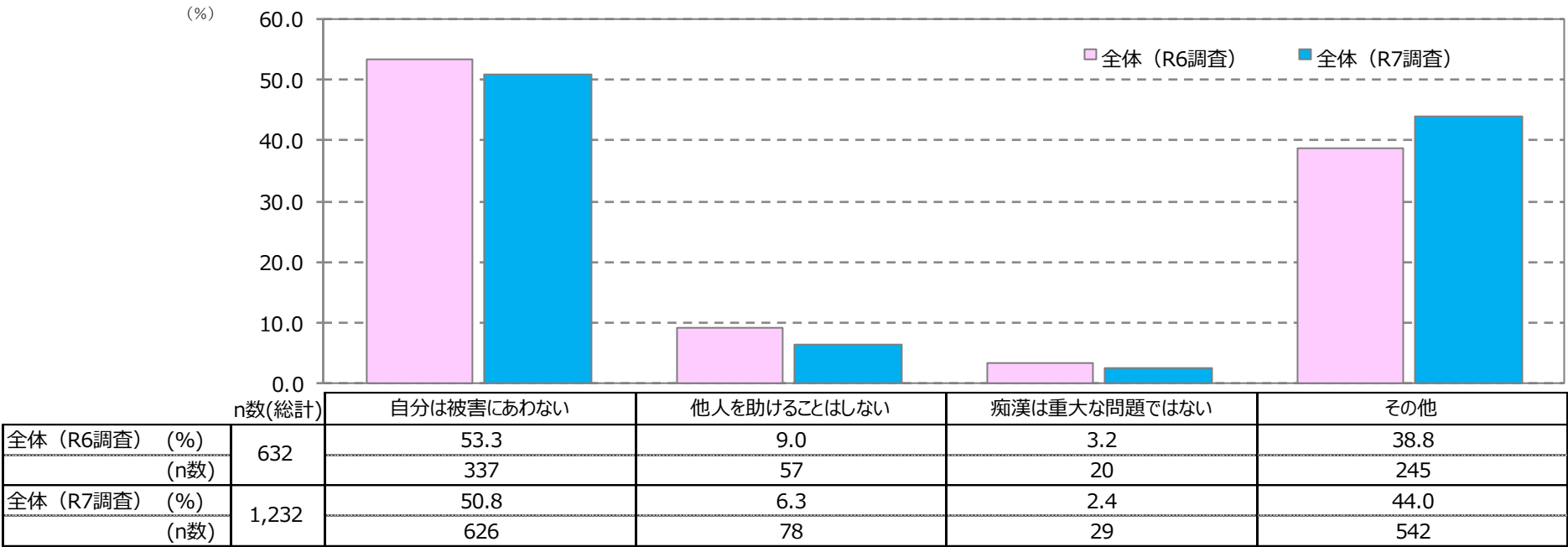


SC22. あなたは警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしていますか。

警視庁防犯アプリ「デジポリス」② SC23. 警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしていない理由(MA)

- 「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」をダウンロードしていない理由は、全体で「自分は被害にあわない」（50.8%）、「他人を助けることはしない」（6.3%）などとなっている。
- 「その他」の内容では、「スマホの容量が気になる」、「ダウンロードの手間」、「効果があるのかわからない」、「電車にあまり乗らない」などといった意見が挙げられている。

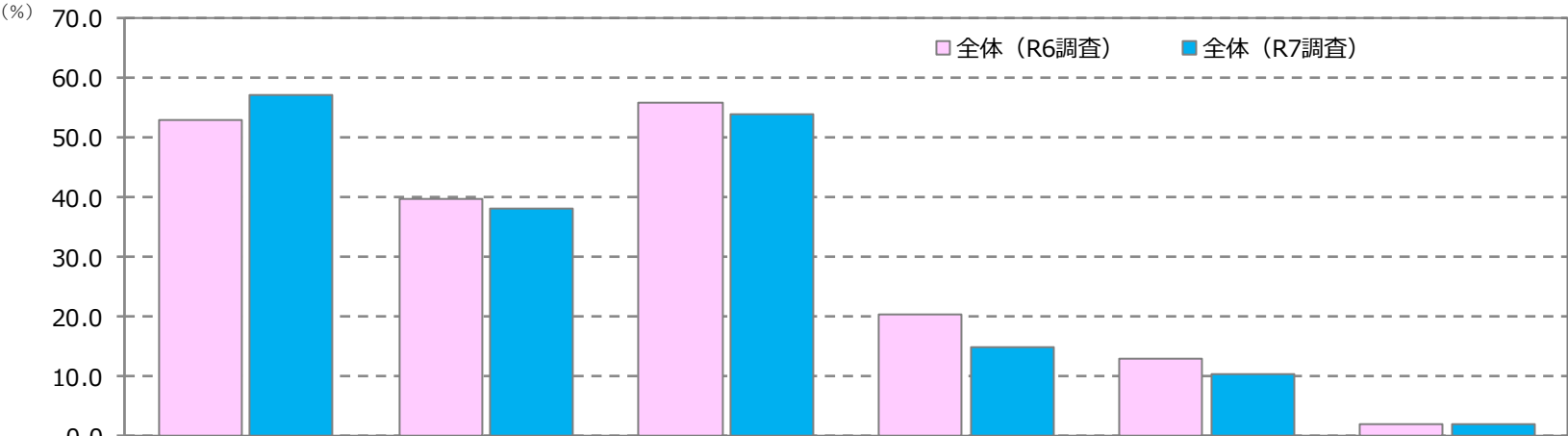
SC22（R6：SC21）で「警視庁防犯アプリ「デジポリス」」をダウンロードしていないと答えた方のみ



SC23. 警視庁防犯アプリ「デジポリス」をダウンロードしていない理由をお答えください。（いくつでも）

# 痴漢撲滅プロジェクト① SC24. 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトに載っていることが望ましい情報(MA)

■ 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトに載っていることが望ましい情報は、全体で「相談・支援機関の情報」(57.2%)、「痴漢対策についての基礎知識」(54.0%)、「国・都・市区町村・民間等の取組についての紹介・解説」(38.2%)の順で多くなっている。

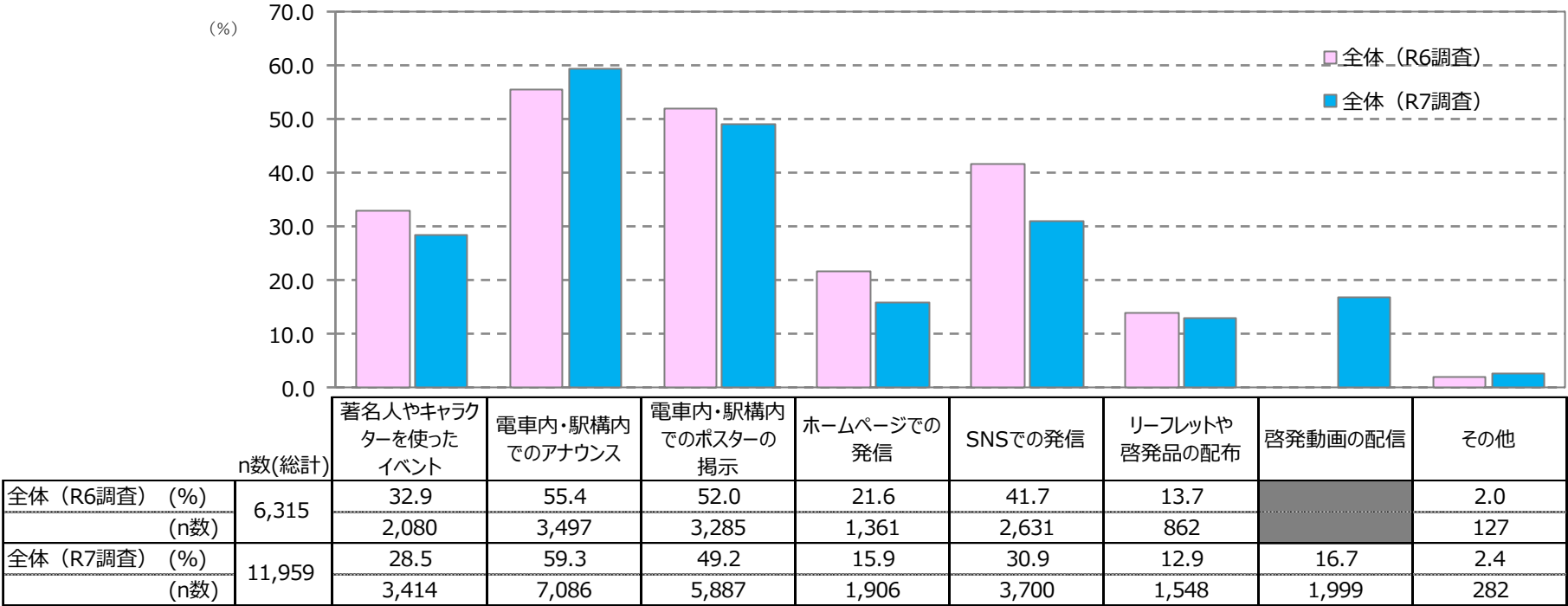


n数(総計)		相談・支援機関等の 情報	国・都・市区町村・ 民間等の取組についての 紹介・解説	痴漢対策についての 基礎知識	イベント情報	学習ツール (ゲーム・クイズなど)	その他
全体 (R6調査)	(%)	52.8	39.7	55.9	20.3	13.0	1.9
	(n数)	3,335	2,505	3,528	1,280	821	121
全体 (R7調査)	(%)	57.2	38.2	54.0	14.7	10.3	2.0
	(n数)	6,838	4,573	6,461	1,756	1,228	234

SC24. 痴漢撲滅プロジェクトの特設サイトにはどのような情報が載っていることが望ましいと思いますか。(いくつでも)

痴漢撲滅プロジェクト② SC25. 痴漢撲滅キャンペーンを実施する際に効果的だと思われること(MA)

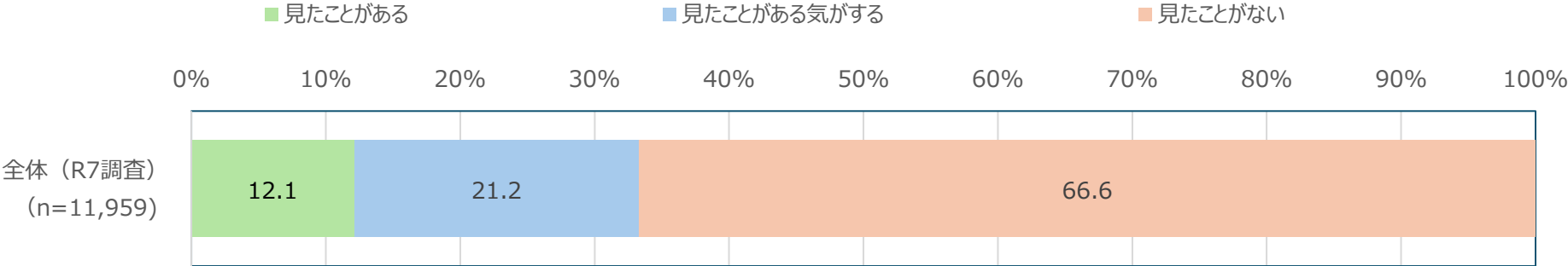
- 痴漢撲滅キャンペーンを実施する際に効果的だと思われることは、全体で「電車内・駅構内でのアナウンス」(59.3%)、「電車内・駅構内でのポスターの掲示」(49.2%)、「SNSでの発信」(30.9%)の順で多くなっている。
- 「電車内・駅構内でのアナウンス」は、昨年度調査と比べて増加している。



SC25. 痴漢撲滅のためのキャンペーンを実施する際に効果的だと思われることをお答えください。(いくつでも)

# 痴漢撲滅プロジェクト③ SC26. 静止画（痴漢撲滅プロジェクト）の認知状況

- この静止画（または動画）の認知状況は、全体で「見たことがある」（12.1%）、「見たことがある気がする」（21.2%）と、“見たことがある”とする比率は33.3%となっている。



(n数)	総計	見たことがある	見たことがある気がする	見たことがない
全体（R7調査）	11,959	1,451	2,541	7,967

R6は調査なし

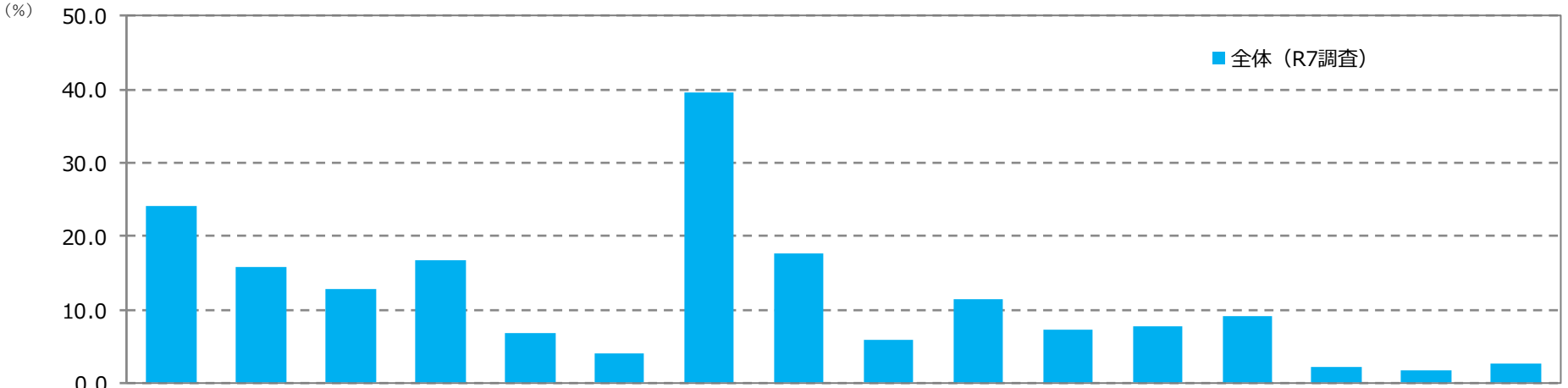
SC26. あなたはこれまでこの静止画（または動画）を見たことがありますか。

# 痴漢撲滅プロジェクト④ SC26S. 静止画（痴漢撲滅プロジェクト）の認知経路(MA)

- この静止画（または動画）の認知経路は、全体で「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」（39.6%）、「インターネット広告（X）」（24.0%）、「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」（17.6%）の順で多くなっている。



SC26で「見たことがある」「見たことがある気がする」と答えた方のみ



n数(総計)		インターネット広告 (X)	インターネット広告 (Instagram)	インターネット広告 (LINE)	インターネット広告 (YouTube)	インターネット広告 (TVer)	インターネット広告 (ABEMA)	車内モニター (情報・広告を表示するディスプレイ)	デジタルサイネージ (情報・広告を表示するディスプレイ)	啓発品 (ポケットティッシュ・チラシ・カード等)	公的機関 (東京都等) や企業のWebサイト	公的機関 (東京都等) や企業のSNS	テレビ	Webニュース (SNSのニュースも含まれます)	個人のWebサイト	個人のSNS	その他
全体 (R7調査) (%)	3,992	24.0	15.8	12.7	16.6	6.8	3.9	39.6	17.6	5.9	11.3	7.3	7.6	9.0	2.1	1.8	2.7
(n数)		958	630	505	662	272	157	1,582	701	234	453	291	304	358	85	73	109

SC26S. この静止画（または動画）をどこで見たのかについてお答えください。（いくつでも） R6は調査なし

# 痴漢撲滅プロジェクト⑤ SC27. 静止画（痴漢撲滅プロジェクト）以外の動画やポスターの認知状況

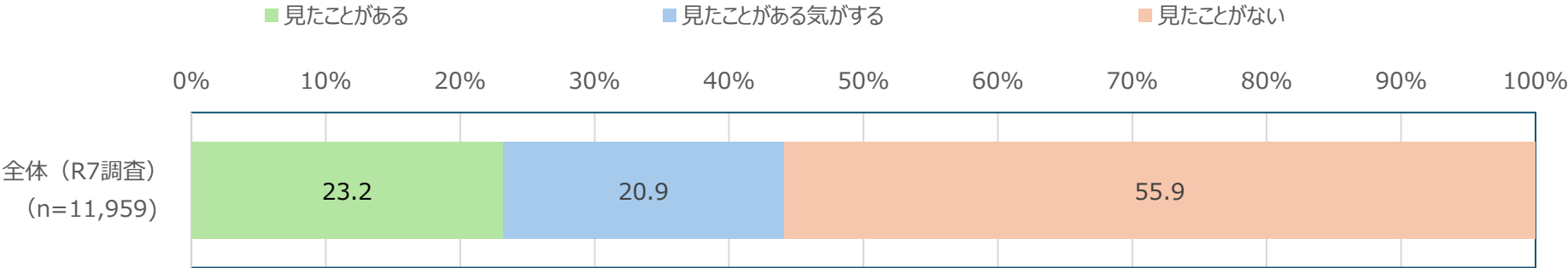
- 前ページの静止画（または動画）以外の電車内や駅構内での痴漢被害防止を呼び掛ける動画やポスターなどの認知状況は、全体で「見たことがある」（23.2%）、「見たことがある気がする」（20.9%）と、“見たことがある”とする比率は44.1%となっている。



出典：警視庁



出典：東京都交通局



(n数)	総計	見たことがある	見たことがある気がする	見たことがない
全体（R7調査）	11,959	2,769	2,501	6,689

R6は調査なし

SC27. あなたは先ほどの静止画（または動画）以外に、電車内や駅構内での痴漢被害防止を呼び掛ける動画やポスターなどを見たことがありますか。

- 前ページの静止画（または動画）以外の電車内や駅構内での痴漢被害防止を呼び掛ける動画やポスターなどの認知経路は、全体で「電車内・駅構内のチラシ・ポスター」（68.1%）、「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」（30.2%）、「インターネット広告（X,LINE,Youtube,TVer等）」（17.8%）の順で多くなっている。

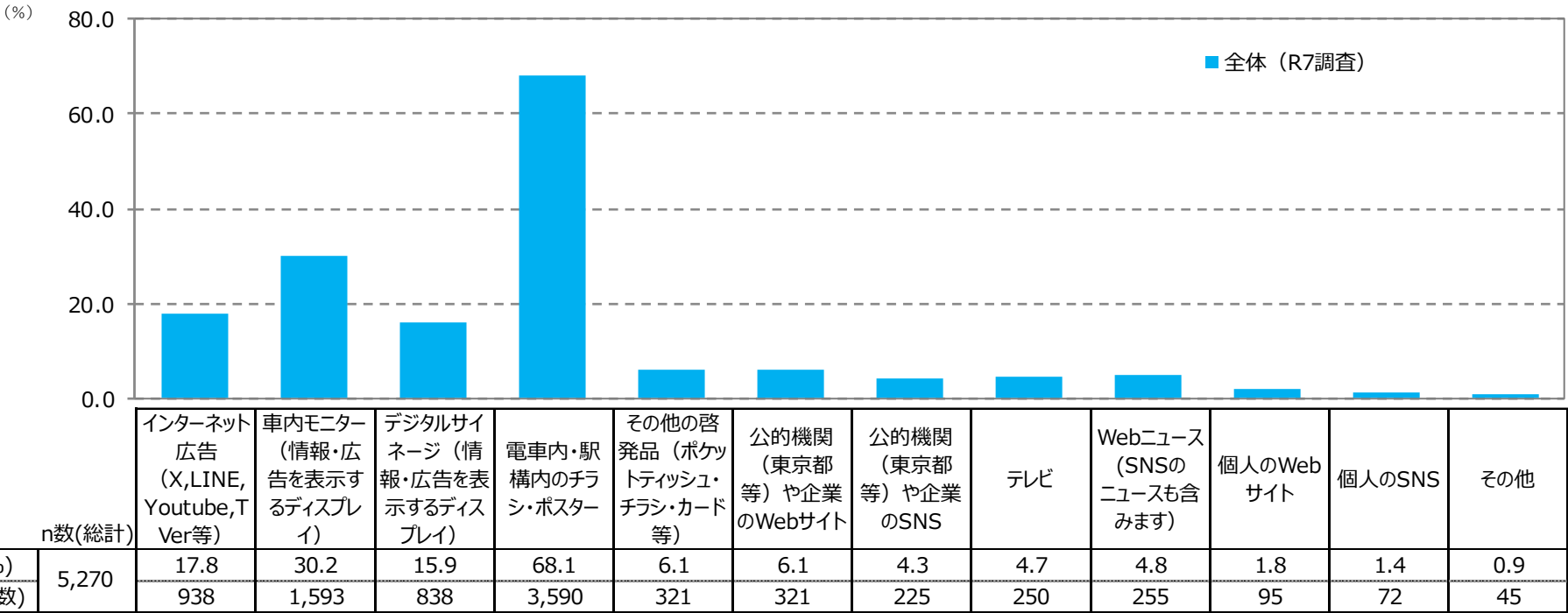


出典：警視庁



出典：東京都交通局

SC27で「見たことがある」「見たことがある気がする」と答えた方のみ

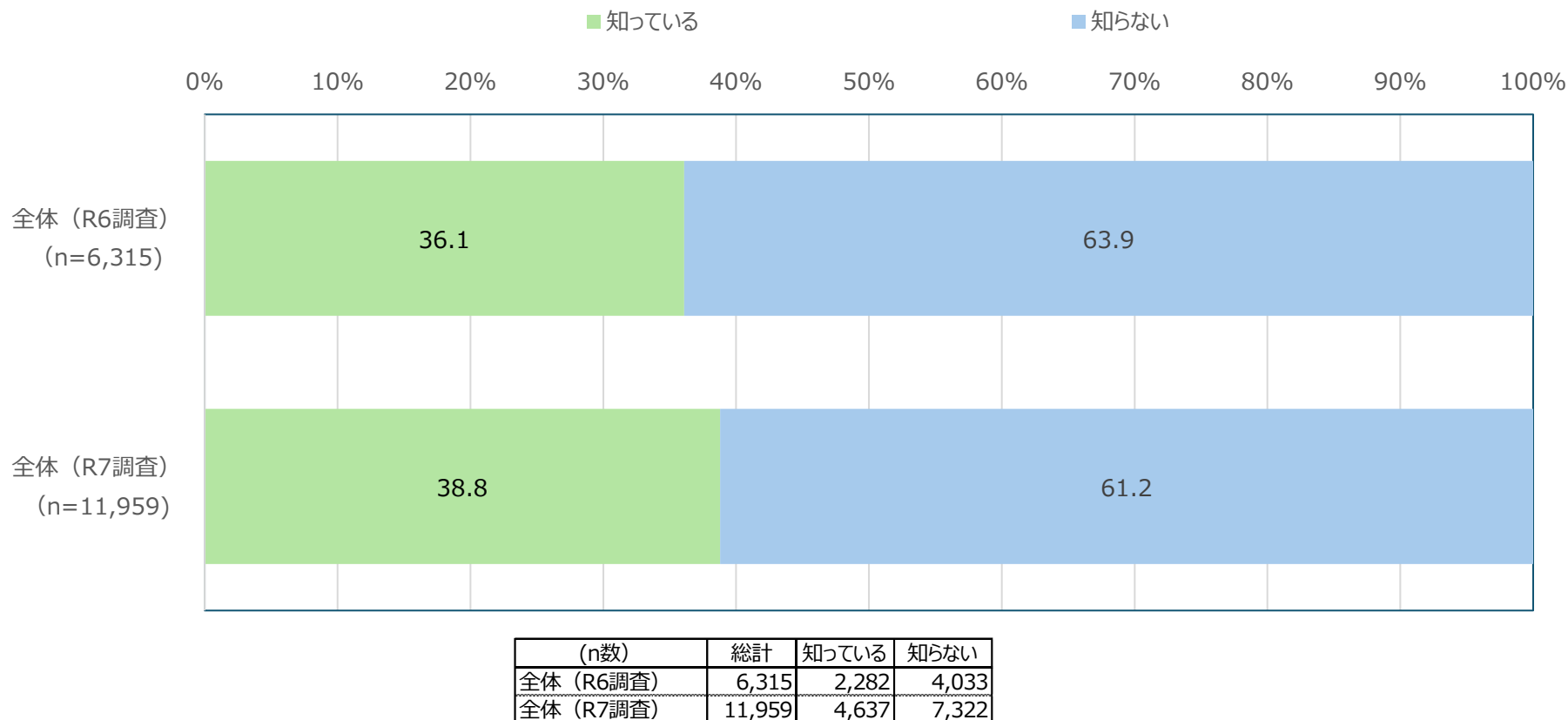


SC27S. その動画やポスターなどをどこで見たのかについてお答えください。（いくつでも）

R6は調査なし

## 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方① SC28. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方 認知度

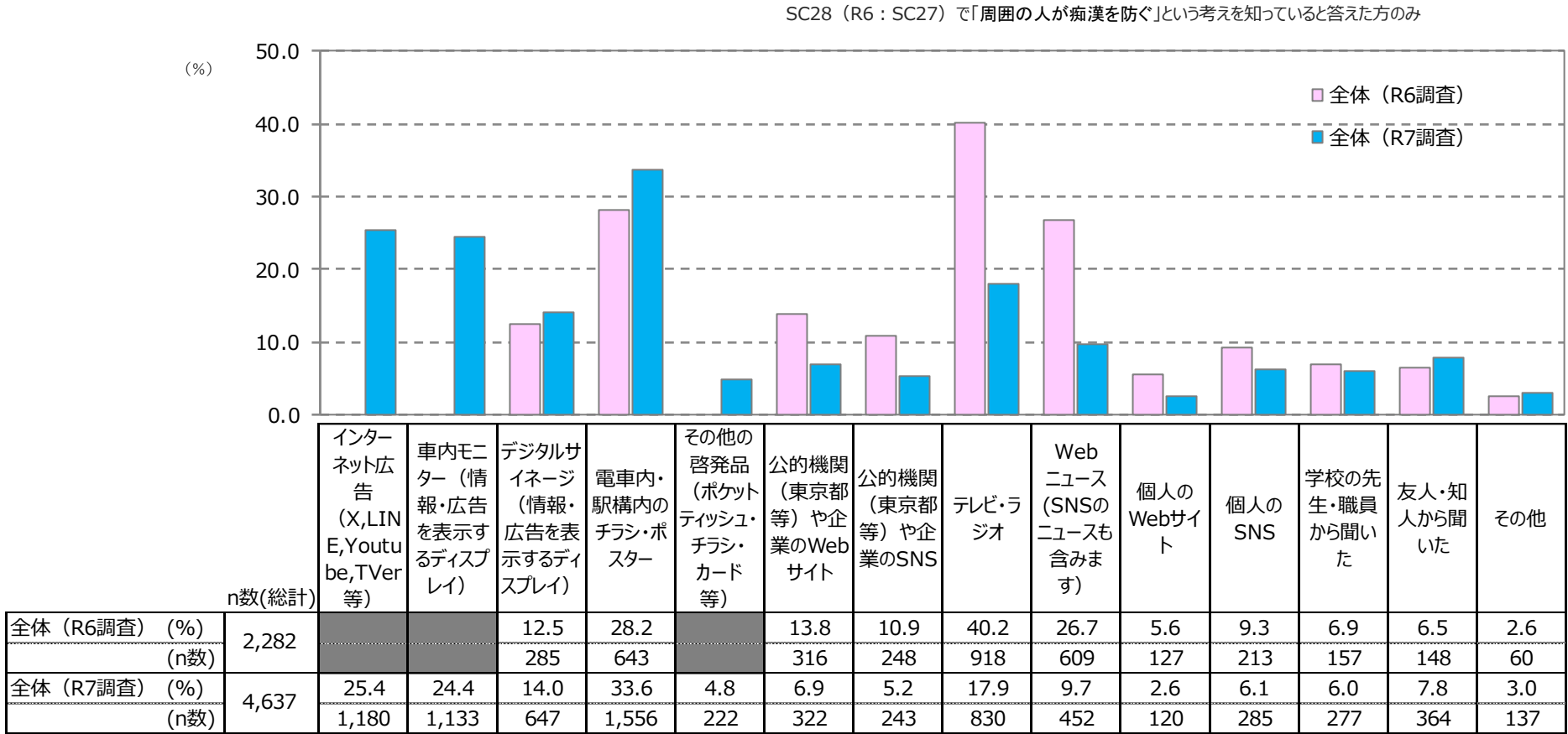
■ 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知度は、全体で38.8%となり、昨年度調査と比べて微増している。



SC28. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方を知っていますか。

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方② SC28S. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知経路(MA)

- 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知経路は、全体で「電車内・駅構内のチラシ・ポスター」(33.6%)、「インターネット広告(X,LINE,Youtube,TVer等)」(25.4%)、「車内モニター(情報・広告を表示するディスプレイ)」(24.4%)の順で多くなっている。

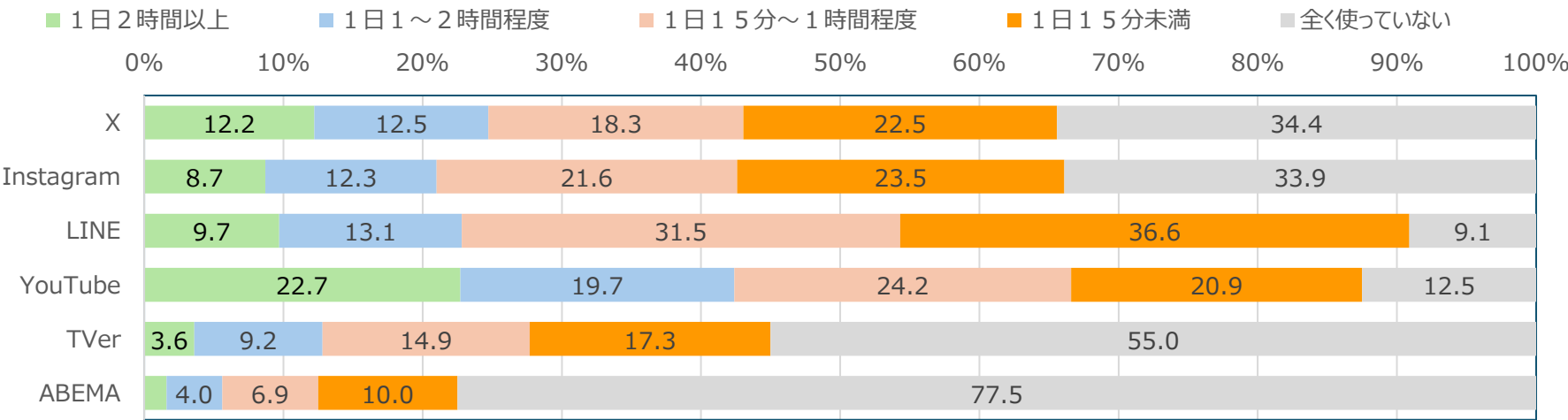


グレーでハッチングした部分はR6項目なし。  
R7「学校の先生・職員から聞いた」はR6「学校」  
R7「友人・知人から聞いた」はR6「友人・知人」と表記

SC28S. 「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方をどこで知ったのかについてお答えください。(いくつでも)

# 動画配信サービス SC20. 動画配信サービスの利用時間

■ 動画配信サービスの利用時間で、1日1時間以上利用している割合が高いのは、全体で、「YouTube」（42.4%）、「X」（24.7%）、「Line」（22.8%）、「Instagram」（21.0%）の順で多くなっている。



(n数)	総計	1日2時間以上	1日1～2時間程度	1日15分～1時間程度	1日15分未満	全く使っていない
X	11,959	1,461	1,494	2,190	2,696	4,118
Instagram	11,959	1,035	1,472	2,579	2,816	4,057
LINE	11,959	1,158	1,569	3,762	4,379	1,091
YouTube	11,959	2,711	2,358	2,896	2,499	1,495
TVer	11,959	432	1,095	1,780	2,073	6,579
ABEMA	11,959	193	482	827	1,190	9,267

R6は調査なし

SC20. あなたは普段、以下のようなSNSや動画配信サービスを1日平均どの程度利用していますか。

### Ⅲ 被害者調査（電車内・駅構内）

---

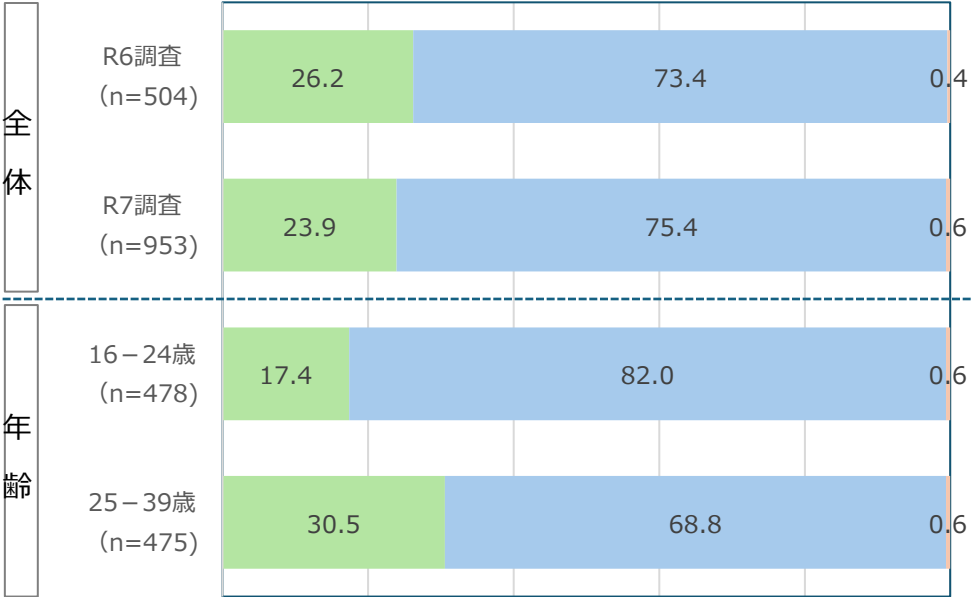
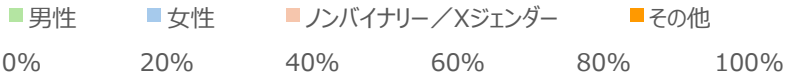
【回答者要件】

- ・ 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- ・ 通勤・通学に電車を使っている方
- ・ ここ1年で電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方
- ・ 16～39歳の方

# 回答者属性① SC1.性別/性自認

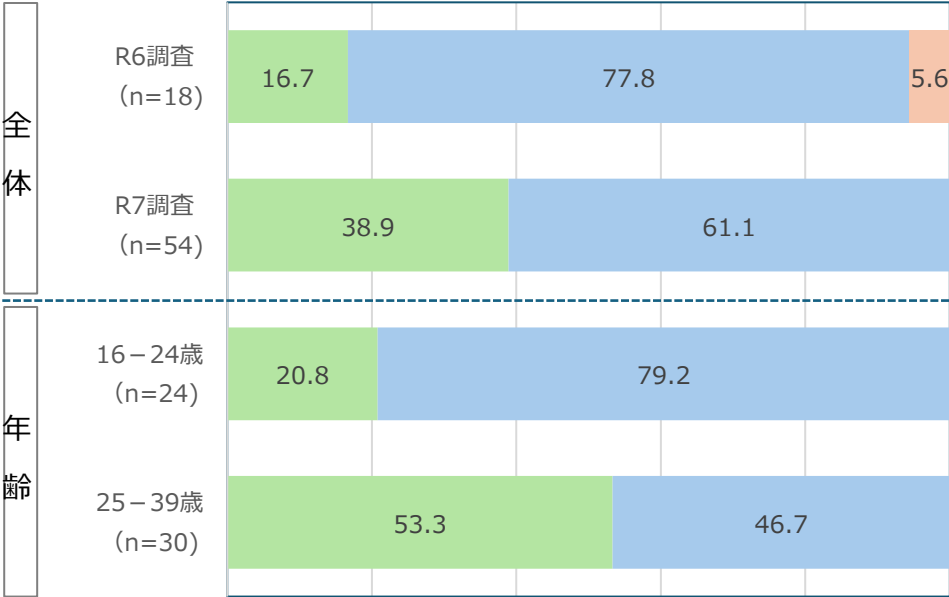
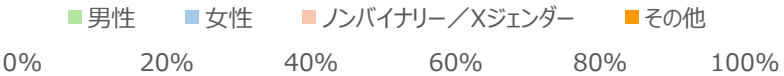
- 電車内の被害（以下、「電車内」）：「女性」（75.4%）、「男性」（23.9%）、「ノンバイナリー/Xジェンダー」（0.6%）と、「女性」が多く、昨年度調査と比べて微増している。
- 駅構内の被害（以下、「駅構内」）：「女性」（61.1%）、「男性」（38.9%）と、女性が多く、昨年度調査と比べて男性被害者が増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

【電車内】



(n数)	総計	男性	女性	ノンバイナリー/Xジェンダー	その他
R6調査	504	132	370	2	-
R7調査	953	228	719	6	-
16-24歳	478	83	392	3	-
25-39歳	475	145	327	3	-

【駅構内】



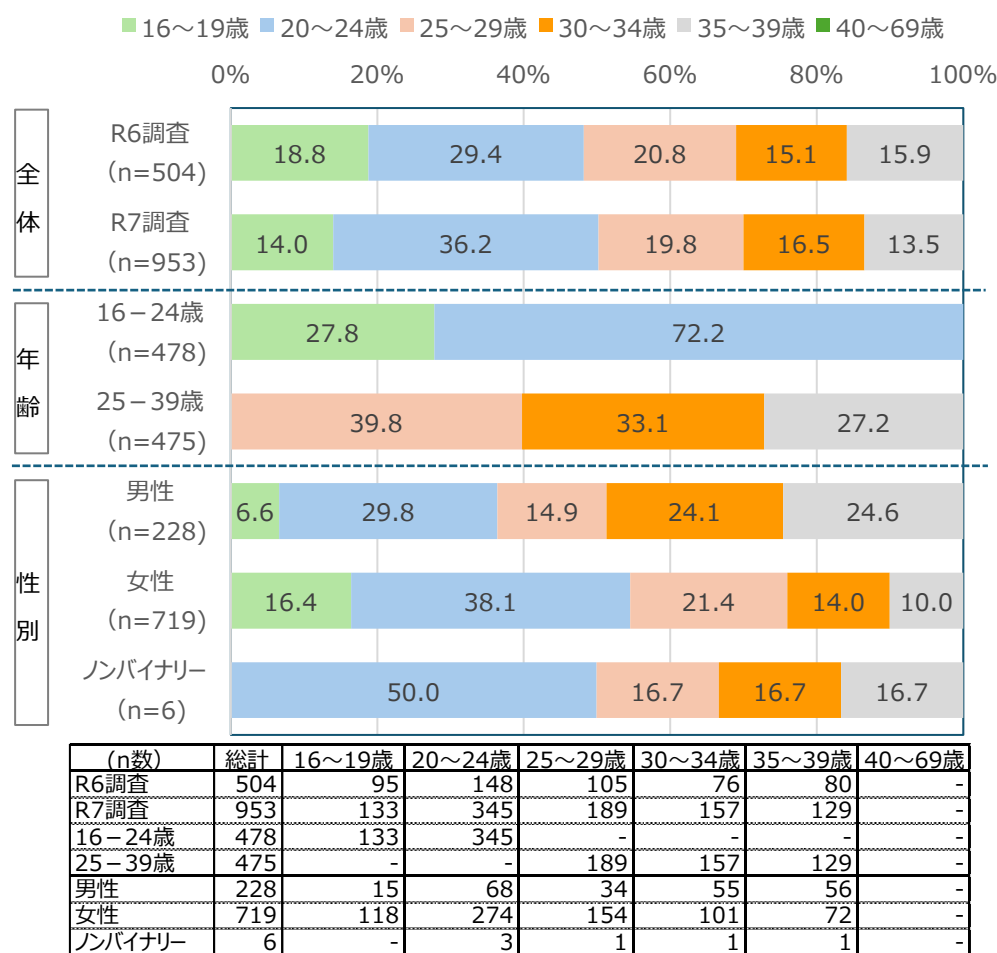
(n数)	総計	男性	女性	ノンバイナリー/Xジェンダー	その他
R6調査	18	3	14	1	-
R7調査	54	21	33	-	-
16-24歳	24	5	19	-	-
25-39歳	30	16	14	-	-

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

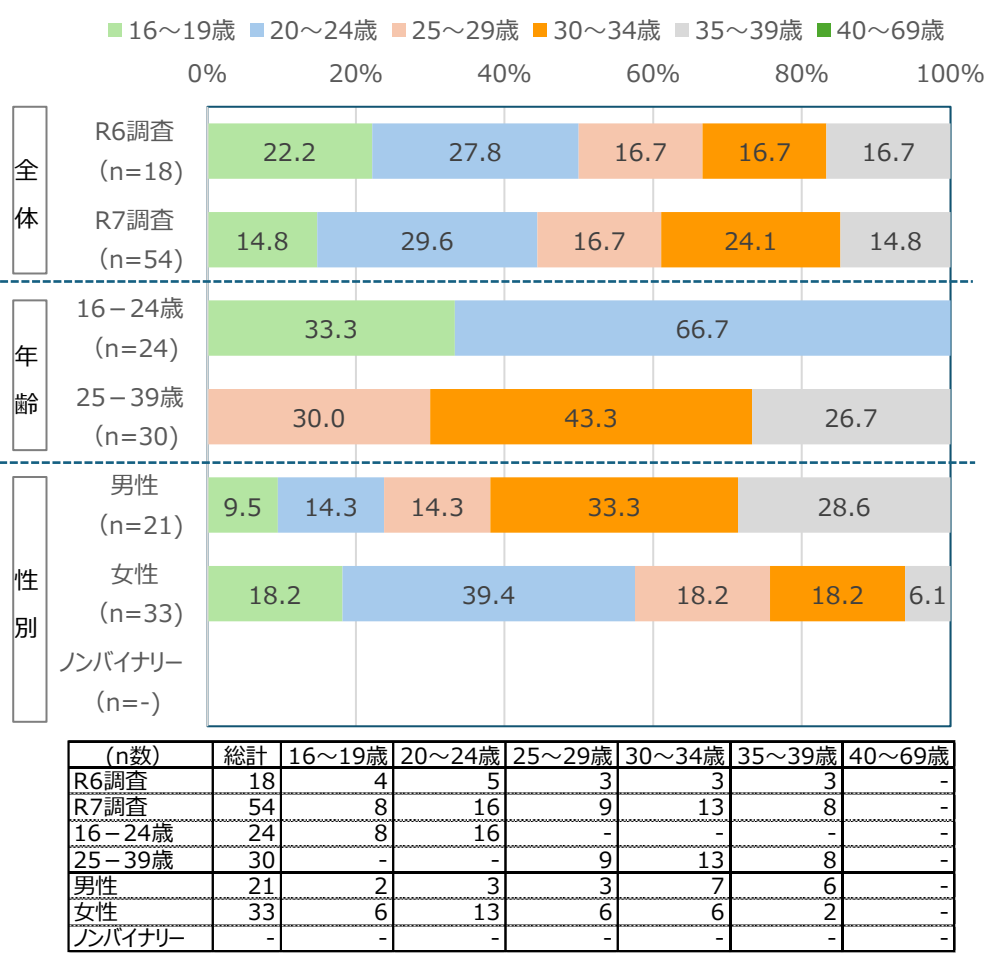
回答者属性② SC2.年齢

- 電車内：「20～24歳」（36.2%）、「25～29歳」（19.8%）、「30～34歳」（16.5%）の順で多く、昨年度調査と比べて20代前半の増加が目立つ。
- 駅構内：「20～24歳」（29.6%）、「30～34歳」（24.1%）の順で多く、昨年度調査と比べて20代前半、30代前半で増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

【電車内】



【駅構内】

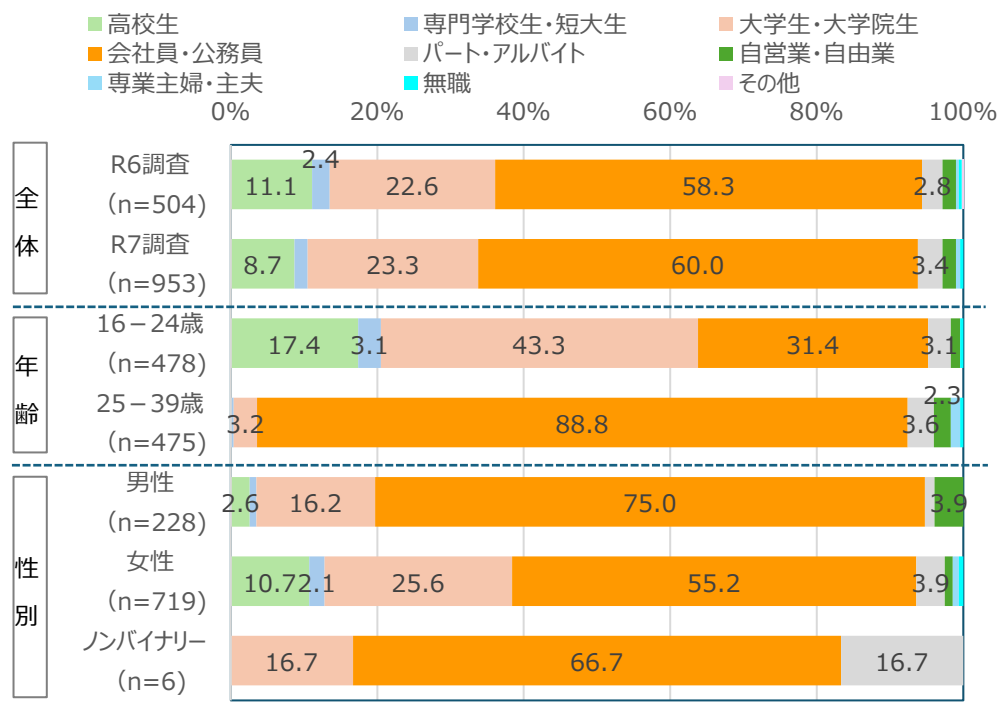


SC2. あなたの年齢をお答えください。

回答者属性③ SC3.職業/学校

- 電車内：「会社員・公務員」（60.0%）、「大学生・大学院生」（23.3%）、「高校生」（8.7%）の順が多い。
- 駅構内：「会社員・公務員」（53.7%）、「大学生・大学院生」（24.1%）の順が多い。
- 電車内、女性で高校生が1割強を占めている。

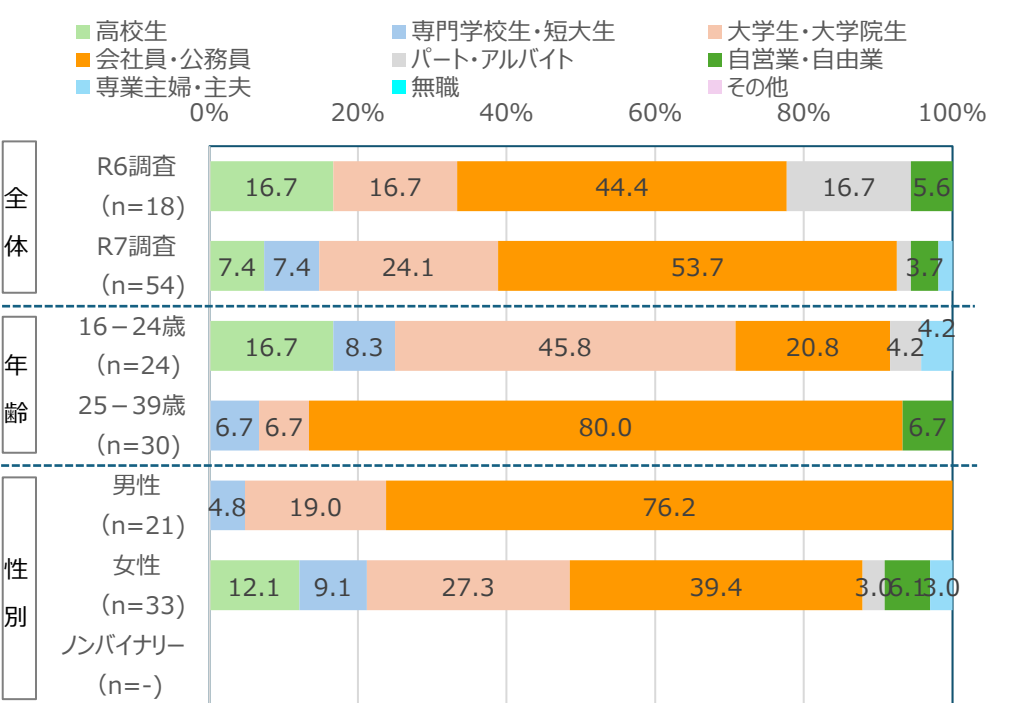
【電車内】



(n数)	総計	高校生	専門学 校生・ 短大生	大学生 ・大学 院生	会社員 ・公務 員	パート ・アルバ イト	自営業 ・自由 業	専業主 婦・主 夫	無職	その他
R6調査	504	56	12	114	294	14	9	2	2	1
R7調査	953	83	17	222	572	32	17	6	4	-
16-24歳	478	83	15	207	150	15	6	-	2	-
25-39歳	475	-	2	15	422	17	11	6	2	-
男性	228	6	2	37	171	3	9	-	-	-
女性	719	77	15	184	397	28	8	6	4	-
ノンバイナリー	6	-	-	1	4	1	-	-	-	-

SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

【駅構内】



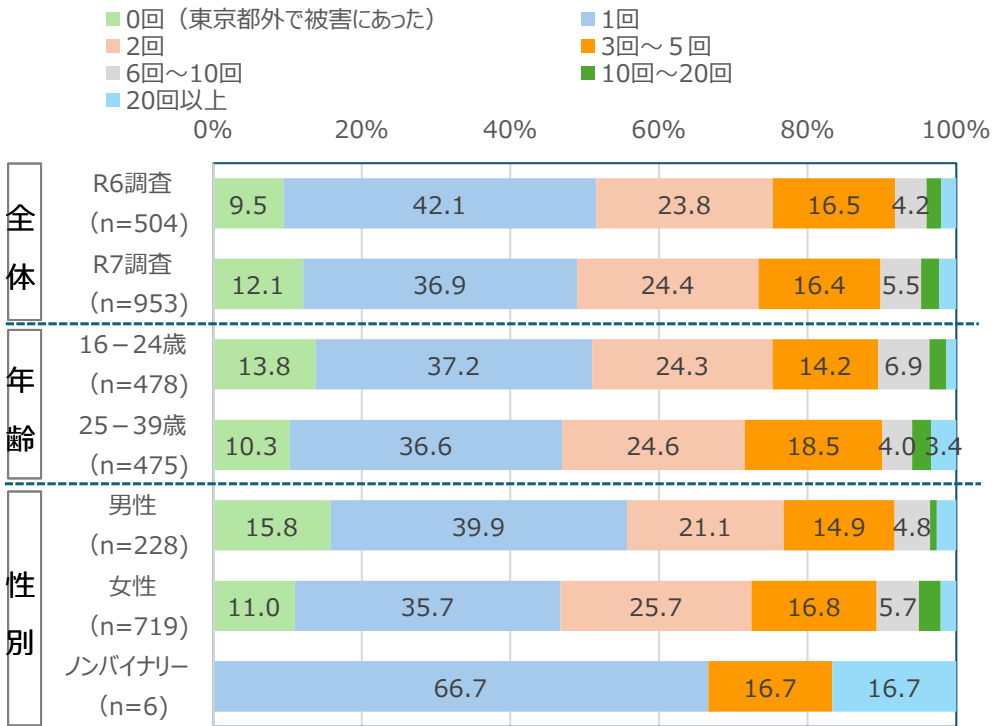
(n数)	総計	高校生	専門学 校生・ 短大生	大学生 ・大学 院生	会社員 ・公務 員	パート ・アルバ イト	自営業 ・自由 業	専業主 婦・主 夫	無職	その他
R6調査	18	3	-	3	8	3	1	-	-	-
R7調査	54	4	4	13	29	1	2	1	-	-
16-24歳	24	4	2	11	5	1	-	1	-	-
25-39歳	30	-	2	2	24	-	2	-	-	-
男性	21	-	1	4	16	-	-	-	-	-
女性	33	4	3	9	13	1	2	1	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※2%未満のデータレベルは非表示

# 痴漢被害の経験① Q1.直近1年間に東京都内で痴漢被害にあった回数

- 電車内：「1回」（36.9%）、「2回」（24.4%）、「3～5回」（16.4%）の順が多い。
- 駅構内：「1回」（40.7%）、「2回」（24.1%）、「0回」/「3～5回」（ともに14.8%）の順が多い。
- 電車内、女性で複数回比率が高い。

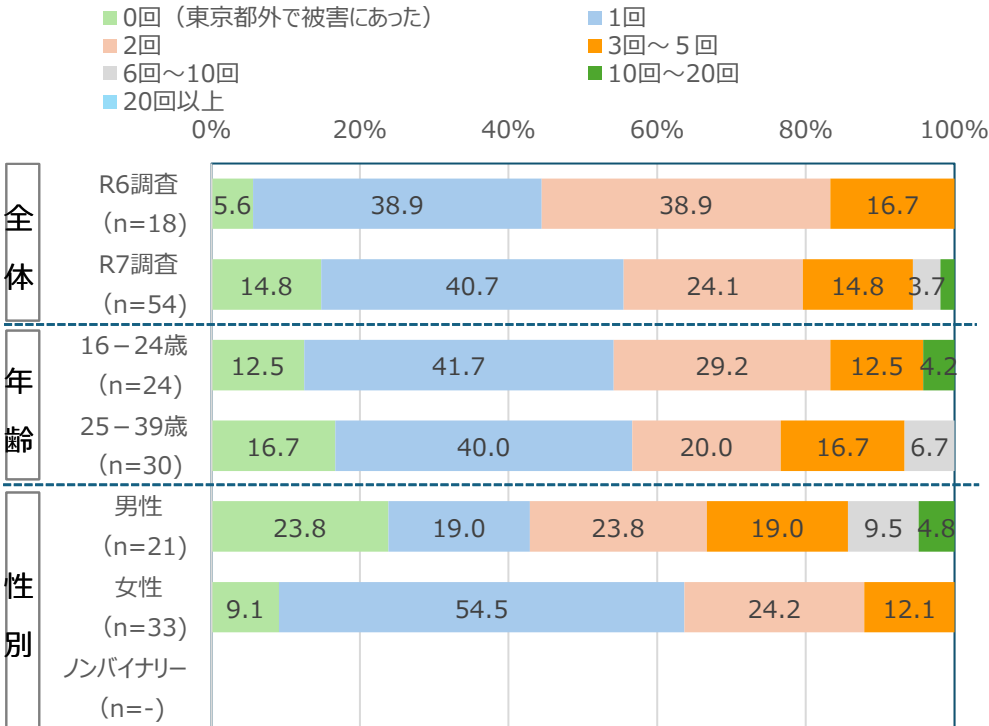
## 【電車内】



(n数)	総計	0回*	1回	2回	3回～5回	6回～10回	10回～20回	20回以上
R6調査	504	48	212	120	83	21	10	10
R7調査	953	115	352	233	156	52	23	22
16-24歳	478	66	178	116	68	33	11	6
25-39歳	475	49	174	117	88	19	12	16
男性	228	36	91	48	34	11	2	6
女性	719	79	257	185	121	41	21	15
ノンバイナリー	6	-	4	-	1	-	-	1

\* (東京都外で被害にあった)

## 【駅構内】



(n数)	総計	0回*	1回	2回	3回～5回	6回～10回	10回～20回	20回以上
R6調査	18	1	7	7	3	-	-	-
R7調査	54	8	22	13	8	2	1	-
16-24歳	24	3	10	7	3	-	1	-
25-39歳	30	5	12	6	5	2	-	-
男性	21	5	4	5	4	2	1	-
女性	33	3	18	8	4	-	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-

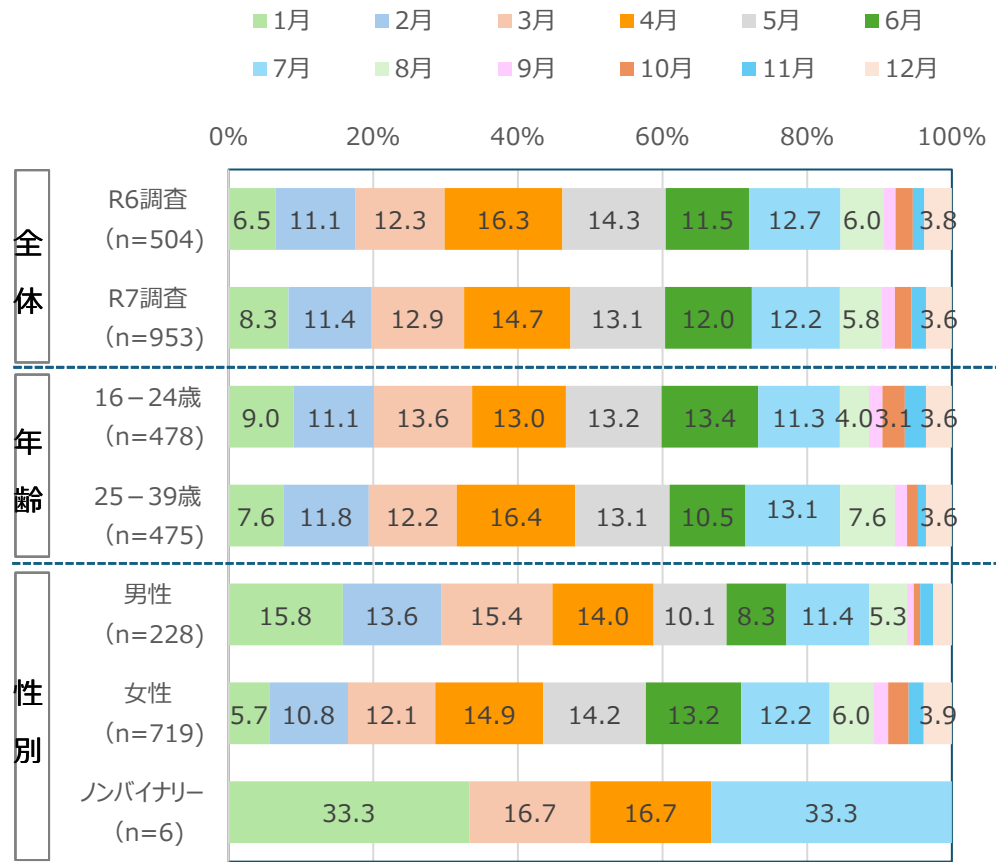
※3%未満のデータラベルは非表示

Q1. あなたが直近1年間に東京都内で痴漢被害にあった回数をお答えください。

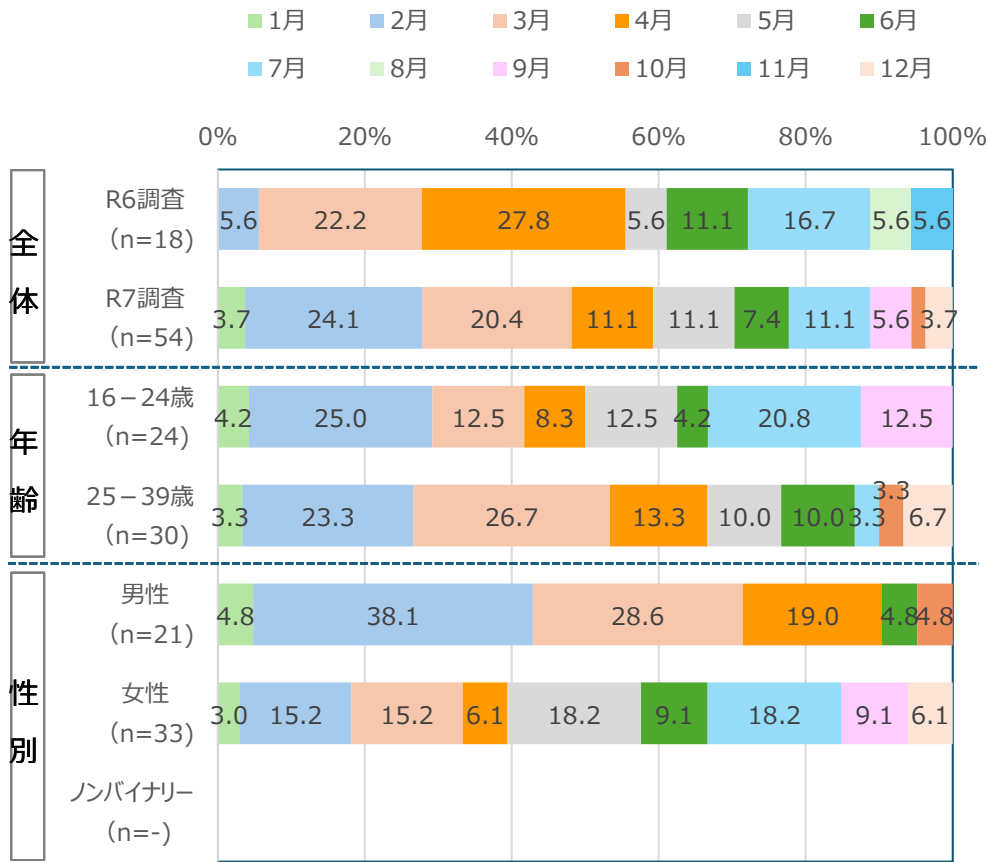
痴漢被害の経験② Q5.直近の被害時期①

- 電車内：「4月」（14.7%）、「5月」（13.1%）、「3月」（12.9%）、「7月」（12.2%）の順が多い。
- 駅構内：「2月」（24.1%）、「3月」（20.4%）、「4月」/「5月」/「7月」（いずれも11.1%）の順が多い。
- 電車内、男性で「1月」比率がやや高い。

【電車内】



【駅構内】



Q5. 被害にあったおおよその時期についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

※3%未満のデータラベルは非表示

# 痴漢被害の経験② Q5.直近の被害時期②（n数）

## 【電車内】(n数)

(n数)	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6調査	504	33	56	62	82	72	58	64	30	8	12	8	19
R7調査	953	79	109	123	140	125	114	116	55	17	22	19	34
16－24歳	478	43	53	65	62	63	64	54	19	9	15	14	17
25－39歳	475	36	56	58	78	62	50	62	36	8	7	5	17
男性	228	36	31	35	32	23	19	26	12	2	2	4	6
女性	719	41	78	87	107	102	95	88	43	15	20	15	28
ノンバイナリー	6	2	-	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-

## 【駅構内】(n数)

(n数)	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6調査	18	-	1	4	5	1	2	3	1	-	-	1	-
R7調査	54	2	13	11	6	6	4	6	-	3	1	-	2
16－24歳	24	1	6	3	2	3	1	5	-	3	-	-	-
25－39歳	30	1	7	8	4	3	3	1	-	-	1	-	2
男性	21	1	8	6	4	-	1	-	-	-	1	-	-
女性	33	1	5	5	2	6	3	6	-	3	-	-	2
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

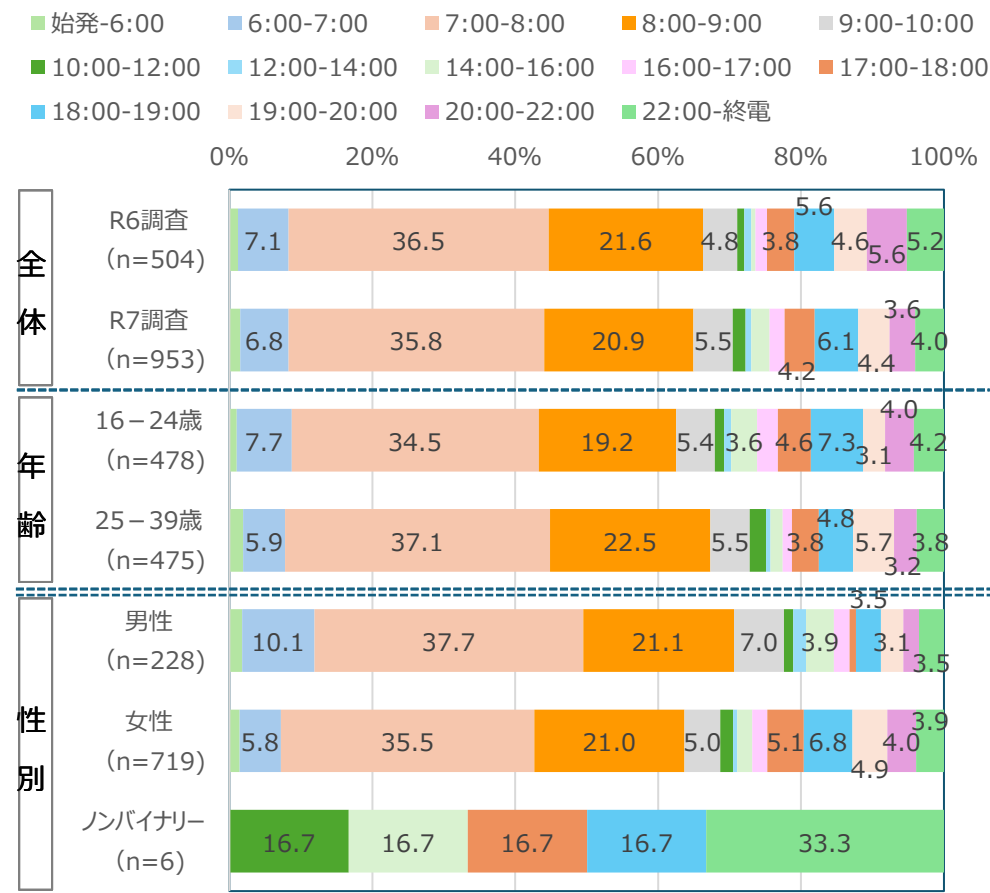
※3%未満のデータは非表示

Q5. 被害にあったおおよその時期についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

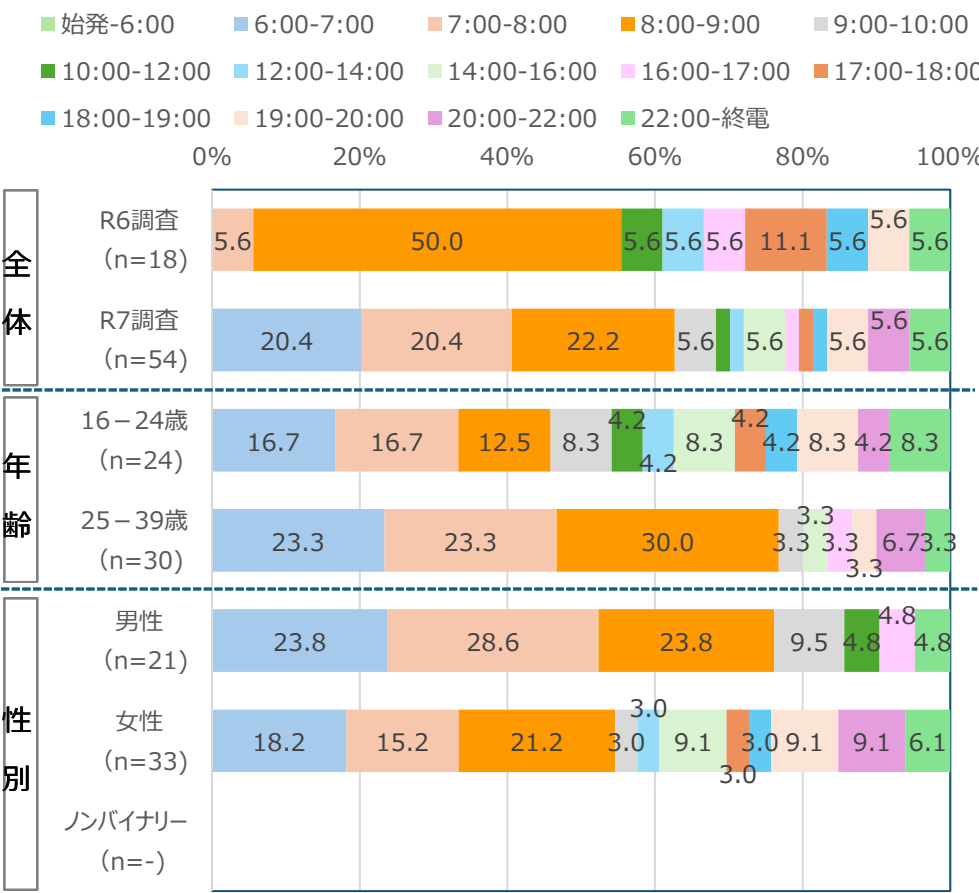
# 痴漢被害の経験③ Q6.直近の被害時間帯①

- 電車内：「7：00～8：00」（35.8%）、「8：00～9：00」（20.9%）の朝のラッシュ時間帯が多い。
- 駅構内：「8：00～9：00」（22.2%）、「6：00～7：00」/「7：00～8：00」（ともに20.4%）の順で多く、昨年度調査と比べて朝のラッシュ時間帯の増加が目立つ。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

【電車内】



【駅構内】



※3%未満のデータレベルは非表示

Q6. 被害にあったおおよその時間帯についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

# 痴漢被害の経験③ Q6.直近の被害時間帯②（n数）

【電車内】(n数)

(n数)	総計	始発-6:00	6:00-7:00	7:00-8:00	8:00-9:00	9:00-10:00	10:00-12:00	12:00-14:00	14:00-16:00	16:00-17:00	17:00-18:00	18:00-19:00	19:00-20:00	20:00-22:00	22:00-終電
R6調査	504	6	36	184	109	24	5	5	3	8	19	28	23	28	26
R7調査	953	14	65	341	199	52	17	8	25	20	40	58	42	34	38
16－24歳	478	5	37	165	92	26	6	5	17	14	22	35	15	19	20
25－39歳	475	9	28	176	107	26	11	3	8	6	18	23	27	15	18
男性	228	4	23	86	48	16	3	4	9	5	2	8	7	5	8
女性	719	10	42	255	151	36	13	4	15	15	37	49	35	29	28
ノンバイナリー	6	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	1	-	-	2

【駅構内】(n数)

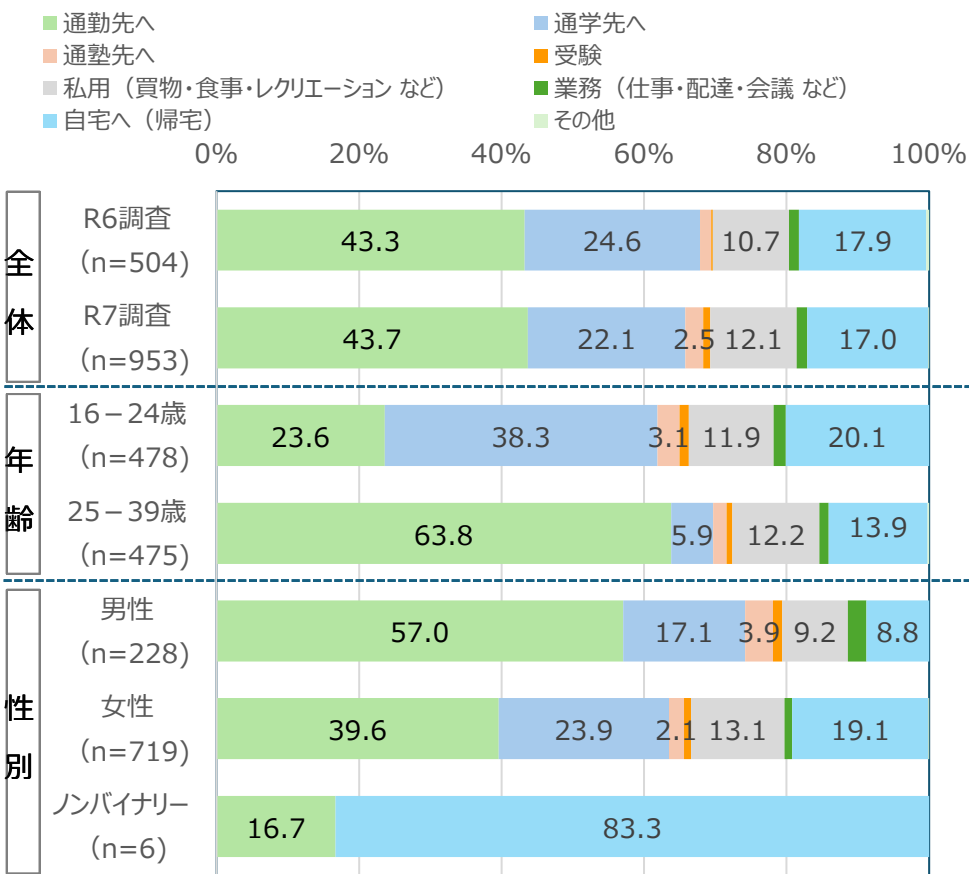
(n数)	総計	始発-6:00	6:00-7:00	7:00-8:00	8:00-9:00	9:00-10:00	10:00-12:00	12:00-14:00	14:00-16:00	16:00-17:00	17:00-18:00	18:00-19:00	19:00-20:00	20:00-22:00	22:00-終電
R6調査	18	-	-	1	9	-	1	1	-	1	2	1	1	-	1
R7調査	54	-	11	11	12	3	1	1	3	1	1	1	3	3	3
16－24歳	24	-	4	4	3	2	1	1	2	-	1	1	2	1	2
25－39歳	30	-	7	7	9	1	-	-	1	1	-	-	1	2	1
男性	21	-	5	6	5	2	1	-	-	1	-	-	-	-	1
女性	33	-	6	5	7	1	-	1	3	-	1	1	3	3	2
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q6. 被害にあったおおよその時間帯についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

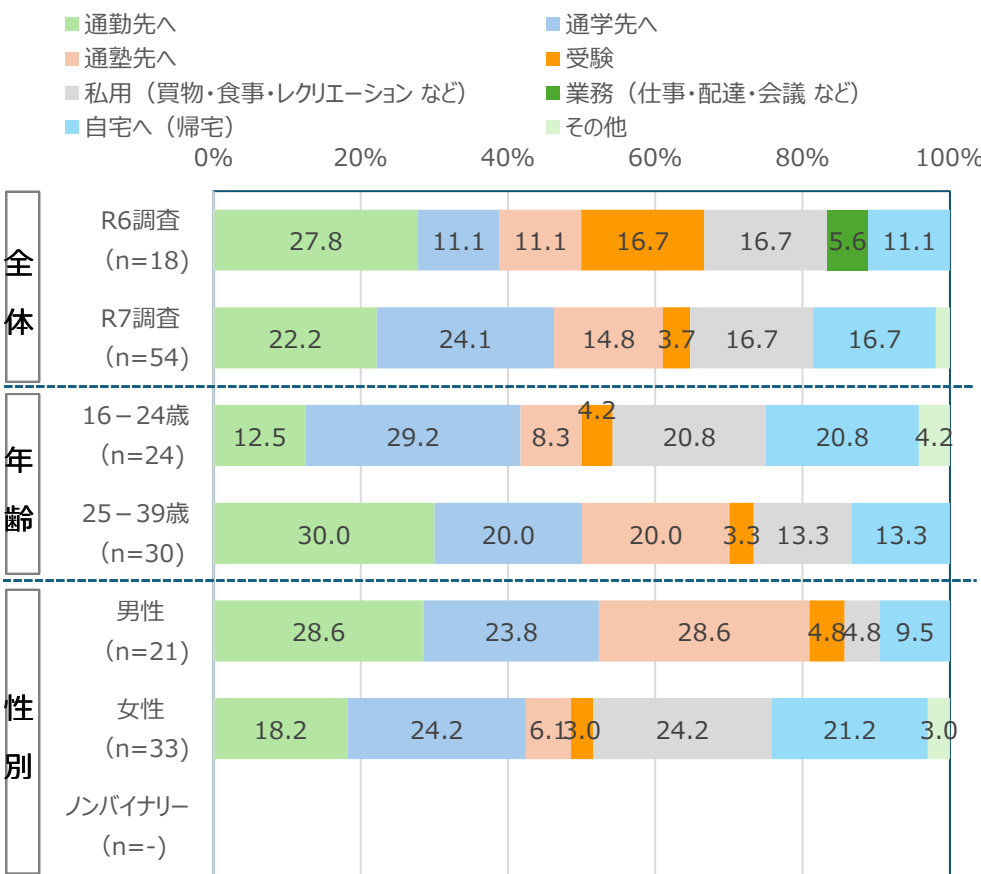
痴漢被害の経験④ Q7.直近の被害時の移動目的①

- 電車内：「通勤先へ」（43.7%）、「通学先へ」（22.1%）、「自宅へ」（17.0%）の順が多い。
- 駅構内：「通学先へ」（24.1%）、「通勤先へ」（22.2%）、「私用（買物・食事・レクリエーションなど）」/「自宅へ」（ともに16.7%）の順が多い。

【電車内】



【駅構内】



※3%未満のデータレベルは非表示

Q7. 被害にあったとき、どのような目的で移動していたのかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

# 痴漢被害の経験④ Q7.直近の被害時の移動目的②（n数）

【電車内】(n数)

(n数)	総計	通勤先へ	通学先へ	通塾先へ	受験	私用 (買物・食事・レク リエーション など)	業務 (仕事・配達 ・会議 など)	自宅へ (帰宅)	その他
R6調査	504	218	124	8	1	54	7	90	2
R7調査	953	416	211	24	10	115	14	162	1
16－24歳	478	113	183	15	6	57	8	96	-
25－39歳	475	303	28	9	4	58	6	66	1
男性	228	130	39	9	3	21	6	20	-
女性	719	285	172	15	7	94	8	137	1
ノンバイナリー	6	1	-	-	-	-	-	5	-

【駅構内】(n数)

(n数)	総計	通勤先へ	通学先へ	通塾先へ	受験	私用 (買物・食事・レク リエーション など)	業務 (仕事・配達 ・会議 など)	自宅へ (帰宅)	その他
R6調査	18	5	2	2	3	3	1	2	-
R7調査	54	12	13	8	2	9	-	9	1
16－24歳	24	3	7	2	1	5	-	5	1
25－39歳	30	9	6	6	1	4	-	4	-
男性	21	6	5	6	1	1	-	2	-
女性	33	6	8	2	1	8	-	7	1
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※3%未満のデータレベルは非表示

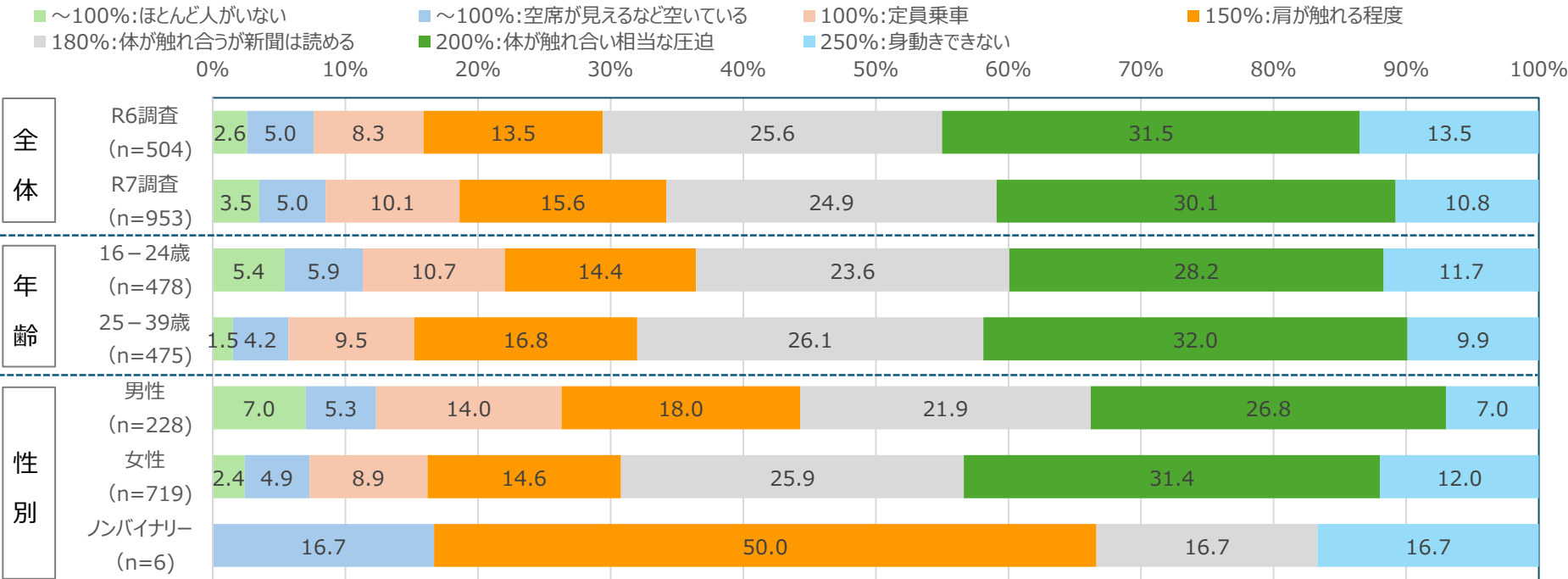
Q7. 被害にあったとき、どのような目的で移動していたのかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

# 痴漢被害の経験⑤ Q8.直近の被害時の混雑率

■ 電車内：「200%」（30.1%）、「180%」（24.9%）、「150%」（15.6%）の順で多い。

【電車内】

SC14「ここ1年」で「1 電車内」、SC15で「1 電車内」と回答した方のみ



(n数)	総計	～100%:ほとんど人がいない	～100%:空席が見えるなど空いている	100%:定員乗車	150%:肩が触れる程度	180%:体が触れ合うが新聞は読める	200%:体が触れ合い相当な圧迫	250%:身動きできない
R6調査	504	13	25	42	68	129	159	68
R7調査	953	33	48	96	149	237	287	103
16-24歳	478	26	28	51	69	113	135	56
25-39歳	475	7	20	45	80	124	152	47
男性	228	16	12	32	41	50	61	16
女性	719	17	35	64	105	186	226	86
ノンバイナリー	6	-	1	-	3	1	-	1

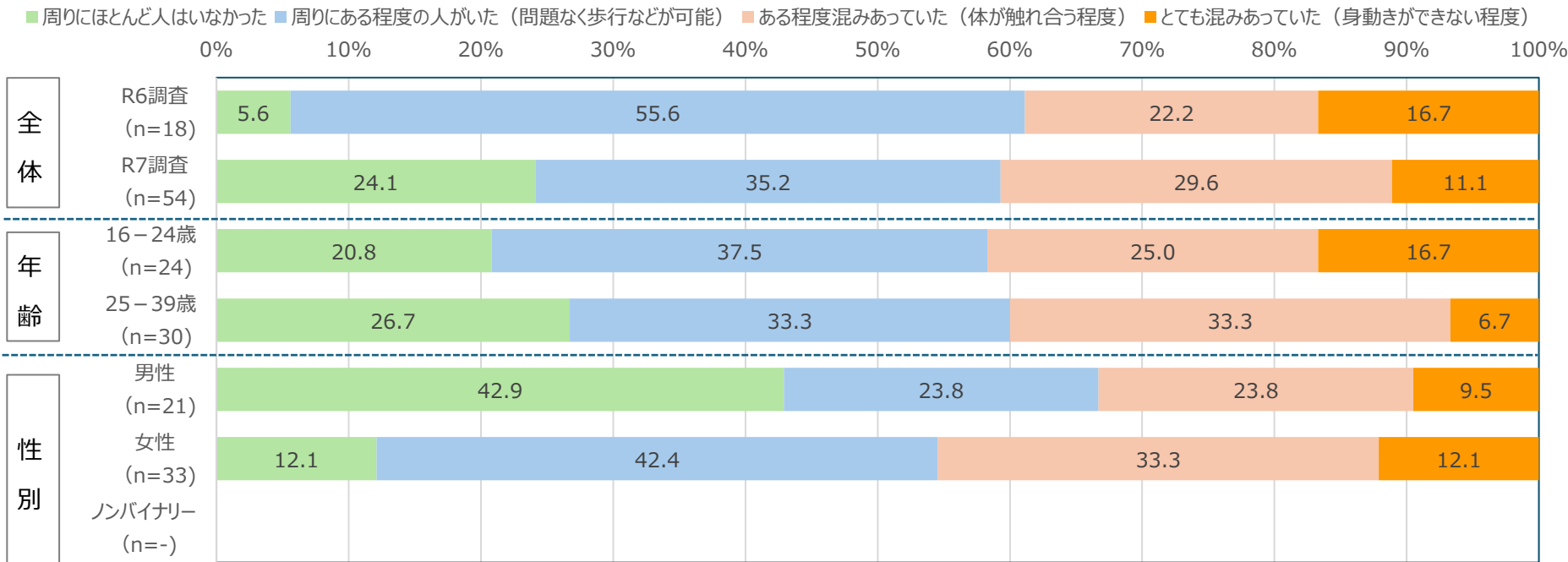
Q8. 被害にあったときの電車の混雑率についてお答えください。

# 痴漢被害の経験⑥ Q9.直近の被害時の駅構内の混雑状況

■ 駅構内：「周りにある程度の人があった」（35.2%）、「ある程度混みあっていた」（29.6%）の順で多く、「周りにほとんど人はいなかった」は昨年度調査と比べて増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

SC14「ここ1年」で「2 駅構内」、SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ

## 【駅構内】

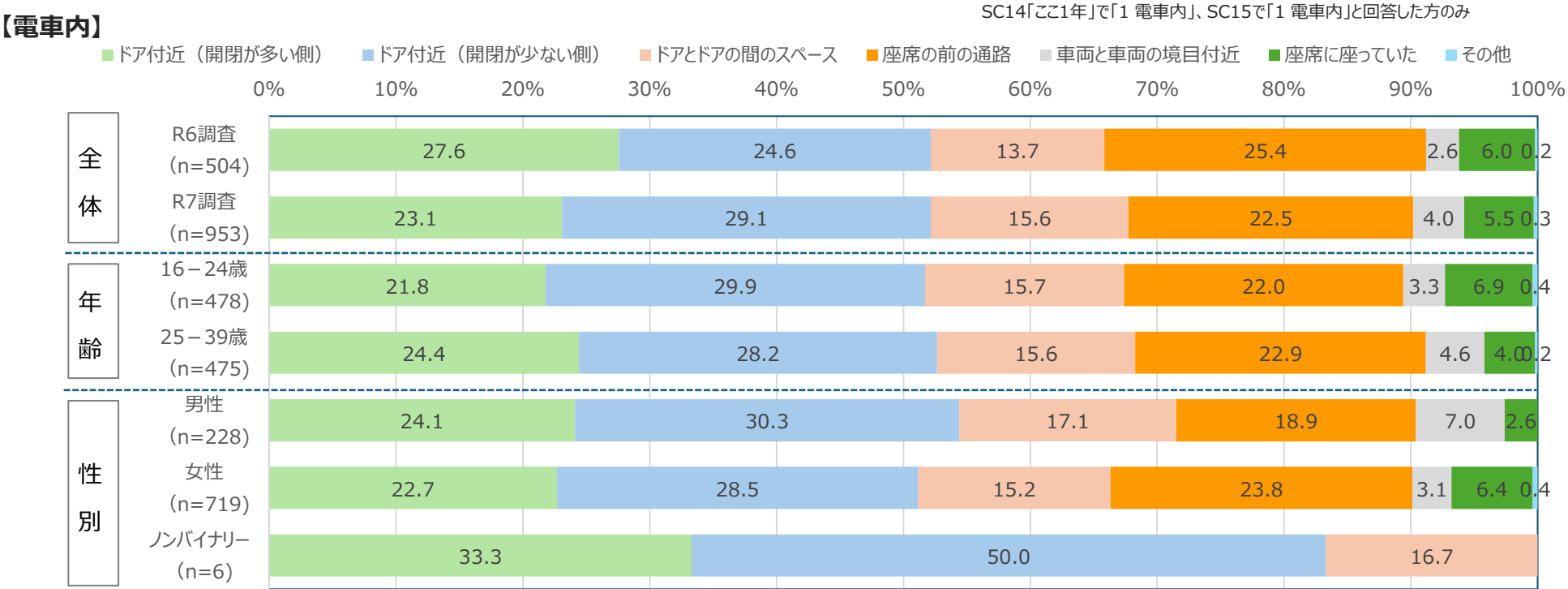


(n数)	総計	周りにほとんど人はいなかった	周りにある程度の人があった (問題なく歩行などが可能)	ある程度混みあっていた (体が触れ合う程度)	とても混みあっていた (身動きができない程度)
R6調査	18	1	10	4	3
R7調査	54	13	19	16	6
16-24歳	24	5	9	6	4
25-39歳	30	8	10	10	2
男性	21	9	5	5	2
女性	33	4	14	11	4
ノンバイナリー	-	-	-	-	-

Q9. 被害にあったときの周りの混雑の程度についてお答えください。

痴漢被害の経験⑦ Q10.直近の被害時の電車内の位置

■ 電車内：「ドア付近（開閉が少ない側）」（29.1%）、「ドア付近（開閉が多い側）」（23.1%）、「座席の前の通路」（22.5%）、「ドアとドアの間のスペース」（15.6%）の順が多い。



(n数)	総計	ドア付近 (開閉が多い側)	ドア付近 (開閉が少ない側)	ドアとドアの間の スペース	座席の前の通路	車両と車両の 境目付近	座席に座っていた	その他
R6調査	504	139	124	69	128	13	30	1
R7調査	953	220	277	149	214	38	52	3
16-24歳	478	104	143	75	105	16	33	2
25-39歳	475	116	134	74	109	22	19	1
男性	228	55	69	39	43	16	6	-
女性	719	163	205	109	171	22	46	3
ノンバイナリー	6	2	3	1	-	-	-	-

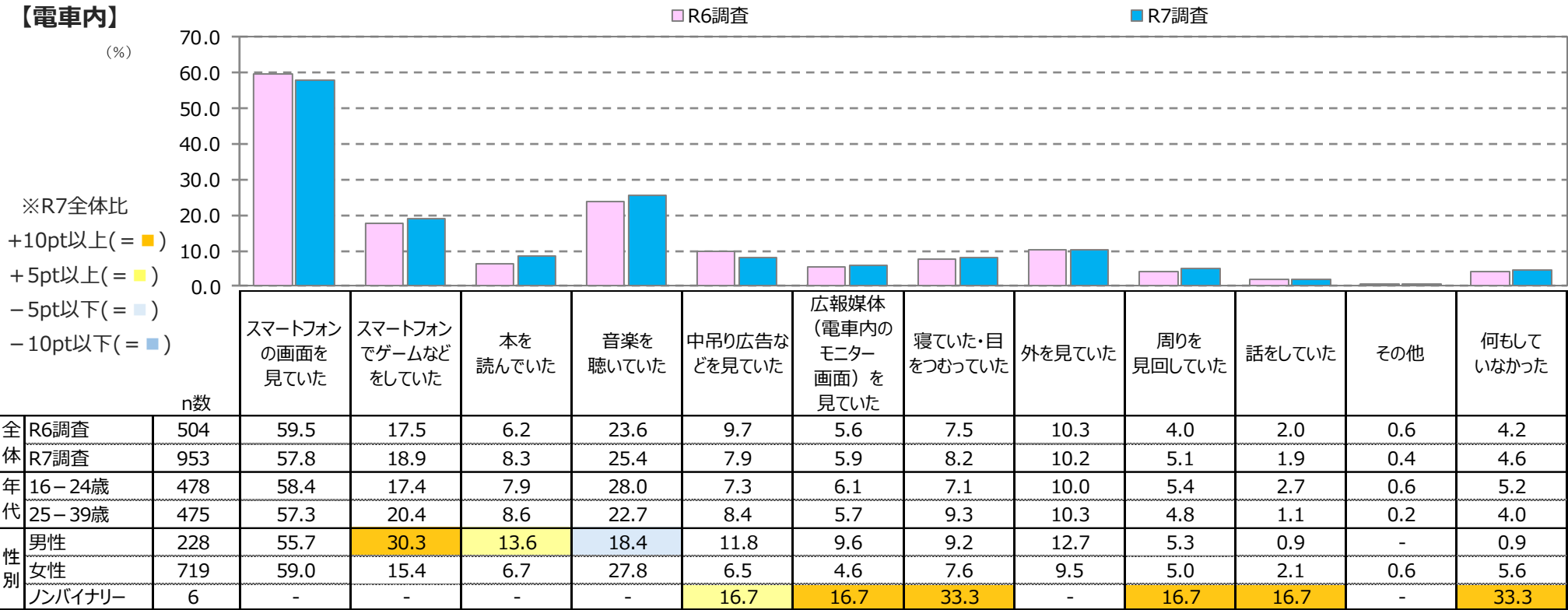
Q10. 被害にあったときに車両内のどこにいたかお答えください。

痴漢被害の経験⑧ Q11.直近の被害時に車内で行っていたこと(MA)

- 電車内：「スマートフォンの画面を見ていた」(57.8%)、「音楽を聴いていた」(25.4%)、「スマートフォンでゲームなどをしていた」(18.9%)の順が多い。
- 男性で、「スマートフォンでゲームなどをしていた」が多い。

SC14「ここ1年」で「1 電車内」、SC15で「1 電車内」と回答した方のみ

【電車内】



(n数)														
全 体	R6調査	504	300	88	31	119	49	28	38	52	20	10	3	4
	R7調査	953	551	180	79	242	75	56	78	97	49	18	4	44
年 代	16-24歳	478	279	83	38	134	35	29	34	48	26	13	3	25
	25-39歳	475	272	97	41	108	40	27	44	49	23	5	1	19
性 別	男性	228	127	69	31	42	27	22	21	29	12	2	-	2
	女性	719	424	111	48	200	47	33	55	68	36	15	4	40
	ノンバイナリー	6	-	-	-	-	1	1	2	-	1	1	-	2

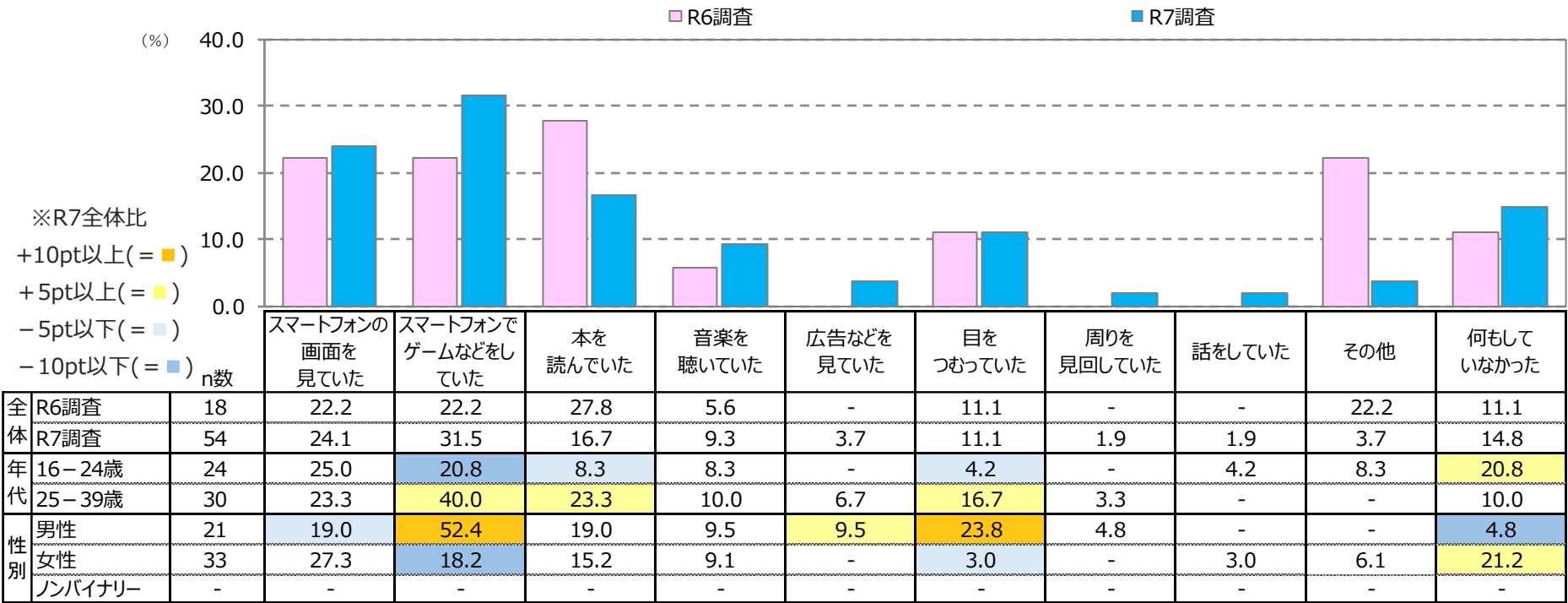
Q11. 被害にあったときにあなたがしていたことをお答えください。(いくつでも)

# 痴漢被害の経験⑨ Q12.直近の被害時に駅構内で行っていたこと(MA)

■ 駅構内：「スマートフォンでゲームなどをしていた」(31.5%)、「スマートフォンの画面を見ていた」(24.1%)、「本を読んでいた」(16.7%)の順が多い。

【駅構内】

SC14「ここ1年」で「2 駅構内」、SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ

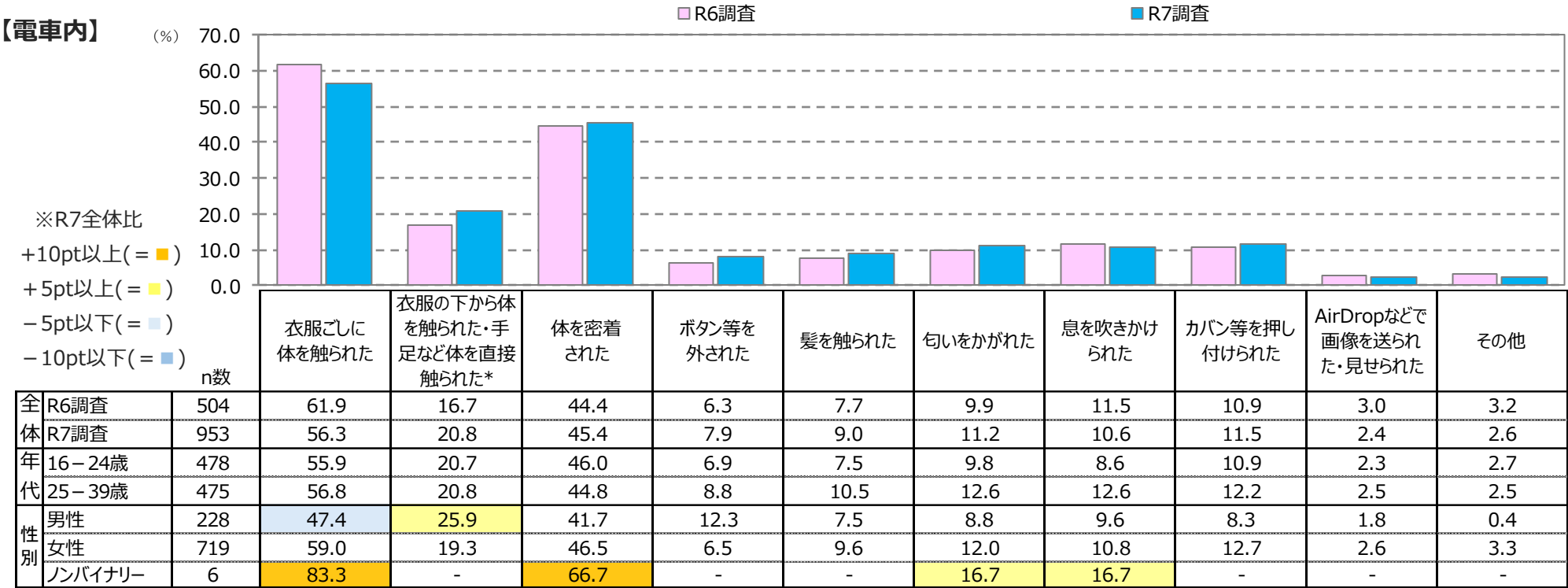


(n数)												
全体	R6調査	18	4	4	5	1	-	2	-	-	4	2
	R7調査	54	13	17	9	5	2	6	1	1	2	8
年代	16-24歳	24	6	5	2	2	-	1	-	1	2	5
	25-39歳	30	7	12	7	3	2	5	1	-	-	3
性別	男性	21	4	11	4	2	2	5	1	-	-	1
	女性	33	9	6	5	3	-	1	-	1	2	7
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q12. 被害にあったときにあなたがしていたことをお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑩ Q13.直近の被害状況(MA)：電車内

■ 電車内：「衣服ごしに体を触られた」（56.3%）、「体を密着された」（45.4%）、「衣服の下から体を触られた・手足など体を直接触られた」（20.8%）の順が多い。



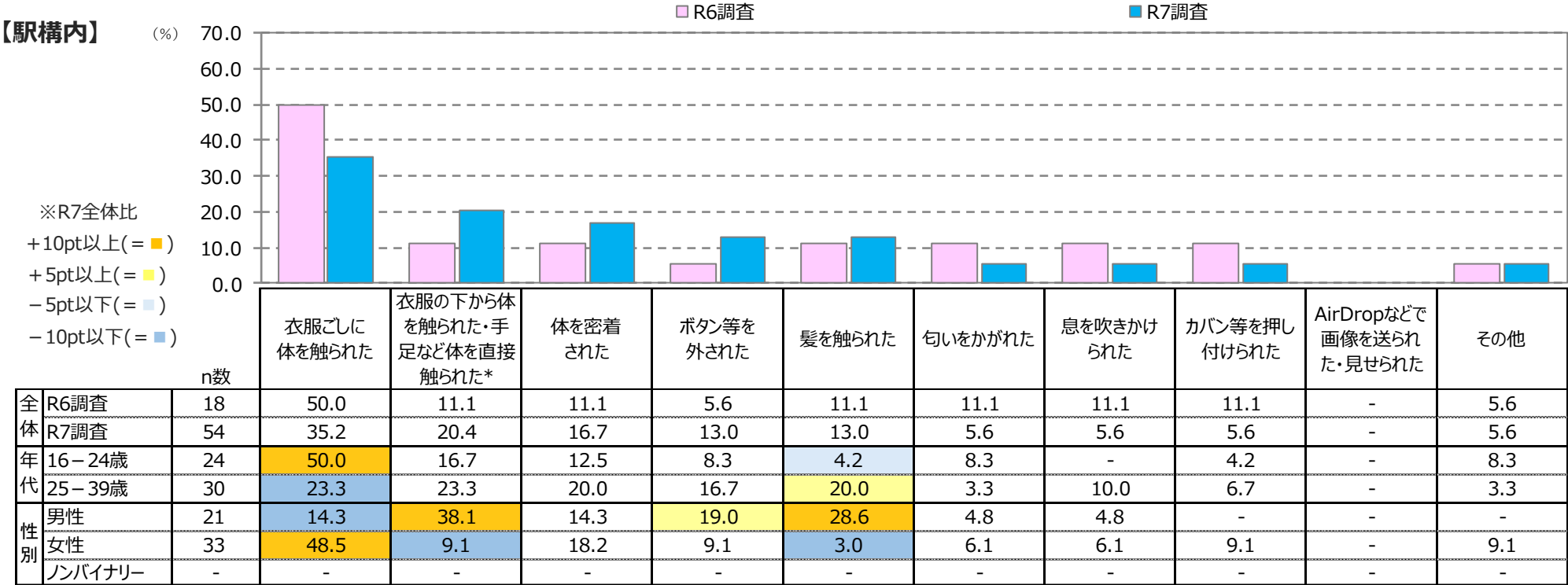
\*R6調査では「衣服の下から体を触られた(直接触られた)」と表記

(n数)												
全 体	R6調査	504	312	84	224	32	39	50	58	55	15	16
	R7調査	953	537	198	433	75	86	107	101	110	23	25
年 代	16-24歳	478	267	99	220	33	36	47	41	52	11	13
	25-39歳	475	270	99	213	42	50	60	60	58	12	12
性 別	男性	228	108	59	95	28	17	20	22	19	4	1
	女性	719	424	139	334	47	69	86	78	91	19	24
	ノンバイナリー	6	5	-	4	-	-	1	1	-	-	-

Q13. どのような被害にあったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑪ Q13.直近の被害状況(MA)：駅構内

■ 駅構内：「衣服ごしに体を触られた」（35.2%）、「衣服の下から体を触られた・手足など体を直接触られた」（20.4%）、「体を密着された」（16.7%）の順が多い。



\*R6調査では「衣服の下から体を触られた(直接触られた)」と表記

(n数)												
全 体	R6調査	18	9	2	2	1	2	2	2	2	-	1
	R7調査	54	19	11	9	7	7	3	3	3	-	3
年 代	16-24歳	24	12	4	3	2	1	2	-	1	-	2
	25-39歳	30	7	7	6	5	6	1	3	2	-	1
性 別	男性	21	3	8	3	4	6	1	1	-	-	-
	女性	33	16	3	6	3	1	2	2	3	-	3
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

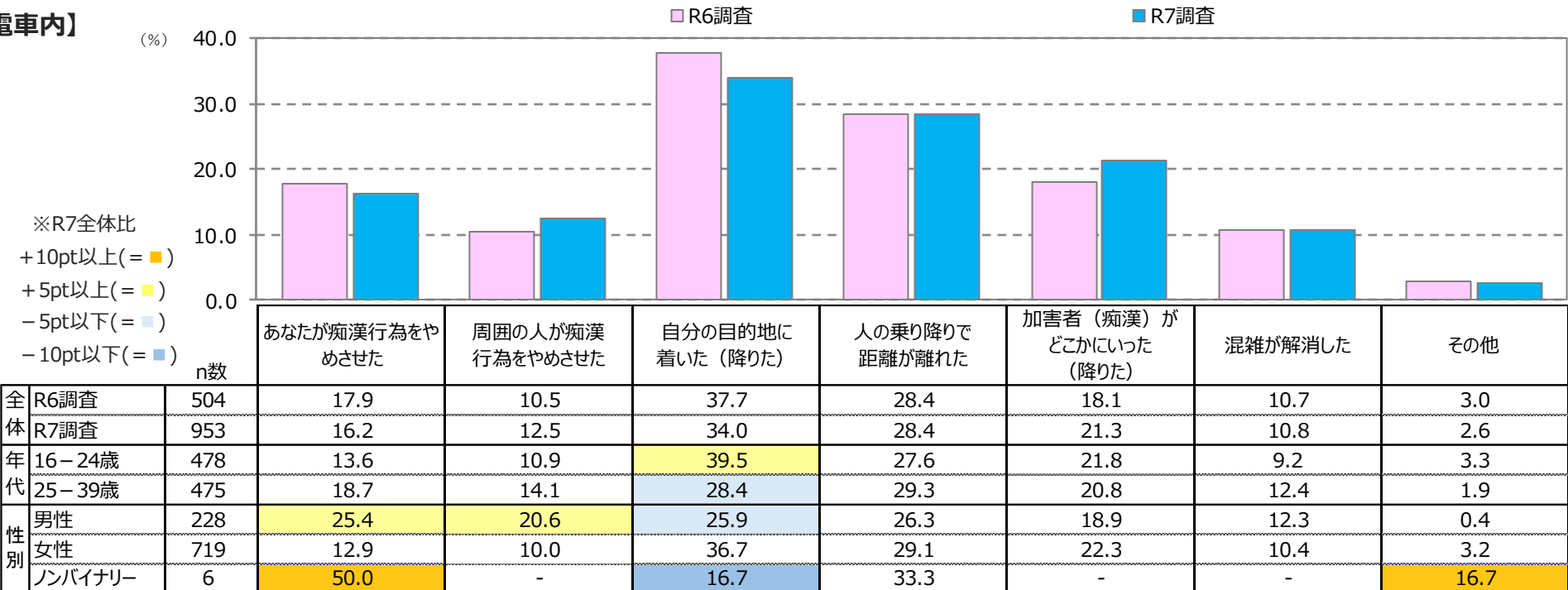
Q13. どのような被害にあったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑫ Q14.直近の電車内での被害が止まった理由(MA)

- 電車内：「自分の目的地に着いた（降りた）」（34.0%）、「人の乗り降りで距離が離れた」（28.4%）、「加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）」（21.3%）、「あなたが痴漢行為をやめさせた」（16.2%）の順が多い。
- 男性で、「あなたが痴漢行為をやめさせた」、「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」がやや多い。

SC14「ここ1年」で「1 電車内」、SC15で「1 電車内」と回答した方のみ

【電車内】



(n数)

全体	R6調査	504	90	53	190	143	91	54	15
	R7調査	953	154	119	324	271	203	103	25
年代	16-24歳	478	65	52	189	132	104	44	16
	25-39歳	475	89	67	135	139	99	59	9
性別	男性	228	58	47	59	60	43	28	1
	女性	719	93	72	264	209	160	75	23
	ノンバイナリー	6	3	-	1	2	-	-	1

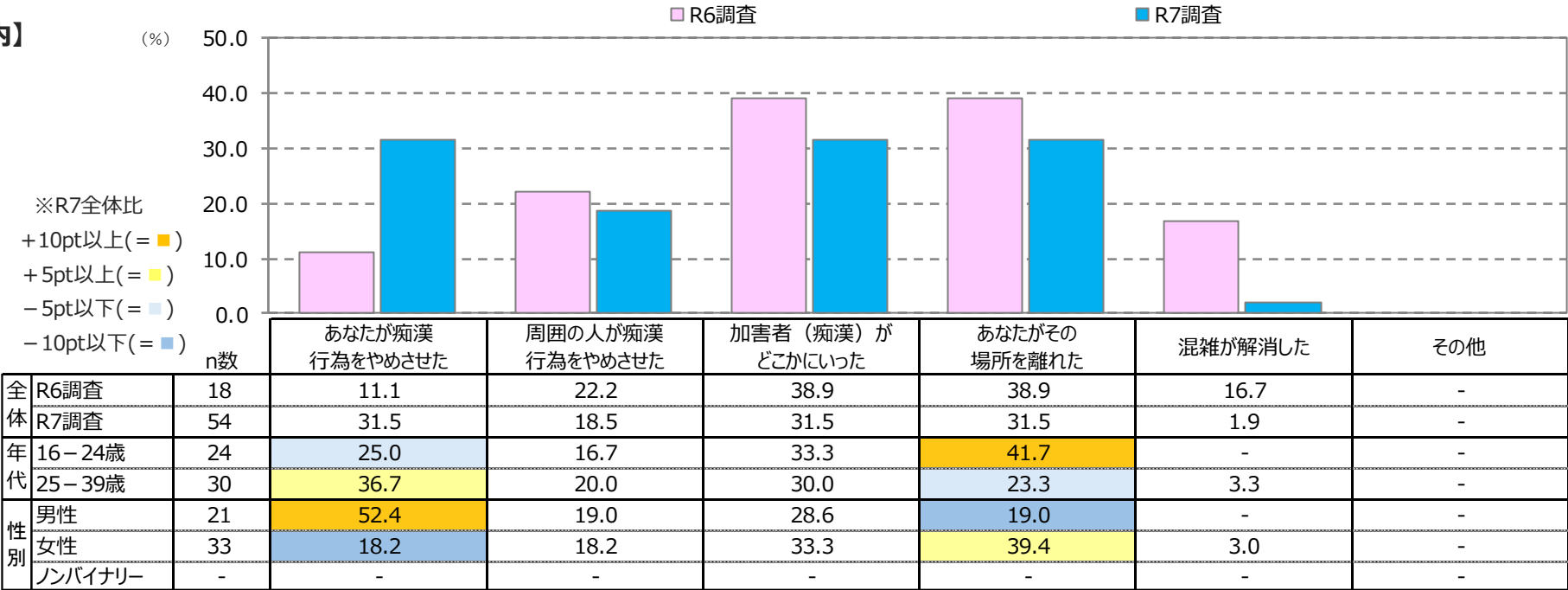
Q14. 被害が止まった理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢被害の経験⑬ Q15.直近の駅構内での被害が止まった理由(MA)

- 駅構内：「あなたが痴漢行為をやめさせた」/「加害者（痴漢）がどこかにいった」/「あなたがその場所を離れた」（いずれも31.5%）、「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」（18.5%）の順が多い。
- 昨年度調査と比べて「あなたが痴漢行為をやめさせた」の増加が目立つ。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

SC14「ここ1年」で「2 駅構内」、SC15で「2 駅構内」と回答した方のみ

【駅構内】



(n数)

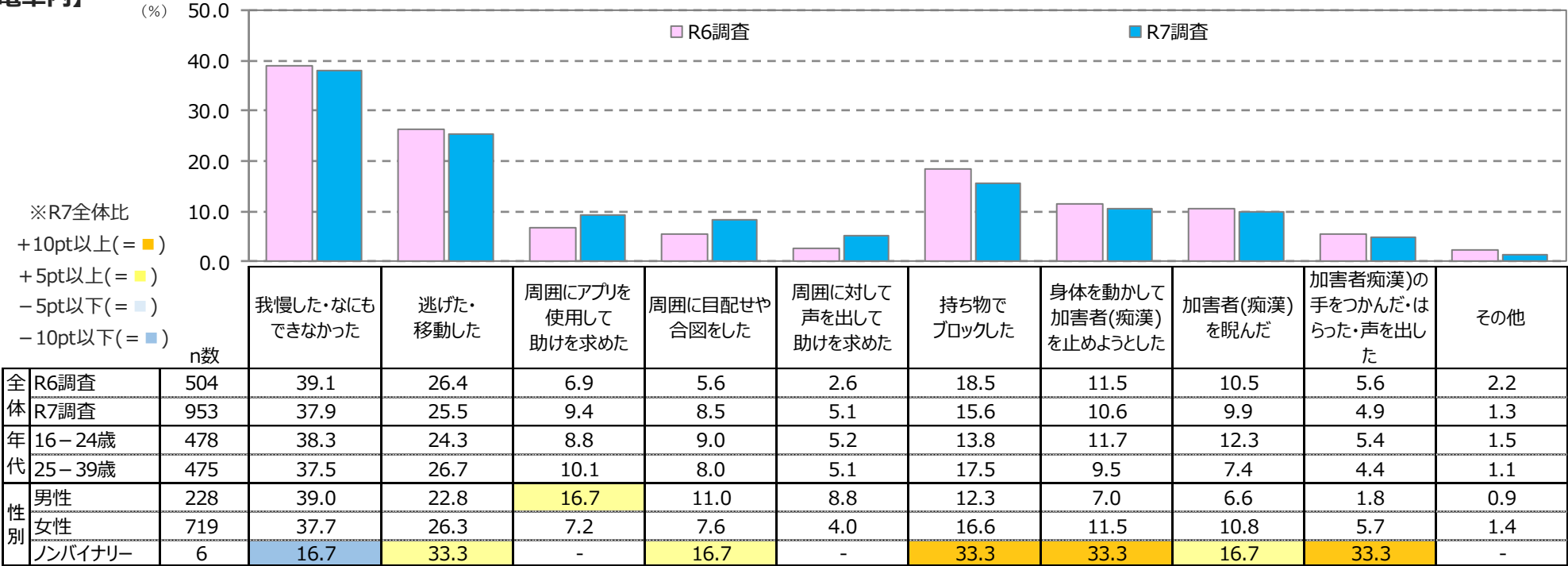
全体	R6調査	18	2	4	7	7	3	-
	R7調査	54	17	10	17	17	1	-
年代	16－24歳	24	6	4	8	10	-	-
	25－39歳	30	11	6	9	7	1	-
性別	男性	21	11	4	6	4	-	-
	女性	33	6	6	11	13	1	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-

Q15. 被害が止まった理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢被害の経験⑭ Q16.直近の被害時にとった行動(MA)：電車内

- 電車内：「我慢した・何もできなかった」(37.9%)、「逃げた・移動した」(25.5%)、「持ち物でブロックした」(15.6%)、「身体を動かして加害者(痴漢)を止めようとした」(10.6%)の順が多い。
- 男性で、「周囲にアプリを使用して助けを求めた」がやや多い。

【電車内】

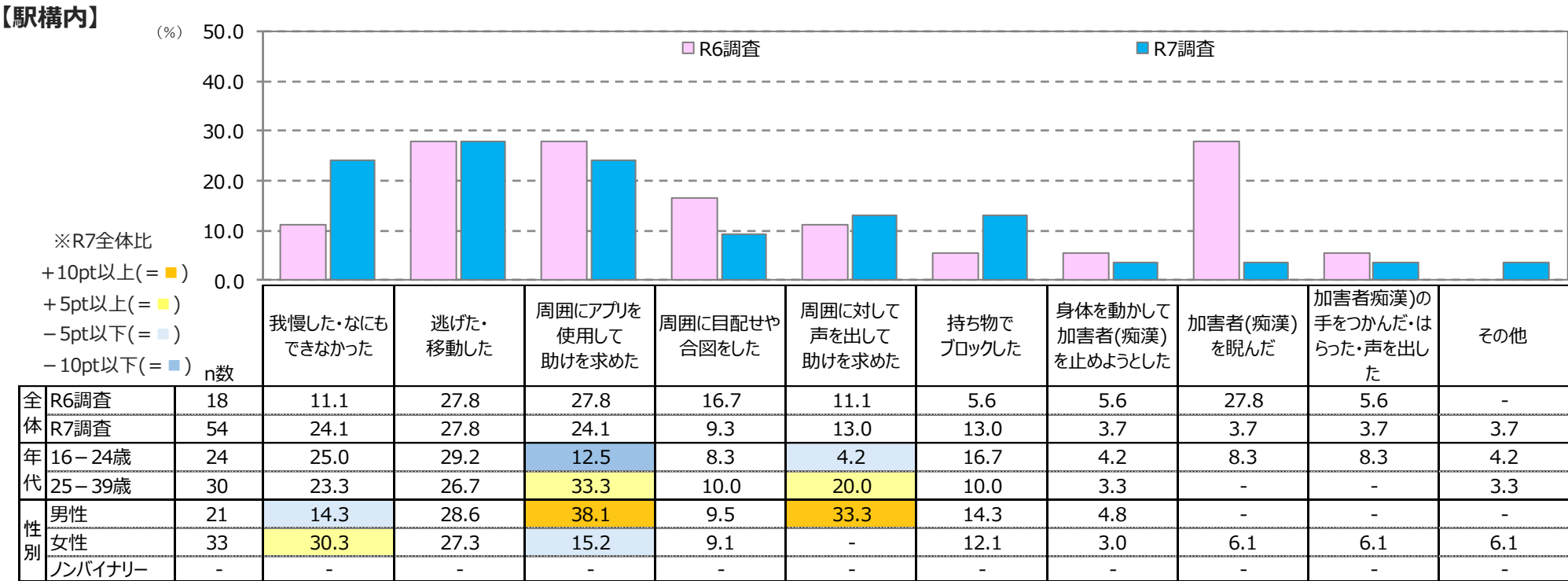


(n数)												
全体	R6調査	504	197	133	35	28	13	93	58	53	28	11
	R7調査	953	361	243	90	81	49	149	101	94	47	12
年代	16-24歳	478	183	116	42	43	25	66	56	59	26	7
	25-39歳	475	178	127	48	38	24	83	45	35	21	5
性別	男性	228	89	52	38	25	20	28	16	15	4	2
	女性	719	271	189	52	55	29	119	83	78	41	10
	ノンバイナリー	6	1	2	-	1	-	2	2	1	2	-

Q16. 被害にあったときにあなたが行った対応をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑮ Q16.直近の被害時にとった行動(MA)：駅構内

- 駅構内：「逃げた・移動した」(27.8%)、「我慢した・なにもできなかった」/「周囲にアプリを使用して助けを求めた」(ともに24.1%)の順が多い。
- 昨年度調査と比べて「我慢した・なにもできなかった」の増加が目立つ。(R6調査は回答数が少ないことに留意が必要)



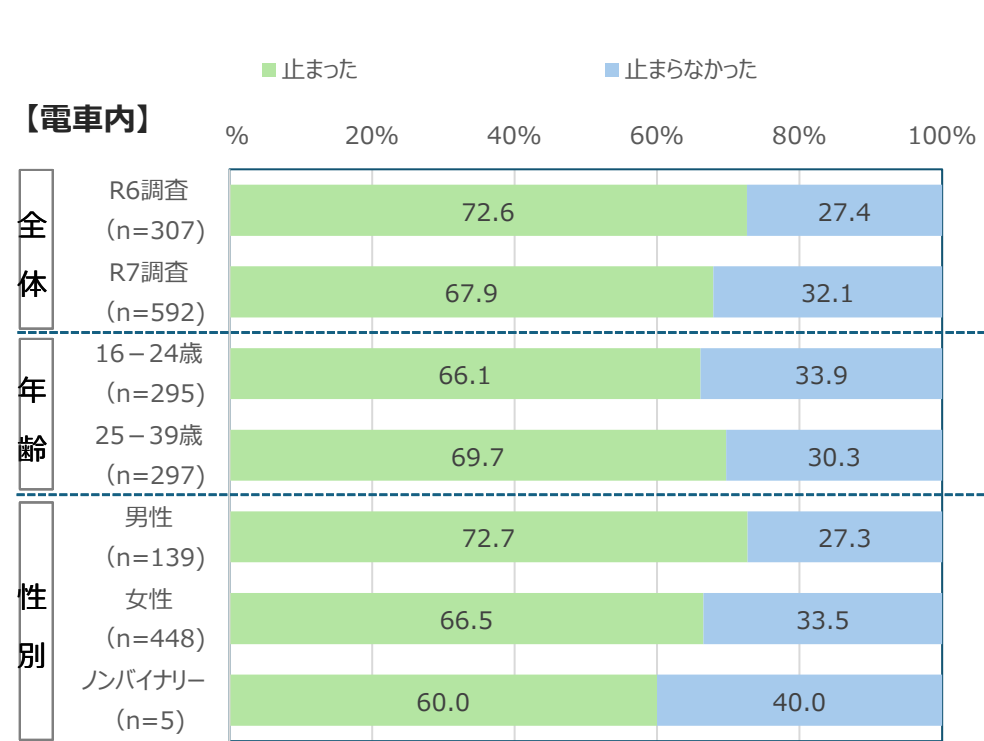
(n数)

全体	R6調査	18	2	5	5	3	2	1	1	5	1	-
	R7調査	54	13	15	13	5	7	7	2	2	2	2
年代	16-24歳	24	6	7	3	2	1	4	1	2	2	1
	25-39歳	30	7	8	10	3	6	3	1	-	-	1
性別	男性	21	3	6	8	2	7	3	1	-	-	-
	女性	33	10	9	5	3	-	4	1	2	2	2
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

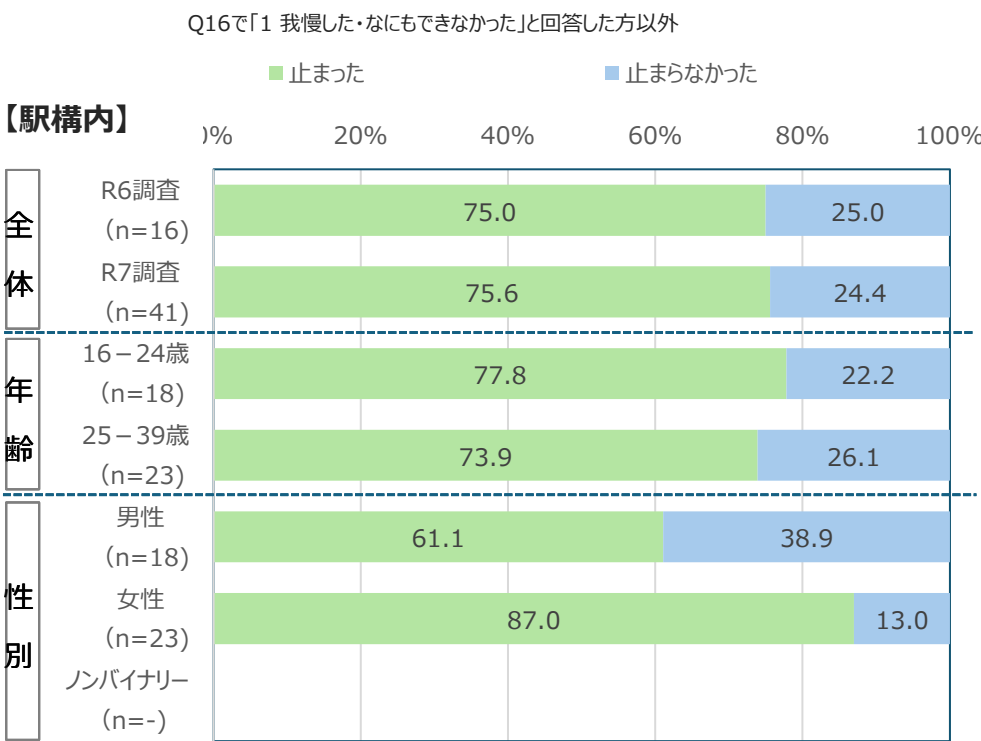
Q16. 被害にあったときにあなたが行った対応をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

# 痴漢被害の経験⑬ Q17.直近の被害時の行動で被害は止まったか

- 電車内：「止まった」（67.9%）、「止まらなかった」（32.1%）となり、昨年度調査より「止まらなかった」が増加している。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」（75.6%）、「止まらなかった」（24.4%）となっている。



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	307	223	84
R7調査	592	402	190
16-24歳	295	195	100
25-39歳	297	207	90
男性	139	101	38
女性	448	298	150
ノンバイナリー	5	3	2



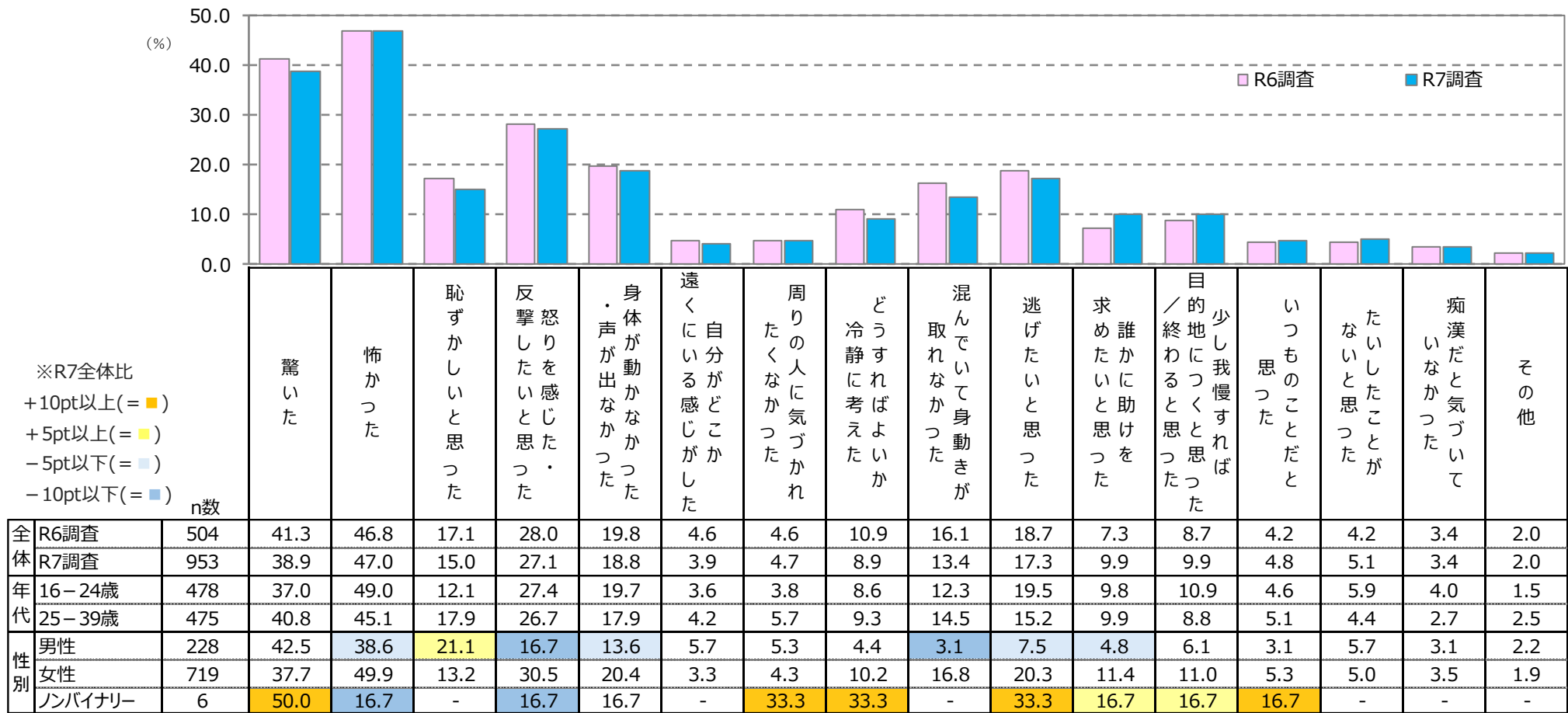
(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	16	12	4
R7調査	41	31	10
16-24歳	18	14	4
25-39歳	23	17	6
男性	18	11	7
女性	23	20	3
ノンバイナリー	-	-	-

Q17. あなたが行った対応によって被害が止まったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

痴漢被害の経験⑰ Q18.直近の被害時の気持ちや状態(MA)：電車内①

- 電車内：「怖かった」(47.0%)、「驚いた」(38.9%)、「怒りを感じた・反撃したいと思った」(27.1%)、「身体が動かなかった・声が出なかった」(18.8%)、「逃げたいと思った」(17.3%)の順が多い。
- 男性で、「恥ずかしいと思った」がやや多く、「怖かった」は、女性で約半数を占めている。

【電車内】



Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑰ Q18.直近の被害時の気持ちや状態(MA)：電車内②（n数）

【電車内】

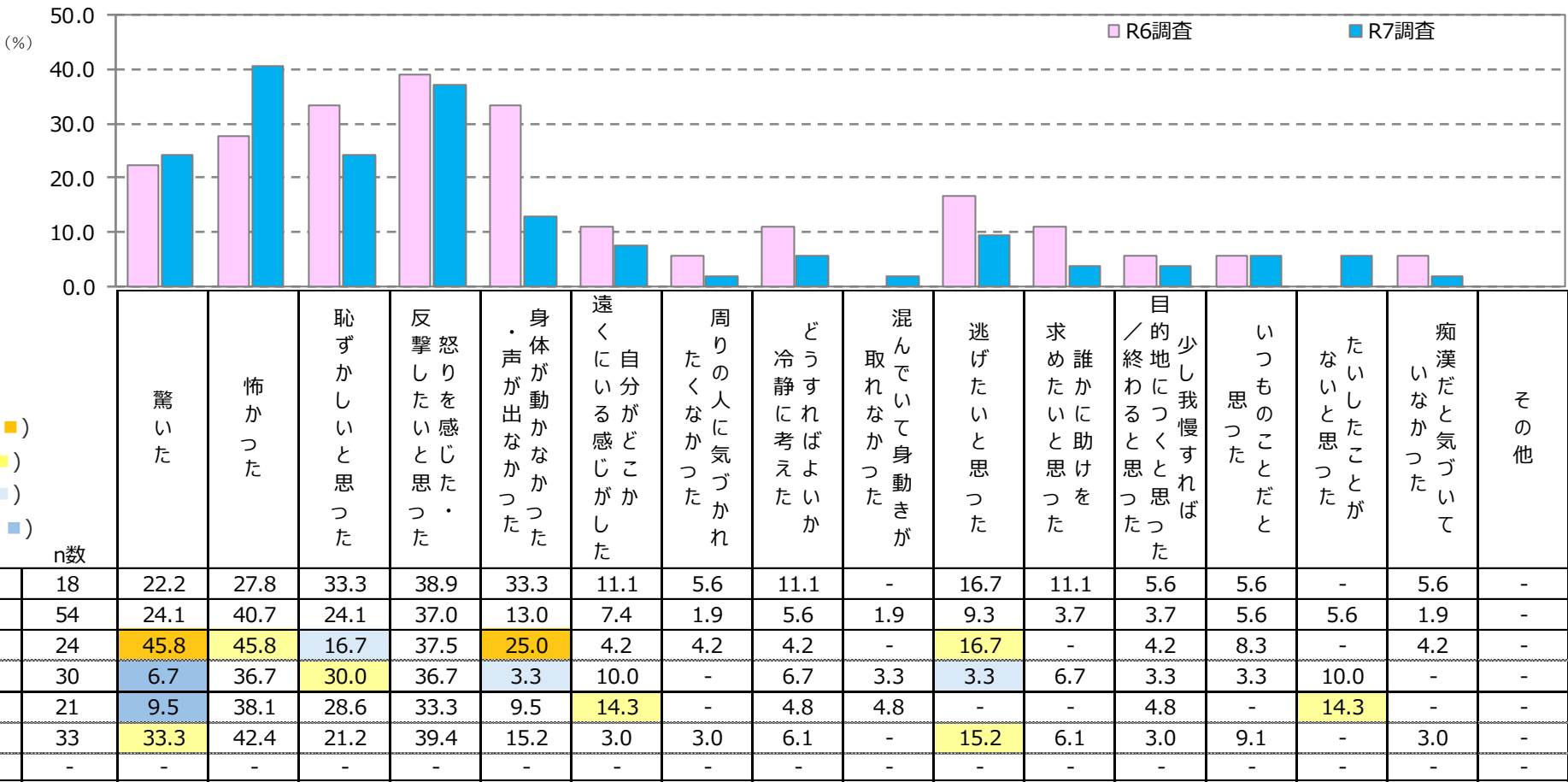
n数			驚いた	怖かった	恥ずかしいと思った	怒りを感じた・反撃したいと思った	身体が動かなかった・声が出なかった	遠くにいる感じがした	自分がどこかたくなかった	周りの人に気づかれなかった	どうすればよい冷静に考えた	混んでいて身動きが取れなかった	逃げたいと思った	誰かに助けを求めたいと思った	目的地につくと思つた／終わると思つた	いつものことだと思つた	たいしたことがないと思つた	痴漢だと気づいていなかった	その他
全体	R6調査	504	208	236	86	141	100	23	23	55	81	94	37	44	21	21	17	10	
	R7調査	953	371	448	143	258	179	37	45	85	128	165	94	94	46	49	32	19	
年代	16－24歳	478	177	234	58	131	94	17	18	41	59	93	47	52	22	28	19	7	
	25－39歳	475	194	214	85	127	85	20	27	44	69	72	47	42	24	21	13	12	
性別	男性	228	97	88	48	38	31	13	12	10	7	17	11	14	7	13	7	5	
	女性	719	271	359	95	219	147	24	31	73	121	146	82	79	38	36	25	14	
	ノンバイナリー	6	3	1	-	1	1	-	2	2	-	2	1	1	1	-	-	-	

Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。（いくつでも）

痴漢被害の経験⑱ Q18.直近の被害時の気持ちや状態(MA)：駅構内①

- 駅構内：「怖かった」(40.7%)、「怒りを感じた・反撃したいと思った」(37.0%)、「驚いた」/「恥ずかしいと思った」(ともに24.1%) の順が多い。
- 昨年度調査と比べて「怖かった」の増加が目立つ。(R6調査は回答数が少ないことに留意が必要)

【駅構内】



Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

痴漢被害の経験⑱ Q18.直近の被害時の気持ちや状態(MA)：駅構内②(n数)

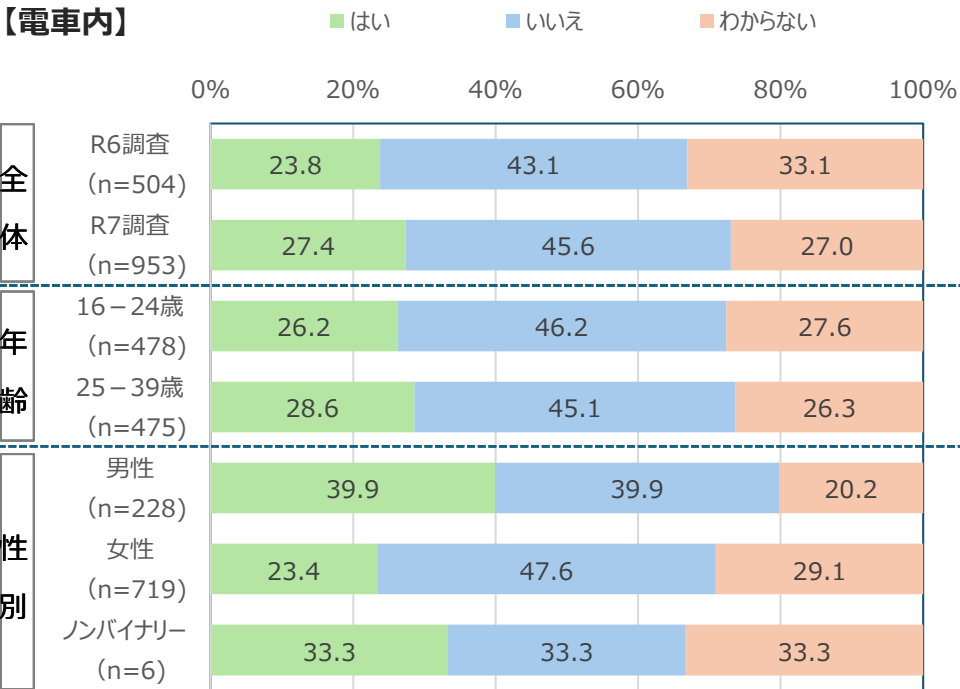
【駅構内】

n数			驚いた	怖かった	恥ずかしいと思った	反撃 怒りを感じた・ したいと思った	身体が動かなかった ・声が出なかった	遠く 自分がどこか にいる感じがした	周りの人に気づかれ たくなかった	どうすればよいか 冷静に考えた	混んでいて身動きが 取れなかった	逃げたいと思った	誰かに助けを 求めたいと思った	目的地につくと思っ た／終わると思っ た	少し我慢すれば いつものことだ と思っ	たいしたことが ないと思っ	痴漢だと気づいて いなかった	その他
全 体	R6調査	18	4	5	6	7	6	2	1	2	-	3	2	1	1	-	1	-
	R7調査	54	13	22	13	20	7	4	1	3	1	5	2	2	3	3	1	-
年 代	16－24歳	24	11	11	4	9	6	1	1	1	-	4	-	1	2	-	1	-
	25－39歳	30	2	11	9	11	1	3	-	2	1	1	2	1	1	3	-	-
性 別	男性	21	2	8	6	7	2	3	-	1	1	-	-	1	-	3	-	-
	女性	33	11	14	7	13	5	1	1	2	-	5	2	1	3	-	1	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

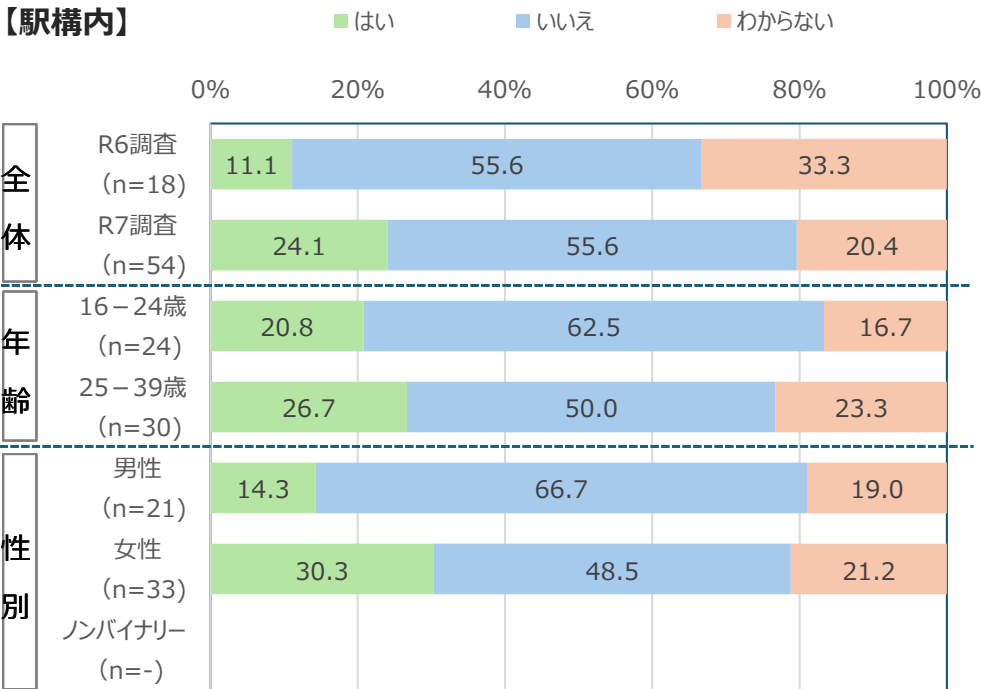
Q18. 痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。（いくつでも）

# 周囲の人の対応① Q19.直近の被害時、周囲の人は気づいたか

- 電車内：「はい」(27.4%)、「いいえ」(45.6%)、「わからない」(27.0%)となっており、昨年度調査と比べて「はい」がやや増加している。
- 駅構内：「はい」(24.1%)、「いいえ」(55.6%)、「わからない」(20.4%)となっており、昨年度調査と比べて「はい」が増加し、「わからない」が減少している。(R6調査は回答数が少ないことに留意が必要)



(n数)	総計	はい	いいえ	わからない
R6調査	504	120	217	167
R7調査	953	261	435	257
16-24歳	478	125	221	132
25-39歳	475	136	214	125
男性	228	91	91	46
女性	719	168	342	209
ノンバイナリー	6	2	2	2

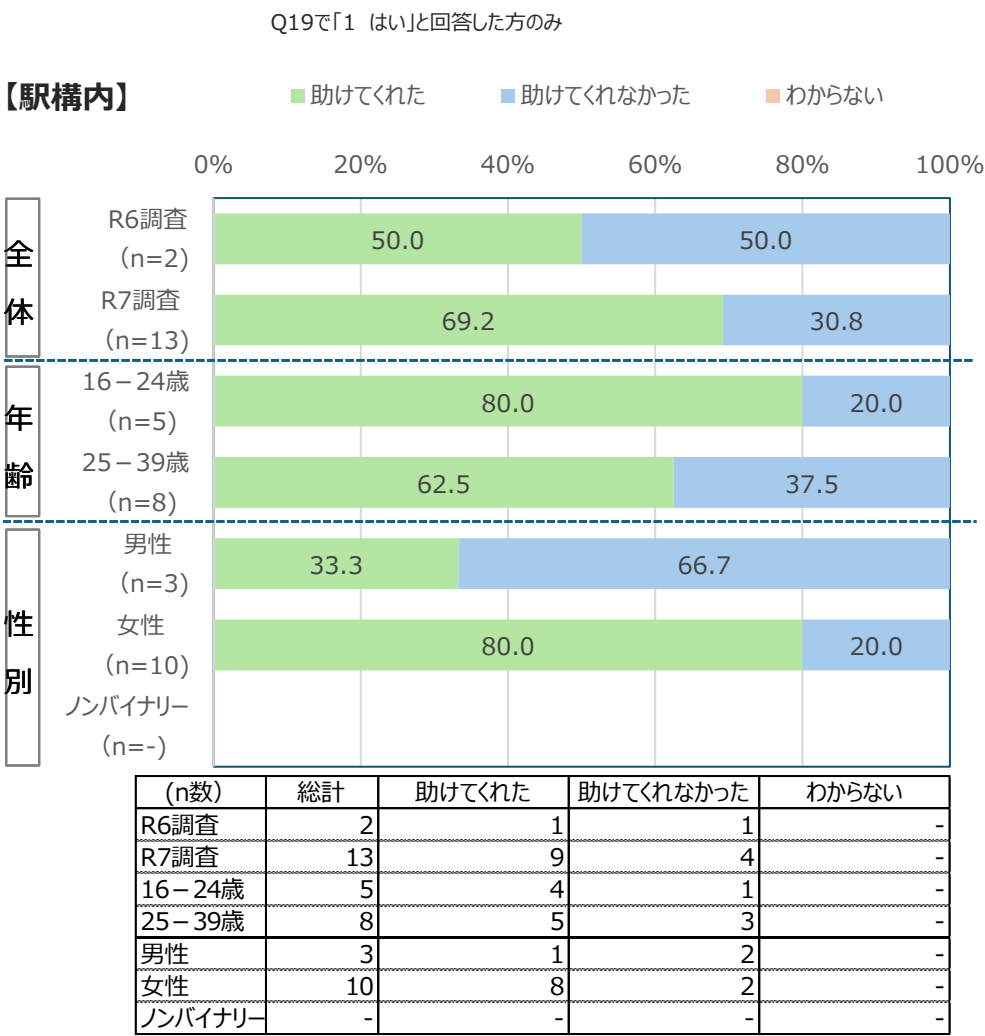
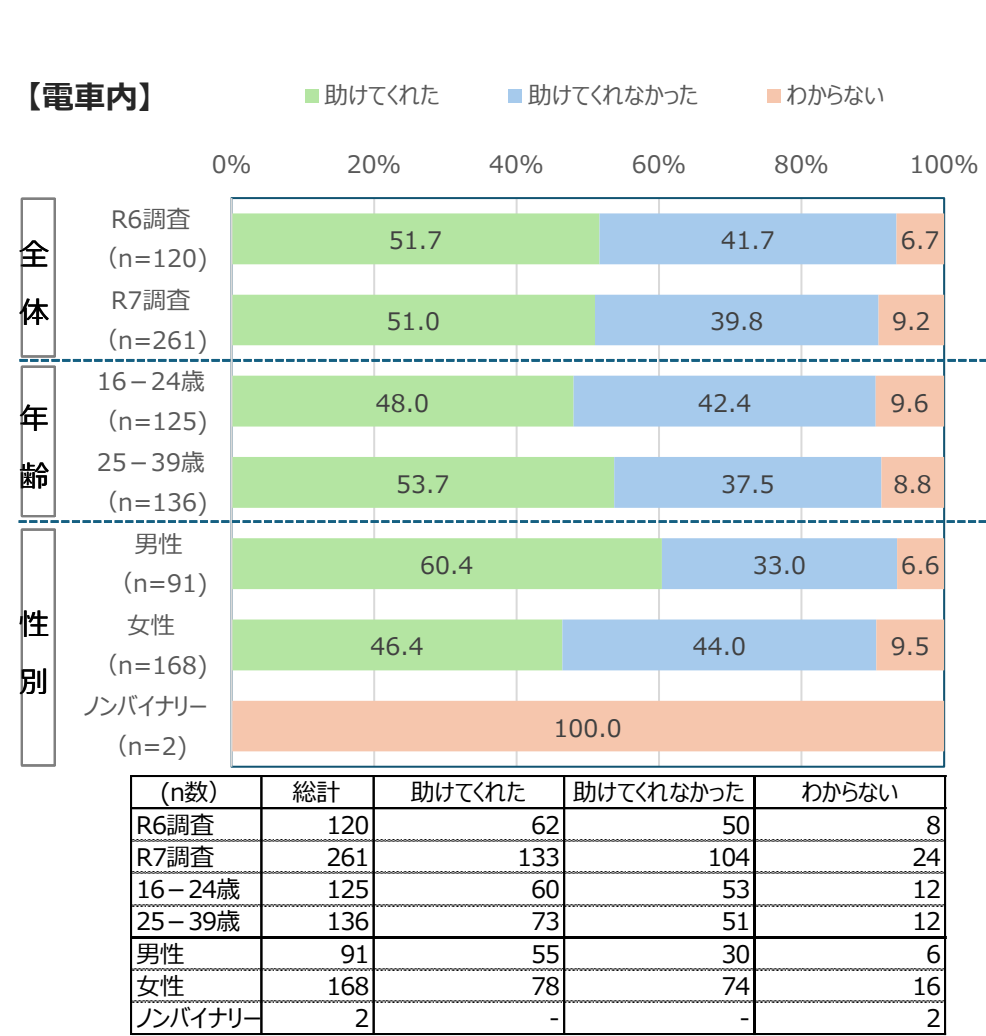


(n数)	総計	はい	いいえ	わからない
R6調査	18	2	10	6
R7調査	54	13	30	11
16-24歳	24	5	15	4
25-39歳	30	8	15	7
男性	21	3	14	4
女性	33	10	16	7
ノンバイナリー	-	-	-	-

Q19. 周囲にいた人はあなたの被害に気が付きましたか。一番最近の被害についてお答えください。

# 周囲の人の対応② Q20. 被害に気づいた周囲の人の反応

- 電車内：「助けてくれた」（51.0%）、「助けてくれなかった」（39.8%）となっている。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「助けてくれた」（69.2%）、「助けてくれなかった」（30.8%）となっている。

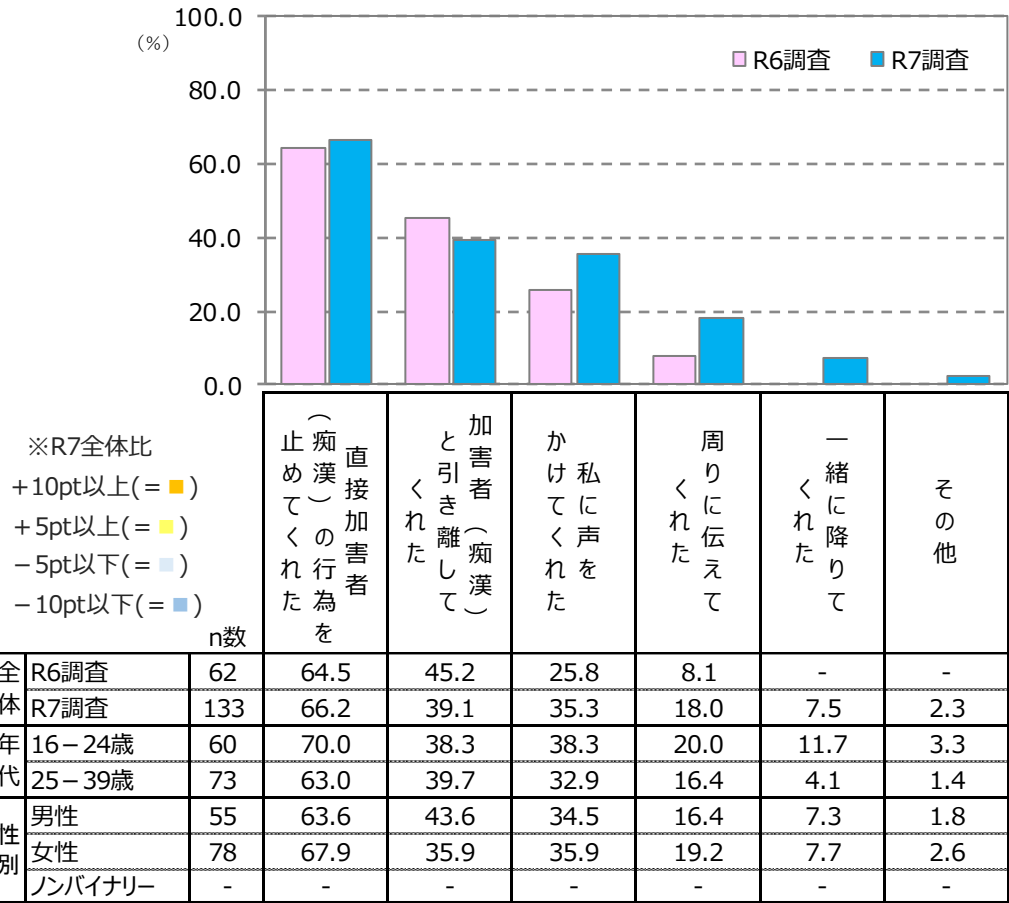


Q20. あなたの被害に気づいた周囲にいた人の反応についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

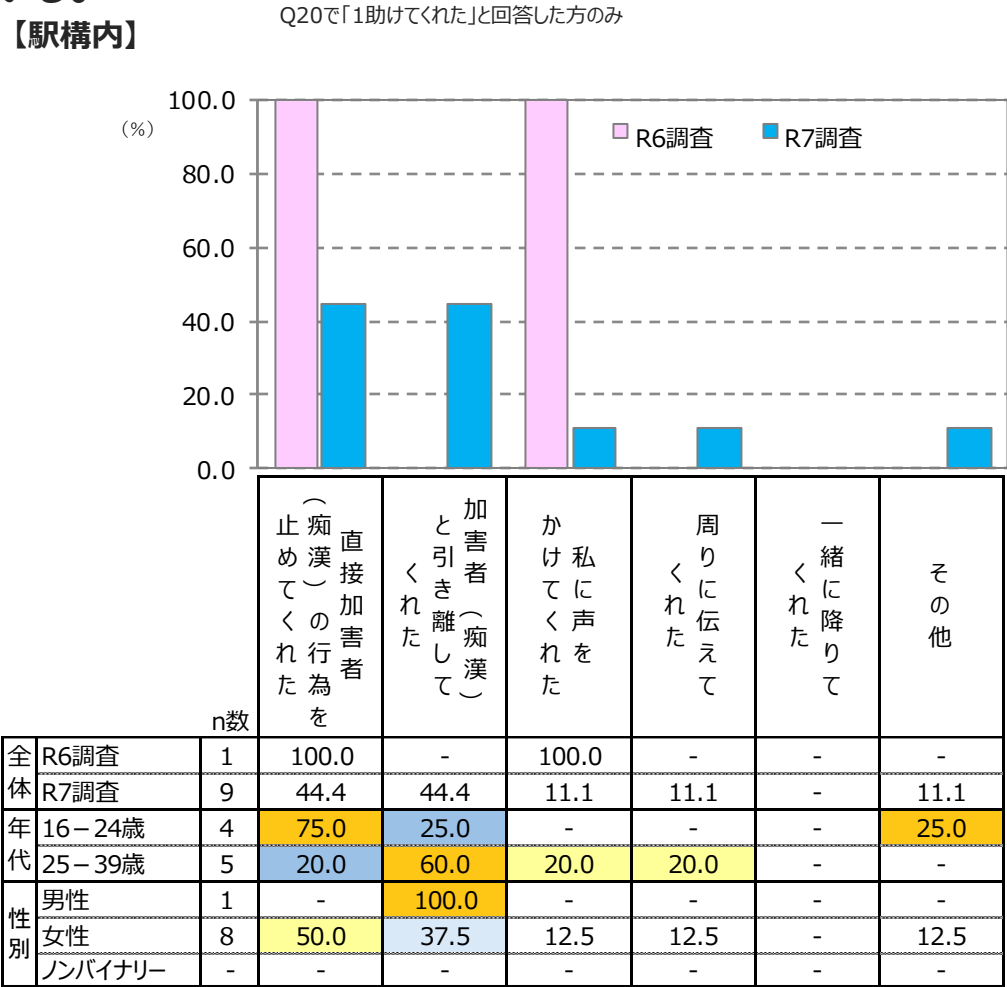
周囲の人の対応③ Q21.被害時に周囲の人が助けてくれた方法（MA）①

- 電車内：「直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた」（66.2%）、「加害者（痴漢）と引き離してくれた」（39.1%）、「私に声をかけてくれた（35.3%）」の順で多く、昨年度調査と比べて「私に声をかけてくれた」の増加が目立つ。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた」/「加害者（痴漢）と引き離してくれた」（ともに44.4%）などとなっている。

【電車内】



【駅構内】



Q21. 周囲にいた人はあなたをどのような方法で助けてくれましたか。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

周囲の人の対応③
 Q21.被害時に周囲の人が助けてくれた方法（MA）
 ②(n数)

【電車内】

		n数	直接加害者 (痴漢)の行為を 止めてくれた	加害者(痴漢) と引き離して くれた	私に声を かけてくれた	周りに伝えて くれた	一緒に降りて くれた	その他
全体	R6調査	62	40	28	16	5	-	-
	R7調査	133	88	52	47	24	10	3
年代	16-24歳	60	42	23	23	12	7	2
	25-39歳	73	46	29	24	12	3	1
性別	男性	55	35	24	19	9	4	1
	女性	78	53	28	28	15	6	2
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-

【駅構内】

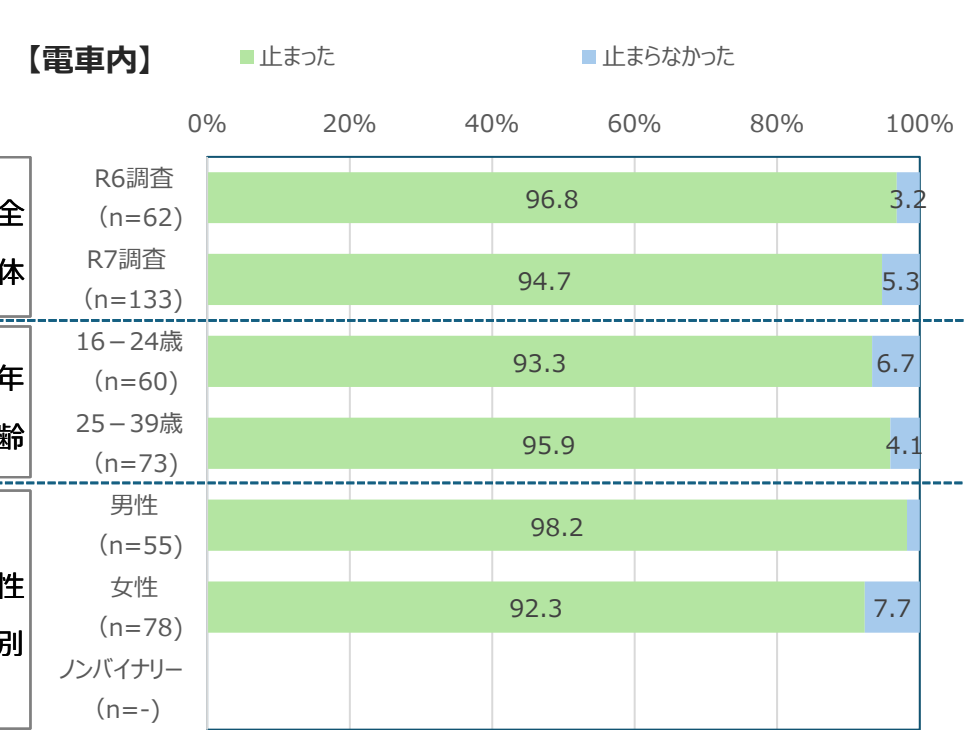
Q20で「1助けてくれた」と回答した方のみ

		n数	直接加害者 (痴漢)の行為を 止めてくれた	加害者(痴漢) と引き離して くれた	私に声を かけてくれた	周りに伝えて くれた	一緒に降りて くれた	その他
全体	R6調査	1	1	-	1	-	-	-
	R7調査	9	4	4	1	1	-	1
年代	16-24歳	4	3	1	-	-	-	1
	25-39歳	5	1	3	1	1	-	-
性別	男性	1	-	1	-	-	-	-
	女性	8	4	3	1	1	-	1
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-

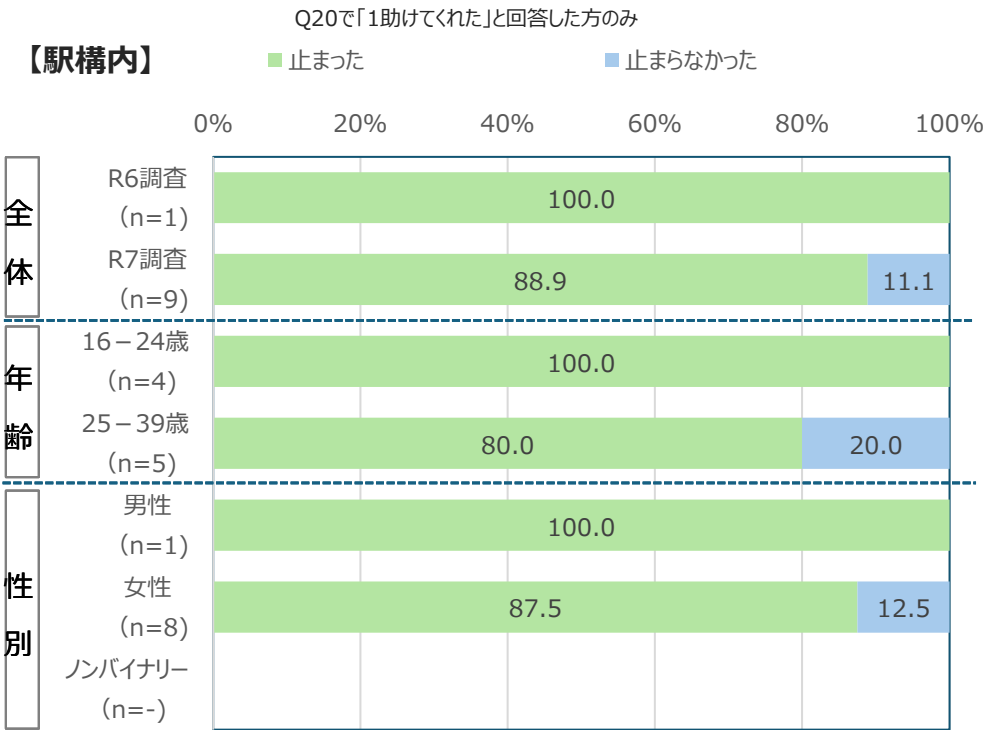
Q21. 周囲にいた人はあなたをどのような方法で助けてくれましたか。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

# 周囲の人の対応④ Q22.周囲の人の助けで被害は止まったか

- 電車内：「止まった」（94.7%）、「止まらなかった」（5.3%）となっており、昨年度調査と比べて「止まった」は微減しているが、周囲の助けによる止まった比率は9割以上となっている。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」（88.9%）、「止まらなかった」（11.1%）となっている。



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	62	60	2
R7調査	133	126	7
16-24歳	60	56	4
25-39歳	73	70	3
男性	55	54	1
女性	78	72	6
ノンバイナリー	-	-	-

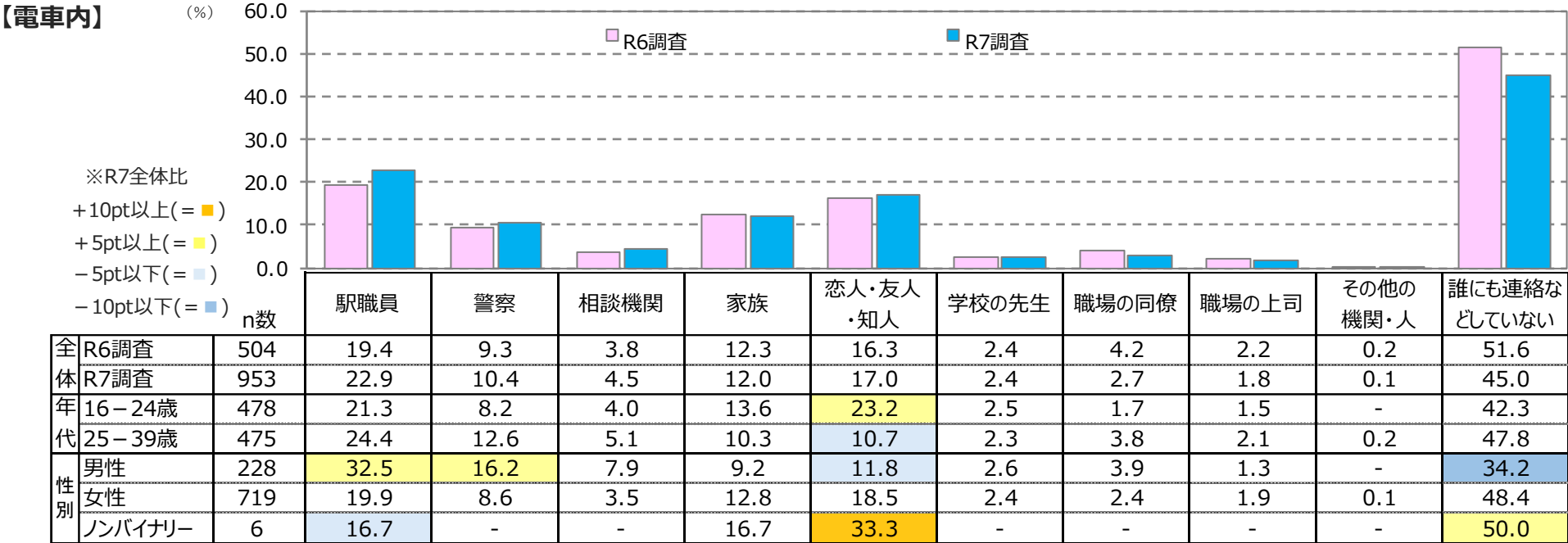


(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	1	1	0
R7調査	9	8	1
16-24歳	4	4	-
25-39歳	5	4	1
男性	1	1	-
女性	8	7	1
ノンバイナリー	-	-	-

Q22. 周囲にいた人が助けてくれたことによって被害が止まったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況① Q23-1.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか：被害時かその直後(MA)：電車内

- 電車内：「被害直後は誰にも連絡などしていない」は45.0%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「駅職員」（22.9%）、「恋人・友人・知人」（17.0%）、「家族」（12.0%）の順が多い。
- 16-24歳で「恋人・友人・知人」、男性で「駅職員」「警察」への届け出・連絡・相談等がやや多い。



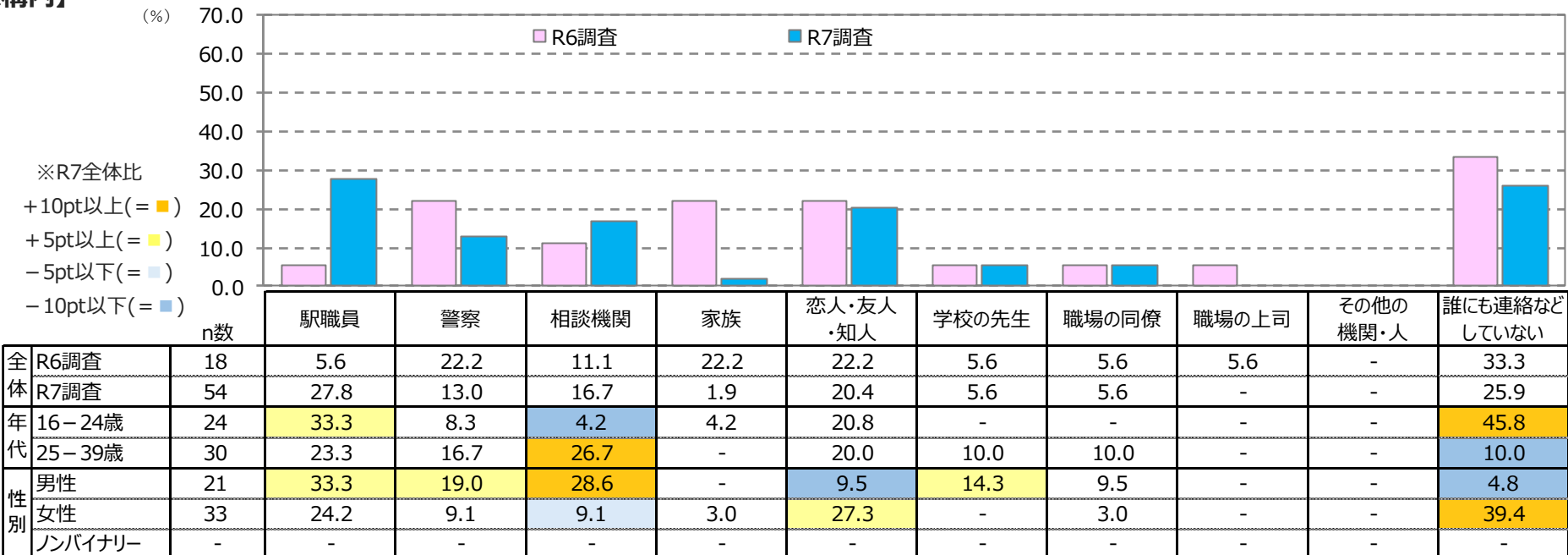
(n数)												
全体	R6調査	504	98	47	19	62	82	12	21	11	1	260
	R7調査	953	218	99	43	114	162	23	26	17	1	429
年代	16-24歳	478	102	39	19	65	111	12	8	7	-	202
	25-39歳	475	116	60	24	49	51	11	18	10	1	227
性別	男性	228	74	37	18	21	27	6	9	3	-	78
	女性	719	143	62	25	92	133	17	17	14	1	348
	ノンバイナリー	6	1	-	-	1	2	-	-	-	-	3

Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況② Q23-1.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか：被害時かその直後(MA)：駅構内

- 駅構内：被害直後は「誰にも連絡などしていない」は25.9%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「駅職員」(27.8%)、「恋人・友人・知人」(20.4%)、「相談機関」(16.7%) などとなっている。
- 昨年度調査と比べて「駅職員」、「相談機関」の増加が見られる。(R6調査は回答数が少ないことに留意が必要)

【駅構内】



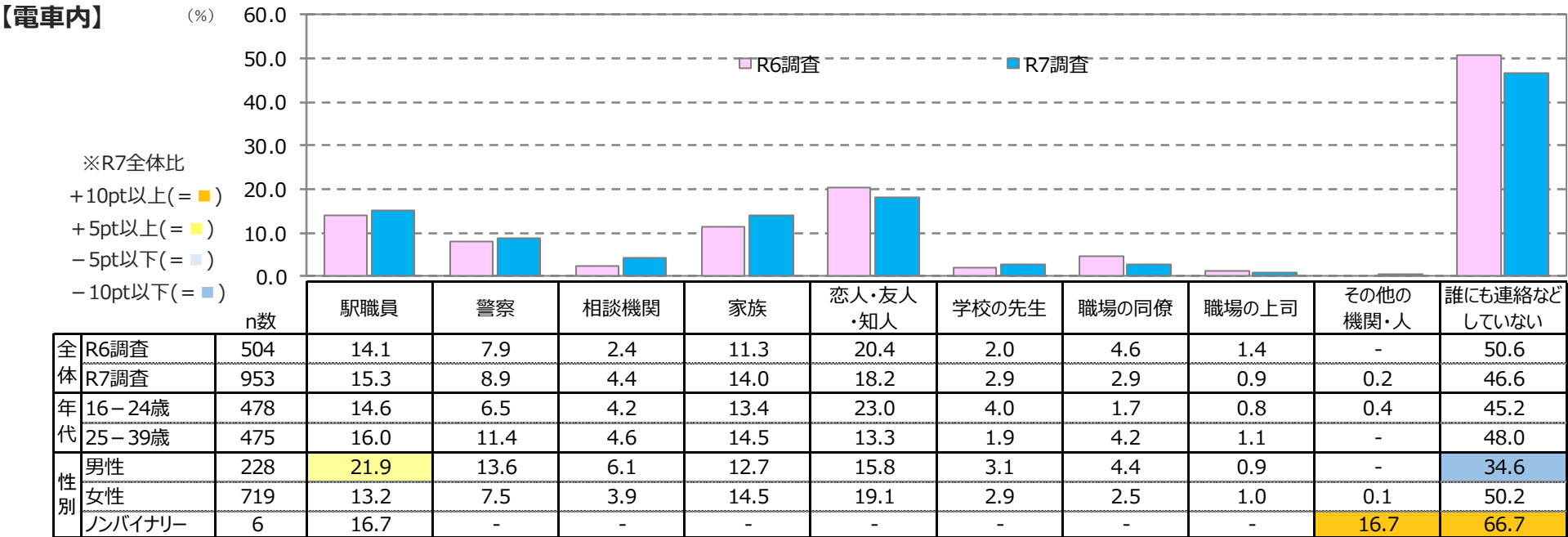
(n数)

全体	R6調査	18	1	4	2	4	4	1	1	1	-	6
	R7調査	54	15	7	9	1	11	3	3	-	-	14
年代	16-24歳	24	8	2	1	1	5	-	-	-	-	11
	25-39歳	30	7	5	8	-	6	3	3	-	-	3
性別	男性	21	7	4	6	-	2	3	2	-	-	1
	女性	33	8	3	3	1	9	-	1	-	-	13
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況③ Q23-2.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか：被害時のしばらく後(MA)：電車内

- 電車内：被害のしばらく後は「誰にも連絡などしていない」は46.6%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率は増加している。また、届け出・連絡・相談者は、「恋人・友人・知人」（18.2%）、「駅職員」（15.3%）、「家族」（14.0%）の順が多い。
- 男性で、「駅職員」がやや多い。



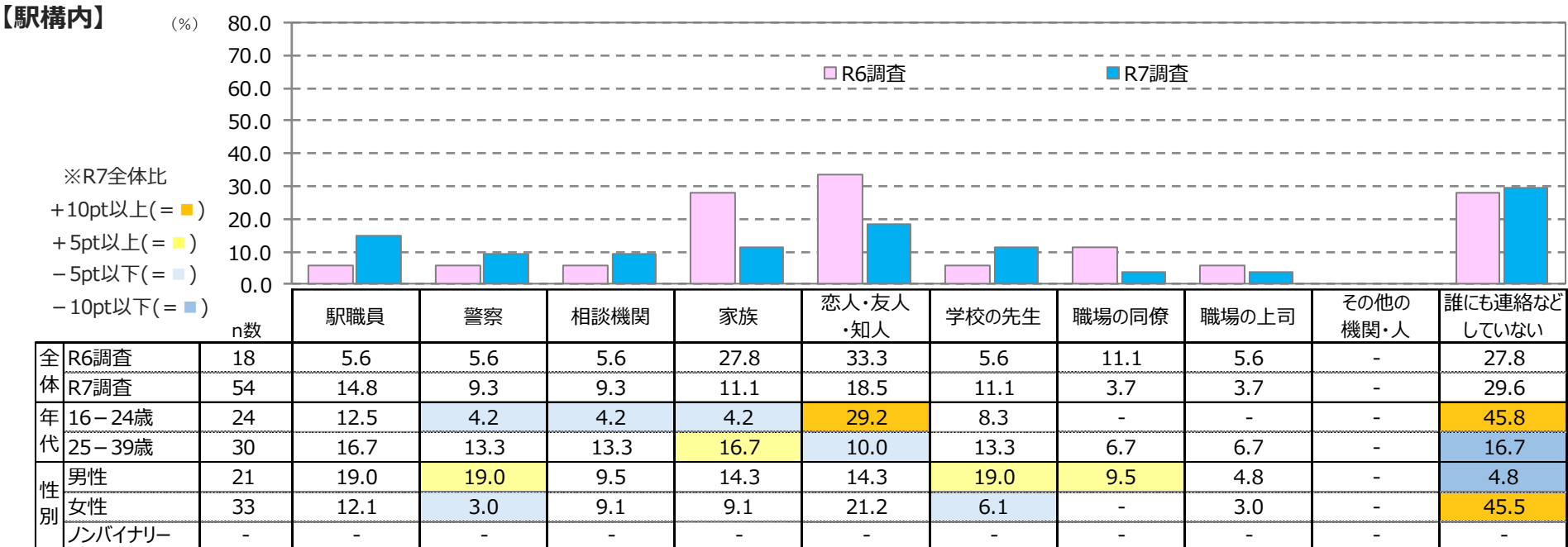
(n数)

全	R6調査	504	71	40	12	57	103	10	23	7	-	255
体	R7調査	953	146	85	42	133	173	28	28	9	2	444
年	16-24歳	478	70	31	20	64	110	19	8	4	2	216
代	25-39歳	475	76	54	22	69	63	9	20	5	-	228
性	男性	228	50	31	14	29	36	7	10	2	-	79
別	女性	719	95	54	28	104	137	21	18	7	1	361
	ノンバイナリー	6	1	-	-	-	-	-	-	-	1	4

Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況④ Q23-2.直近の被害で届け出・連絡・相談等行ったか：被害時のしばらく後(MA)：駅構内

- 駅構内：被害のしばらく後は「誰にも連絡などしていない」は29.6%となり、いずれかの届け出・連絡・相談等を行った比率はやや減少している。また、届け出・連絡・相談者は、「恋人・友人・知人」（18.5%）、「駅職員」（14.8%）、「家族」（11.1%）の順が多い。
- 昨年度調査と比べて「駅職員」の増加が見られる。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）



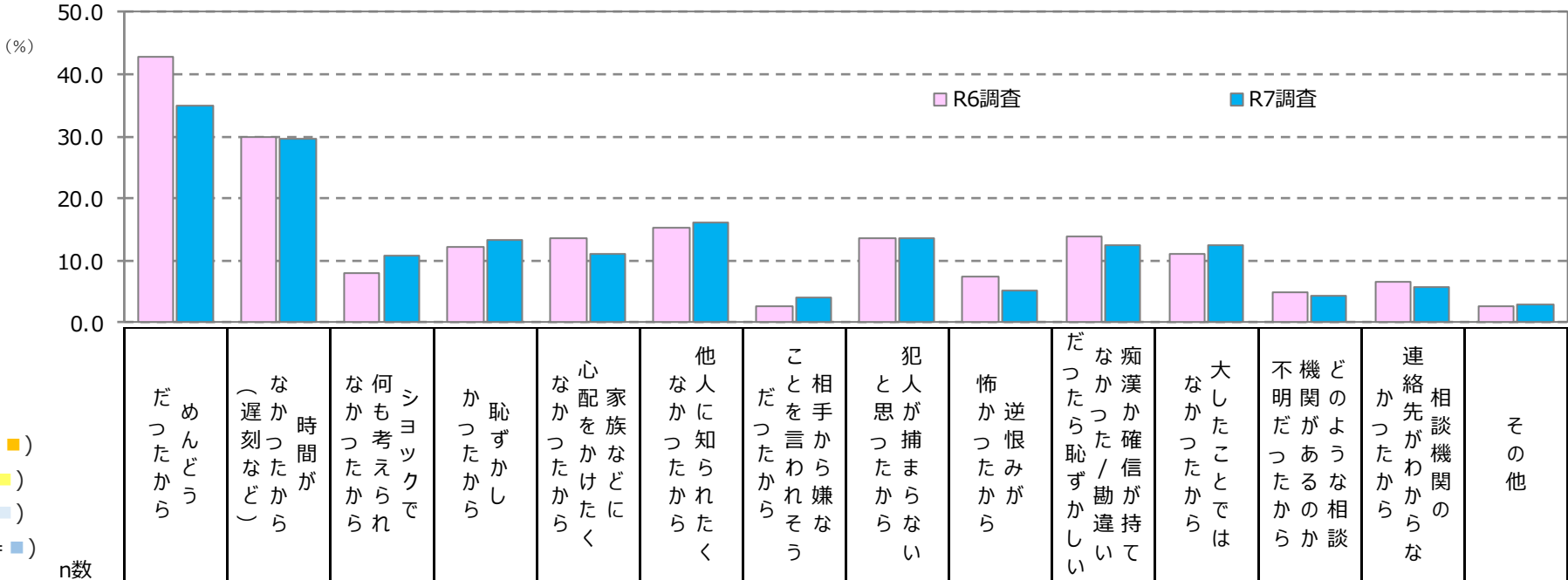
（n数）												
全体	R6調査	18	1	1	1	5	6	1	2	1	-	5
	R7調査	54	8	5	5	6	10	6	2	2	-	16
年代	16-24歳	24	3	1	1	1	7	2	-	-	-	11
	25-39歳	30	5	4	4	5	3	4	2	2	-	5
性別	男性	21	4	4	2	3	3	4	2	1	-	1
	女性	33	4	1	3	3	7	2	-	1	-	15
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q23. あなたは被害について次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑤ Q24-1.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由：被害時かその直後(MA)：電車内①

- 電車内：「めんどうだったから」(35.0%)、「時間がなかったから(遅刻など)」(29.6%)、「他人に知られたくなかったから」(16.1%)、「犯人が捕まらないと思ったから」(13.5%)の順が多い。
- 男性で、「めんどうだったから」、「時間がなかったから(遅刻など)」がやや多い。

【電車内】 Q23で被害時かその直後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ



※R7全体比  
+10pt以上(= ■)  
+5pt以上(= ■)  
-5pt以下(= ■)  
-10pt以下(= ■)

全体	R6調査	260	42.7	30.0	8.1	12.3	13.5	15.4	2.7	13.5	7.3	13.8	11.2	5.0	6.5	2.7
	R7調査	429	35.0	29.6	10.7	13.3	11.0	16.1	4.0	13.5	5.1	12.6	12.6	4.2	5.6	3.0
年代	16－24歳	202	37.6	29.2	10.9	12.9	12.4	18.3	2.5	11.4	6.4	14.9	14.9	4.0	5.0	3.5
	25－39歳	227	32.6	30.0	10.6	13.7	9.7	14.1	5.3	15.4	4.0	10.6	10.6	4.4	6.2	2.6
性別	男性	78	41.0	37.2	6.4	11.5	3.8	9.0	5.1	9.0	2.6	3.8	10.3	6.4	9.0	2.6
	女性	348	33.6	28.2	11.5	13.8	12.4	17.5	3.7	14.1	5.5	14.4	13.2	3.7	4.9	3.2
	ノンバイナリー	3	33.3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	66.7	33.3	33.3	-	-	-	-

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

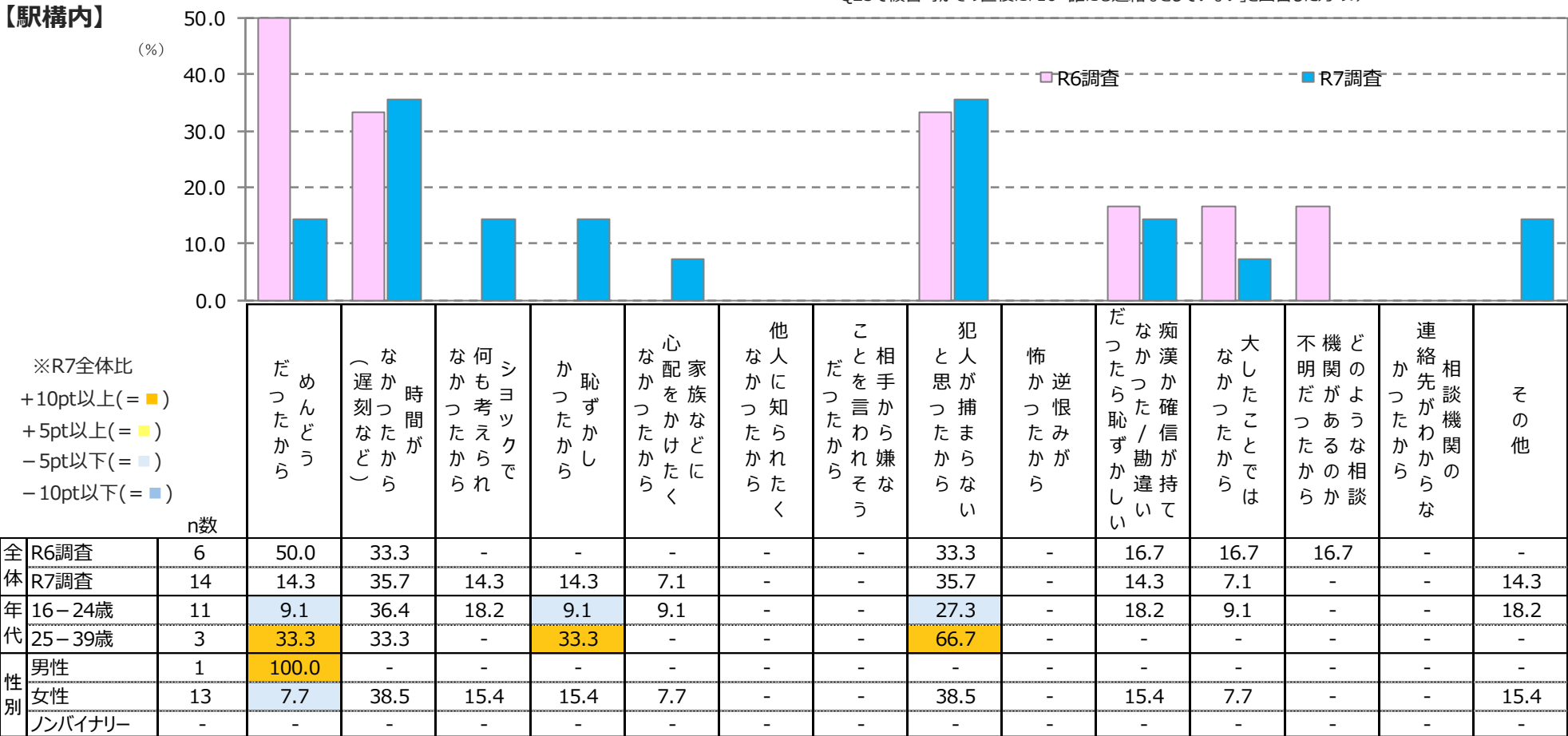
届け出・連絡・相談状況⑤ Q24-1.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由：被害時かその直後(MA)：電車内②(n数)

【電車内】 Q23で被害時かその直後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ

n数			めんどろ だったから	時間が なかつたから (遅刻など)	シヨックで 何も考えられ なかつたから	恥ずかし かつたから	家族などに 心配をかけたく なかつたから	他人に知られたく なかつたから	相手から嫌な ことを言われそう だったから	犯人が捕まらない と思つたから	逆恨みが 怖かつたから	痴漢か確信が持て なかつた / 勘違い だったら恥ずかしい	大したことでは なかつたから	どのような相談 機関があるのか 不明だったから	相談機関の 連絡先がわからな かつたから	その他
全体	R6調査	260	111	78	21	32	35	40	7	35	19	36	29	13	17	7
	R7調査	429	150	127	46	57	47	69	17	58	22	54	54	18	24	13
年代	16－24歳	202	76	59	22	26	25	37	5	23	13	30	30	8	10	7
	25－39歳	227	74	68	24	31	22	32	12	35	9	24	24	10	14	6
性別	男性	78	32	29	5	9	3	7	4	7	2	3	8	5	7	2
	女性	348	117	98	40	48	43	61	13	49	19	50	46	13	17	11
	ノンバイナリー	3	1	-	1	-	1	1	-	2	1	1	-	-	-	-

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

■ 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「時間がなかったから（遅刻など）」/「犯人が捕まらないと思ったから」（ともに35.7%）などとなっている。



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑥ Q24-1.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由：被害時かその直後(MA)：駅構内②(n数)

【駅構内】

Q23で被害時かその直後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ

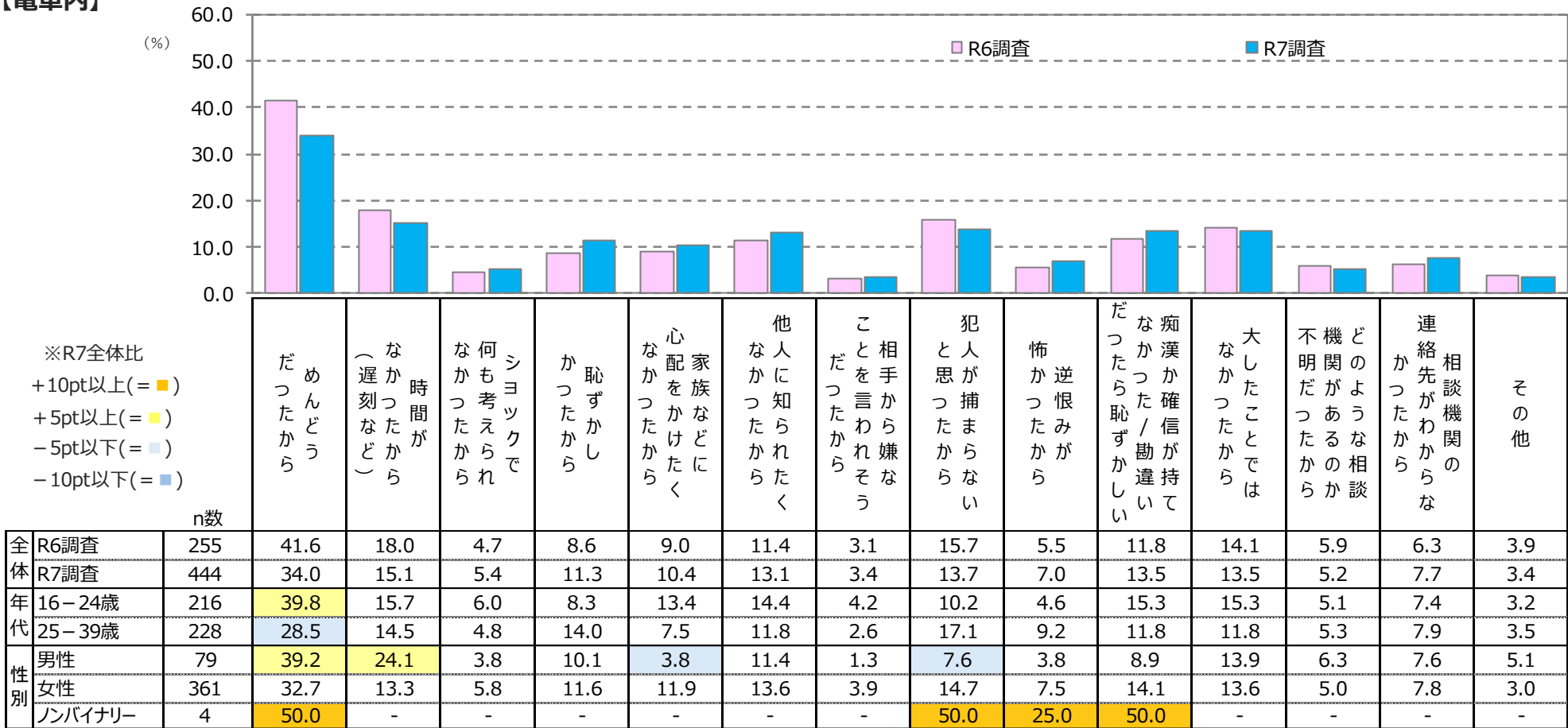
n数			めんどろ だったから	時間が なかつたから (遅刻など)	シヨックで 何も考えられ なかつたから	恥ずかし かつたから	家族などに 心配をかけたく なかつたから	他人に知られたく なかつたから	相手から嫌な ことを言われそう だったから	犯人が捕まらない と思つたから	逆恨みが 怖かつたから	痴漢か確信が持て なかつた/勘違い だったら恥ずかしい	大したことでは なかつたから	どのような相談 機関があるのか 不明だったから	相談機関の 連絡先がわからな かつたから	その他
全体	R6調査	6	3	2	-	-	-	-	-	2	-	1	1	1	-	-
	R7調査	14	2	5	2	2	1	-	-	5	-	2	1	-	-	2
年代	16-24歳	11	1	4	2	1	1	-	-	3	-	2	1	-	-	2
	25-39歳	3	1	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
性別	男性	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	13	1	5	2	2	1	-	-	5	-	2	1	-	-	2
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑦ Q24-2.誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由：被害のしばらく後(MA)：電車内①

- 電車内：「めんどろだったから」(34.0%)、「時間がなかったから(遅刻など)」(15.1%)、「犯人が捕まらないと思ったから」(13.7%)、「痴漢か確信が持てなかった/勘違いだったら恥ずかしい」/「大したことではなかったから」(ともに13.5%)の順が多い。
- 16-24歳で、「めんどろだったから」、男性で、「めんどろだったから」、「時間がなかったから(遅刻など)」がやや多い。

【電車内】 Q23で被害のしばらく後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ



Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

【電車内】 Q23で被害のしばらく後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ

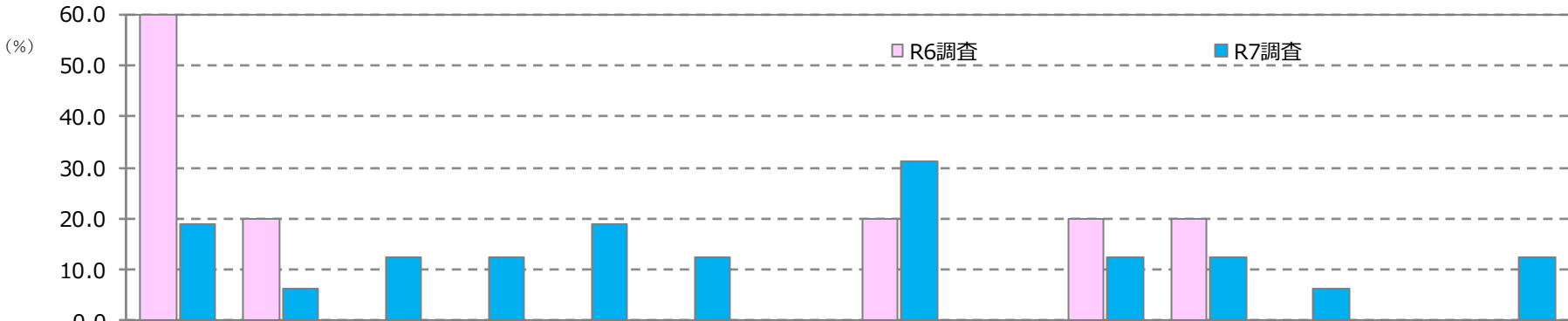
n数			めんどろ だったから	時間が なかつたから (遅刻など)	ショックで 何も考えられ なかつたから	恥ずかし かつたから	家族などに 心配をかけたく なかつたから	他人に知られたく なかつたから	相手から嫌な ことを言われそう だったから	犯人が捕まらない と思つたから	怖かつたから	逆恨みが かつたから	痴漢か確信が持て なかつた / 勘違い だったから	大したことでは なかつたから	どのようなか 相談機関があるのか 不明だったから	相談機関の 連絡先がわからな かつたから	その他
全体	R6調査	255	106	46	12	22	23	29	8	40	14	30	36	15	16	10	
	R7調査	444	151	67	24	50	46	58	15	61	31	60	60	23	34	15	
年代	16－24歳	216	86	34	13	18	29	31	9	22	10	33	33	11	16	7	
	25－39歳	228	65	33	11	32	17	27	6	39	21	27	27	12	18	8	
性別	男性	79	31	19	3	8	3	9	1	6	3	7	11	5	6	4	
	女性	361	118	48	21	42	43	49	14	53	27	51	49	18	28	11	
	ノンバイナリー	4	2	-	-	-	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

■ 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「犯人が捕まらないと思ったから」（31.3%）、「めんどうだったから」/「家族などに心配をかけたくなかったから」（18.8%）の順が多い。

【駅構内】

Q23で被害のしばらく後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ



※R7全体比  
+10pt以上(= ■)  
+5pt以上(= ■)  
-5pt以下(= ■)  
-10pt以下(= ■)

		n数	めんどうだったから	なかつたから (遅刻など)	時間も考えられなかつたから	ショックで	恥づかし	家族などに心配をかけたくなかつたから	他人に知られたくなかつたから	相手を言われそう	犯人が捕まらないと思ったから	怖かつたから	逆恨み	痴漢か確信が持てなかつた / 勘違い	大したことではなかつたから	機関があるのか不明	連絡先がわからなかつたから	相談機関	その他
全体	R6調査	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-
	R7調査	16	18.8	6.3	12.5	12.5	18.8	12.5	-	-	31.3	-	-	12.5	12.5	6.3	-	-	12.5
年代	16-24歳	11	9.1	9.1	-	9.1	18.2	18.2	-	-	27.3	-	-	18.2	18.2	9.1	-	-	18.2
	25-39歳	5	40.0	-	40.0	20.0	20.0	-	-	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-	-
性別	男性	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	15	13.3	6.7	13.3	13.3	20.0	13.3	-	-	33.3	-	-	13.3	13.3	6.7	-	-	13.3
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

Q23で被害のしばらく後に「10 誰にも連絡などしていない」と回答した方のみ

【駅構内】

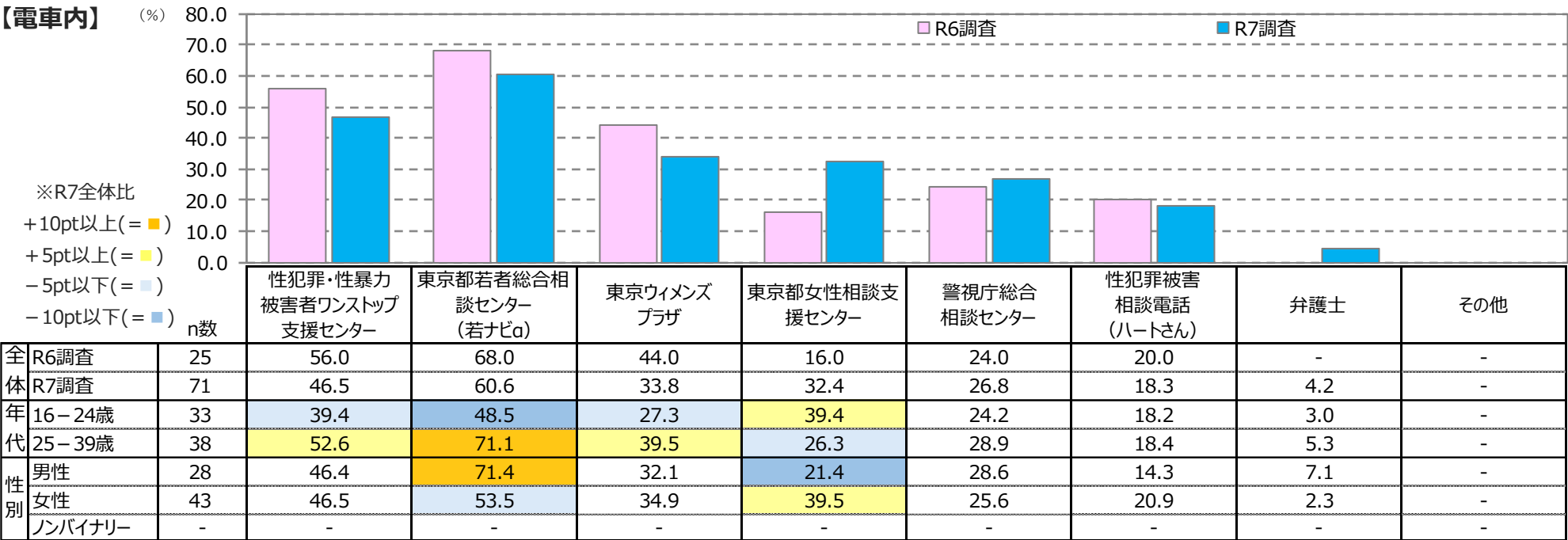
n数			めんどろ だったから	なかつたから (遅刻など)	時間も なかつたから	シヨックで 何も考えられ なかつたから	恥ずかし かつたから	家族などに 心配をかけた なかつたから	他人に知られ なかつたから	相手が嫌な ことを言われ なかつたから	犯人が捕ま らなかつたから	逆恨みが なかつたから	痴漢か確信が 持てなかつた/ 勘違いだ つたら恥ず かしい	大したこと ではなかつた から	どのよう な相談機 関がある のか不明 だったから	連絡先がわ からなかつた から	その他
全体	R6調査	5	3	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-
	R7調査	16	3	1	2	2	3	2	-	5	-	2	2	2	1	-	2
年代	16-24歳	11	1	1	-	1	2	2	-	3	-	2	2	2	1	-	2
	25-39歳	5	2	-	2	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
性別	男性	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女性	15	2	1	2	2	3	2	-	5	-	2	2	2	1	-	2
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q24. 被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください。一番最近の被害についてお答えください。

届け出・連絡・相談状況⑨ Q25.被害を連絡した機関名(MA)：電車内

■ 電車内：「東京都若者総合相談センター（若ナビα）」（60.6%）、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」（46.5%）、「東京ウィメンズプラザ」（33.8%）などとなっている。

Q23で直後あるいはしばらく後＝「3 相談機関」と回答した方



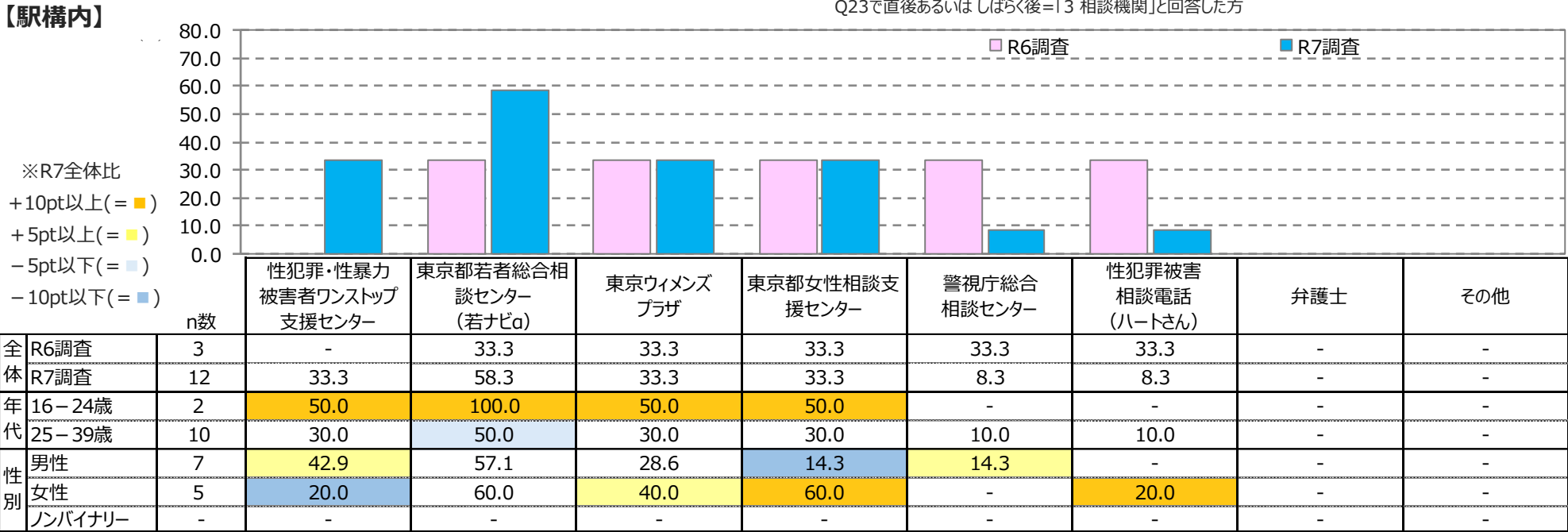
(n数)

全体	R6調査	25	14	17	11	4	6	5	-	-
	R7調査	71	33	43	24	23	19	13	3	-
年代	16-24歳	33	13	16	9	13	8	6	1	-
	25-39歳	38	20	27	15	10	11	7	2	-
性別	男性	28	13	20	9	6	8	4	2	-
	女性	43	20	23	15	17	11	9	1	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q25. 連絡した機関名についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡・相談状況⑩ Q25.被害を連絡した機関名(MA)：駅構内

- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京都若者総合相談センター（若ナビα）」（58.3%）、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」/「東京ウィメンズプラザ」/「東京都女性相談支援センター」（いずれも33.3%）などとなっている。



(n数)

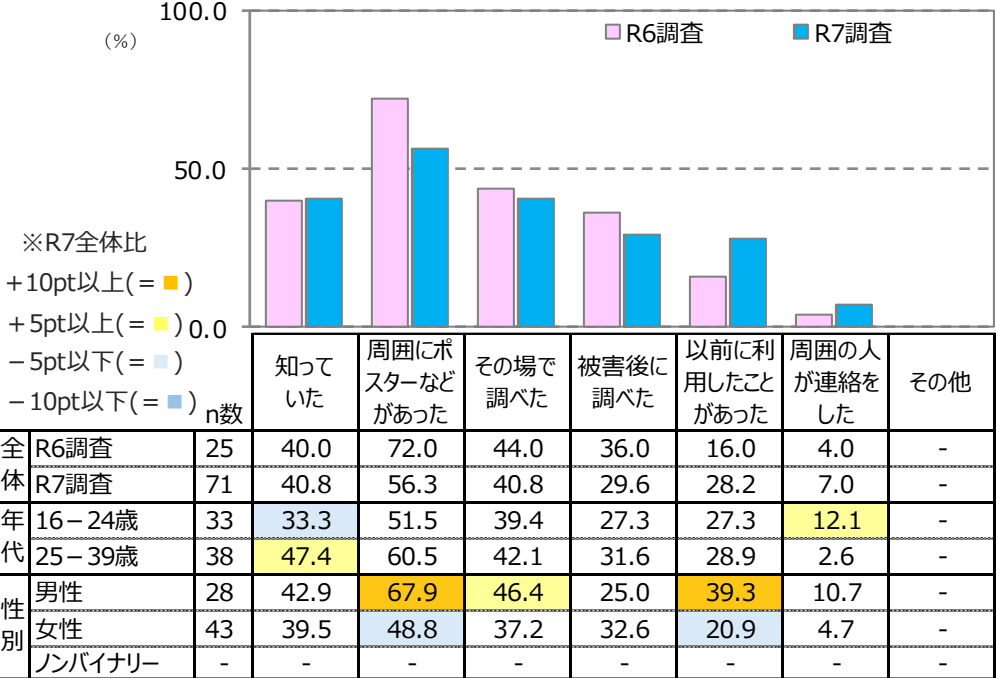
全体	R6調査	3	-	1	1	1	1	1	-	-
	R7調査	12	4	7	4	4	1	1	-	-
年代	16-24歳	2	1	2	1	1	-	-	-	-
	25-39歳	10	3	5	3	3	1	1	-	-
性別	男性	7	3	4	2	1	1	-	-	-
	女性	5	1	3	2	3	-	1	-	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q25. 連絡した機関名についてお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡・相談状況⑪ Q26.連絡した機関を知った方法(MA)

- 電車内：「周囲にポスターなどがあった」（56.3%）、「知っていた」/「その場で調べた」（ともに40.8%）などとなっている。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「その場で調べた」（58.3%）、「被害後に調べた」（41.7%）、「周囲にポスターなどがあった」（33.3%）などとなっている。

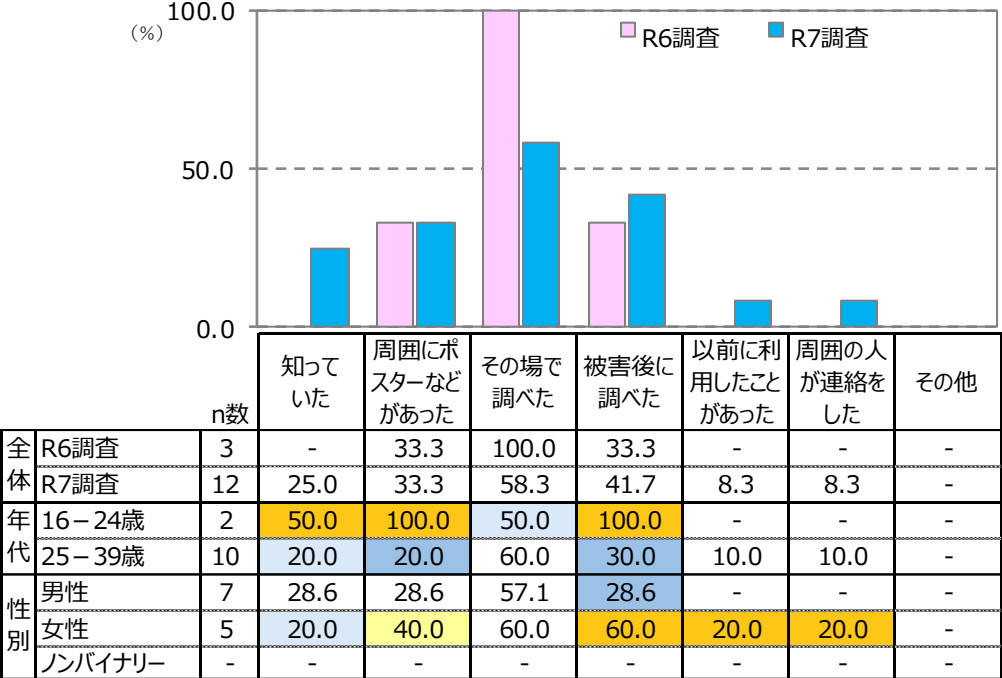
【電車内】



(n数)

全体	R6調査	25	10	18	11	9	4	1	-
	R7調査	71	29	40	29	21	20	5	-
年代	16-24歳	33	11	17	13	9	9	4	-
	25-39歳	38	18	23	16	12	11	1	-
性別	男性	28	12	19	13	7	11	3	-
	女性	43	17	21	16	14	9	2	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-

【駅構内】



全体	R6調査	3	-	1	3	1	-	-	-
	R7調査	12	3	4	7	5	1	1	-
年代	16-24歳	2	1	2	1	2	-	-	-
	25-39歳	10	2	2	6	3	1	1	-
性別	男性	7	2	2	4	2	-	-	-
	女性	5	1	2	3	3	1	1	-
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-

Q26. どのようにその機関を知ったかお答えください。一番最近の被害についてお答えください。(いくつでも)

## IV 痴漢目撃・居合わせ者調査（電車内・駅構内）

---

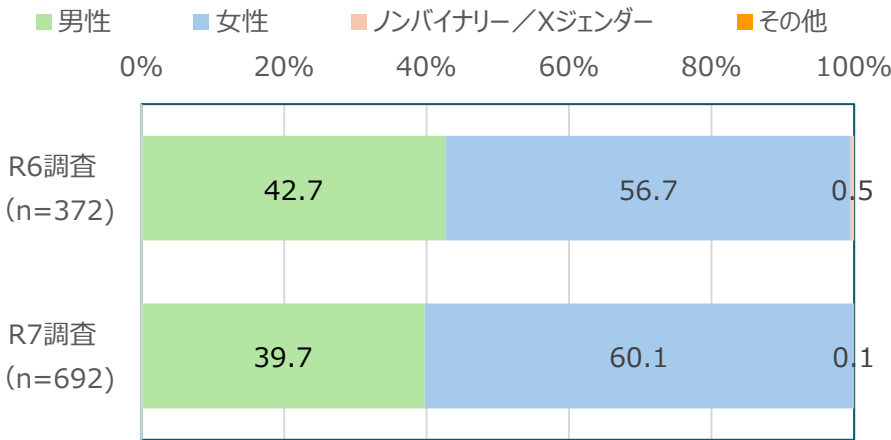
### 【回答者要件】

- ・ 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- ・ 通勤・通学に電車を使っている方
- ・ ここ1年で電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方
- ・ 16～69歳の方

# 回答者属性① SC1.性別/性自認

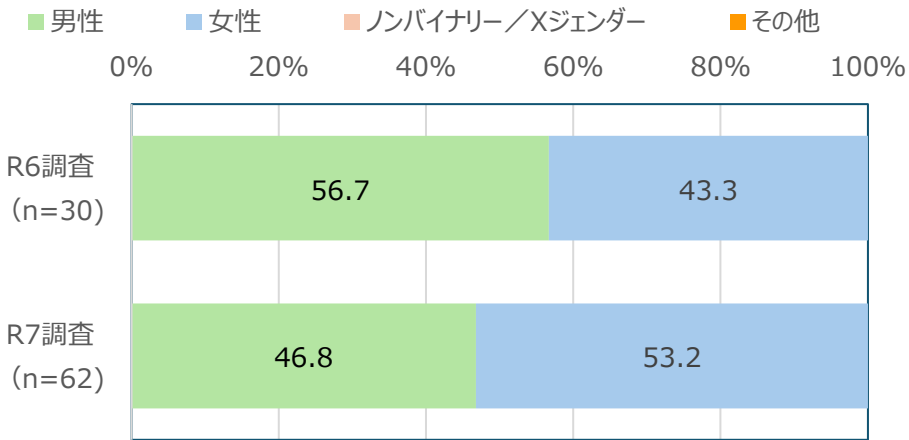
- 電車内：「男性」（39.7%）、「女性」（60.1%）、「ノンバイナリー/Xジェンダー」（0.1%）となっている。
- 駅構内：「男性」（46.8%）、「女性」（53.2%）となっている。

【電車内】



(n数)	総計	男性	女性	ノンバイナリー／Xジェンダー	その他
R6調査	372	159	211	2	-
R7調査	692	275	416	1	-

【駅構内】



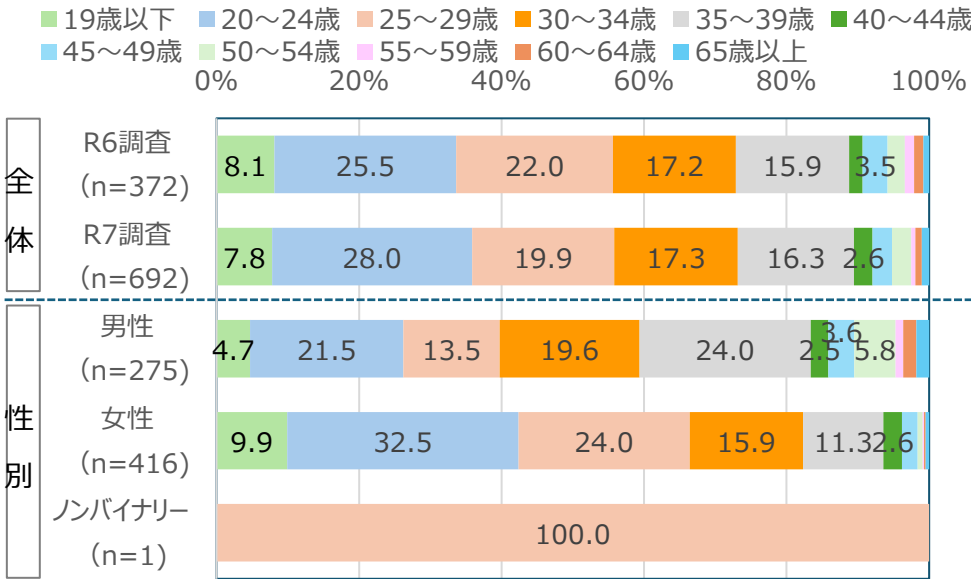
(n数)	総計	男性	女性	ノンバイナリー／Xジェンダー	その他
R6調査	30	17	13	-	-
R7調査	62	29	33	-	-

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

回答者属性② SC2.年齢

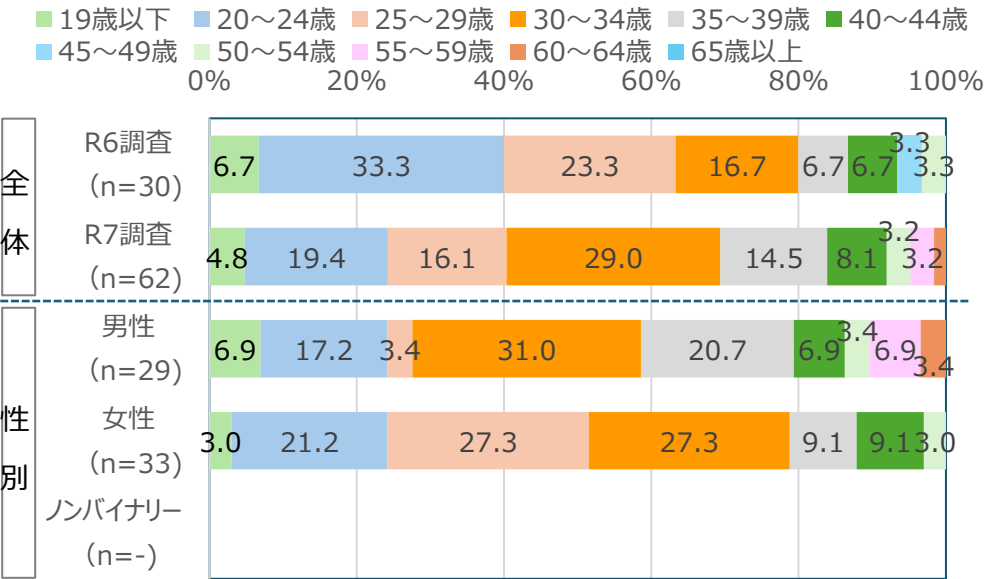
- 電車内：「20～24歳」（28.0%）、「25～29歳」（19.9%）、「30～34歳」（17.3%）の順が多い。
- 駅構内：「30～34歳」（29.0%）、「20～24歳」（19.4%）、「25～29歳」（16.1%）の順で多く、昨年度と比べて30代が増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

【電車内】



【駅構内】

※2%未満のデータラベルは非表示



【電車内】

(n数)	総計	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
R6調査	372	30	95	82	64	59	7	13	9	5	5	3
R7調査	692	54	194	138	120	113	18	19	19	4	6	7
男性	275	13	59	37	54	66	7	10	16	3	5	5
女性	416	41	135	100	66	47	11	9	3	1	1	2
ノンバイナリー	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

【駅構内】

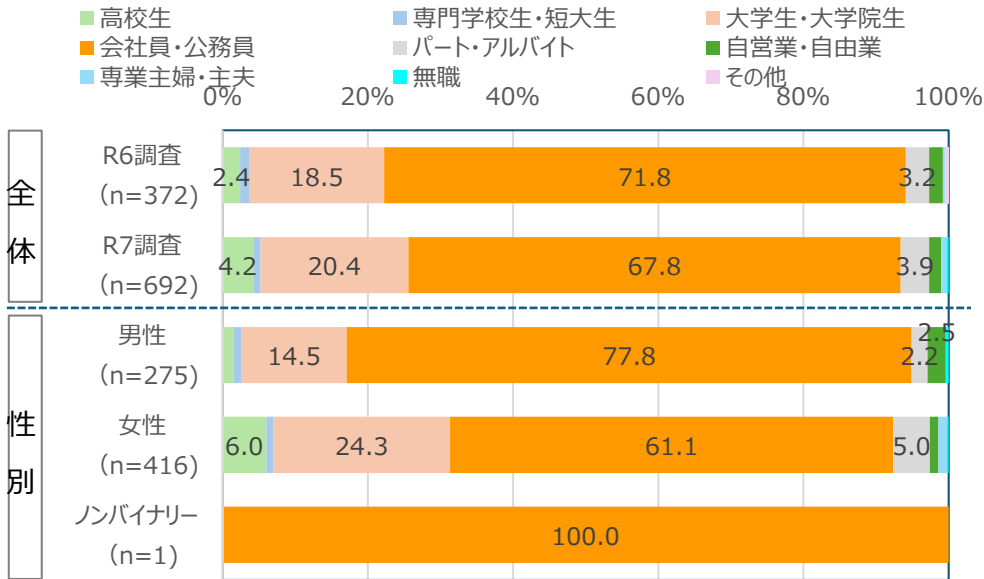
(n数)	総計	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65歳以上
R6調査	30	2	10	7	5	2	2	1	1	-	-	-
R7調査	62	3	12	10	18	9	5	-	2	2	1	-
男性	29	2	5	1	9	6	2	-	1	2	1	-
女性	33	1	7	9	9	3	3	-	1	-	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

SC2. あなたの年齢をお答えください。

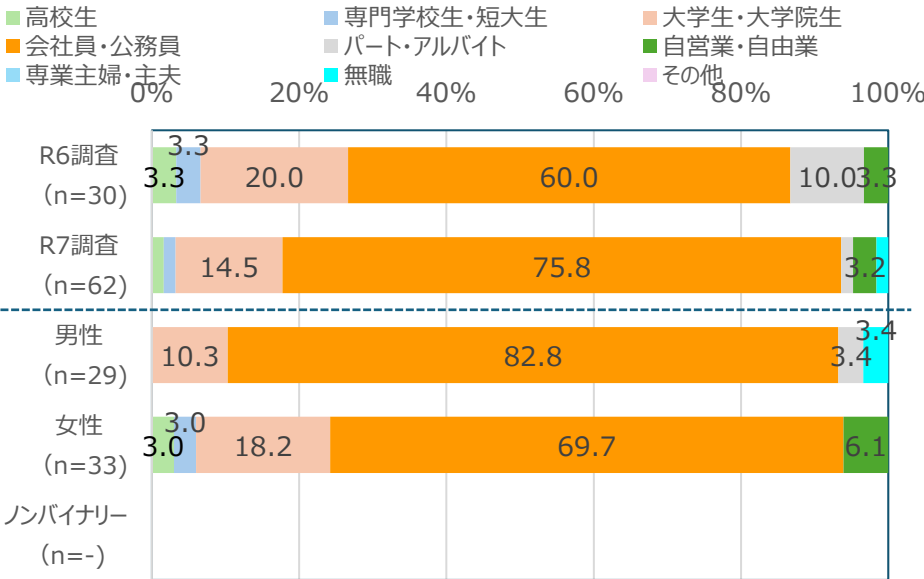
回答者属性③ SC3.職業/学校

- 電車内：「会社員・公務員」（67.8%）、「大学生・大学院生」（20.4%）、「高校生」（4.2%）の順が多い。
- 駅構内：「会社員・公務員」（75.8%）、「大学生・大学院生」（14.5%）、「自営業・自由業」（3.2%）の順が多い。

【電車内】



【駅構内】



【電車内】

(n数)	総計	高校生	専門学校生・短大生	大学生・大学院生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業・自由業	専業主婦・主夫	無職	その他
R6調査	372	9	5	69	267	12	7	1	-	2
R7調査	692	29	7	141	469	27	12	5	2	-
男性	275	4	3	40	214	6	7	-	1	-
女性	416	25	4	101	254	21	5	5	1	-
ノンバイナリー	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

【駅構内】

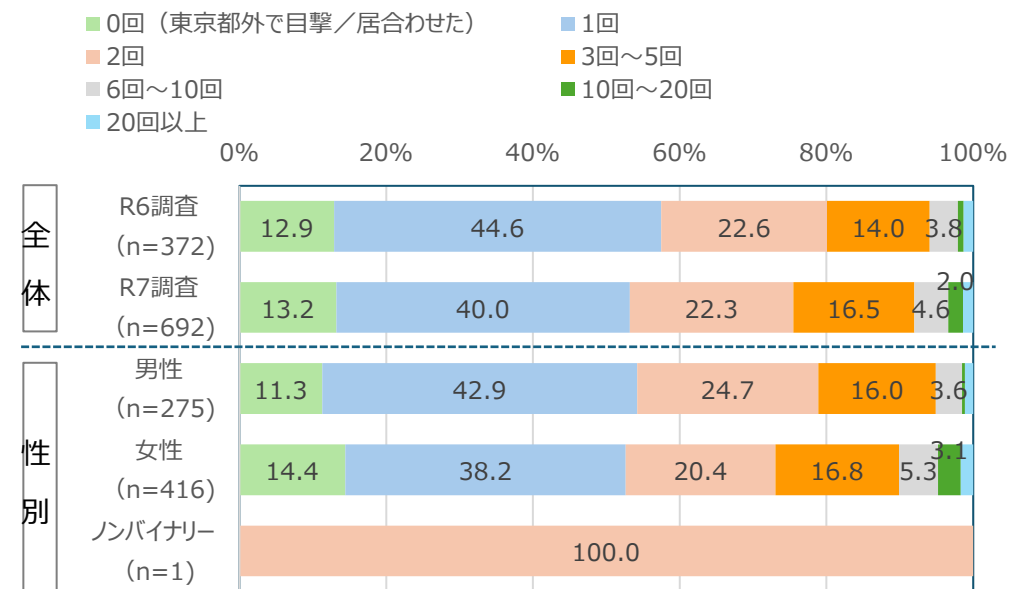
(n数)	総計	高校生	専門学校生・短大生	大学生・大学院生	会社員・公務員	パート・アルバイト	自営業・自由業	専業主婦・主夫	無職	その他
R6調査	30	1	1	6	18	3	1	-	-	-
R7調査	62	1	1	9	47	1	2	-	1	-
男性	29	-	-	3	24	1	-	-	1	-
女性	33	1	1	6	23	-	2	-	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

SC3. あなたの現在の職業・学校をお答えください。

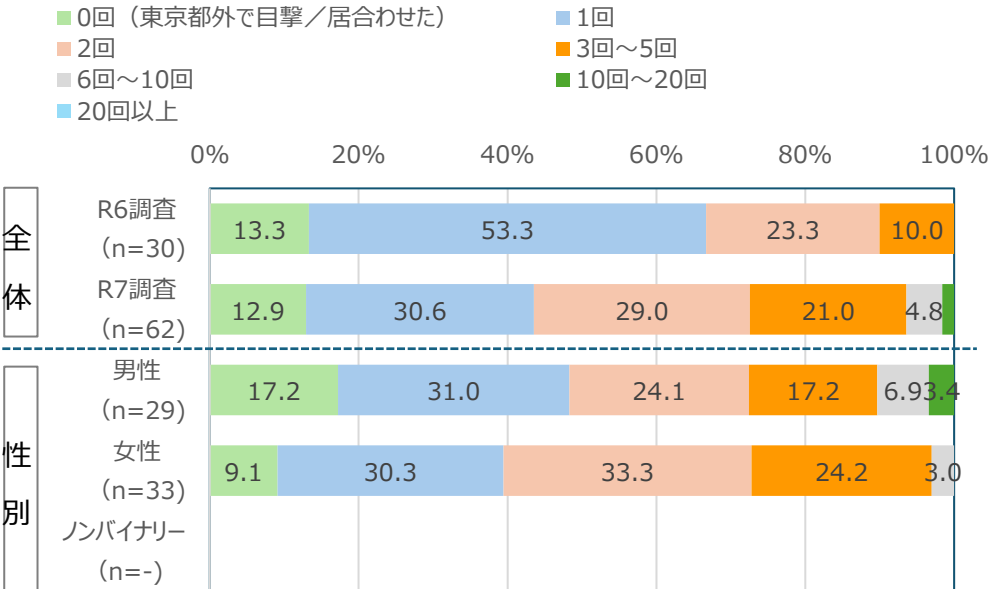
# 痴漢目撃・居合わせの経験 Q27.直近1年で都内で痴漢を目撃/居合わせた回数

- 電車内：「1回」（40.0%）、「2回」（22.3%）、「3～5回」（16.5%）の順が多い。
- 駅構内：「1回」（30.6%）、「2回」（29.0%）、「3～5回」（21.0%）の順で多く、昨年度調査と比べて複数回以上の目撃/居合わせが増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

【電車内】



【駅構内】



(n数)	総計	0回（東京都外で目撃/居合わせた）	1回	2回	3回～5回	6回～10回	10回～20回	20回以上
R6調査	372	48	166	84	52	14	3	5
R7調査	692	91	277	154	114	32	14	10
男性	275	31	118	68	44	10	1	3
女性	416	60	159	85	70	22	13	7
ノンバイナリー	1	-	-	1	-	-	-	-

(n数)	総計	0回（東京都外で目撃/居合わせた）	1回	2回	3回～5回	6回～10回	10回～20回	20回以上
R6調査	30	4	16	7	3	-	-	-
R7調査	62	8	19	18	13	3	1	-
男性	29	5	9	7	5	2	1	-
女性	33	3	10	11	8	1	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-

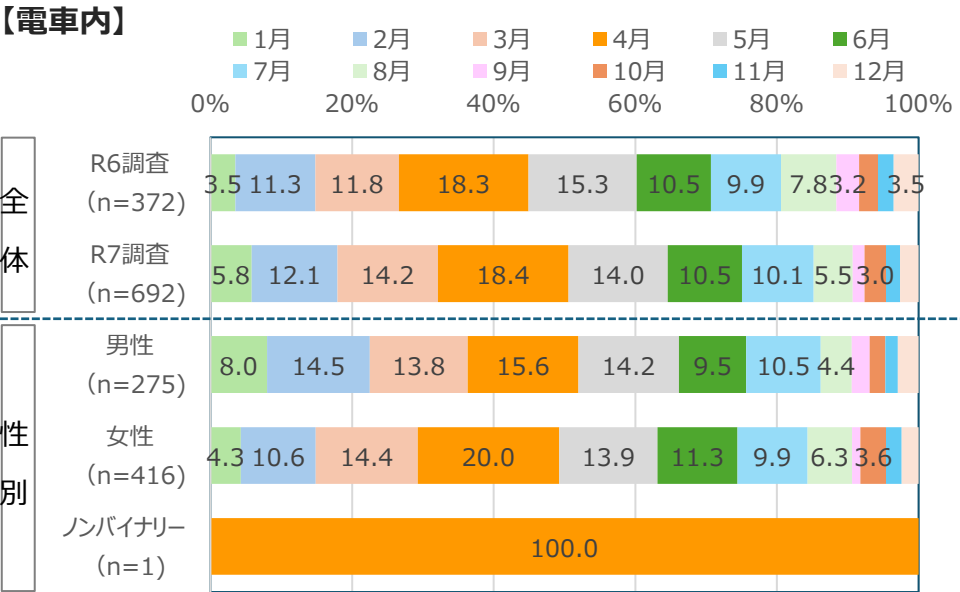
Q27. あなたが直近1年で東京都内で痴漢を目撃した/居合わせた回数をお答えください。

※2%未満のデータラベルは非表示

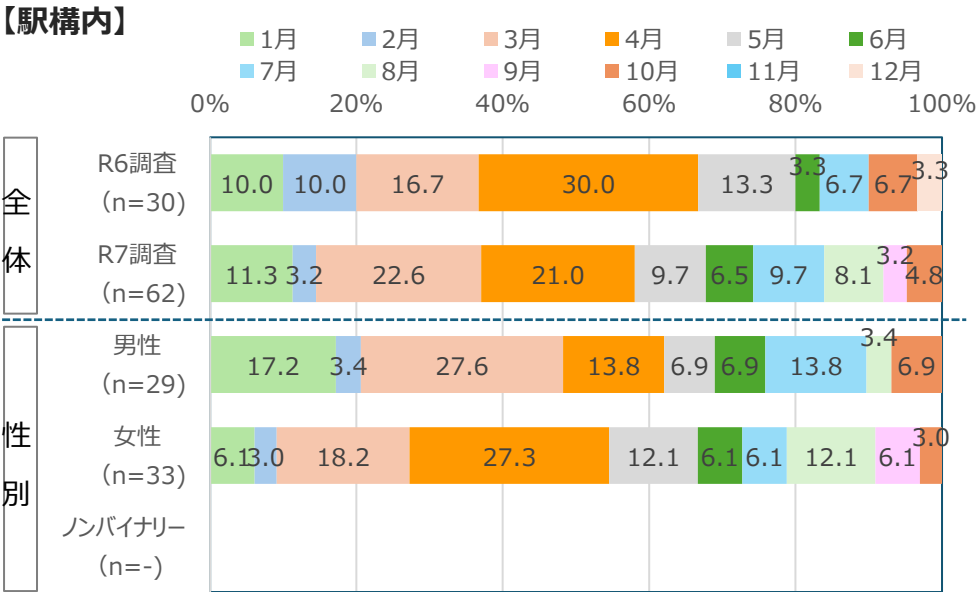
痴漢目撃・居合わせの状況① Q31.目撃/居合わせた時期

- 電車内：「4月」（18.4%）、「3月」（14.2%）、「5月」（14.0%）、「2月」（12.1%）の順が多い。
- 駅構内：「3月」（22.6%）、「4月」（21.0%）、「1月」（11.3%）、「5月」/「7月」（ともに9.7%）の順で多、昨年度と比べて「3月」の増加が目立つ。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



(n数)	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6調査	372	13	42	44	68	57	39	37	29	12	10	8	13
R7調査	692	40	84	98	127	97	73	70	38	12	21	14	18
男性	275	22	40	38	43	39	26	29	12	7	6	5	8
女性	416	18	44	60	83	58	47	41	26	5	15	9	10
ノンバイナリー	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-



(n数)	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
R6調査	30	3	3	5	9	4	1	2	-	-	2	-	1
R7調査	62	7	2	14	13	6	4	6	5	2	3	-	-
男性	29	5	1	8	4	2	2	4	1	-	2	-	-
女性	33	2	1	6	9	4	2	2	4	2	1	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q31. 目撃した/居合わせたおおよその時期についてお答えください。

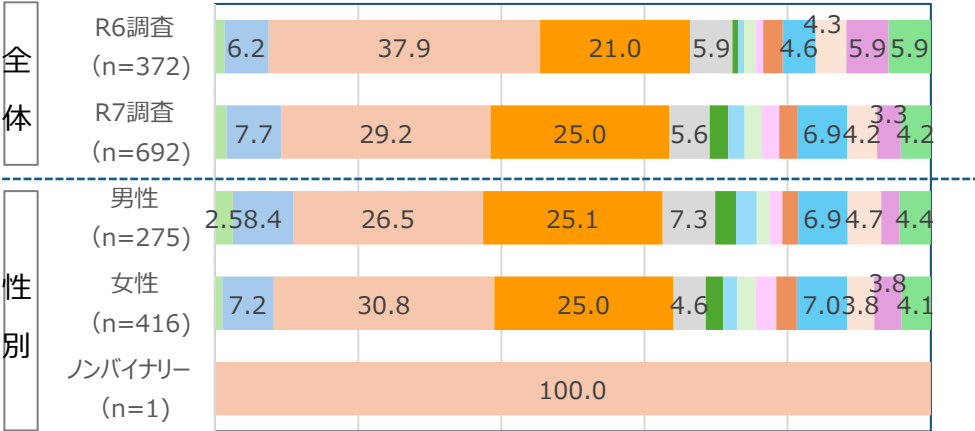
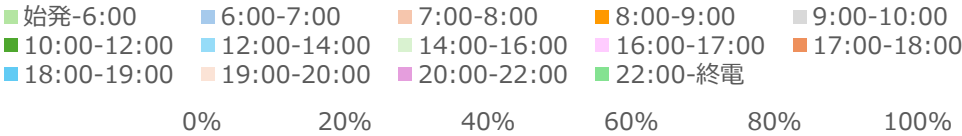
※3%未満のデータラベルは非表示

痴漢目撃・居合わせの状況② Q32.目撃/居合わせた時間帯

- 電車内：「7：00～8：00」（29.2%）、「8：00～9：00」（25.0%）の朝のラッシュ時間帯が多い。
- 駅構内：「7：00～8：00」（29.0%）、「8：00～9：00」（21.0%）の朝のラッシュ時間帯が多い。

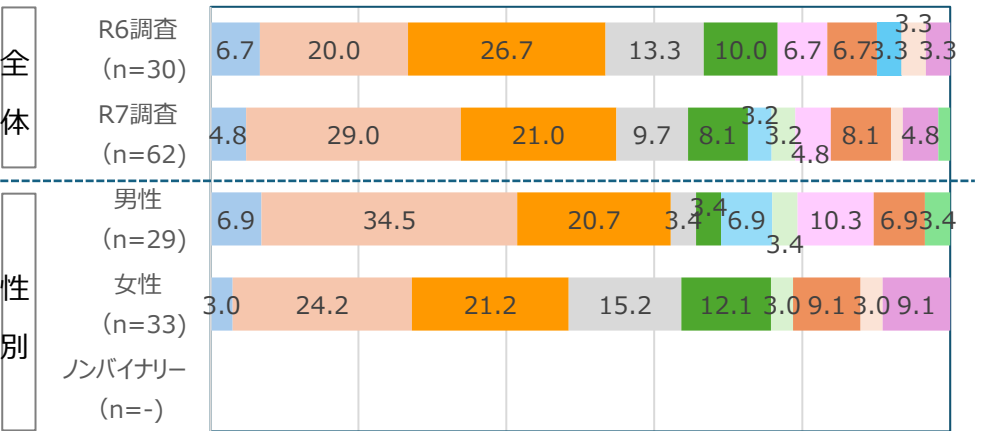
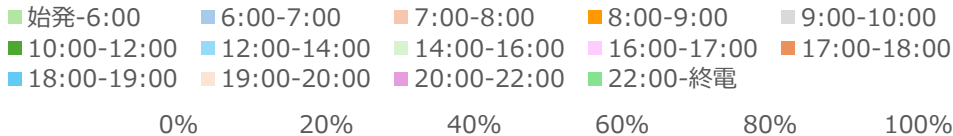
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】

※3%未満のデータラベルは非表示



【電車内】

	(n数)	総計	始発-6:00	6:00-7:00	7:00-8:00	8:00-9:00	9:00-10:00	10:00-12:00	12:00-14:00	14:00-16:00	16:00-17:00	17:00-18:00	18:00-19:00	19:00-20:00	20:00-22:00	22:00-終電
R6調査	372		5	23	141	78	22	3	3	6	4	10	17	16	22	22
R7調査	692		11	53	202	173	39	18	16	16	17	18	48	29	23	29
男性	275		7	23	73	69	20	8	8	5	5	6	19	13	7	12
女性	416		4	30	128	104	19	10	8	11	12	12	29	16	16	17
ノンバイナリー	1		-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

【駅構内】

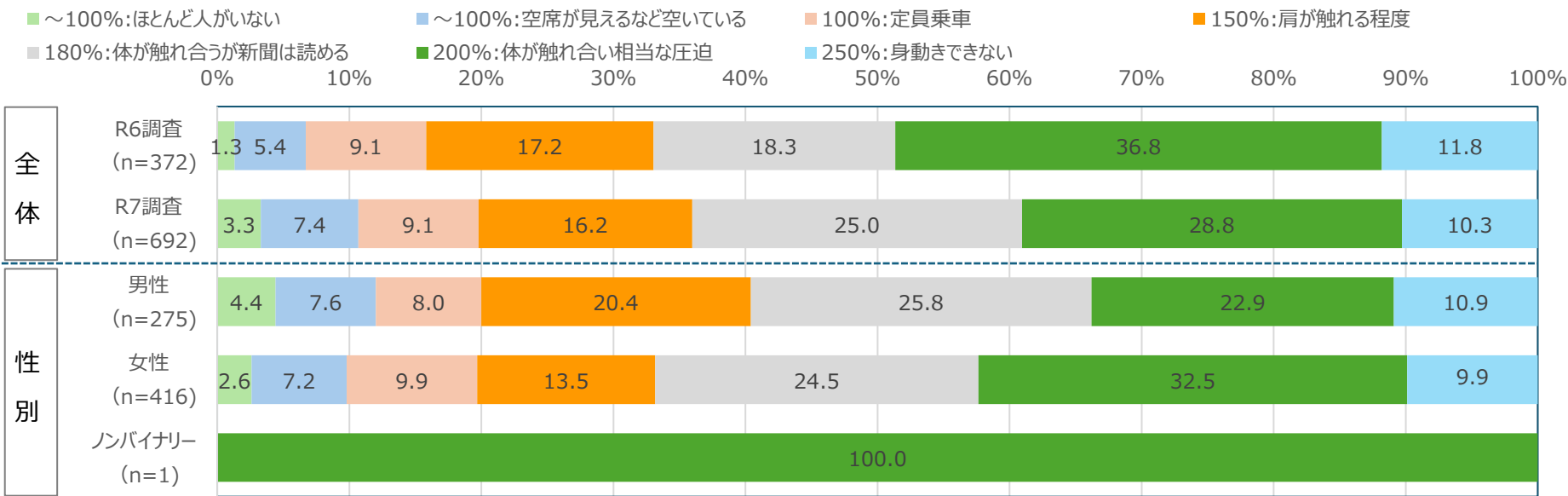
R6調査	30	-	2	6	8	4	3	-	-	2	2	1	1	1	-	-
R7調査	62	-	3	18	13	6	5	2	2	3	5	-	1	3	1	1
男性	29	-	2	10	6	1	1	2	1	3	2	-	-	-	-	1
女性	33	-	1	8	7	5	4	-	1	-	3	-	1	3	-	-
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q32. 目撃した/居合わせたおおよその時間帯についてお答えください。

# 痴漢目撃・居合わせの状況③ Q33.電車内で目撃/居合わせた時の混雑率

- 電車内：「200%」（28.8%）、「180%」（25.0%）、「150%」（16.2%）の順が多い。
- 女性で、より混雑率の高い状況での目撃/居合わせ経験が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



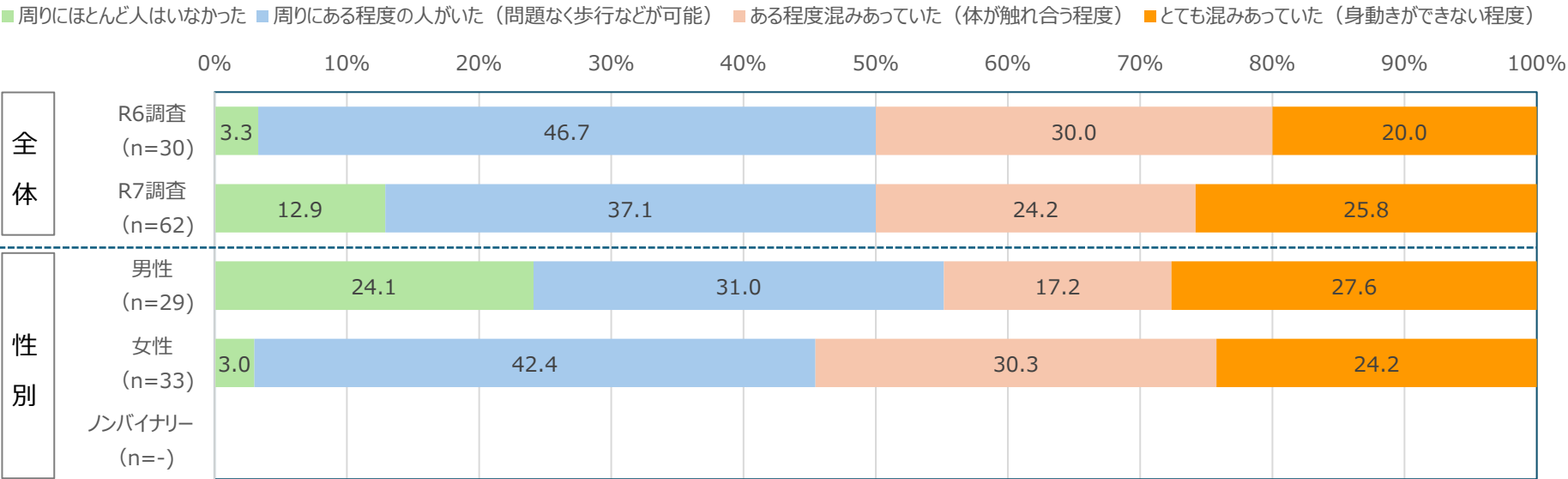
(n数)	総計	～100%:ほとんど人がいない	～100%:空席が見えるなど空いている	100%:定員乗車	150%:肩が触れる程度	180%:体が触れ合うが新聞は読める	200%:体が触れ合い相当な圧迫	250%:身動きできない
R6調査	372	5	20	34	64	68	137	44
R7調査	692	23	51	63	112	173	199	71
男性	275	12	21	22	56	71	63	30
女性	416	11	30	41	56	102	135	41
ノンバイナリー	1	-	-	-	-	-	1	-

Q33. あなたが「電車内」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときの電車の混雑率についてお答えください。

# 痴漢目撃・居合わせの状況④ Q34.駅構内で目撃/居合わせた時の混雑の程度

■ 駅構内：「周りにある程度の人がいた」（37.1%）、「とても混みあっていた」（25.8%）、「ある程度混みあっていた」（24.2%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



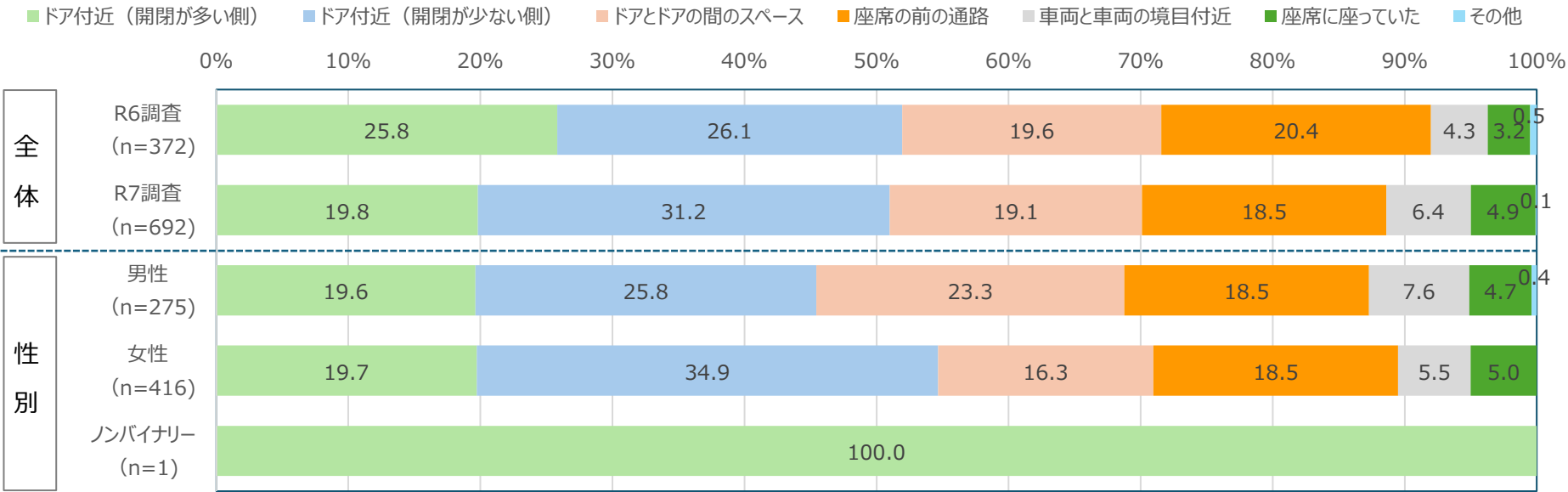
(n数)	総計	周りにほとんど人はいなかった	周りにある程度の人がいた (問題なく歩行などが可能)	ある程度混みあっていた (体が触れ合う程度)	とても混みあっていた (身動きができない程度)
R6調査	30	1	14	9	6
R7調査	62	8	23	15	16
男性	29	7	9	5	8
女性	33	1	14	10	8
ノンバイナリー	-	-	-	-	-

Q34. あなたが「駅構内」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときの周りの混雑の程度についてお答えください。

痴漢目撃・居合わせの状況⑤ Q35.電車で目撃/居合わせたときの位置

■ 電車内：「ドア付近（開閉が少ない側）」（31.2%）、「ドア付近（開閉が多い側）」（19.8%）、「ドアとドアの間のスペース」（19.1%）、「座席の前の通路」（18.5%）の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



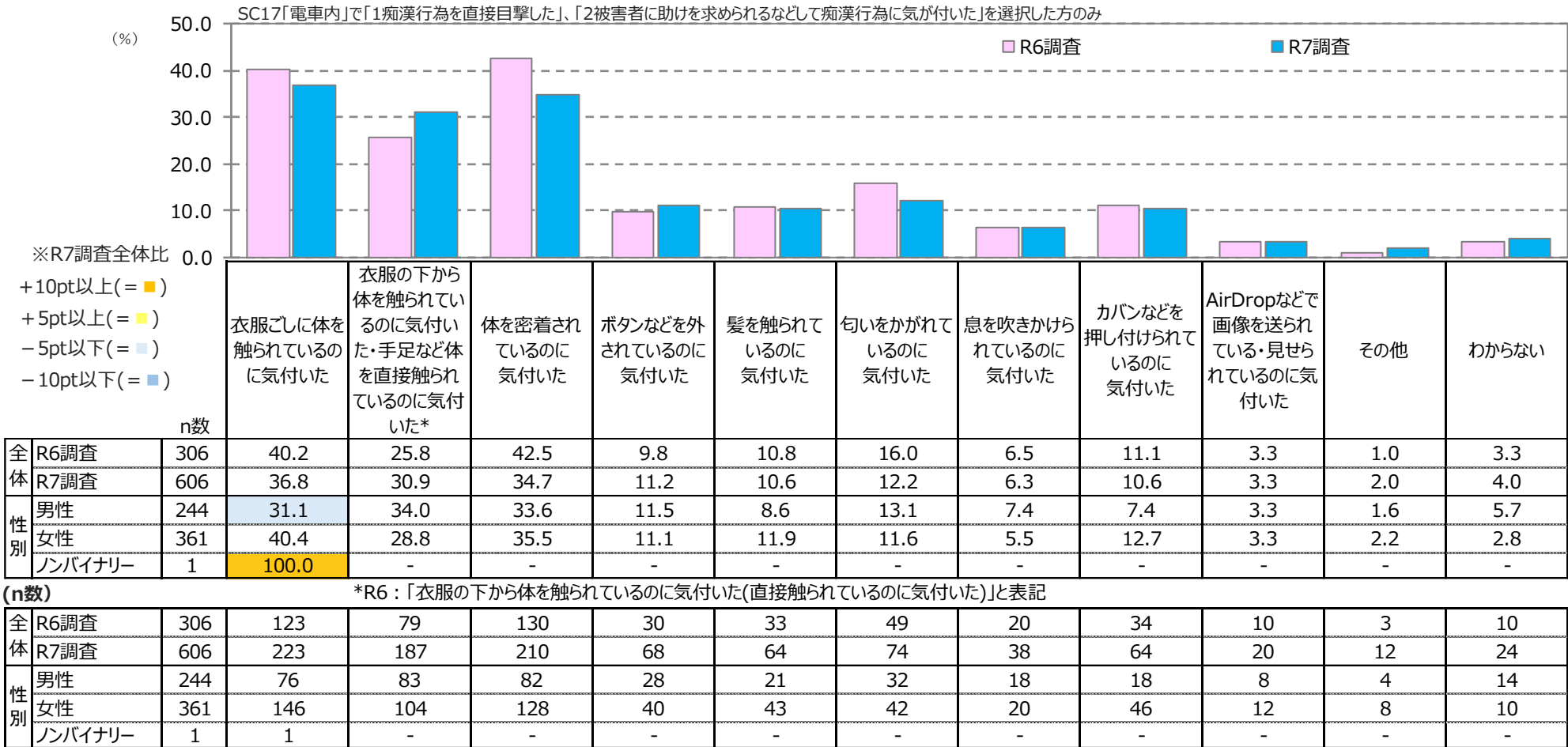
(n数)	総計	ドア付近 (開閉が多い側)	ドア付近 (開閉が 少ない側)	ドアとドアの間の スペース	座席の前の通路	車両と車両の 境目付近	座席に座っていた	その他
R6調査	372	96	97	73	76	16	12	2
R7調査	692	137	216	132	128	44	34	1
男性	275	54	71	64	51	21	13	1
女性	416	82	145	68	77	23	21	-
ノンバイナリー	1	1	-	-	-	-	-	-

Q35. あなたが「電車内」で目撃した/居合わせた痴漢被害についてお伺いします。目撃した/居合わせたときには車両内のどこにいたかお答えください。

痴漢目撃・居合わせの状況⑥ Q36.目撃した被害内容(MA)：電車内

- 電車内：「衣服ごしに体を触られているのに気付いた」（36.8%）、「体を密着されているのに気付いた」（34.7%）、「衣服の下から体を触られているのに気付いた・手足など体を直接触られているのに気付いた」（30.9%）の順が多い。
- 「衣服の下から体を触られているのに気付いた・手足など体を直接触られているのに気付いた」が増加している。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



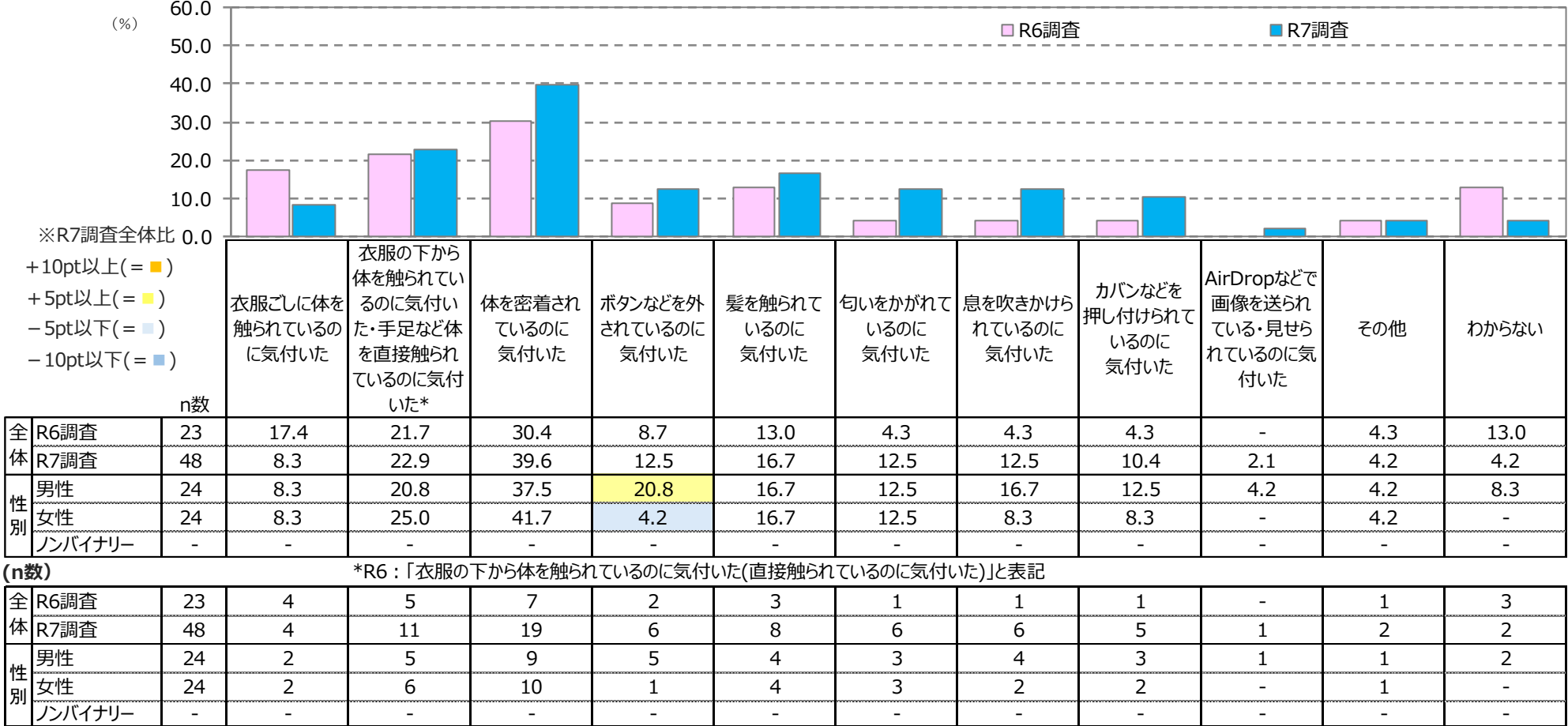
Q36. 目撃した痴漢被害の内容についてお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑦ Q36.目撃した被害内容(MA)：駅構内

■ 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「体を密着されているのに気付いた」（39.6%）、「衣服の下から体を触られているのに気付いた・手足など体を直接触られているのに気付いた」（22.9%）、「髪を触られているのに気付いた」（16.7%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

SC17「駅構内」で「1痴漢行為を直接目撃した」、「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」を選択した方のみ

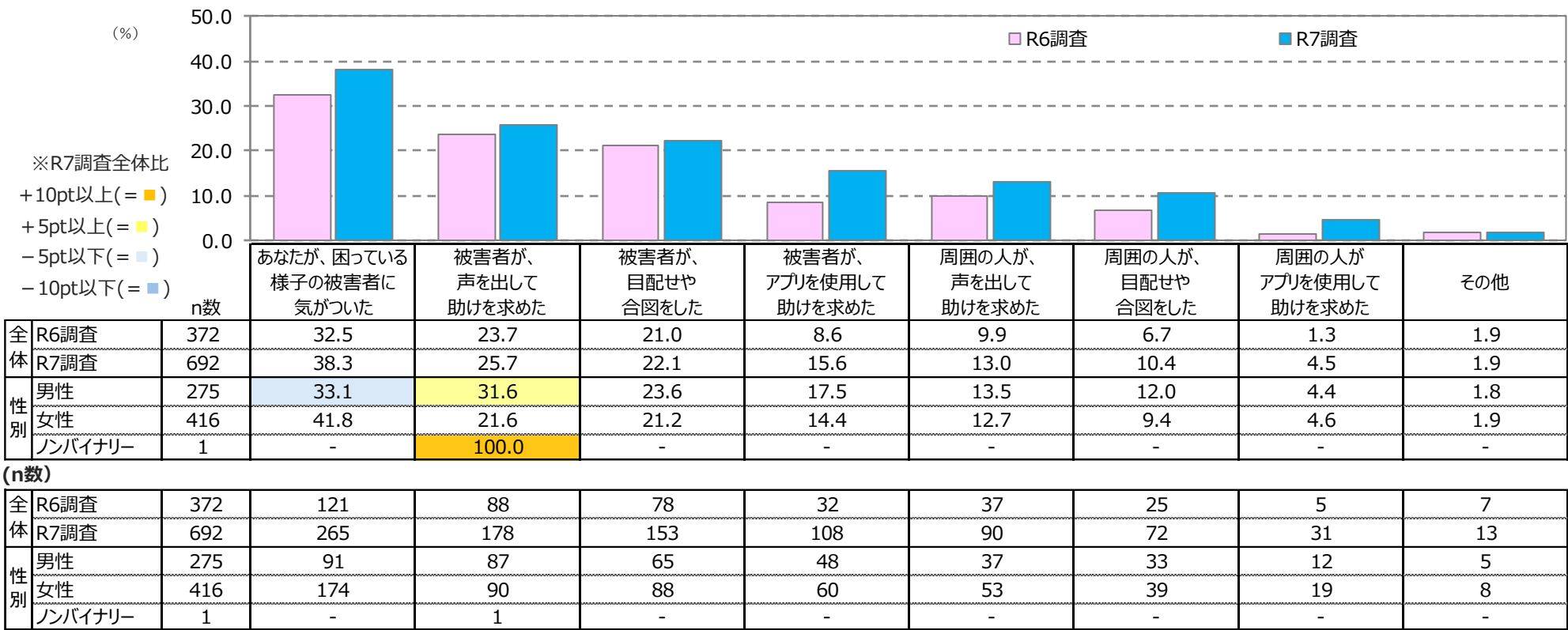


Q36. 目撃した痴漢被害の内容についてお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑧ Q37.被害に気づいたきっかけ(MA)：電車内

- 電車内：「あなたが、困っている様子の被害者に気がついた」（38.3%）、「被害者が、声を出して助けを求めた」（25.7%）、「被害者が、目配せや合図をした」（22.1%）の順が多い。
- 男性で、「被害者が、声を出して助けを求めた」がやや多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

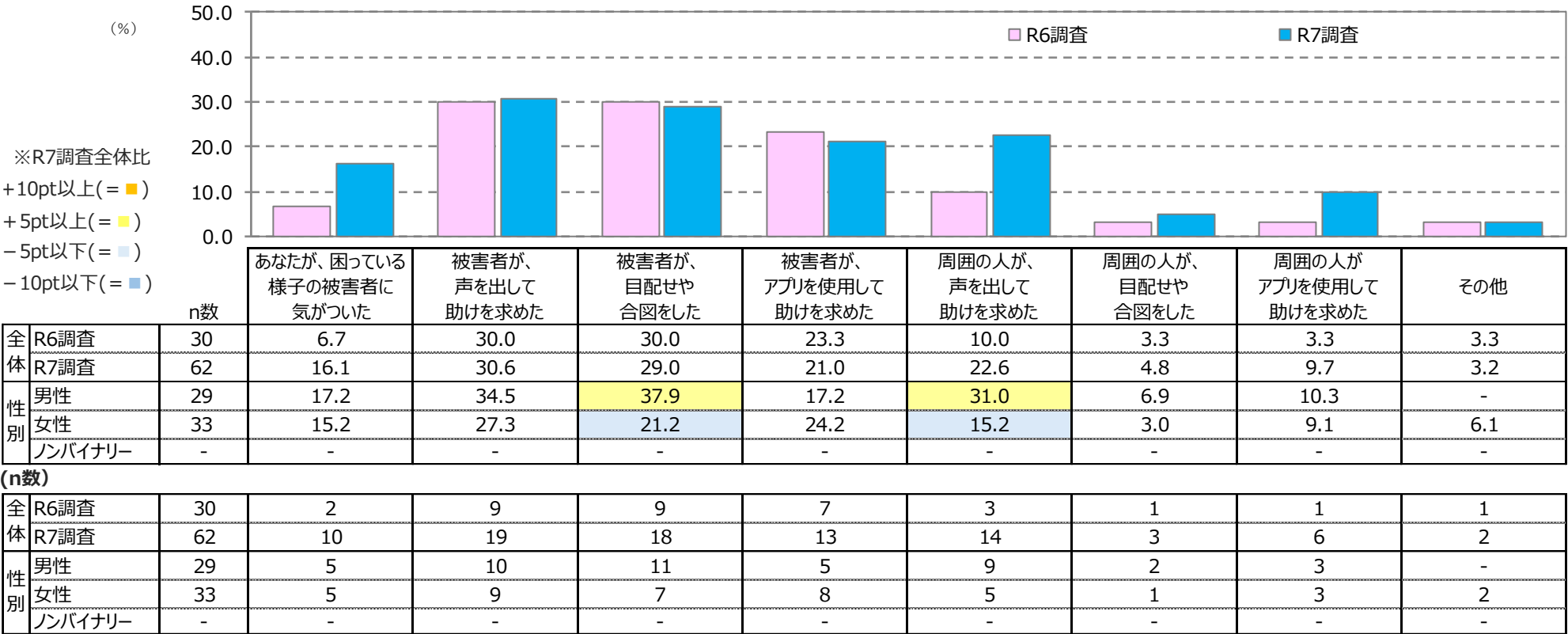


Q37. 痴漢被害に気が付いたきっかけをお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑨ Q37.被害に気づいたきっかけ(MA)：駅構内

■ 駅構内：「被害者が、声を出して助けを求めた」(30.6%)、「被害者が目配せや合図をした」(29.0%)、「周囲の人が、声を出して助けを求めた」(22.6%)、「被害者がアプリを使用して助けを求めた」(21.0%)の順で多く、昨年度と比べて「周囲の人が、声を出して助けを求めた」、「あなたが、困っている様子の被害者に気がついた」などの増加が目立つ。(R6調査は回答数が少ないことに留意が必要)

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



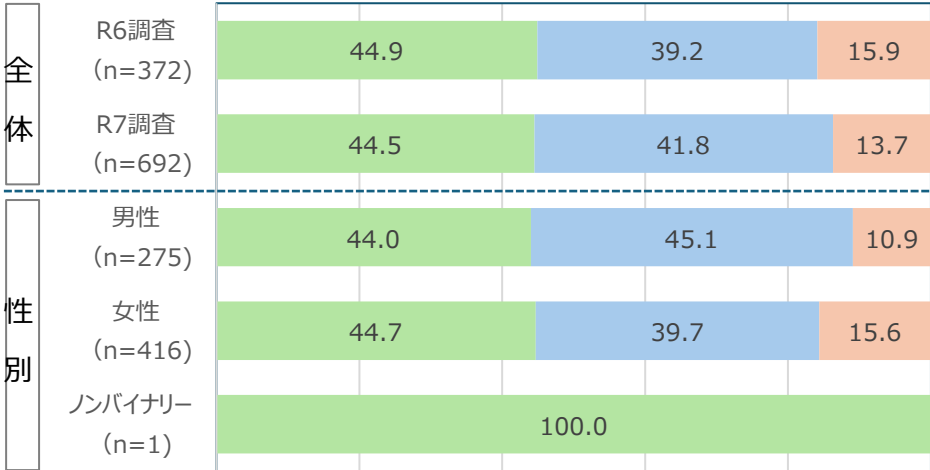
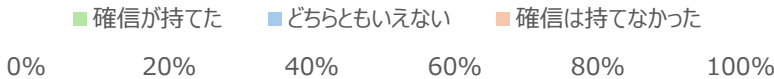
Q37. 痴漢被害に気が付いたきっかけをお答えください。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの状況⑩ Q38.被害に気付いた時、痴漢であることに確信を持てたか

- 電車内：「確信が持てた」（44.5%）、「どちらとも言えない」（41.8%）、「確信は持てなかった」（13.7%）となっている。
- 駅構内：「確信が持てた」（35.5%）、「どちらとも言えない」（40.3%）、「確信は持てなかった」（24.2%）となっている。

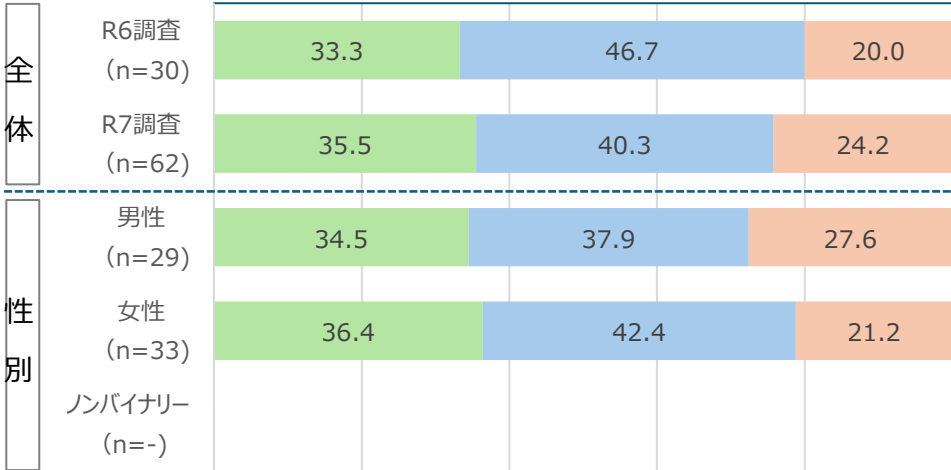
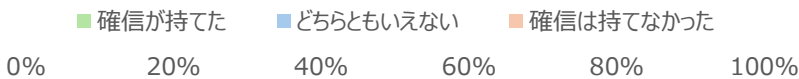
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



(n数)	総計	確信が持てた	どちらとも言えない	確信は持てなかった
R6調査	372	167	146	59
R7調査	692	308	289	95
男性	275	121	124	30
女性	416	186	165	65
ノンバイナリー	1	1	-	-

【駅構内】



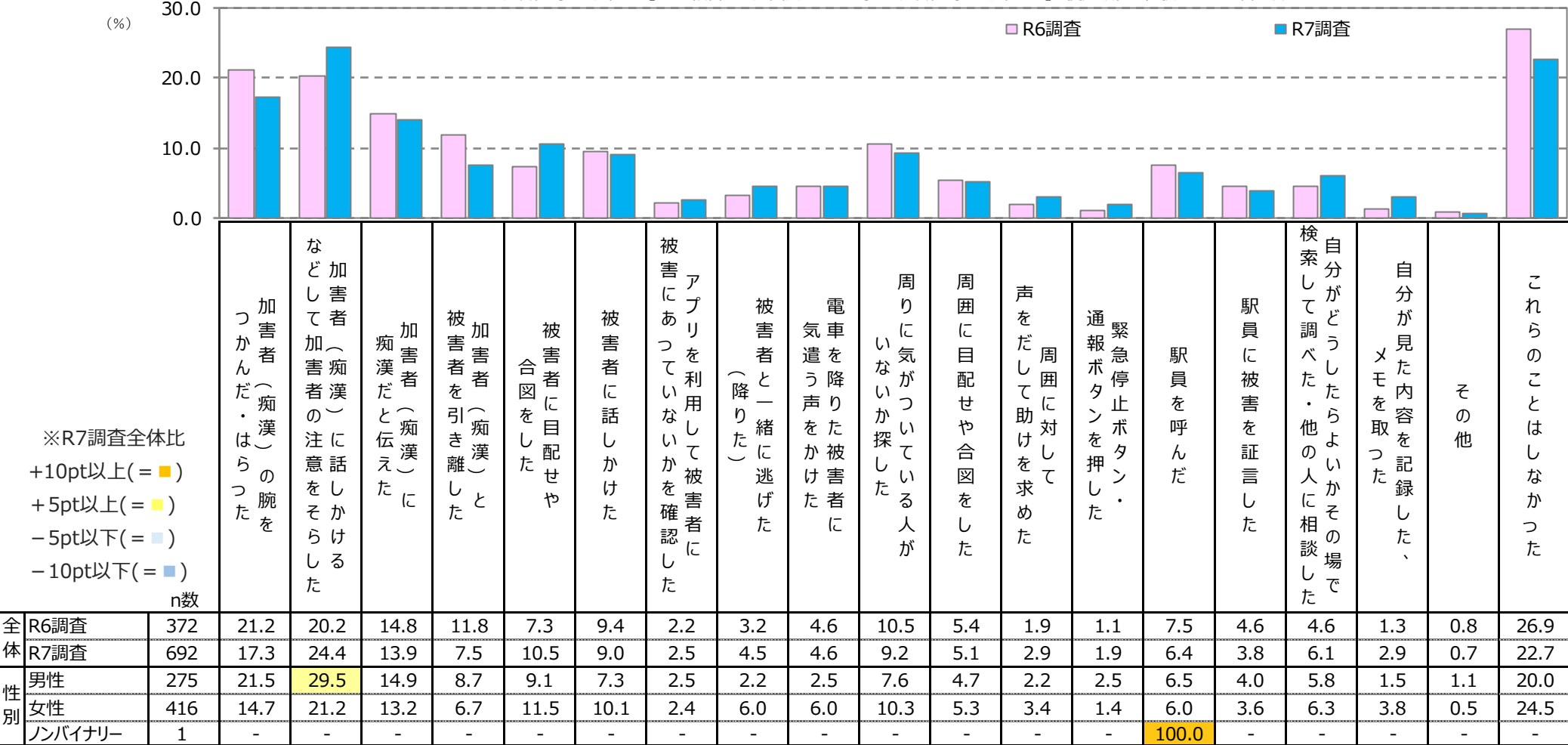
(n数)	総計	確信が持てた	どちらとも言えない	確信は持てなかった
R6調査	30	10	14	6
R7調査	62	22	25	15
男性	29	10	11	8
女性	33	12	14	7
ノンバイナリー	-	-	-	-

Q38. 痴漢被害に気が付いたとき、それが痴漢であることにどの程度確信を持てたかお答えください。

# 痴漢目撃・居合わせの対応① Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動(MA)：電車内①

- 電車内：「これらのことはしなかった」は、22.7%となり、昨年度調査と比べて何らかの行動を取る状況が増加している。
- 取られた行動では、「加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者（痴漢）の注意をそらした」（24.4%）、「加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった」（17.3%）、「加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた」（13.9%）の順で多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q39. 痴漢を目撃した/居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応① Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動(MA)：電車内②(n数)

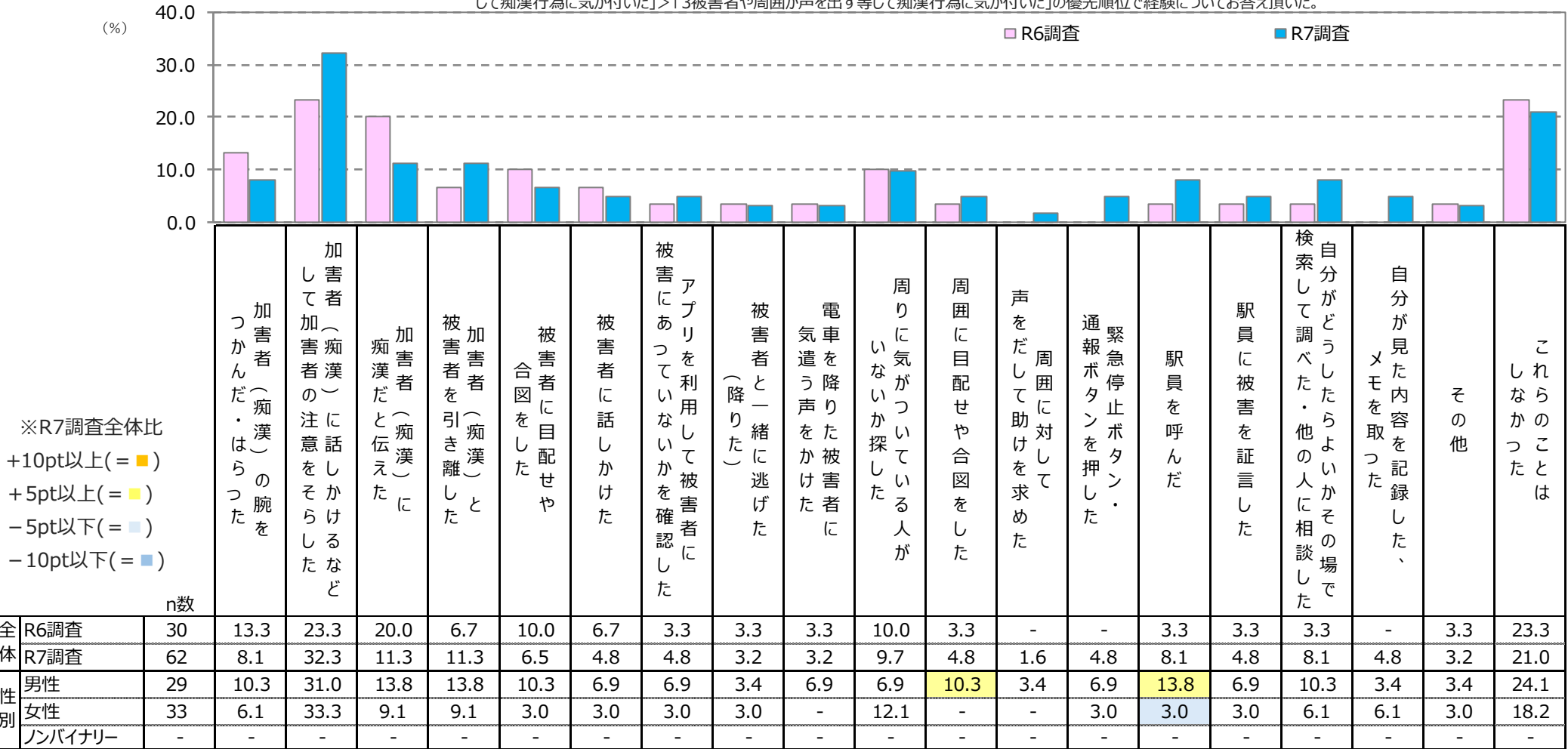
n数			加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者の注意をそらした	加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	加害者（痴漢）と被害者を引き離れた	被害者に目配せや合図をした	被害者に話しかけた	アプリを利用して被害者に被害にあっていないかを確認した	被害者と一緒に逃げた（降りた）	電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	周りに気がついている人がいないか探した	周囲に目配せや合図をした	周囲に目配せや合図をした	声をだして助けを求めた	緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	駅員を呼んだ	駅員に被害を証言した	自分が見た内容を記録した、メモを取った	自分がどうしたらよいかその場で検索して調べた・他の人に相談した	その他	これらのことはしなかった
全体	R6調査	372	79	75	55	44	27	35	8	12	17	39	20	7	4	28	17	17	5	3	100	
	R7調査	692	120	169	96	52	73	62	17	31	32	64	35	20	13	44	26	42	20	5	157	
性別	男性	275	59	81	41	24	25	20	7	6	7	21	13	6	7	18	11	16	4	3	55	
	女性	416	61	88	55	28	48	42	10	25	25	43	22	14	6	25	15	26	16	2	102	
	ノンバイナリー	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	

Q39. 痴漢を目撃した/居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。（いくつでも）

# 痴漢目撃・居合わせの対応② Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動(MA)：駅構内①

- 駅構内：「これらのことはしなかった」は、21.0%となり、昨年度調査と比べて何らかの行動を取る状況がやや増加している。
- 取られた行動では、「加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者の注意をそらした」（32.3%）、「加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた」/「加害者（痴漢）と被害者を引き離した」（ともに11.3%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q39. 痴漢を目撃した/居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応② Q39.被害を目撃/居合わせたとき取った行動(MA)：駅構内②(n数)

n数			加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者の注意をそらした	加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	加害者（痴漢）と被害者を引き離れた	被害者（痴漢）に合図をした	被害者に話しかけた	被害者を利用して被害者に被害にあっていないかを確認した	被害者と一緒に逃げた（降りた）	電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	周りに気がついていないか探した	周囲に目配せや合図をした	声をだして助けを求めた	緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	駅員を呼んだ	駅員に被害を証言した	自分が見た内容を記録した、メモを取った	自分がどうしたらよいかその場で検索して調べた・他の人に相談した	その他	これらのことはしなかった
全体	R6調査	30	4	7	6	2	3	2	1	1	1	3	1	-	-	1	1	1	-	1	7
	R7調査	62	5	20	7	7	4	3	3	2	2	6	3	1	3	5	3	5	3	2	13
性別	男性	29	3	9	4	4	3	2	2	1	2	2	3	1	2	4	2	3	1	1	7
	女性	33	2	11	3	3	1	1	1	1	-	4	-	-	1	1	1	2	2	1	6
	バイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q39. 痴漢を目撃した/居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。（いくつでも）

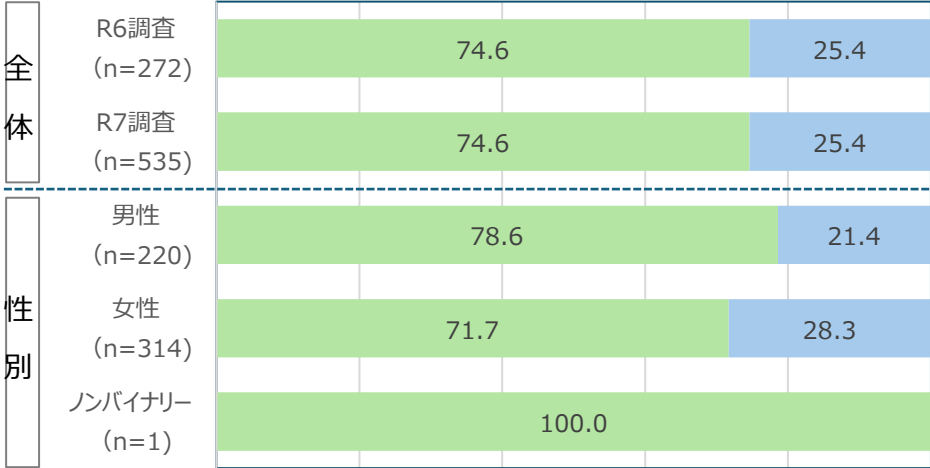
痴漢目撃・居合わせの対応③ Q40.行動により痴漢が止まったか

- 電車内：「止まった」（74.6%）、「止まらなかった」（25.4%）となっている。
- 駅構内：「止まった」（69.4%）、「止まらなかった」（30.6%）となっており、昨年度調査と比べて「止まった」が増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

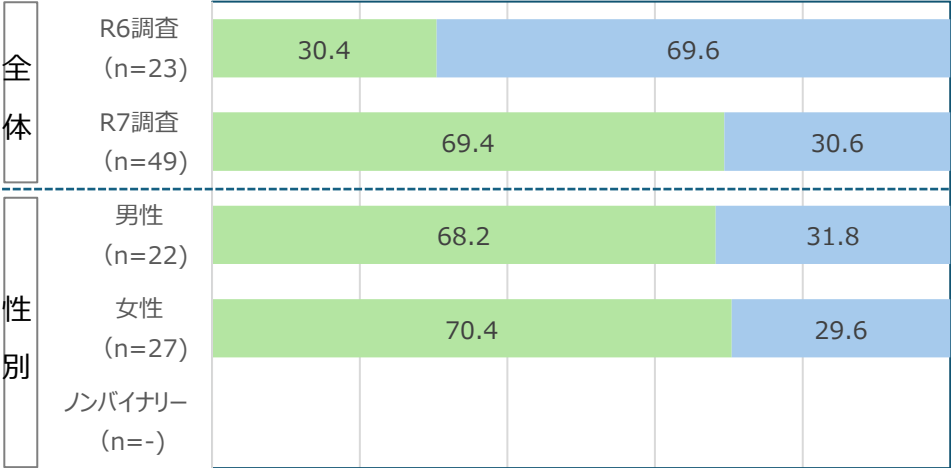
Q39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ

【電車内】



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	272	203	69
R7調査	535	399	136
男性	220	173	47
女性	314	225	89
ノンバイナリー	1	1	-

【駅構内】



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	23	7	16
R7調査	49	34	15
男性	22	15	7
女性	27	19	8
ノンバイナリー	-	-	-

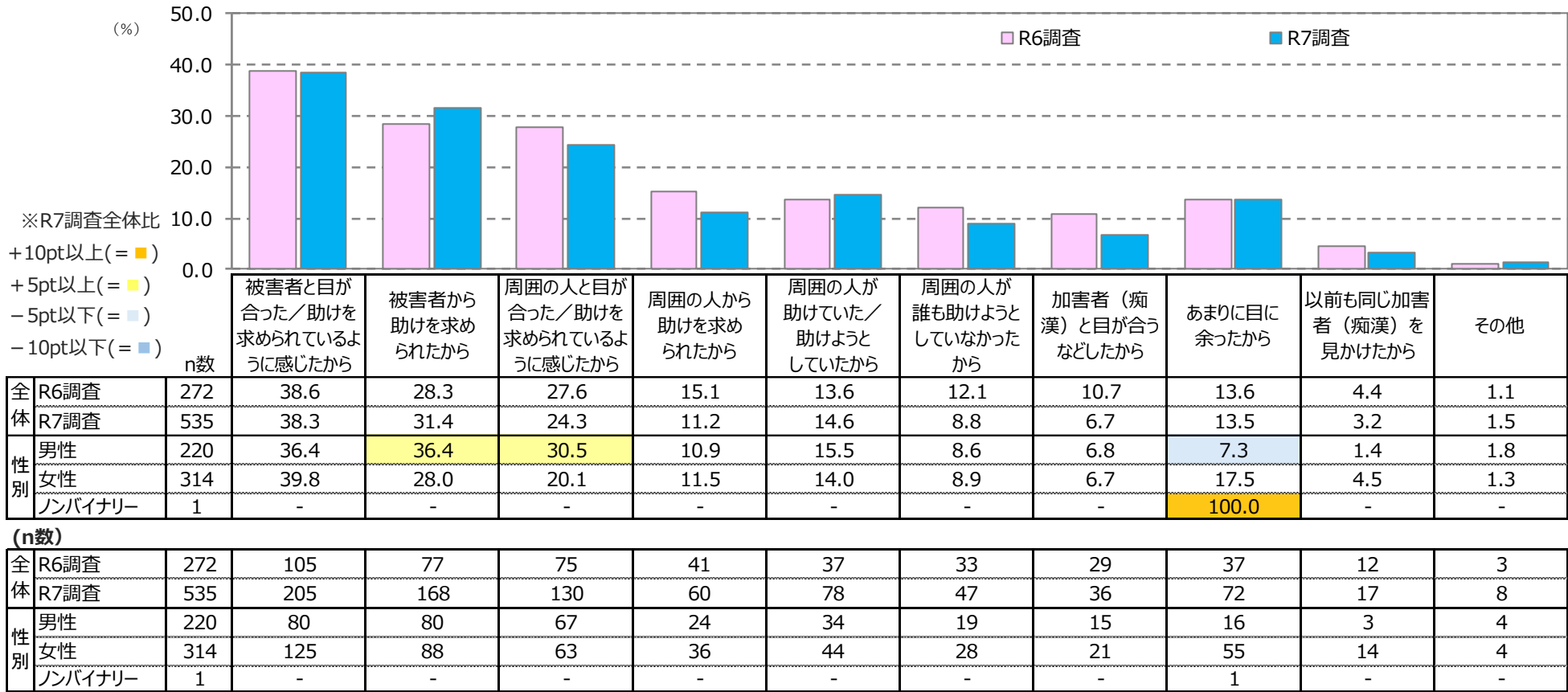
Q40. 何かしらの行動をしたときにその痴漢が止まったかお答えください。

痴漢目撃・居合わせの対応④ Q41.行動をとった理由(MA)：電車内

- 電車内：「被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから」（38.3%）、「被害者から助けを求められたから」（31.4%）、「周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから」（24.3%）の順が多い。
- 男性で、「被害者から助けを求められたから」、「周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから」がやや多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ



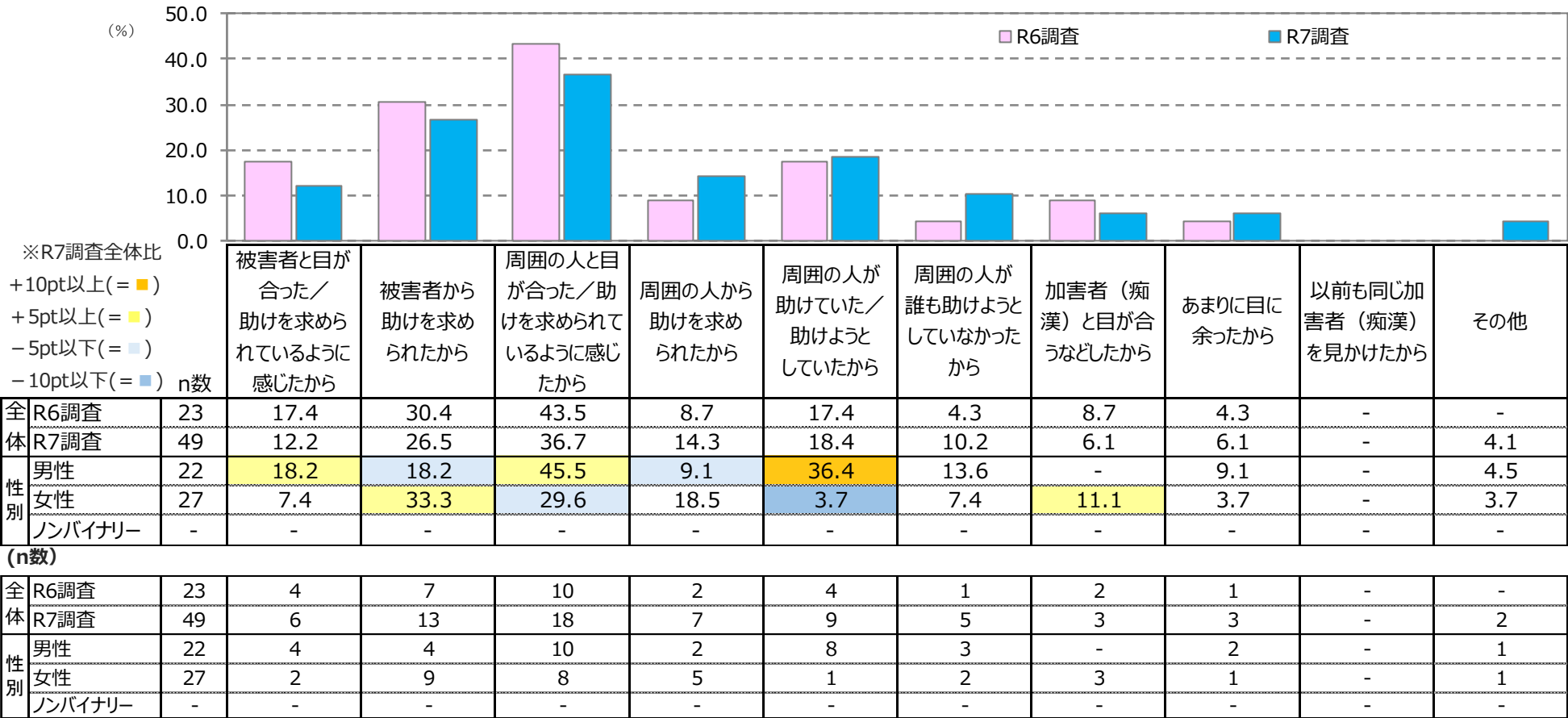
Q41. 何かしらの行動をした理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応⑤ Q41.行動をとった理由(MA)：駅構内

■ 駅構内：「周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから」（36.7%）、「被害者から助けを求められたから」（26.5%）、「周囲の人が助けていた/助けようとしていたから」（18.4%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ



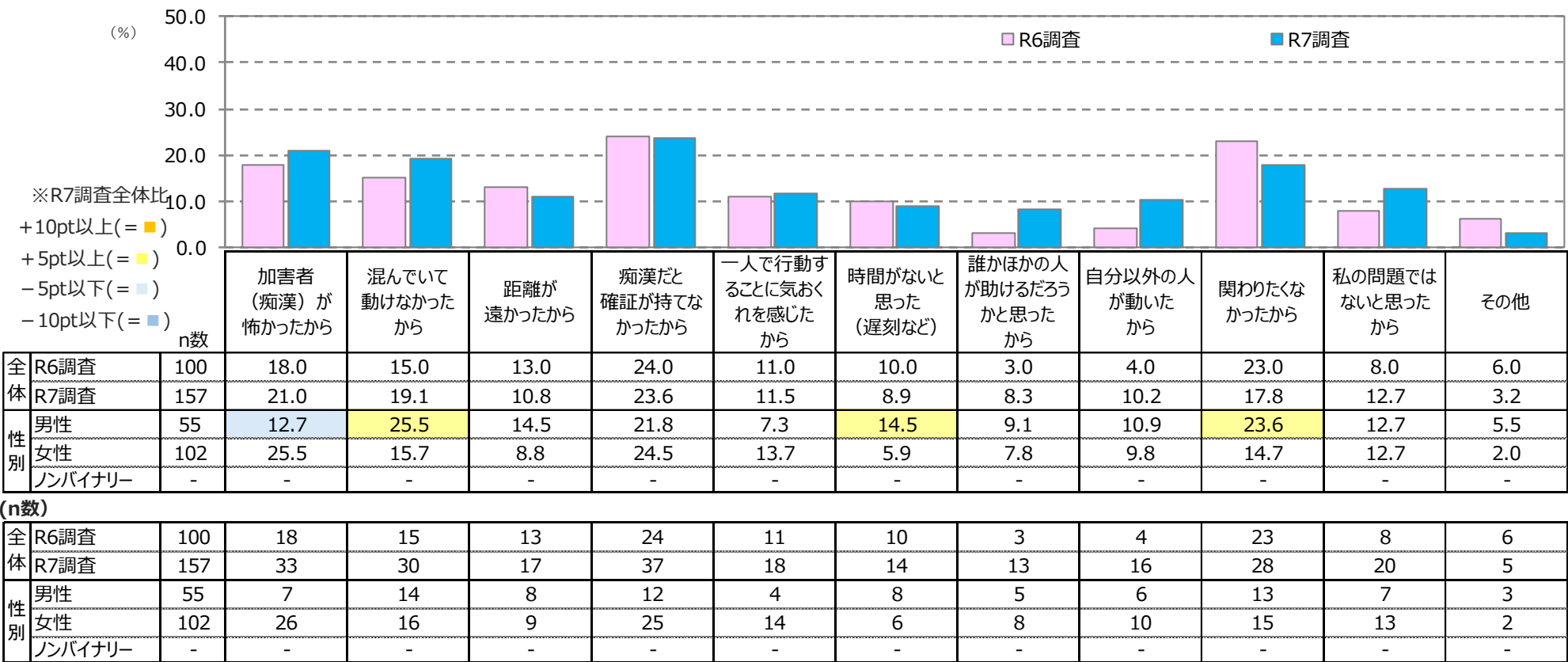
Q41. 何かしらの行動をした理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応⑥ Q42.何らかの行動をしなかった/出来なかった理由(MA)：電車内

- 電車内：「痴漢だと確証を持てなかったから」（23.6%）、「加害者（痴漢）が怖かったから」（21.0%）、「混んでいて動けなかったから」（19.1%）、「関わりたくなかったから」（17.8%）の順が多い。
- 男性で、「混んでいて動けなかったから」、「時間がないと思った（遅刻など）」、「関わりたくなかったから」がやや多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方のみ

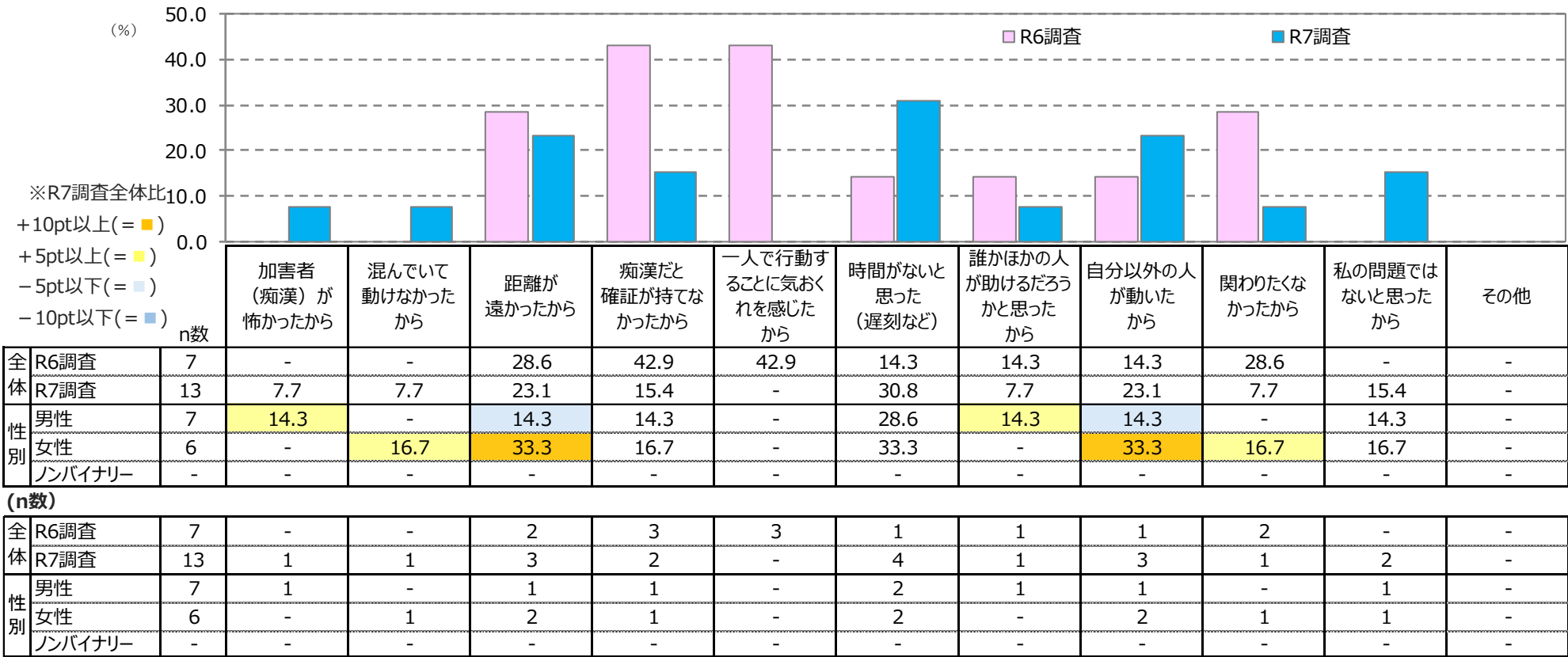


Q42. 痴漢を目撃した/居合わせた際に何かしらの行動をしなかった/できなかった理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応⑦ Q42.何らかの行動をしなかった/出来なかった理由(MA)：駅構内

■ 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「時間がないと思った（遅刻など）」（30.8%）、「距離が遠かったから」/「自分以外の人が動いたから」（ともに23.1%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。  
Q39で「15 これらのことはしなかった」と回答した方のみ

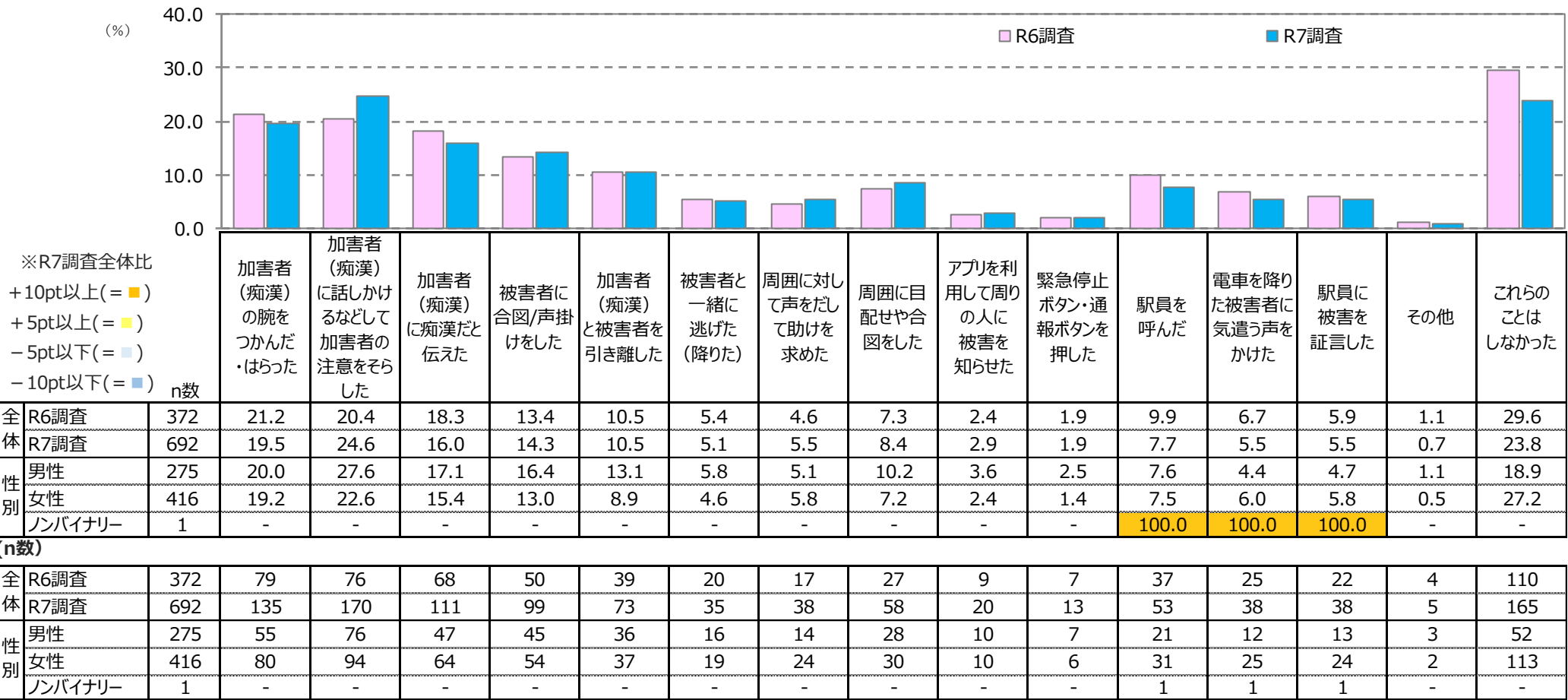


Q42. 痴漢を目撃した/居合わせた際に何かしらの行動をしなかった/できなかった理由をお答えください。（いくつでも）

痴漢目撃・居合わせの対応⑧ Q43.周囲にいた人がとった行動(MA)：電車内

- 電車内：「これらのことはしなかった」は、23.8%となり、昨年度調査と比べて何らかの行動を取る状況が増加している。
- 取られた対応では、「加害者（痴漢）に話かけるなどして加害者の注意をそらした」（24.6%）、「加害者の腕をつかんだ・はらった」（19.5%）、「加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた」（16.0%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

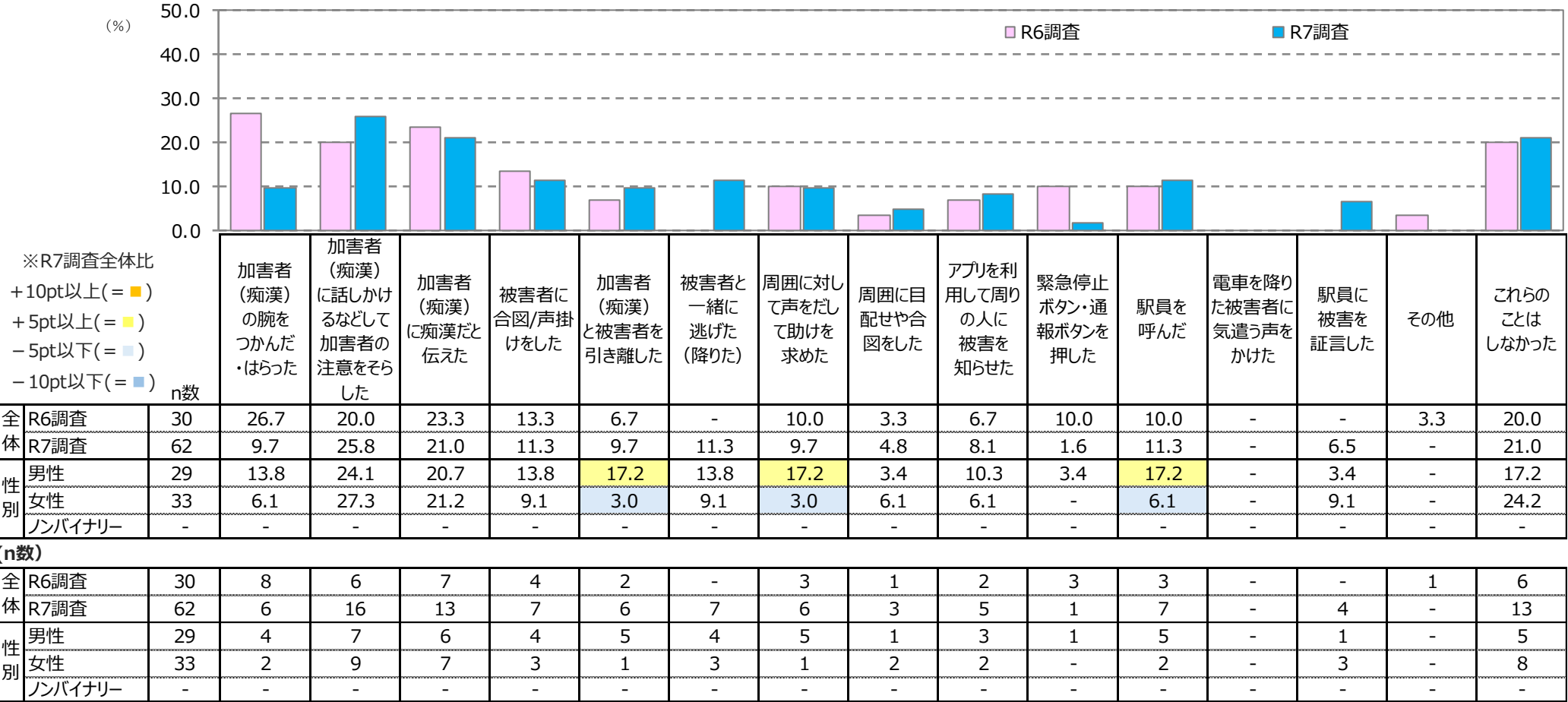


Q43. 目撃した/居合わせたときに周囲にいた人が次のようなことをしましたか。(いくつでも)

痴漢目撃・居合わせの対応⑨ Q43.周囲にいた人がとった行動(MA)：駅構内

- 駅構内：「これらのことはしなかった」は21.0%であった。
- 取られた対応では、「加害者（痴漢）に話かけるなどして加害者の注意をそらした」（25.8%）、「加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた」（21.0%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



Q43. 目撃した/居合わせたときに周囲にいた人が次のようなことをしましたか。(いくつでも)

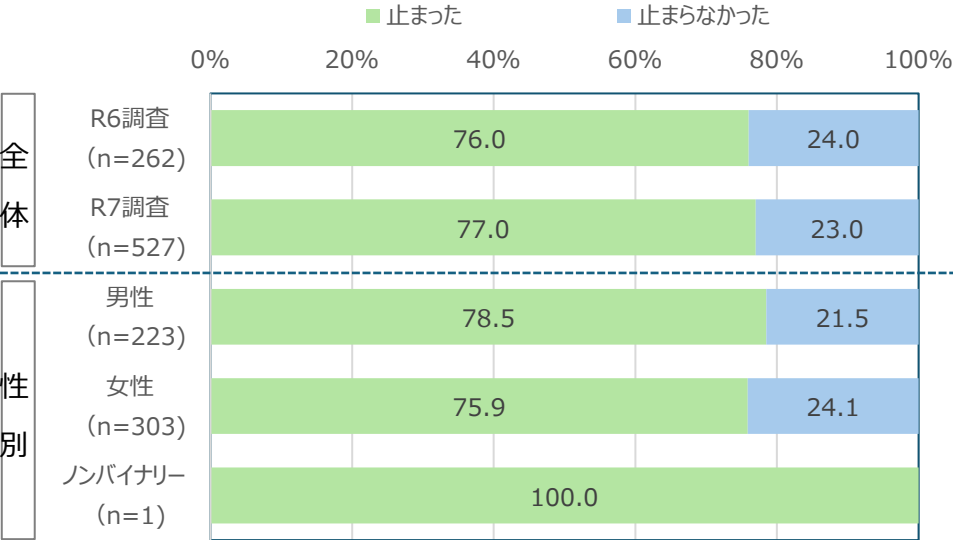
痴漢目撃・居合わせの対応⑩ Q44.周囲の人の行動で痴漢が止まったか

- 電車内：「止まった」（77.0%）、「止まらなかった」（23.0%）となっており、昨年度調査とほぼ同様の結果となった。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「止まった」が73.5%となり、昨年度調査と比べて増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

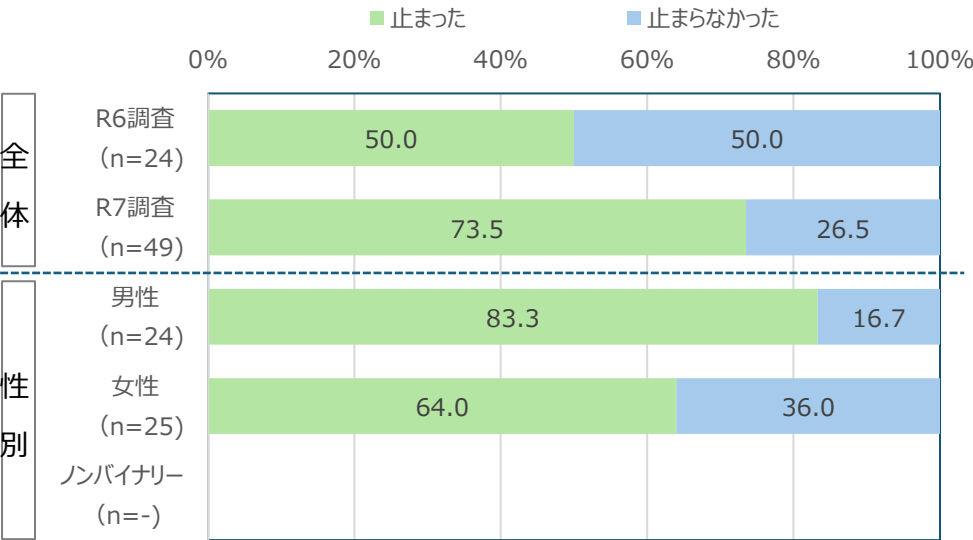
Q43で「15 これらのことはしなかった」と回答した方以外のみ

【電車内】



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	262	199	63
R7調査	527	406	121
男性	223	175	48
女性	303	230	73
ノンバイナリー	1	1	-

【駅構内】



(n数)	総計	止まった	止まらなかった
R6調査	24	12	12
R7調査	49	36	13
男性	24	20	4
女性	25	16	9
ノンバイナリー	-	-	-

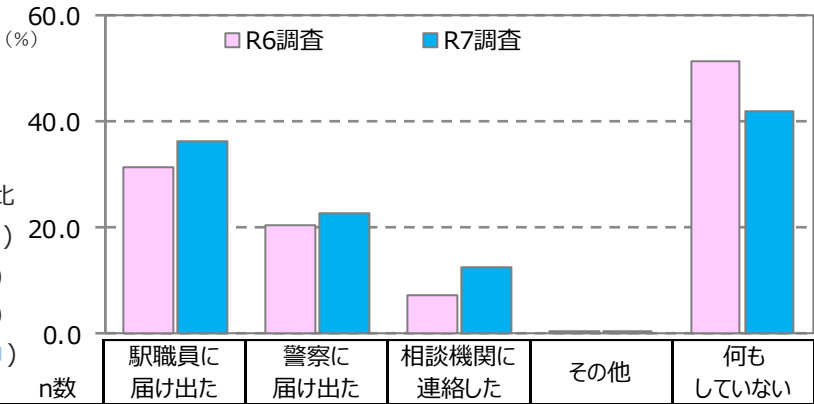
Q44. 周囲にいた人が行動したことによって、痴漢が止まったかお答えください。

届け出・連絡状況① Q45.目撃/居合わせた後の届け出、連絡状況(MA)

- 電車内：「何もしていない」（42.1%）が最多。届け出・連絡した場合は、「駅職員に届け出た」（36.3%）、「警察に届け出た」（22.8%）の順で多く、昨年度調査と比べて、何らかの届け出・連絡比率は増加している。
  - 駅構内：「何もしていない」は35.5%となり、昨年度調査と比べて、何らかの届け出・連絡比率は増加している。（R6調査は回答数が少ないことに留意が必要）
- 届け出・連絡した場合は、「警察に届け出た」（37.1%）、「駅職員に届け出た」（21.0%）などとなっている。

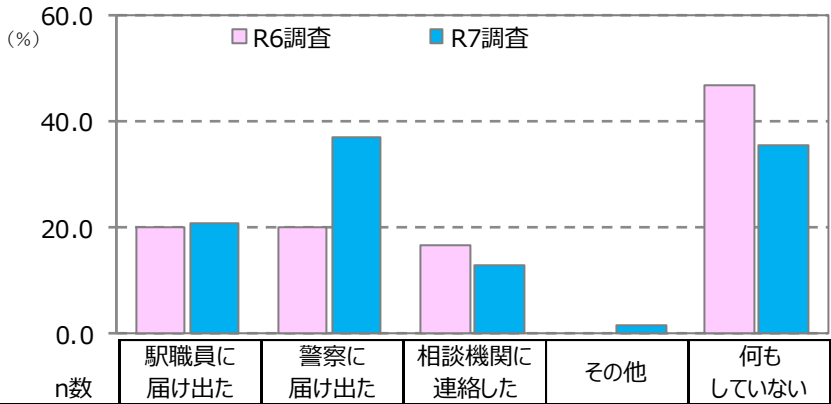
※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



※R7調査全体比  
+10pt以上(= ■)  
+5pt以上(= ■)  
-5pt以下(= ■)  
-10pt以下(= ■)

【駅構内】



全体	R6調査	372	31.5	20.4	7.5	0.5	51.3
	R7調査	692	36.3	22.8	12.6	0.1	42.1
性別	男性	275	37.8	24.7	15.6	0.4	37.1
	女性	416	35.1	21.6	10.6	-	45.4
	ノンバイナリー	1	100.0	-	-	-	-

(n数)							
全体	R6調査	372	117	76	28	2	191
	R7調査	692	251	158	87	1	291
性別	男性	275	104	68	43	1	102
	女性	416	146	90	44	-	189
	ノンバイナリー	1	1	-	-	-	-

全体	R6調査	30	20.0	20.0	16.7	-	46.7
	R7調査	62	21.0	37.1	12.9	1.6	35.5
性別	男性	29	20.7	48.3	6.9	3.4	31.0
	女性	33	21.2	27.3	18.2	-	39.4
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-

全体	R6調査	30	6	6	5	-	14
	R7調査	62	13	23	8	1	22
性別	男性	29	6	14	2	1	9
	女性	33	7	9	6	-	13
	ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-

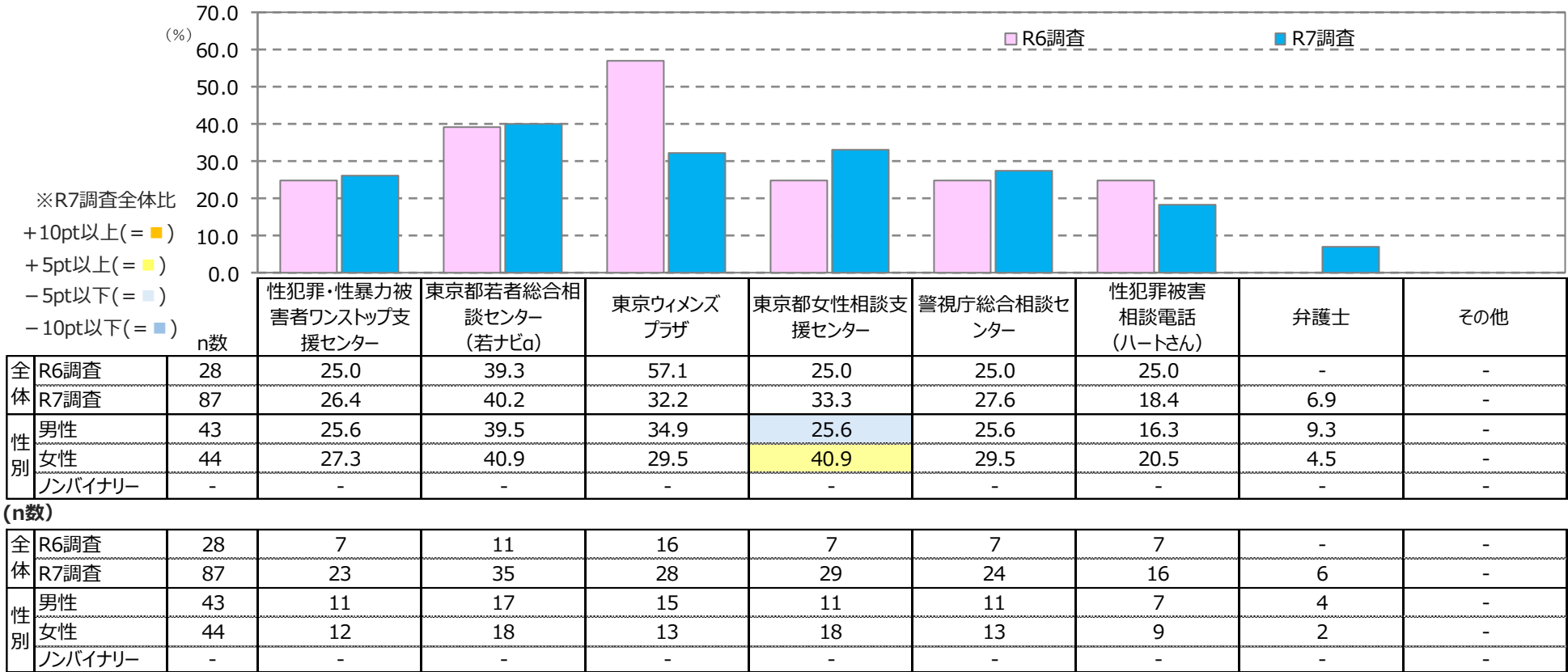
Q45. 目撃した/居合わせた後にあなたが公的機関などに届け出・連絡をしたかお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況② Q46.連絡した機関名(MA)：電車内

■「東京都若者総合相談センター（若ナビα）」（40.2%）、「東京都女性相談支援センター」（33.3%）、「東京ウィメンズプラザ」（32.2%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q45で「3 相談機関に連絡した」と回答した方のみ



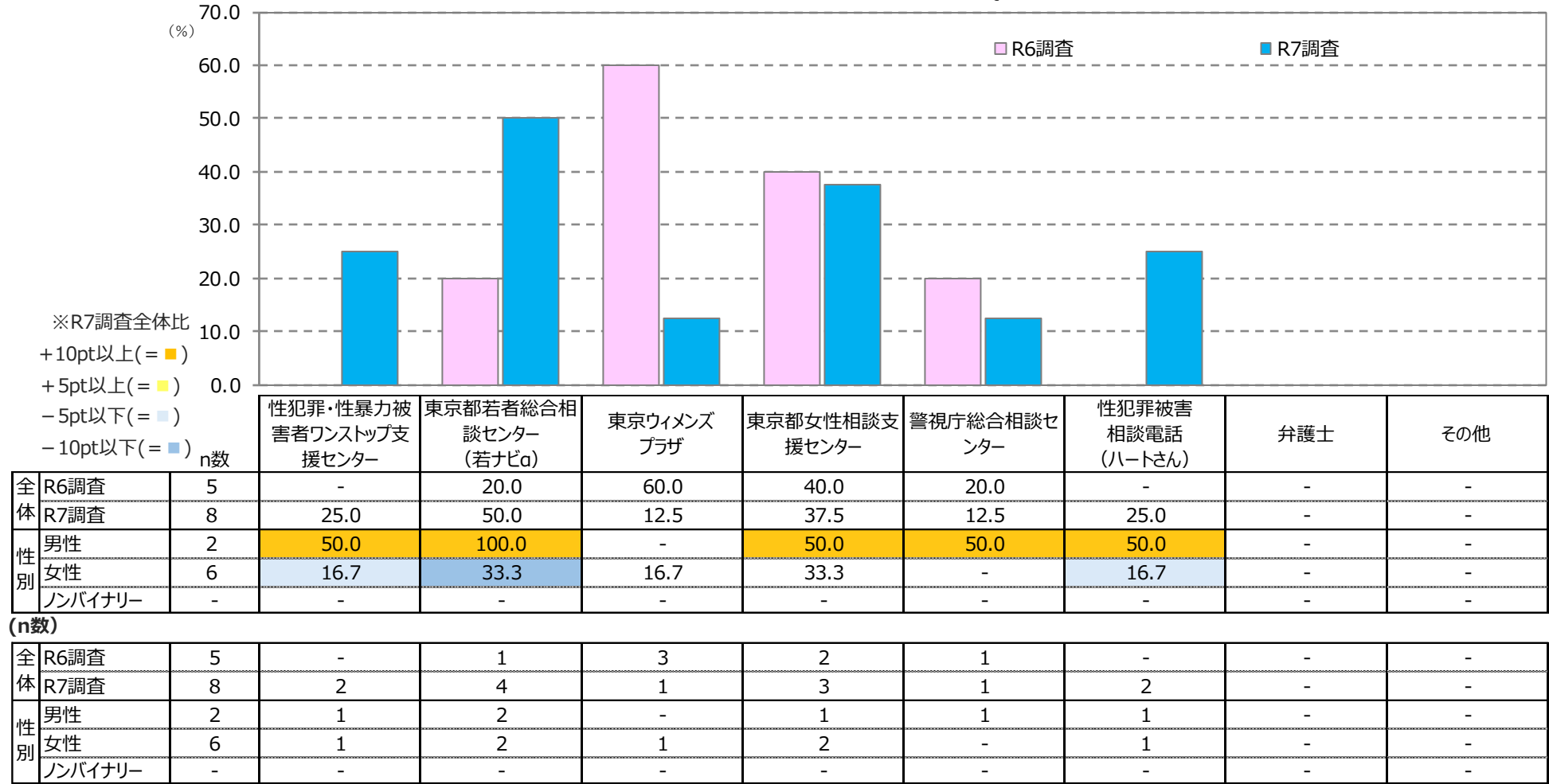
Q46. 連絡した機関名についてお答えください。（いくつでも）

届け出・連絡状況③ Q46.連絡した機関名(MA)：駅構内

■ 回答数が少ないことに留意が必要だが、「東京都若者総合相談センター（若ナビα）」（50.0%）、「東京都女性相談支援センター」（37.5%）が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q45で「3 相談機関に連絡した」と回答した方のみ

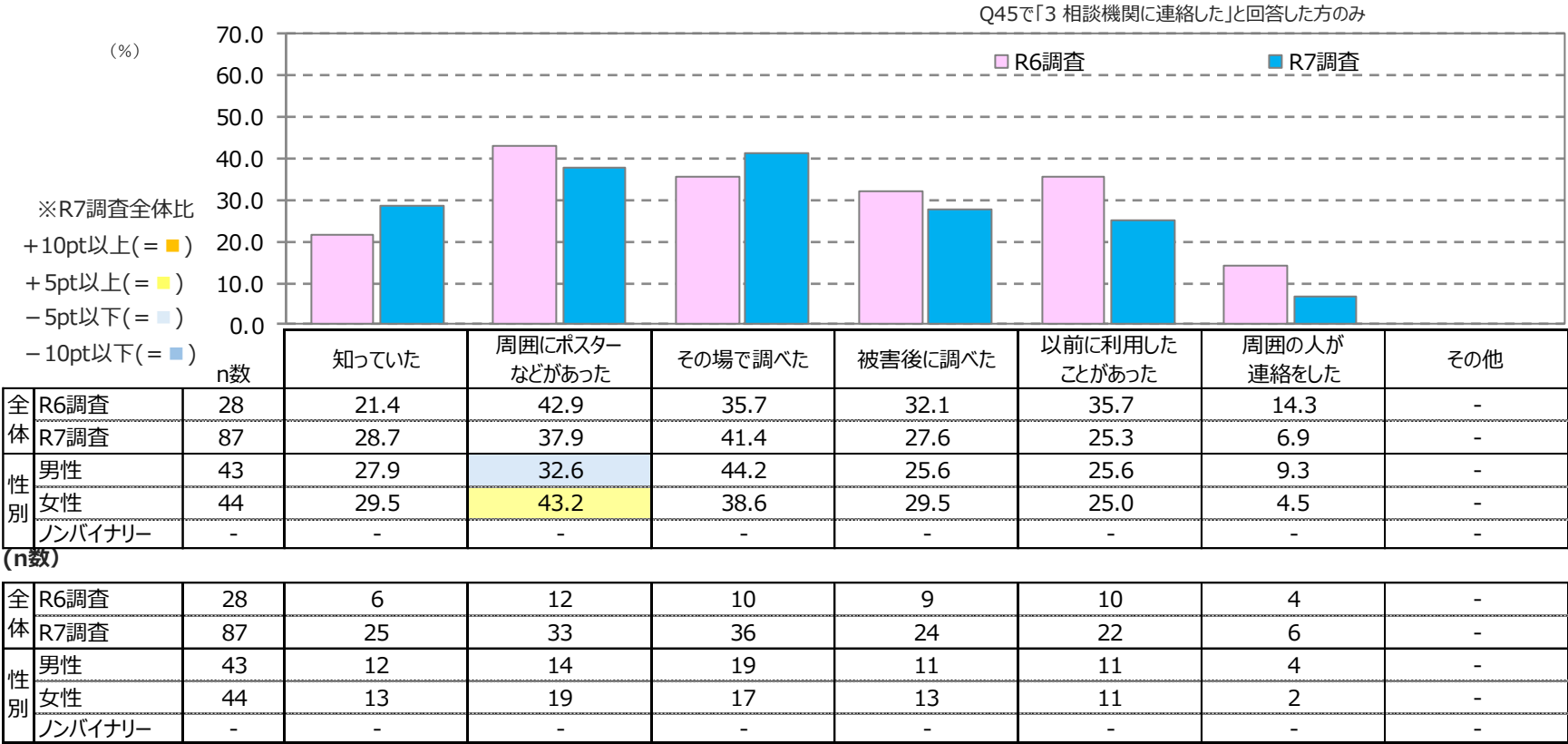


Q46. 連絡した機関名についてお答えください。（いくつでも）

届け出・連絡状況④ Q47.その機関に連絡した理由(MA)：電車内

■ 電車内：「その場で調べた」（41.4%）、「周囲にポスターなどがあった」（37.9%）、「知っていた」（28.7%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。



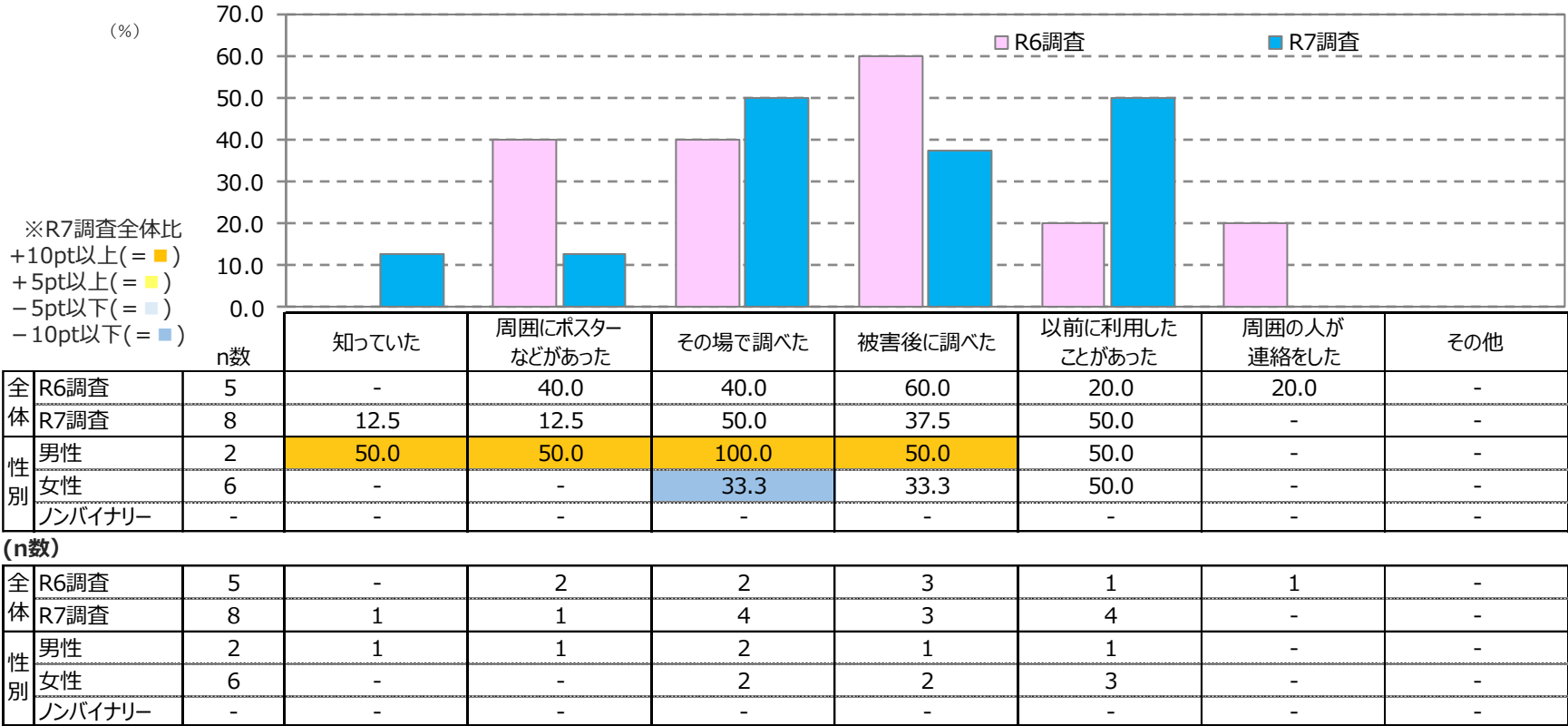
Q47. なぜその機関に連絡したのかお答えください。（いくつでも）

届け出・連絡状況⑤ Q47.その機関に連絡した理由(MA)：駅構内

- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「その場で調べた」/「以前に利用したことがあった」（ともに50.0%）、「被害後に調べた」（37.5%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q45で「3 相談機関に連絡した」と回答した方のみ

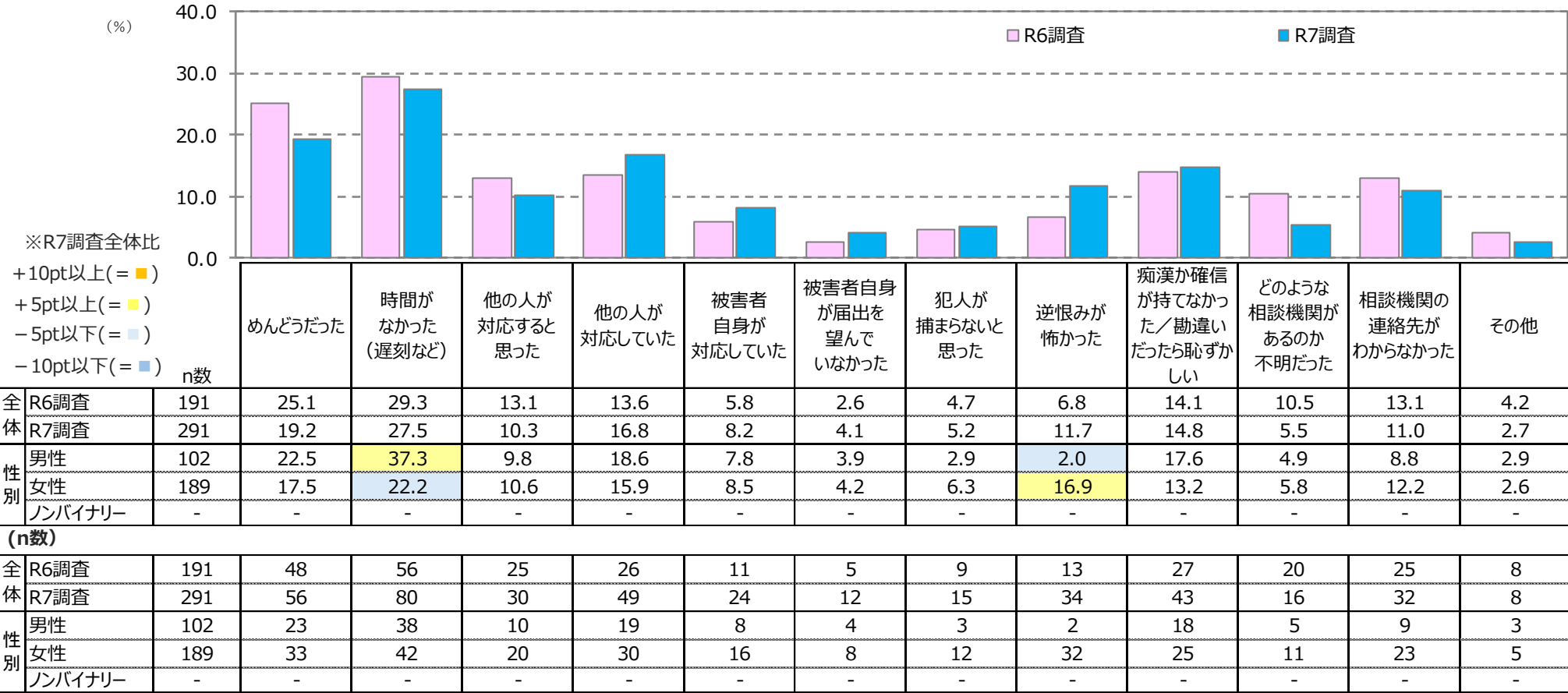


Q47. なぜその機関に連絡したのかお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況⑥ Q48.目撃/居合わせた直後に連絡しなかった理由(MA)：電車内

■ 電車内：「時間がなかった」(27.5%)、「めんどろだった」(19.2%)、「他の人が対応していた」(16.8%)、「痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい」(14.8%)の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。  
Q45で「5 何もしていない」と回答した方のみ



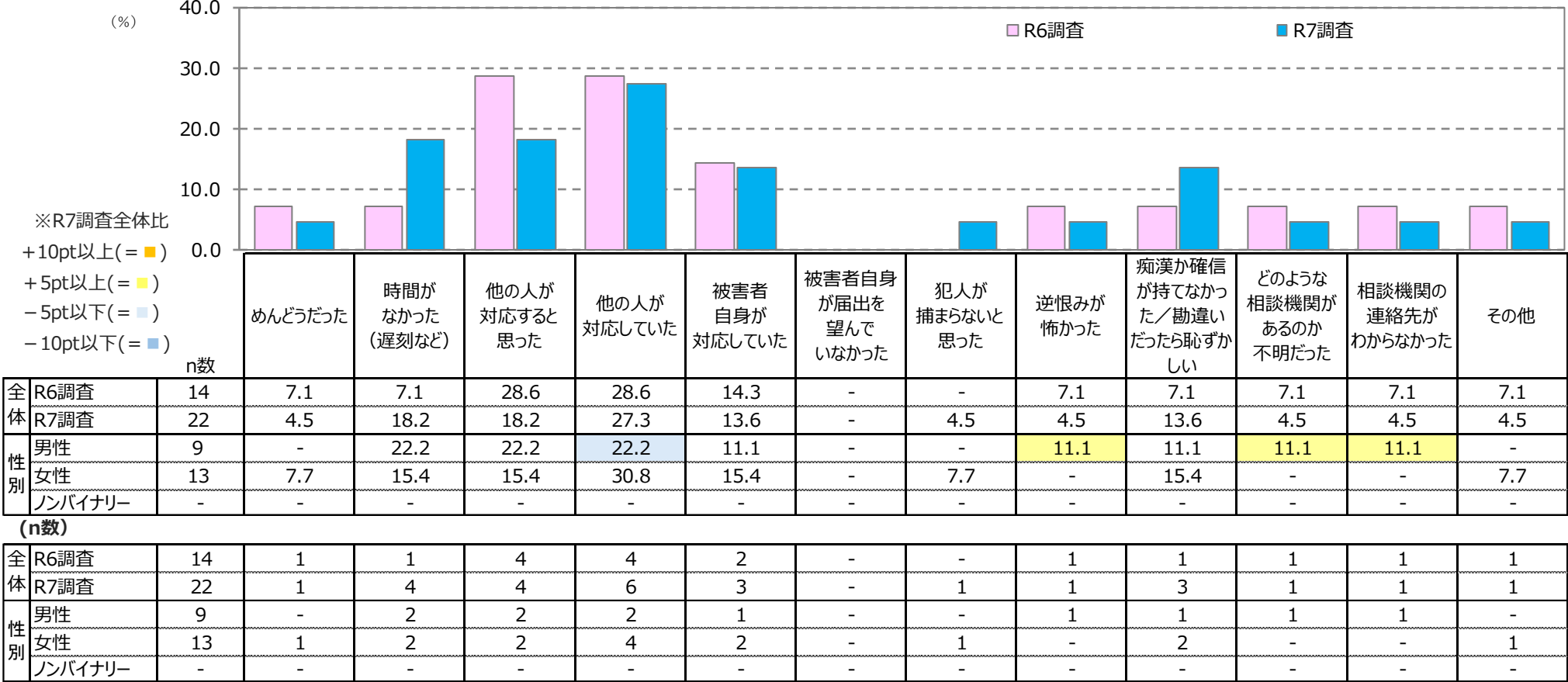
Q48. 目撃した/居合わせた直後に公的機関などに連絡をしなかった理由をお答えください。(いくつでも)

届け出・連絡状況⑦ Q48.目撃/居合わせた直後に連絡しなかった理由(MA)：駅構内

■ 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、「他の人が対応していた」（27.3%）、「時間がなかった」/「他の人が対応すると思った」（ともに18.2%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

Q45で「5 何もしていない」と回答した方のみ



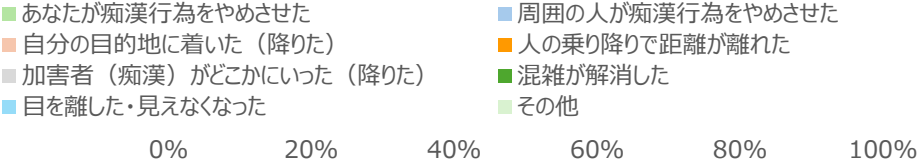
Q48. 目撃した/居合わせた直後に公的機関などに連絡をしなかった理由をお答えください。(いくつでも)

目撃/居合わせた痴漢被害の結果 Q49.目撃/居合わせた痴漢被害の結果

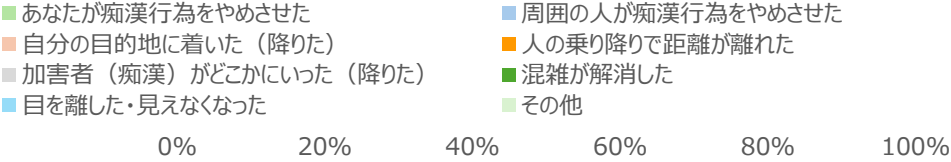
- 電車内：「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」（21.2%）、「自分の目的地に着いた（降りた）」（18.9%）、「あなたが痴漢行為をやめさせた」（12.3%）の順が多い。
- 駅構内：「周囲の人が痴漢行為をやめさせた」（29.0%）、「自分の目的地に着いた（降りた）」（24.2%）の順が多い。

※目撃・居合わせ経験が複数ある場合は、「電車内」>「駅構内」を最優先し、さらに「1痴漢行為を直接目撃した」>「2被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気が付いた」>「3被害者や周囲が声を出す等して痴漢行為に気が付いた」の優先順位で経験についてお答え頂いた。

【電車内】



【駅構内】



性別	全体	R6調査 (n=372)	13.4	21.8	14.0	10.8	12.4	5.1	7.8	14.0
		R7調査 (n=692)	12.3	21.2	18.9	12.1	10.8	4.2	8.7	11.0
	男性	(n=275)	10.9	25.8	20.7	11.3	10.2	3.3	8.0	9.5
	女性	(n=416)	13.2	18.0	17.8	12.7	11.3	4.8	9.1	12.0
	ノンバイナリー	(n=1)	100.0							

性別	全体	R6調査 (n=30)	3.3	16.7	10.0	30.0	13.3	23.3	3.3
		R7調査 (n=62)	6.5	29.0	24.2	11.3	6.5	11.3	11.3
	男性	(n=29)	6.9	34.5	24.1	3.4	3.4	13.8	13.8
	女性	(n=33)	6.1	24.2	24.2	18.2	9.1	9.1	9.1
	ノンバイナリー	(n=-)							

【電車内】

(n数)	総計	あなたが痴漢行為をやめさせた	周囲の人が痴漢行為をやめさせた	自分の目的地に着いた（降りた）	人の乗り降り距離が離れた	加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）	混雑が解消した	目を離した・見えなくなった	その他	覚えていない
R6調査	372	50	81	52	40	46	19	29	3	52
R7調査	692	85	147	131	84	75	29	60	5	76
男性	275	30	71	57	31	28	9	22	1	26
女性	416	55	75	74	53	47	20	38	4	50
ノンバイナリー	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-

【駅構内】

R6調査	30	1	5	3	9	4	-	7	-	1
R7調査	62	4	18	15	7	4	-	7	-	7
男性	29	2	10	7	1	1	-	4	-	4
女性	33	2	8	8	6	3	-	3	-	3
ノンバイナリー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

Q49. あなたが目撃した/居合わせた痴漢被害は最後どのような結果になりましたか。 ※2%未満のデータラベルは非表示

## V 共通設問

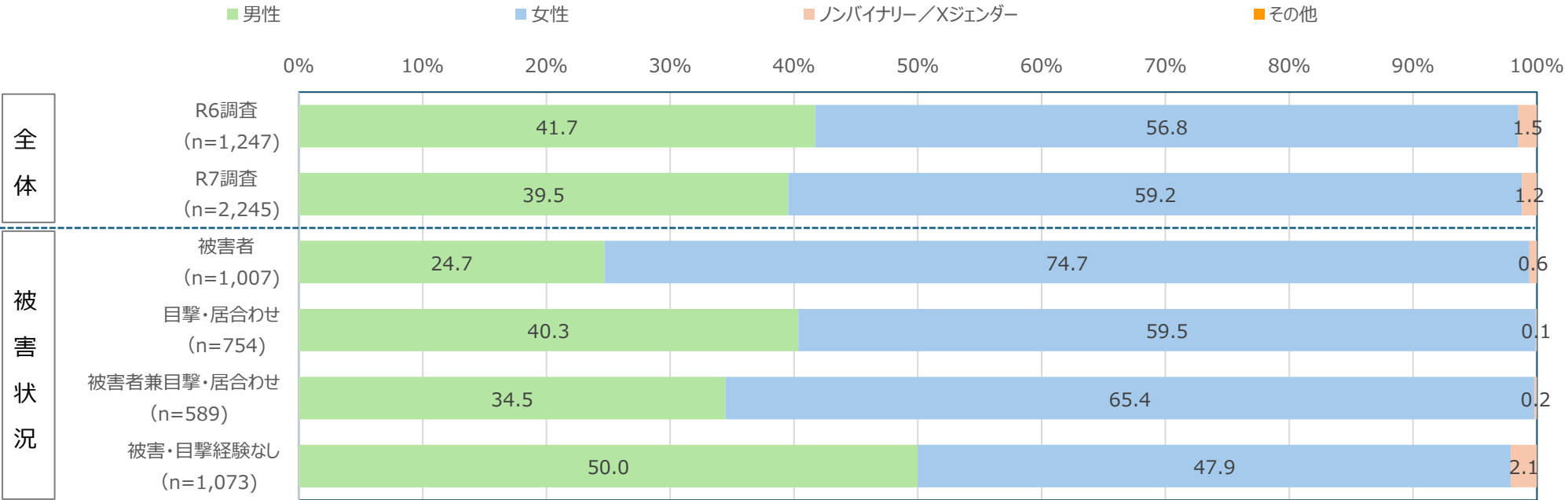
---

### 【回答者要件】

- ・ 被害者調査および居合わせ・目撃調査の対象者
- ・ 痴漢被害経験及び痴漢目撃経験無し  
（生涯で経験なし、16～69歳）

# 回答者属性① SC1.性別/性自認

- 本節「Ⅴ 共通設問」では、痴漢被害をなくするために公的機関等が行っている活動等に対する認知度等を調査項目としている。
- そのため、どのような方に施策が認知されている／されていないかを明らかにするため、本調査における回答者区分（被害者／目撃・居合わせ／被害者兼目撃・居合わせ／被害・目撃経験なし）を主軸に、クロス集計を実施した。
- 性別/性自認の構成は以下の通り。

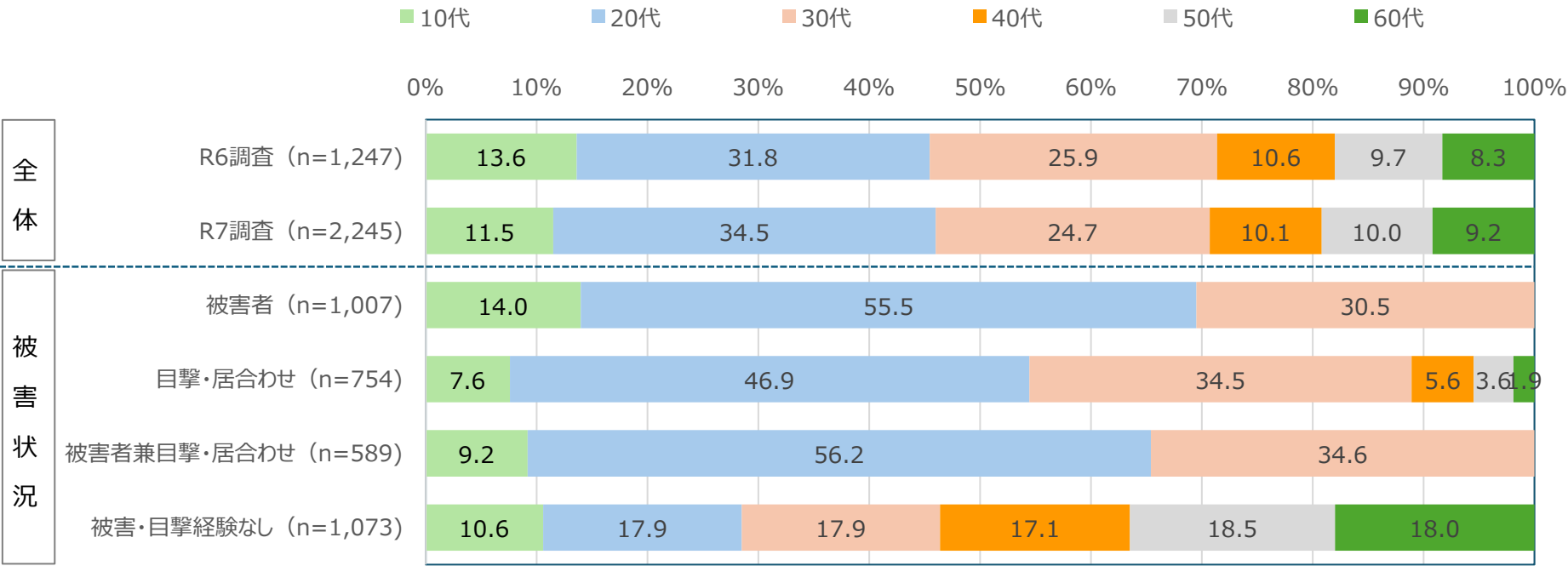


(n数)	総計	男性	女性	ノンバイナリー／Xジェンダー	その他
R6調査	1,247	520	708	19	-
R7調査	2,245	887	1,330	28	-
被害者	1007	249	752	6	-
目撃・居合わせ	754	304	449	1	-
被害者兼目撃・居合わせ	589	203	385	1	-
被害・目撃経験なし	1073	537	514	22	-

SC1. あなたの性別または性自認をお答えください。

# 回答者属性② SC2.年代

- 年代の構成比は以下の通り。
- 「40歳以上」はすべて目撃・居合わせ／被害・目撃経験なしであることに改めて留意されたい。

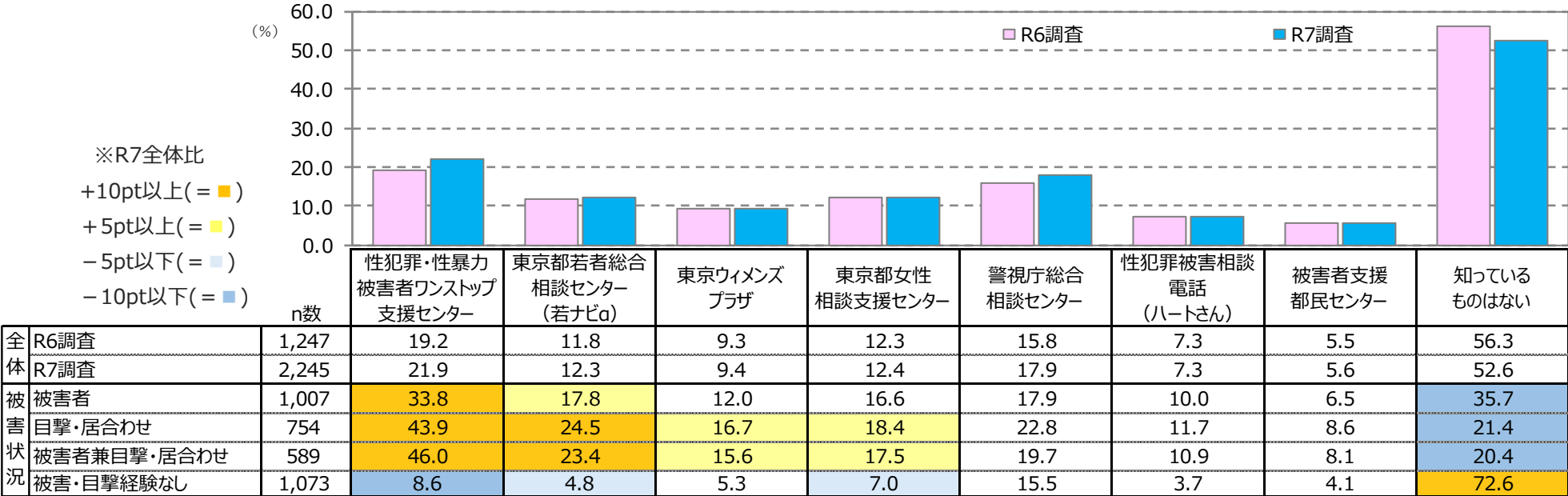


(n数)	総計	10代	20代	30代	40代	50代	60代
R6調査	1,247	170	397	323	132	121	104
R7調査	2,245	258	774	555	226	225	207
被害者	1007	141	559	307	-	-	-
目撃・居合わせ	754	57	354	260	42	27	14
被害者兼目撃・居合わせ	589	54	331	204	-	-	-
被害・目撃経験なし	1073	114	192	192	184	198	193

SC2. あなたの年齢をお答えください。

痴漢被害の相談機関① Q50.痴漢被害相談機関の認知状況(MA)

- 認知率は、「知っているものはない」が減少したものの、今年度調査でも半数以上を占めており、知っている機関では、「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」（21.9%）、「警視庁総合相談センター」（17.9%）、「東京都女性相談支援センター」（12.4%）の順に多い。
- 被害者、目撃・居合わせや被害者兼目撃・居合わせで「性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター」や「東京都若者総合相談センター（若ナビα）」が多い。
- 被害・目撃経験なしでは、「知っているものはない」が7割を超える。

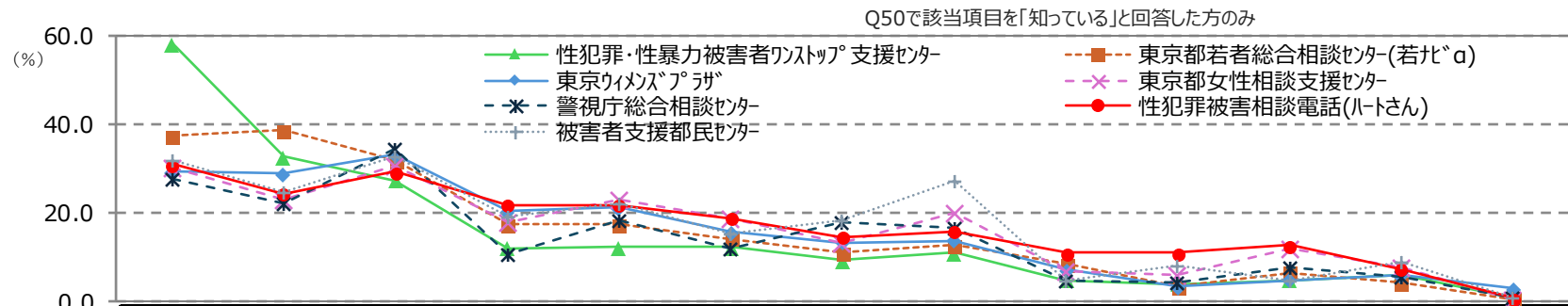


(n数)										
全体	R6調査	1,247	239	147	116	154	197	91	68	702
	R7調査	2,245	492	277	212	278	402	165	126	1,180
被害状況	被害者	1,007	340	179	121	167	180	101	65	360
	目撃・居合わせ	754	331	185	126	139	172	88	65	161
	被害者兼目撃・居合わせ	589	271	138	92	103	116	64	48	120
	被害・目撃経験なし	1,073	92	51	57	75	166	40	44	779

Q50. 以下の痴漢被害の相談機関についてあなたが知っているものをすべて選んでください。

# 痴漢被害の相談機関② Q51.機関を知った方法(MA)：全体比較 R7

■ 認知ルートは、全機関において、「車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）」、「デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）」、「電車内・駅構内のチラシ・ポスター」などが多くなっている

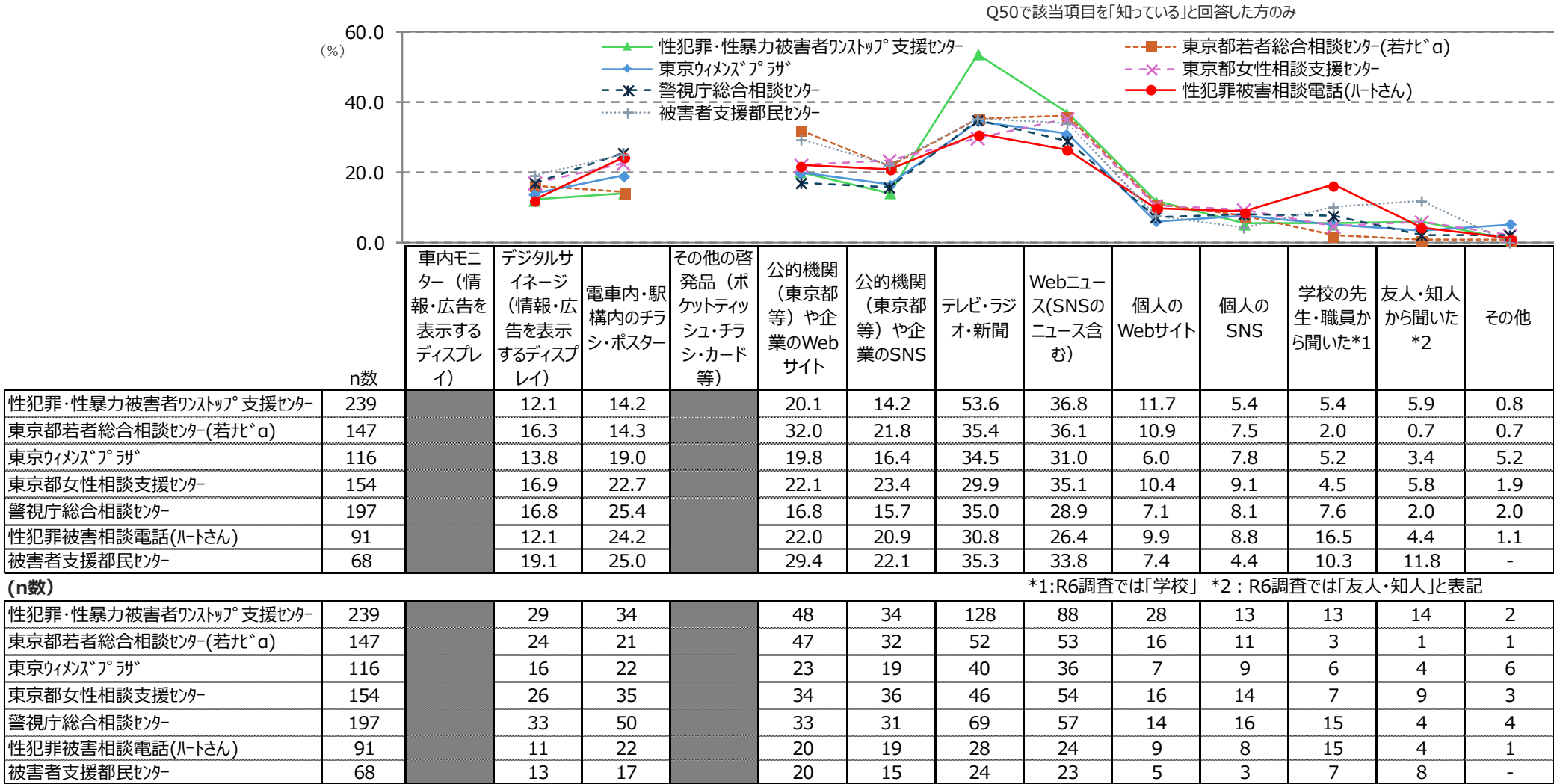


	n数	車内モニター（情報・広告を表示するディスプレイ）	デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）	電車内・駅構内のチラシ・ポスター	その他の啓発品（ポケットティッシュ・チラシ・カード等）	公的機関（東京都等）や企業のWebサイト	公的機関（東京都等）や企業のSNS	テレビ・ラジオ・新聞	Webニュース(SNSのニュース含む)	個人のWebサイト	個人のSNS	学校の先生・職員から聞いた	友人・知人から聞いた	その他
性犯罪・性暴力被害者ワストップ支援センター	492	58.1	32.5	27.2	12.0	12.2	12.2	9.1	10.8	4.7	3.9	4.7	6.1	0.8
東京都若者総合相談センター(若バ`a)	277	37.2	38.6	31.8	17.3	17.3	14.1	10.8	12.6	8.3	3.2	6.5	4.0	0.4
東京ウィメンズプラザ	212	29.2	28.8	33.0	20.3	21.2	15.6	13.2	13.7	7.1	3.3	4.7	5.7	2.8
東京都女性相談支援センター	278	30.2	23.0	30.6	18.0	23.0	18.7	13.3	20.1	6.8	5.8	11.9	7.6	0.4
警視庁総合相談センター	402	27.6	22.1	34.6	10.7	18.4	11.9	17.9	16.7	4.5	4.2	7.5	5.5	1.0
性犯罪被害相談電話(ハートさん)	165	30.9	24.2	29.1	21.8	21.8	18.8	14.5	15.8	10.9	10.9	12.7	7.3	0.6
被害者支援都民センター	126	31.7	24.6	32.5	19.0	22.2	15.1	18.3	27.0	4.8	7.9	4.8	8.7	0.8

性犯罪・性暴力被害者ワストップ支援センター	492	286	160	134	59	60	60	45	53	23	19	23	30	4
東京都若者総合相談センター(若バ`a)	277	103	107	88	48	48	39	30	35	23	9	18	11	1
東京ウィメンズプラザ	212	62	61	70	43	45	33	28	29	15	7	10	12	6
東京都女性相談支援センター	278	84	64	85	50	64	52	37	56	19	16	33	21	1
警視庁総合相談センター	402	111	89	139	43	74	48	72	67	18	17	30	22	4
性犯罪被害相談電話(ハートさん)	165	51	40	48	36	36	31	24	26	18	18	21	12	1
被害者支援都民センター	126	40	31	41	24	28	19	23	34	6	10	6	11	1

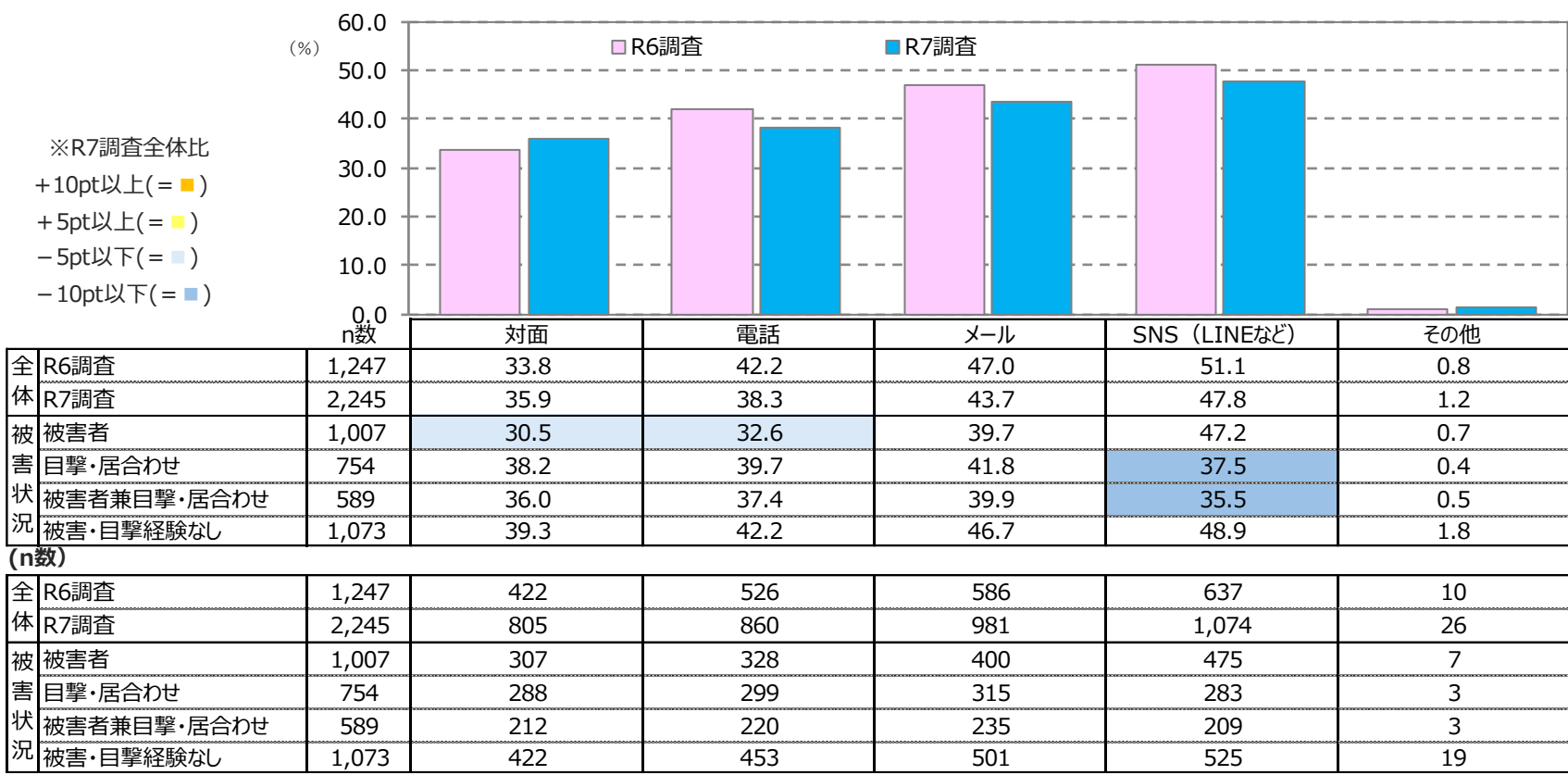
Q51. 以下の機関をそれぞれどのように知ったのかについてお答えください。それぞれ当てはまるものすべてをお答えください。

痴漢被害の相談機関② Q51.機関を知った方法(MA)：全体比較 R6（参考）



# 痴漢被害の相談機関③ Q52.適していると思う痴漢被害相談方法(MA)

- 回答者全体：「SNS」（47.8%）、「メール」（43.7%）、「電話」（38.3%）、「対面」（35.9%）の順となっている。
- 被害状況別：被害者では、「対面」、「電話」が、目撃・居合わせや被害者兼目撃居合わせでは、「SNS」が少ない。

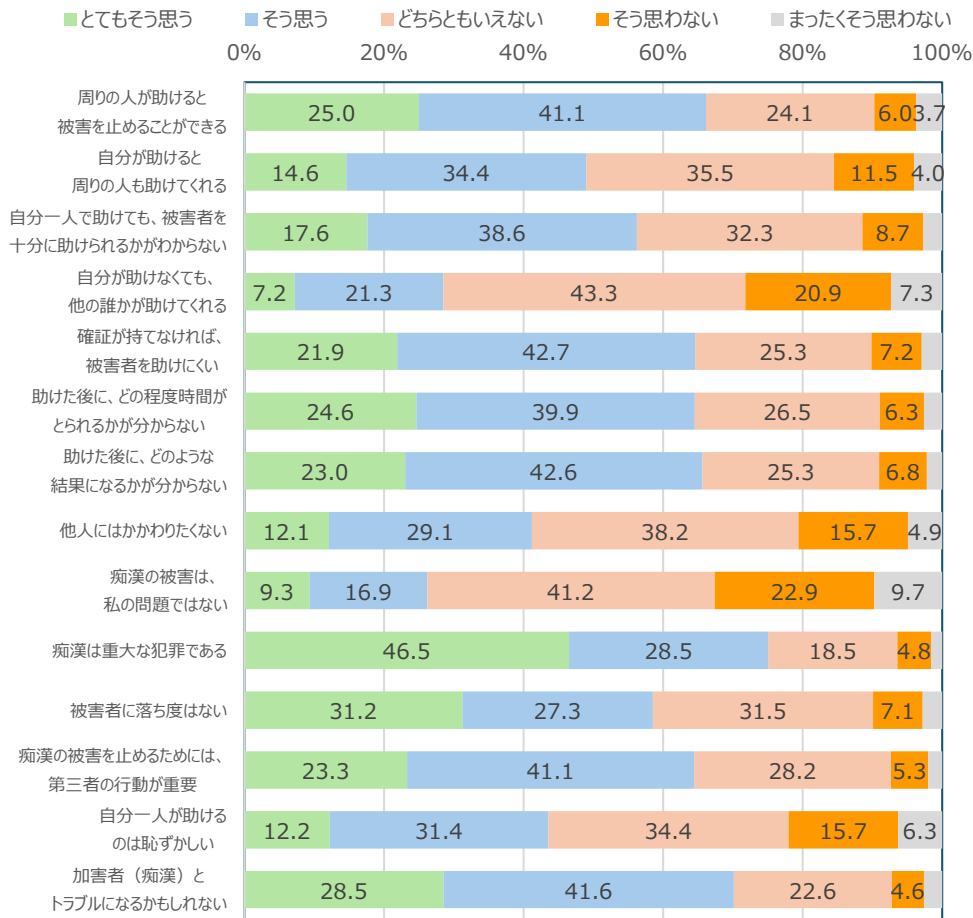


Q52. あなたが適していると思う痴漢被害についての相談方法をお答えください。(いくつでも)

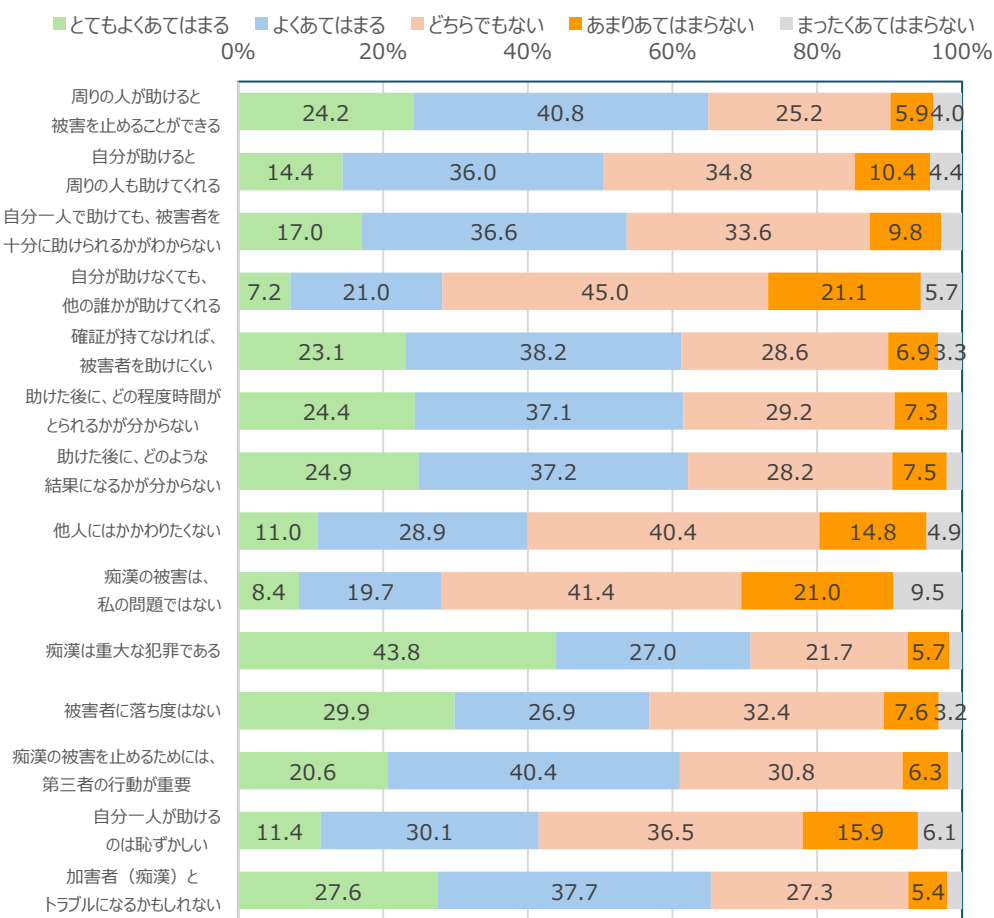
痴漢撲滅に向けた考え・行動① Q53.痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことへの考え方：全体比較①

- 「とてもよくあてはまる」、「よくあてはまる」との回答の和が多いのは、「痴漢は重大な犯罪である」（70.8%）、「加害者（痴漢）とトラブルになるかもしれない」（65.3%）、「周りの人が助けると被害を止めることができる」（64.9%）、「助けた後に、どのような結果になるかが分からない」（62.2%）の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「痴漢の被害は、私の問題ではない」（28.1%）、「自分が助けなくても、他の誰かが助けてくれる」（28.2%）、「他人にはかかわりたくない」（39.9%）などとなっている。

【R6調査】(n=1,247)



【R7調査】(n=2,245)



Q53. 痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことについての次の意見について、あなたはどのようにお考えですか。それぞれ1つずつお答えください。

※3%未満のデータレベルは非表示

痴漢撲滅に向けた考え・行動① Q53.痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことへの考え方：全体比較②(n数)

【R6調査】（n数）  
(n=1,247)

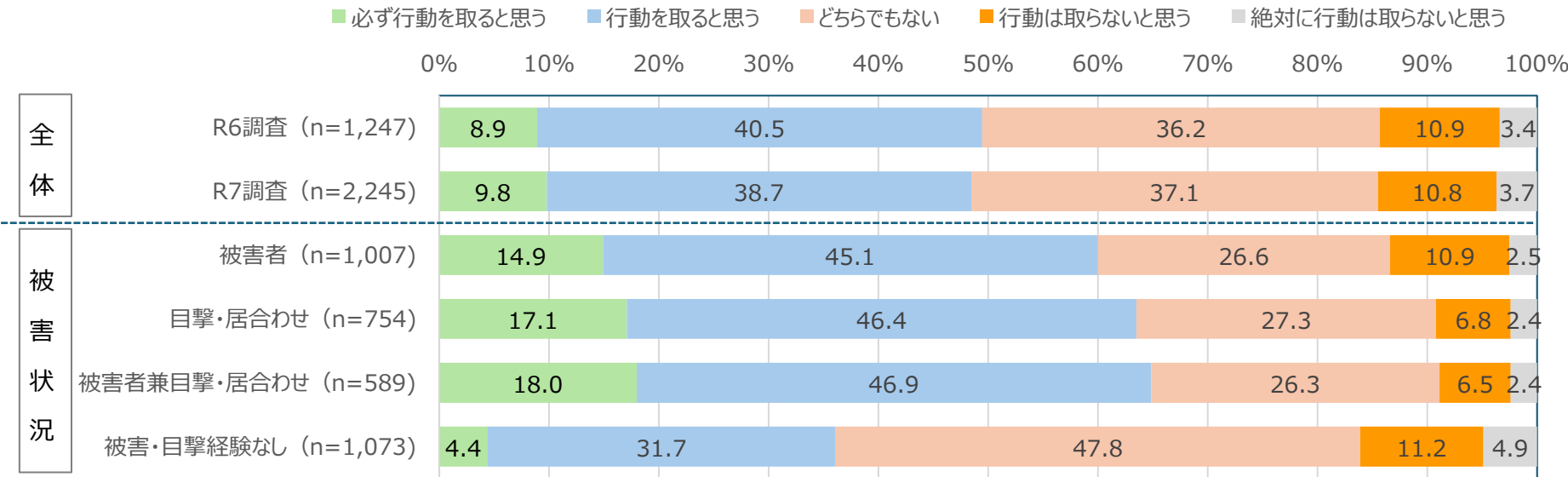
	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	まったくそう 思わない
周りの人が助けると被害を止める ことができる	312	513	301	75	46
自分が助けると周りの人も助けてく れる	182	429	443	143	50
自分一人で助けても、被害者を 十分に助けられるかがわからない	220	481	403	109	34
自分が助けなくても、他の誰かが 助けてくれる	90	266	540	260	91
確証が持てなければ、被害者を 助けにくい	273	533	315	90	36
助けた後に、どの程度時間が とられるかが分からない	307	498	331	78	33
助けた後に、どのような結果に なるかが分からない	287	531	316	85	28
他人にはかわかりたくない	151	363	476	196	61
痴漢の被害は、私の問題では ない	116	211	514	285	121
痴漢は重大な犯罪である	580	356	231	60	20
被害者に落ち度はない	389	341	393	89	35
痴漢の被害を止めるためには、第 三者の行動が重要	291	513	352	66	25
自分一人が助けるのは 恥ずかしい	152	392	429	196	78
加害者（痴漢）とトラブルに なるかもしれない	356	519	282	57	33

【R7調査】（n数）  
(n=2,245)

	とてもそう思う	そう思う	どちらとも いえない	そう思わない	まったくそう 思わない
周りの人が助けると被害を止める ことができる	543	915	566	132	89
自分が助けると周りの人も助けてく れる	324	808	781	233	99
自分一人で助けても、被害者を 十分に助けられるかがわからない	382	822	755	221	65
自分が助けなくても、他の誰かが 助けてくれる	162	471	1,011	473	128
確証が持てなければ、被害者を 助けにくい	519	857	642	154	73
助けた後に、どの程度時間が とられるかが分からない	547	832	656	165	45
助けた後に、どのような結果に なるかが分からない	560	836	633	168	48
他人にはかわかりたくない	247	648	907	333	110
痴漢の被害は、私の問題では ない	189	442	930	471	213
痴漢は重大な犯罪である	984	606	487	127	41
被害者に落ち度はない	672	603	728	171	71
痴漢の被害を止めるためには、第 三者の行動が重要	462	907	691	142	43
自分一人が助けるのは 恥ずかしい	257	675	819	358	136
加害者（痴漢）とトラブルに なるかもしれない	620	847	612	121	45

痴漢撲滅に向けた考え・行動② Q54.目撃時、痴漢を止めたり被害者を助ける行動を取ると思うか

- 回答者全体：「必ず行動を取ると思う」、「行動を取ると思う」との回答の和は48.5%となり、昨年度調査と比べて微減している。
- 被害状況別：上記回答の和は、被害者兼目撃居合わせで64.9%、目撃・居合わせで63.5%、被害者で60.0%、被害・目撃経験なしで36.1%となっており、被害・目撃経験無なしの低さが目立つ。



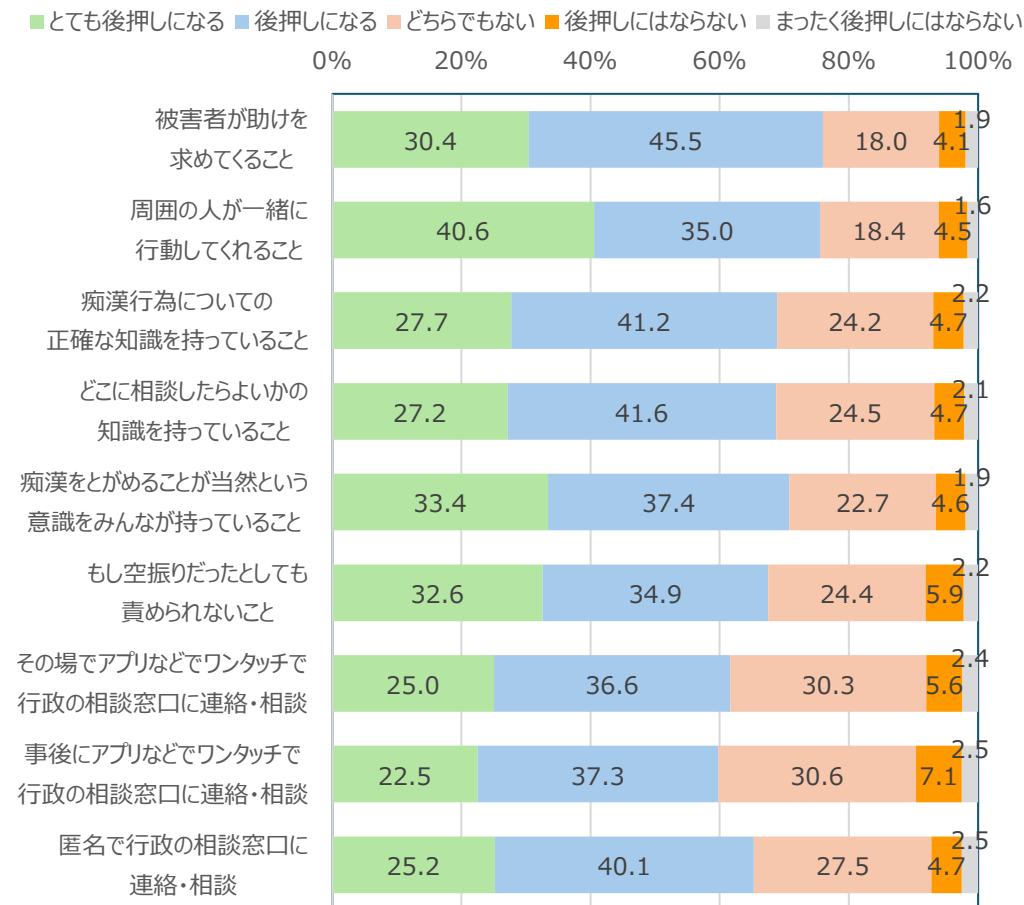
(n数)	総計	必ず行動を取ると思う	行動を取ると思う	どちらでもない	行動は取らないと思う	絶対に行動は取らないと思う
R6調査	1,247	111	505	452	136	43
R7調査	2,245	220	868	832	243	82
被害者	1007	150	454	268	110	25
目撃・居合わせ	754	129	350	206	51	18
被害者兼目撃・居合わせ	589	106	276	155	38	14
被害・目撃経験なし	1073	47	340	513	120	53

Q54. あなたは痴漢を目撃したら、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、行動を取ると思いますか。

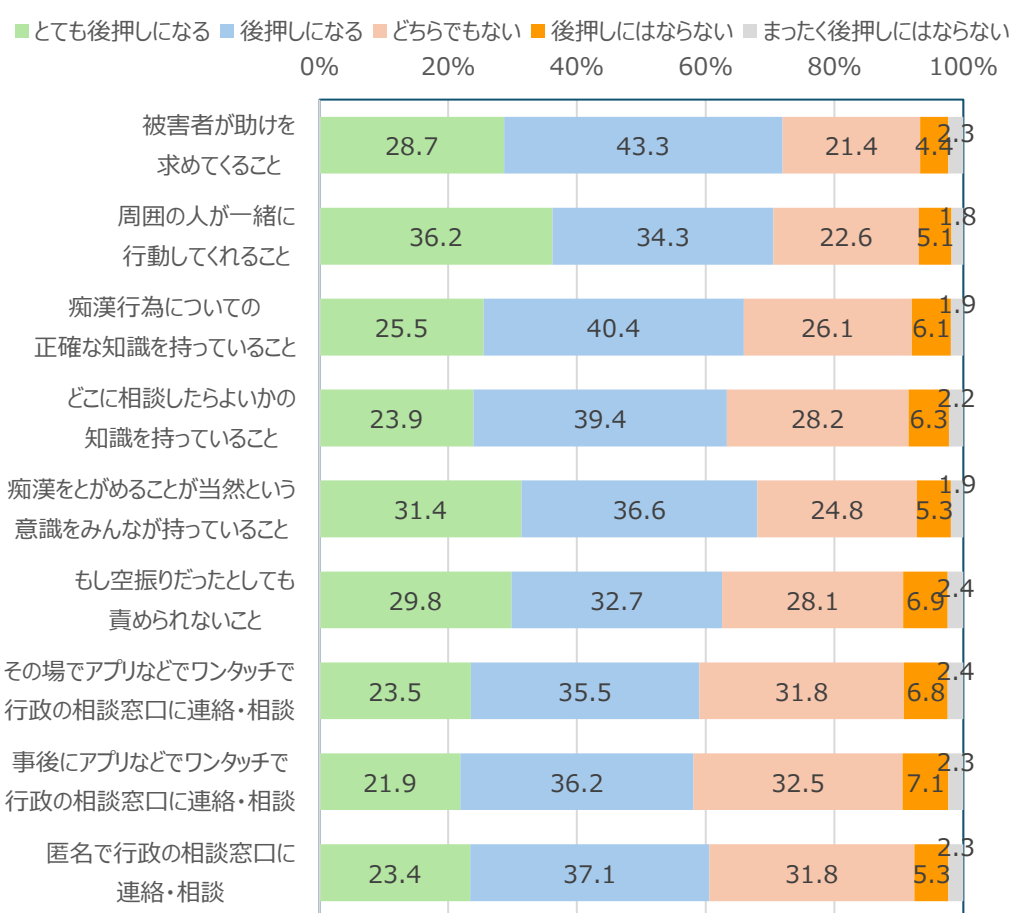
# 痴漢撲滅に向けた考え・行動③ Q55.痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押し：全体比較①

- 「とても後押しになる」、「後押しになる」との回答の和が多いのは、「被害者が助けを求めてくること」（71.9%）、「周囲の人が一緒に行動してくれること」（70.5%）、「痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること」（68.0%）の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口連絡・相談」（58.1%）、「その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口連絡・相談」（59.0%）などとなっている。

【R6調査】(n=1,247)



【R7調査】(n=2,245)



Q55. 痴漢を目撃したときに、次のようなことは、痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押しになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動③ Q55.痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押し：全体比較②(n数)

【R6調査】(n数)  
(n=1,247)

	とても後押しになる	後押しになる	どちらでもない	後押しにはならない	まったく後押しにはならない
被害者が助けを求めてくること	379	568	225	51	24
周囲の人が一緒に行動してくれること	506	436	229	56	20
痴漢行為についての正確な知識を持っていること	345	514	302	58	28
どこに相談したらよいかの知識を持っていること	339	519	305	58	26
痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること	417	466	283	57	24
もし空振りだったとしても責められないこと	407	435	304	73	28
その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	312	457	378	70	30
事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	281	465	382	88	31
匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談	314	500	343	59	31

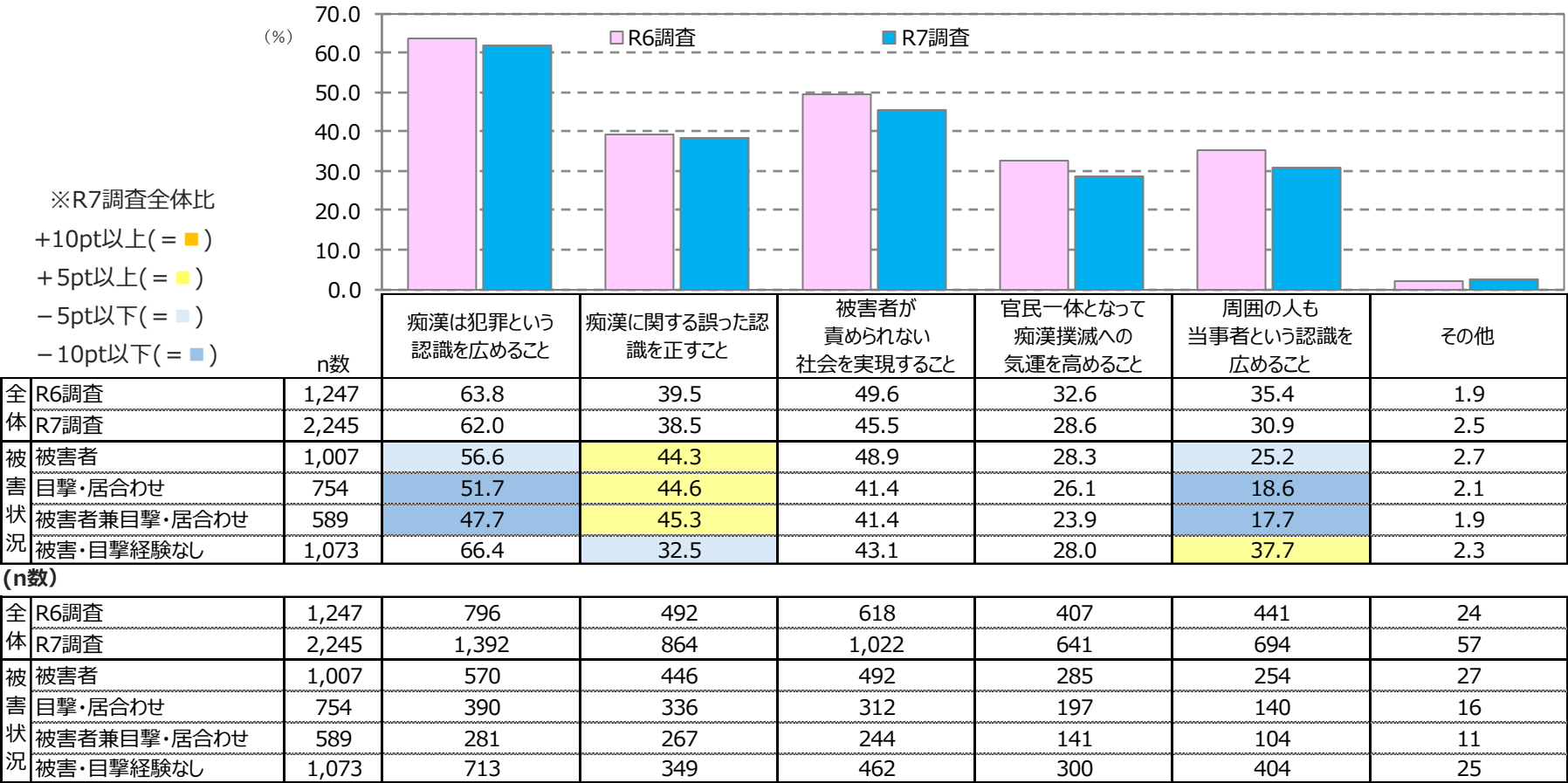
【R7調査】(n数)  
(n=2,245)

	とても後押しになる	後押しになる	どちらでもない	後押しにはならない	まったく後押しにはならない
被害者が助けを求めてくること	644	971	481	98	51
周囲の人が一緒に行動してくれること	813	770	508	114	40
痴漢行為についての正確な知識を持っていること	572	907	587	136	43
どこに相談したらよいかの知識を持っていること	537	884	633	142	49
痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること	705	822	557	119	42
もし空振りだったとしても責められないこと	670	734	631	155	55
その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	527	797	714	153	54
事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	491	813	729	160	52
匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談	525	833	715	120	52

Q55. 痴漢を目撃したときに、次のようなことは、痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押しになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動④ Q56.痴漢撲滅のために重要なこと(MA)

- 回答者全体：「痴漢は犯罪という認識を広めること」（62.0%）、「被害者が責められない社会を実現すること」（45.5%）、「痴漢に関する誤った認識を正すこと」（38.5%）の順で多くなっており、昨年度調査と同様の傾向となっている。
- 被害状況別：被害・目撃経験なしは、「痴漢に関する誤った認識を正すこと」でやや少なく、「周囲の人も当事者という認識を広めること」でやや多い。

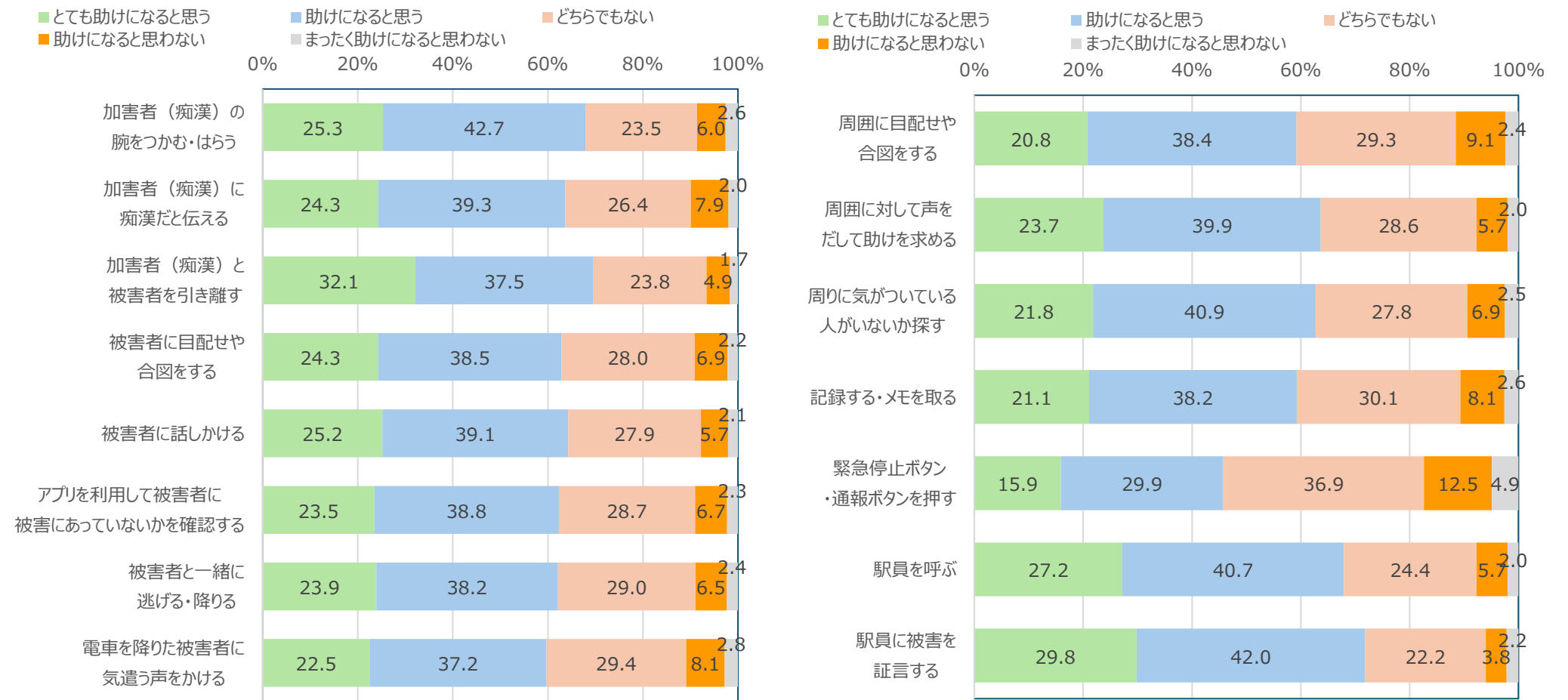


Q56. あなたは、痴漢撲滅のためにどのようなことが重要だと思いますか。（いくつでも）

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑤ Q57.被害者の助けになると思うか：全体比較：R7 ①

- 「とても助けになると思う」、「助けになると思う」との回答の和が多いのは、「駅員に被害を証言する」（71.8%）、「加害者（痴漢）と被害者を引き離す」（69.6%）、「加害者（痴漢）の腕をつかむ・はらう」/「駅員を呼ぶ」（ともに67.9%）の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」（45.7%）、「周囲に目配せや合図をする」（59.2%）、「記録する・メモを取る」（59.3%）などとなっている。

【R7調査】(n=2,245)



Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑤ Q57.被害者の助けになると思うか：全体比較：R7②(n数)

## 【R7調査】(n数)

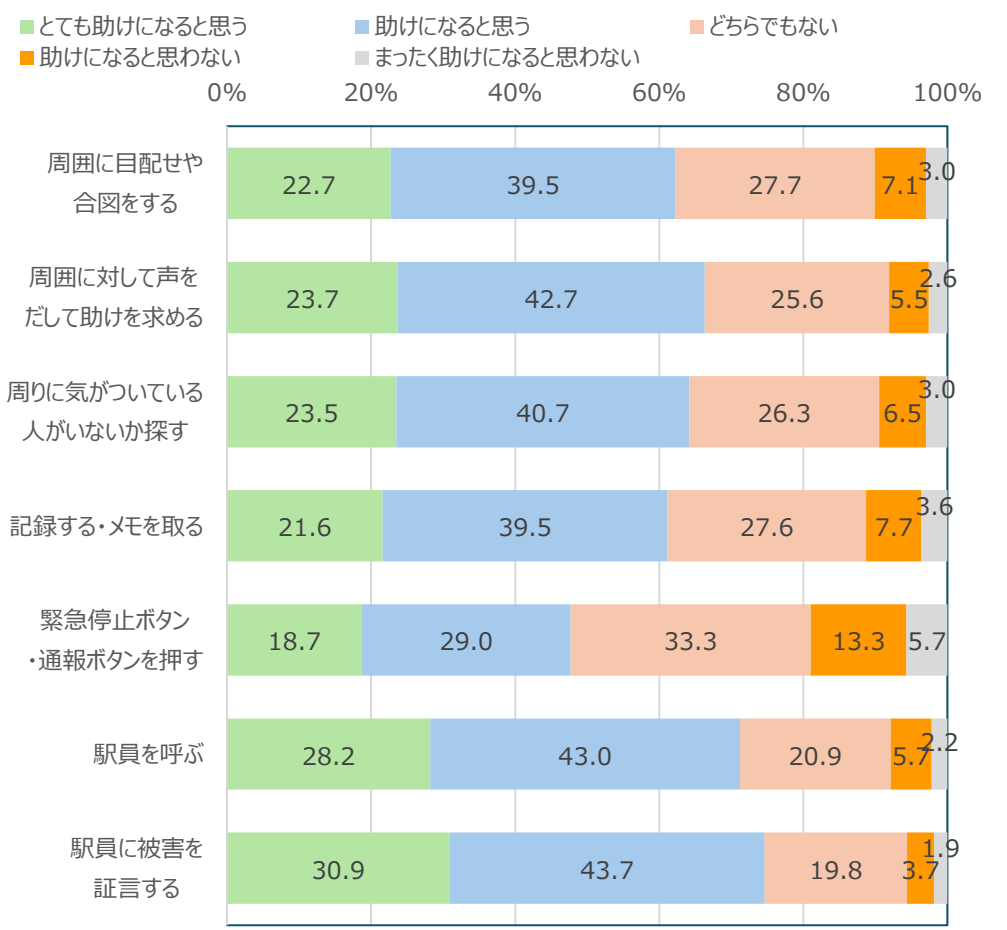
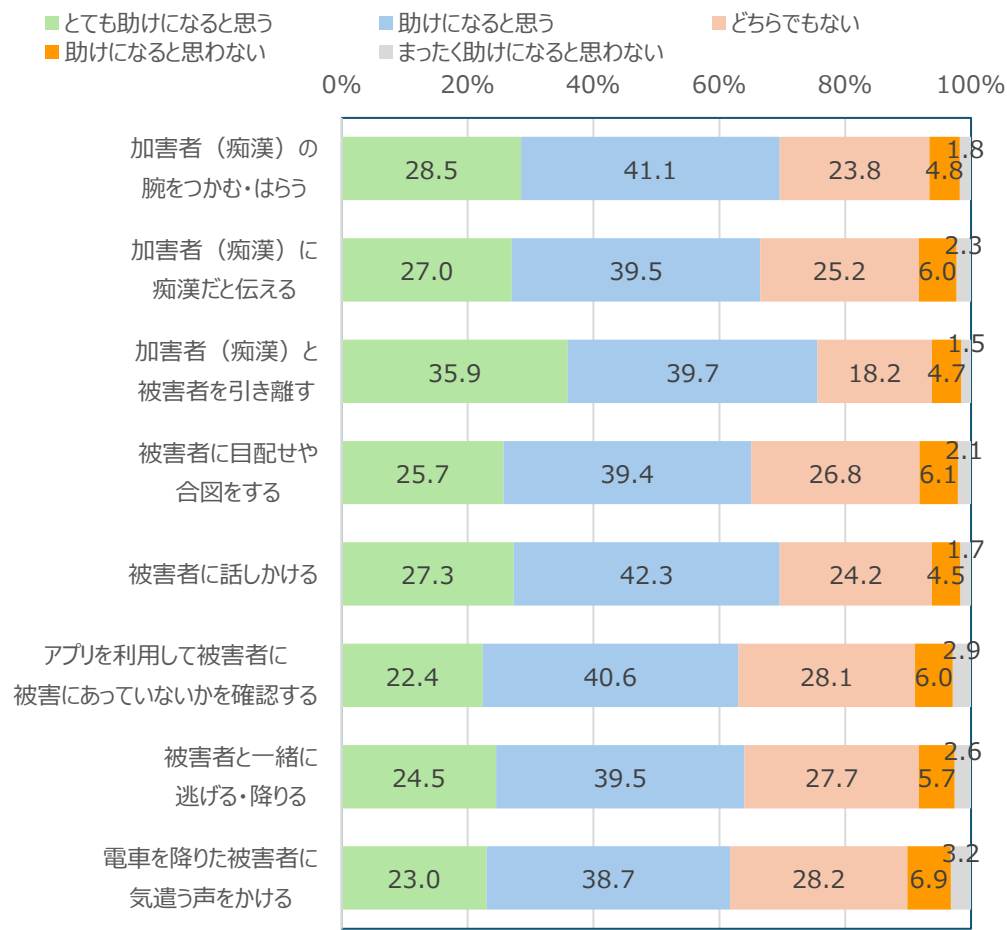
(n=2,245)

	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	567	958	528	134	58
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	546	883	593	177	46
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	721	841	535	109	39
被害者に目配せや合図をする	546	865	628	156	50
被害者に話しかける	565	878	627	128	47
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	527	872	644	151	51
被害者と一緒に逃げる・降りる	536	858	651	146	54
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	506	835	660	181	63

	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
周囲に目配せや合図をする	467	862	657	204	55
周囲に対して声をだして助けを 求める	533	896	641	129	46
周りに気がついている人がいない か探す	490	918	625	156	56
記録する・メモを取る	474	857	675	181	58
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	356	671	828	280	110
駅員を呼ぶ	611	914	547	127	46
駅員に被害を証言する	669	942	498	86	50

Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

【R6調査】(n=1,247)



Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

【R6調査】(n数)  
(n=1,247)

	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	355	512	297	60	23
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	337	492	314	75	29
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	448	495	227	58	19
被害者に目配せや合図をする	320	491	334	76	26
被害者に話しかける	341	527	302	56	21
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	279	506	351	75	36
被害者と一緒に逃げる・降りる	305	493	345	71	33
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	287	482	352	86	40

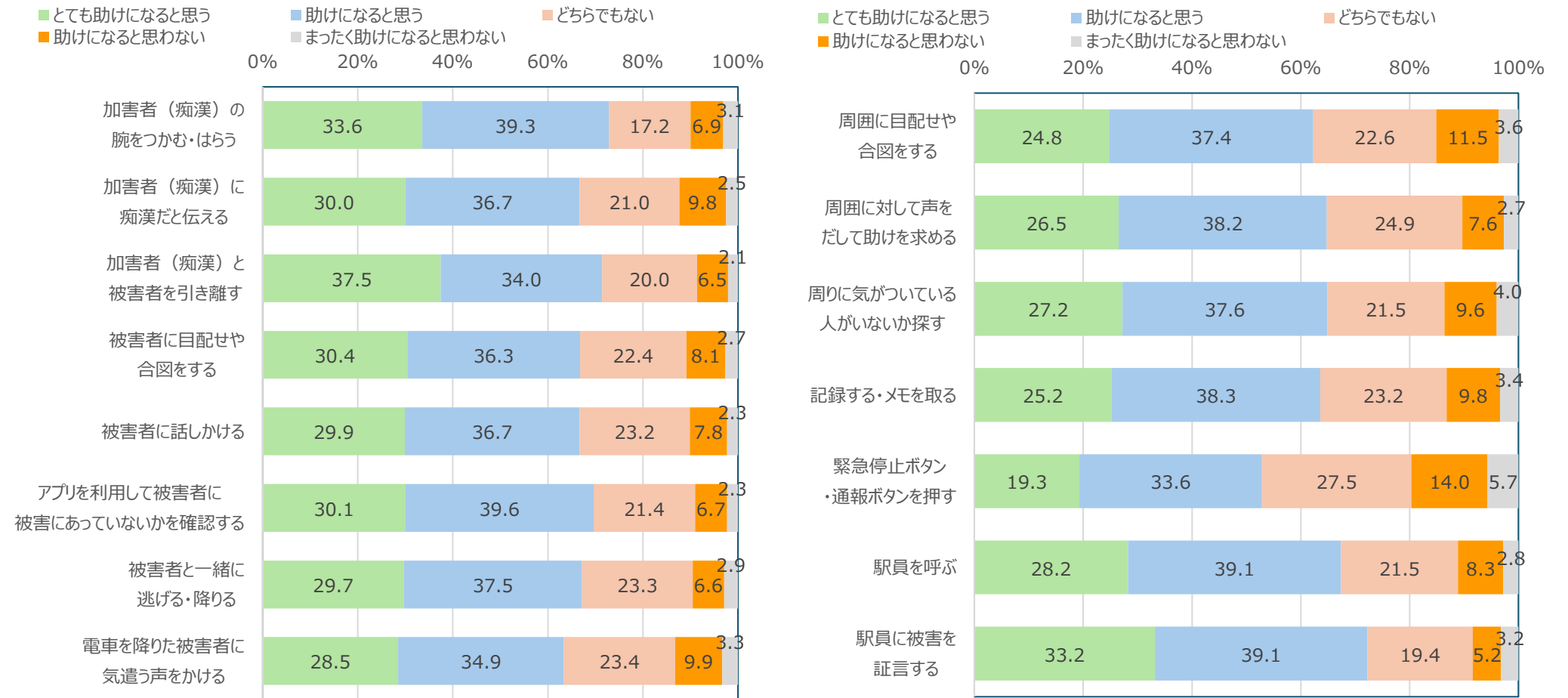
	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
周囲に目配せや合図をする	283	492	345	89	38
周囲に対して声をだして助けを 求める	296	532	319	68	32
周りに気がついている人がいない か探す	293	507	328	81	38
記録する・メモを取る	269	493	344	96	45
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	233	362	415	166	71
駅員を呼ぶ	352	536	260	71	28
駅員に被害を証言する	385	545	247	46	24

Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ 1 つずつお答えください。

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑥ Q57.被害者の助けになると思うか：被害者比較：R7 ①

- 被害者に絞ってみると、「とても助けになると思う」、「助けになると思う」との回答の和が多いのは、「加害者（痴漢）の腕をつかむ・はらう」（72.9%）、「駅員に被害を証言する」（72.3%）、「加害者（痴漢）と被害者を引き離す」（71.5%）の順となっている。全体と比較して「とても助けになると思う」比率が相対的に高い。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」（52.8%）、「周囲に目配せや合図をする」（62.3%）、「記録する・メモを取る」（63.6%）などで、いずれも昨年度調査と同様の項目が挙げられた。

【R7調査】(n=1,007)



Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑥ Q57.被害者の助けになると思うか：被害者比較：R7②(n数)

【R7調査】(n数)  
(n=1,007)

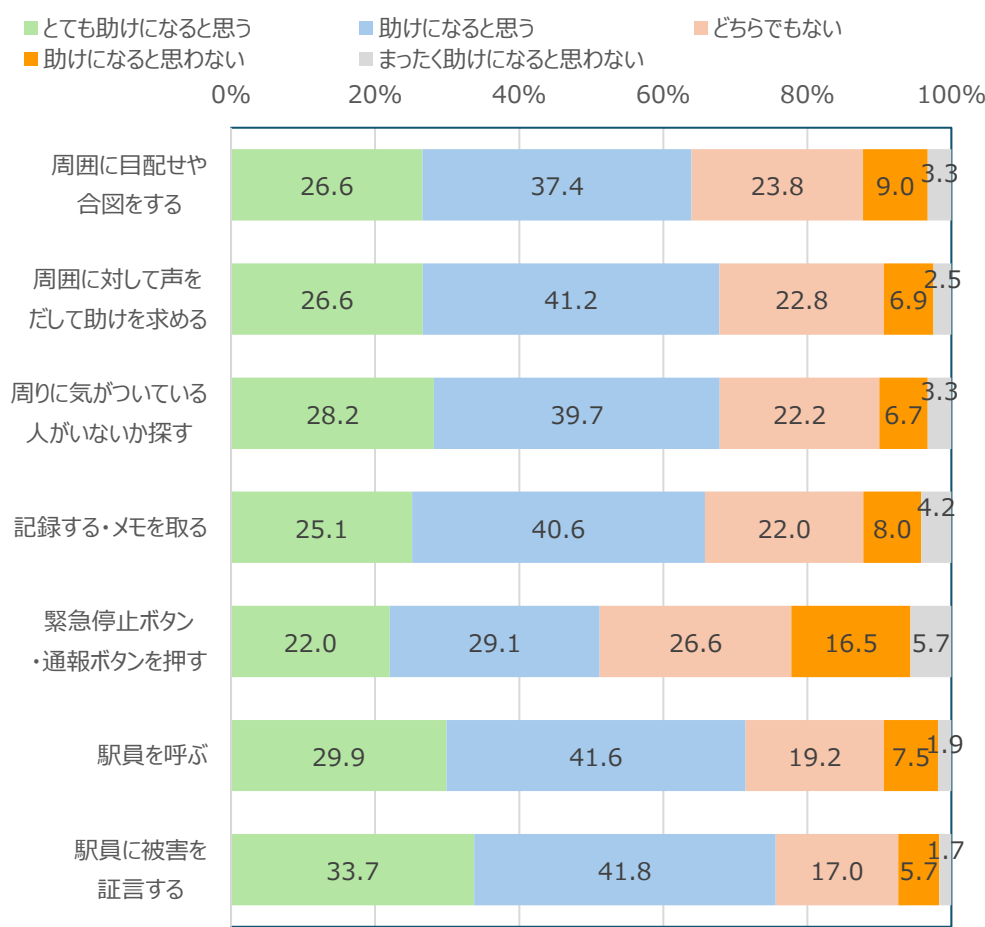
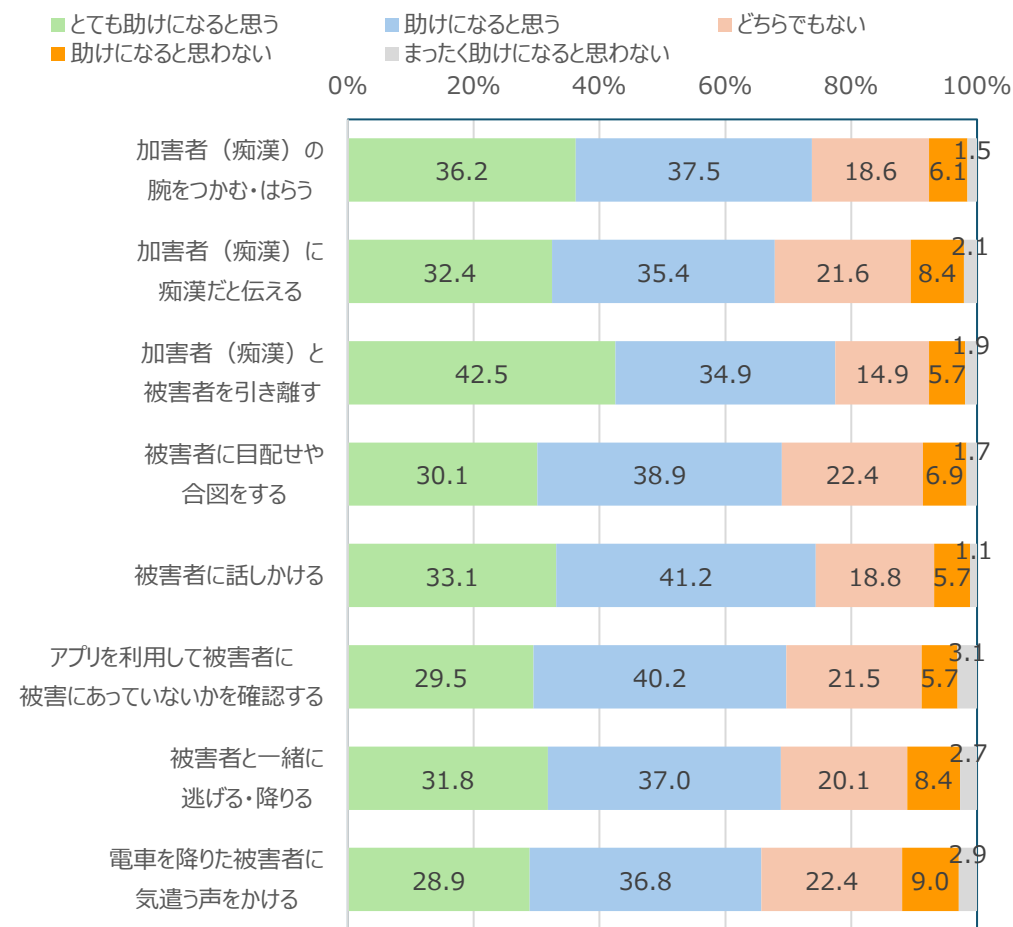
	とても助け になると思 う	助けにな ると思 う	どちらでも ない	助けにな ると思わ ない	まったく助 けにな ると思わ ない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	338	396	173	69	31
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	302	370	211	99	25
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	378	342	201	65	21
被害者に目配せや合図をする	306	366	226	82	27
被害者に話しかける	301	370	234	79	23
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	303	399	215	67	23
被害者と一緒に逃げる・降りる	299	378	235	66	29
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	287	351	236	100	33

	とても助け になると思 う	助けにな ると思 う	どちらでも ない	助けにな ると思わ ない	まったく助 けにな ると思わ ない
周囲に目配せや合図をする	250	377	228	116	36
周囲に対して声をだして助けを 求める	267	385	251	77	27
周りに気がついている人がいない か探す	274	379	217	97	40
記録する・メモを取る	254	386	234	99	34
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	194	338	277	141	57
駅員を呼ぶ	284	394	217	84	28
駅員に被害を証言する	334	394	195	52	32

Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑥ Q57.被害者の助けになると思うか：被害者比較：R6（参考） ①

【R6調査】(n=522)



Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑥ Q57.被害者の助けになると思うか：被害者比較：R6（参考）②(n数)

【R6調査】(n数)  
(n=522)

	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	189	196	97	32	8
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	169	185	113	44	11
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	222	182	78	30	10
被害者に目配せや合図をする	157	203	117	36	9
被害者に話しかける	173	215	98	30	6
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	154	210	112	30	16
被害者と一緒に逃げる・降りる	166	193	105	44	14
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	151	192	117	47	15

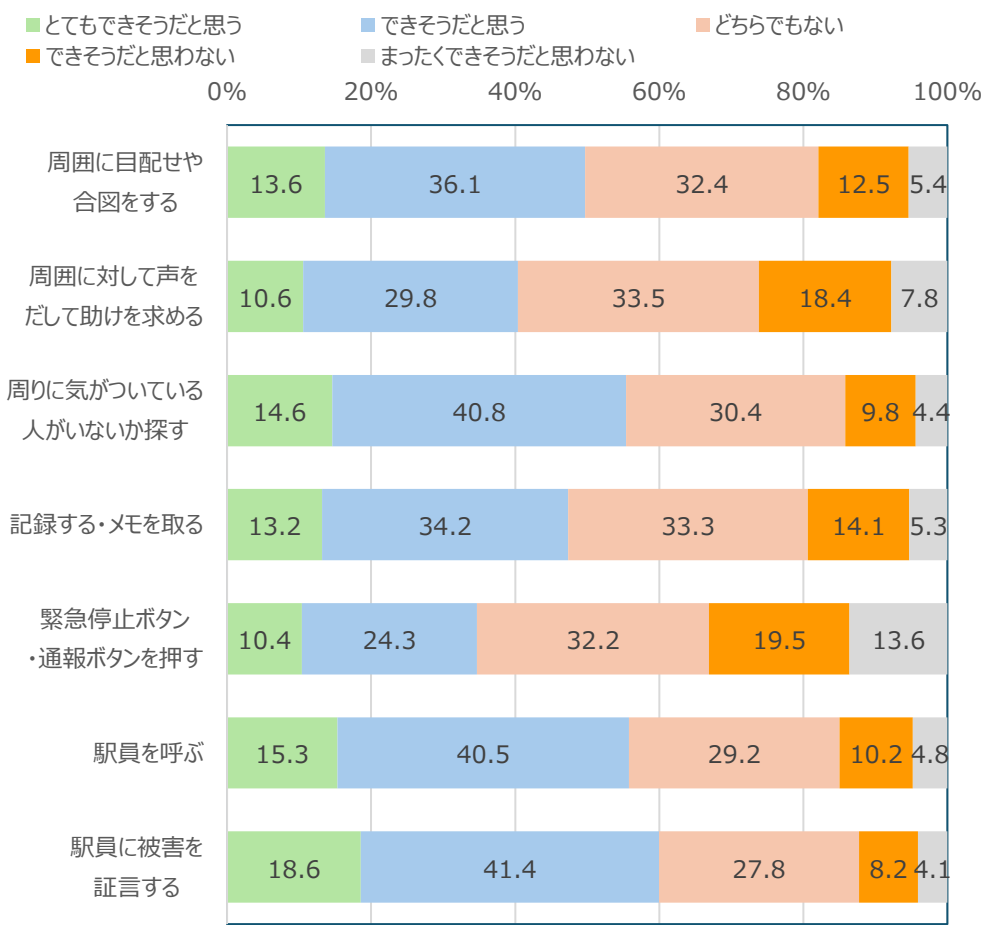
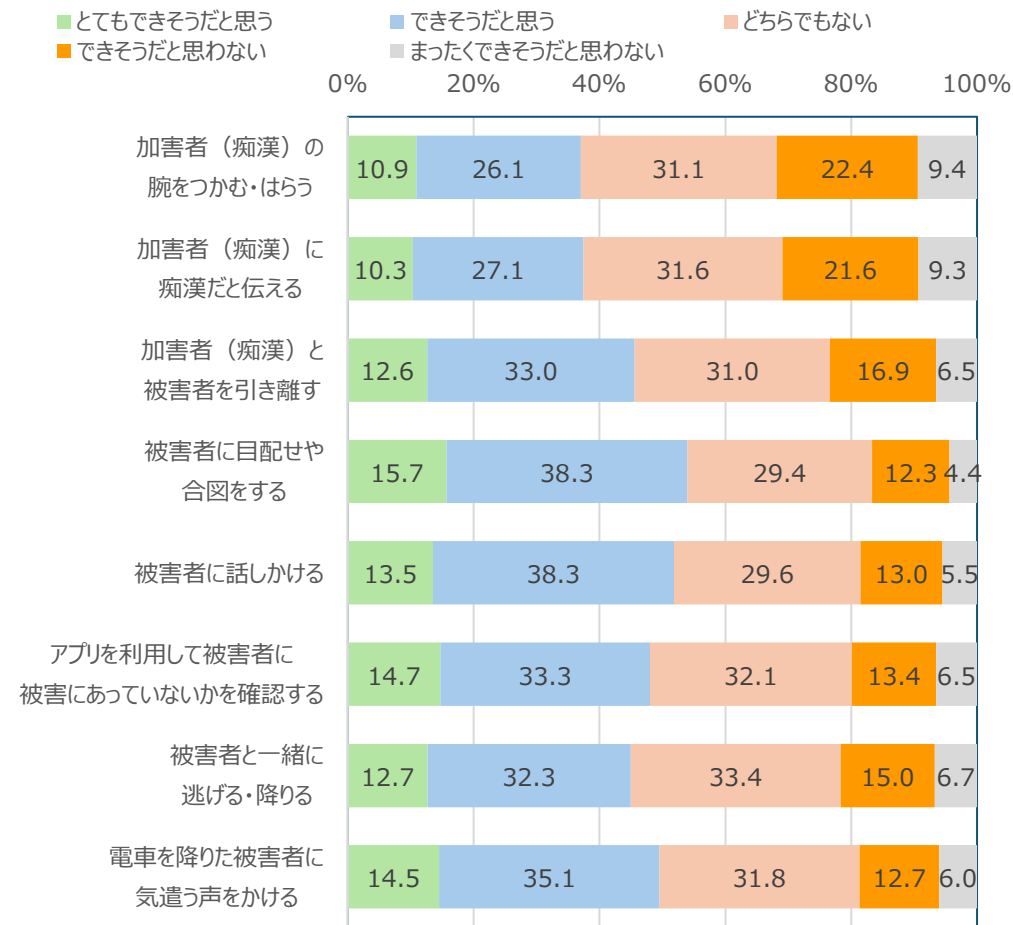
	とても助け になると思 う	助けになる と思う	どちらでも ない	助けになる と思わない	まったく助 けになると 思わない
周囲に目配せや合図をする	139	195	124	47	17
周囲に対して声をだして助けを 求める	139	215	119	36	13
周りに気がついている人がいない か探す	147	207	116	35	17
記録する・メモを取る	131	212	115	42	22
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	115	152	139	86	30
駅員を呼ぶ	156	217	100	39	10
駅員に被害を証言する	176	218	89	30	9

Q57. あなたは次のようなことはどの程度被害者の助けになると思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑦ Q58.自分ができそうか：全体比較：R7①

- 「とてもできそうだと思う」、「できそうだと思う」との回答の和が多いのは、「駅員に被害を証言する」（60.0%）、「駅員を呼ぶ」（55.9%）、「周りに気がついていない人がないか探す」（55.4%）の順となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」（34.7%）、「加害者（痴漢）の腕をつかむ・はらう」（37.0%）、「加害者（痴漢）に痴漢だと伝える」（37.4%）などとなっており、いずれも昨年度調査と同じような項目が挙げられている。

【R7調査】(n=2,245)



Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分でもできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑦ Q58.自分ができそうか：全体比較：R7②(n数)

【R7調査】(n数)  
(n=2,245)

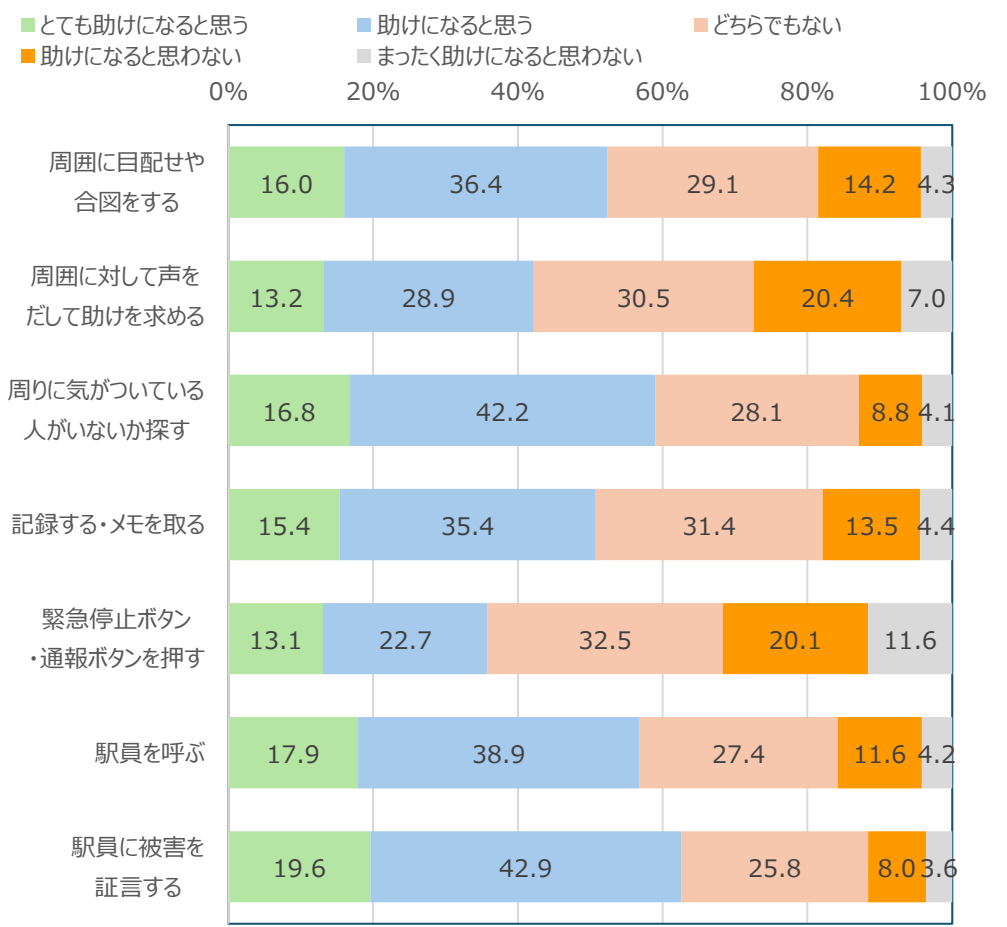
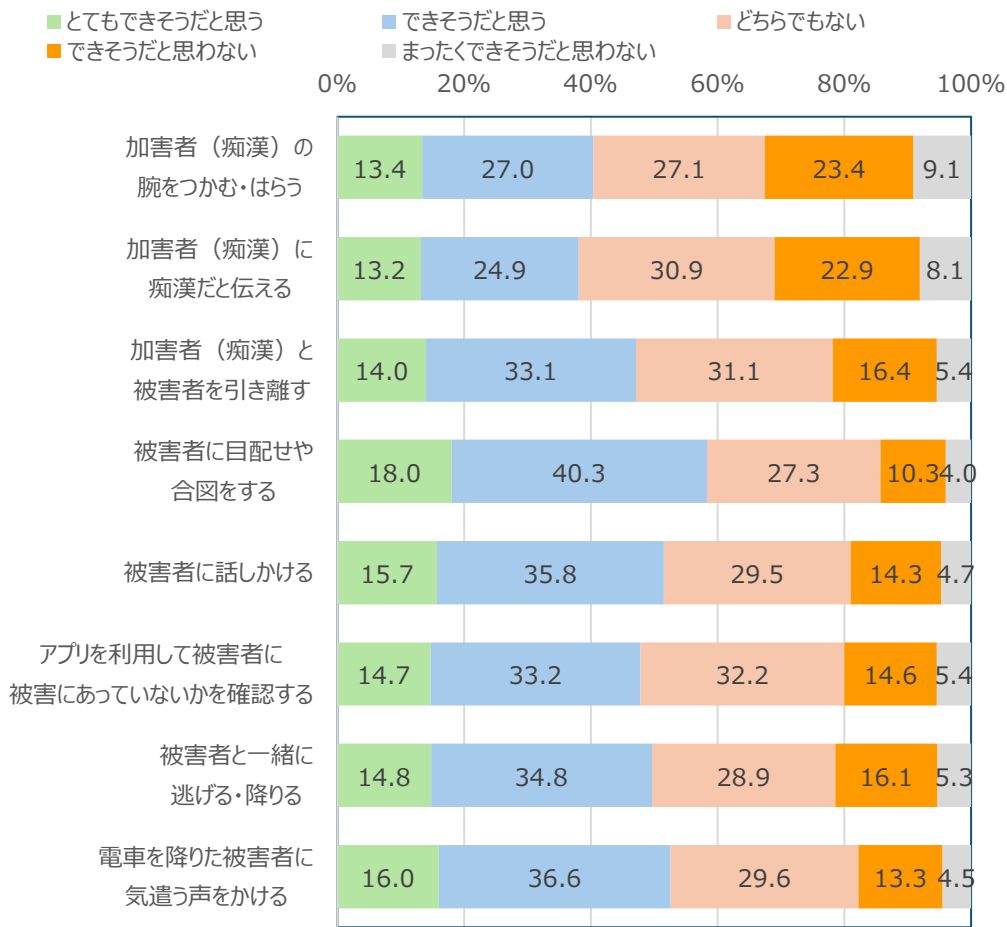
	とてもでき そうだと思う	できそうだと 思う	どちらでも ない	できそうだと 思わない	まったくでき そうだと思 わない
加害者(痴漢)の腕をつかむ・はらう	244	587	699	503	212
加害者(痴漢)に痴漢だと伝える	231	609	710	486	209
加害者(痴漢)と被害者を引き離す	283	740	696	380	146
被害者に目配せや合図をする	352	859	659	276	99
被害者に話しかける	304	860	665	292	124
アプリを利用して被害者に被害にあっていないかを確認する	330	748	720	300	147
被害者と一緒に逃げる・降りる	284	725	750	336	150
電車を降りた被害者に気遣う声をかける	325	787	714	285	134

	とてもでき そうだと思う	できそうだと 思う	どちらでも ない	できそうだと 思わない	まったくでき そうだと思 わない
周囲に目配せや合図をする	305	810	727	281	122
周囲に対して声をだして助けを求める	237	668	753	413	174
周りに気がついている人がいないか探す	328	915	683	221	98
記録する・メモを取る	296	767	747	316	119
緊急停止ボタン・通報ボタンを押す	234	545	722	438	306
駅員を呼ぶ	344	910	656	228	107
駅員に被害を証言する	418	929	624	183	91

Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑦ Q58.自分ができそうか：全体比較：R6（参考）①

【R6調査】(n=1,247)



Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分でもできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑦ Q58.自分ができそうか：全体比較：R6（参考）②(n数)

【R6調査】(n数)  
(n=1,247)

	とてもでき そうだと思う	できそうだと 思う	どちらでも ない	できそうだと 思わない	まったくでき そうだと思 わない
加害者(痴漢)の腕をつかむ・はらう	167	337	338	292	113
加害者(痴漢)に痴漢だと伝える	164	311	385	286	101
加害者(痴漢)と被害者を引き離す	174	413	388	205	67
被害者に目配せや合図をする	225	503	340	129	50
被害者に話しかける	196	446	368	178	59
アプリを利用して被害者に被害にあっていないかを確認する	183	414	401	182	67
被害者と一緒に逃げる・降りる	185	434	361	201	66
電車を降りた被害者に気遣う声をかける	200	456	369	166	56

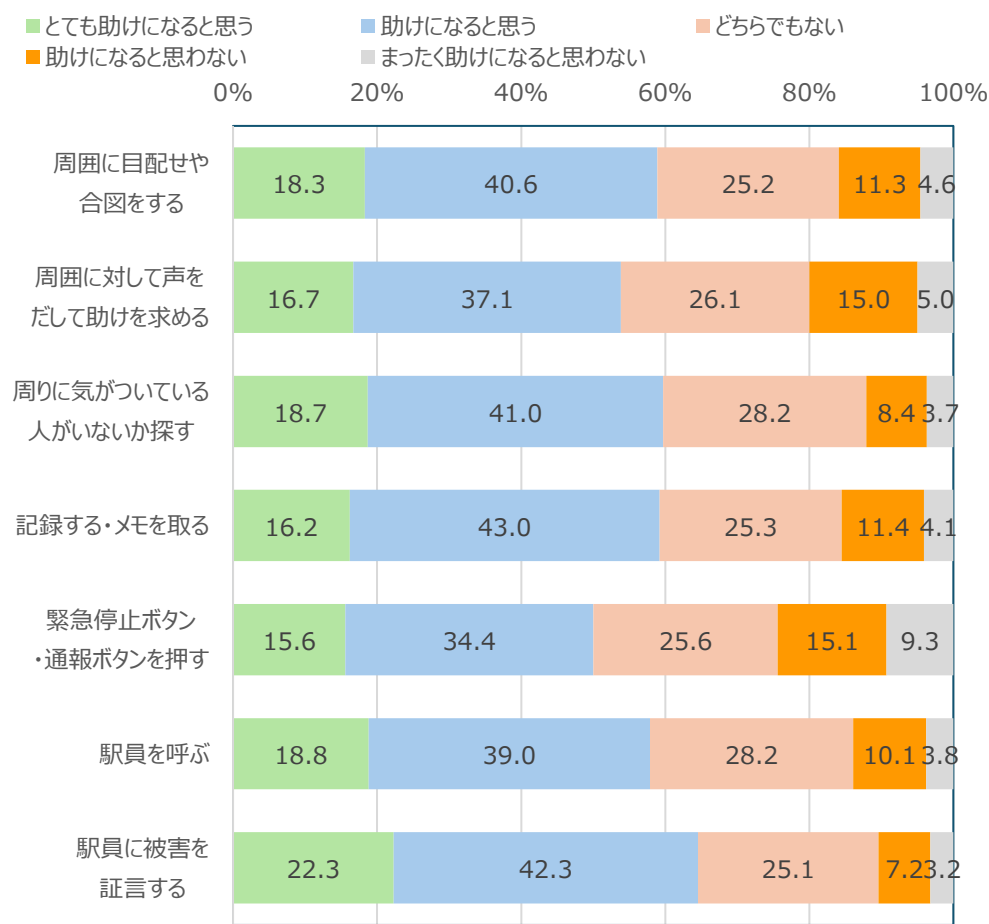
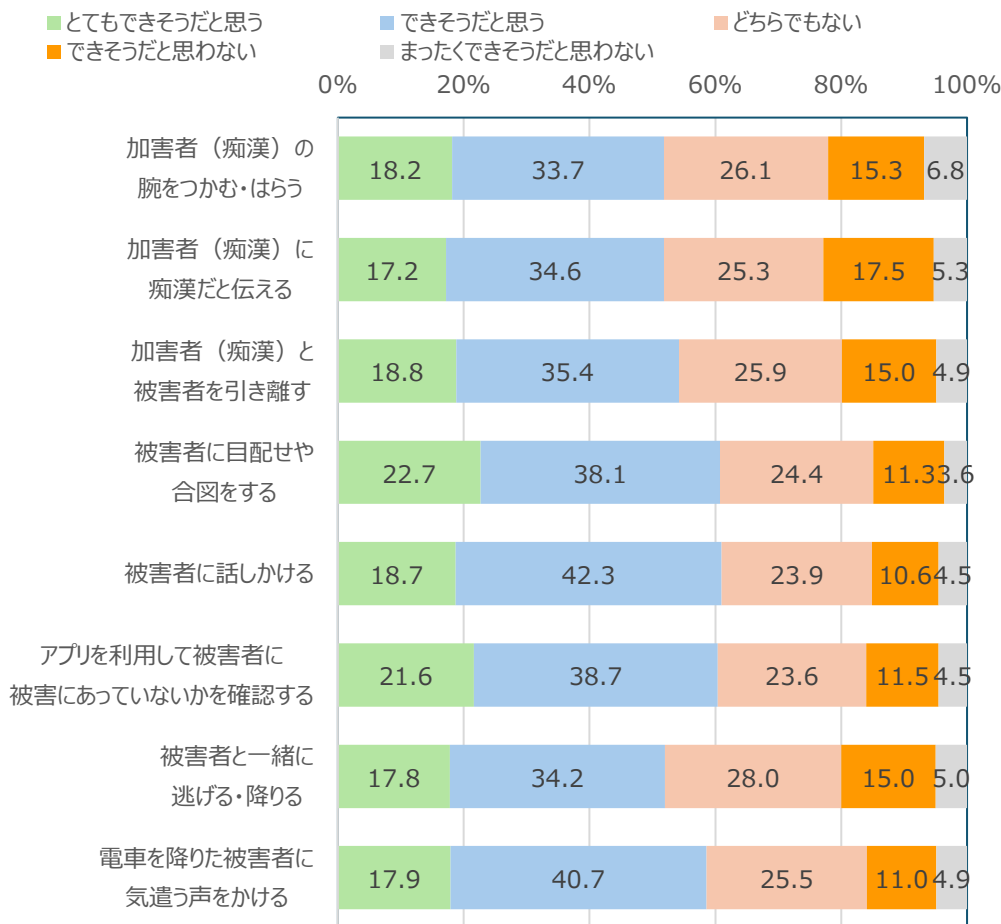
	とてもでき そうだと思う	できそうだと 思う	どちらでも ない	できそうだと 思わない	まったくでき そうだと思 わない
周囲に目配せや合図をする	200	454	363	177	53
周囲に対して声をだして助けを求める	165	361	380	254	87
周りに気がついている人がいないか探す	210	526	350	110	51
記録する・メモを取る	192	441	391	168	55
緊急停止ボタン・通報ボタンを押す	163	283	405	251	145
駅員を呼ぶ	223	485	342	145	52
駅員に被害を証言する	245	535	322	100	45

Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

# 痴漢撲滅に向けた考え・行動⑧ Q58.自分ができそうか：目撃・居合わせ比較：R7①

- 目撃・居合わせ者に絞った場合、「とてもできそうだと思う」、「できそうだと思う」との回答の和が多いのは、「駅員に被害を証言する」（64.6%）、「被害者に話しかける」（61.0%）、「被害者に目配せや合図をする」（60.7%）の順となっており、全項目で全体と比較して多くなっている。
- 上記回答の和が少ないのは、「緊急停止ボタン・通報ボタンを押す」（50.0%）、「加害者（痴漢）の腕をつかむ・はらう」（51.9%）など、昨年度調査と同じような項目が挙げられた。

【R7調査】(n=754)



Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分でもできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

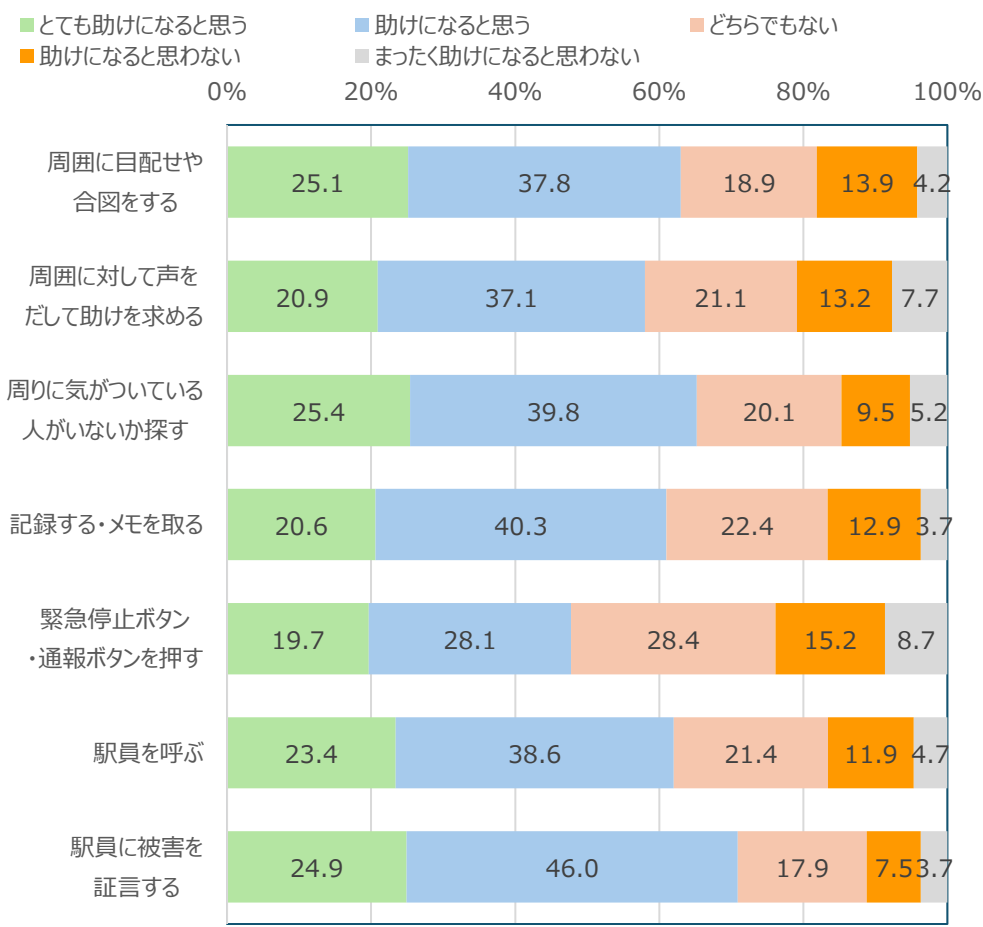
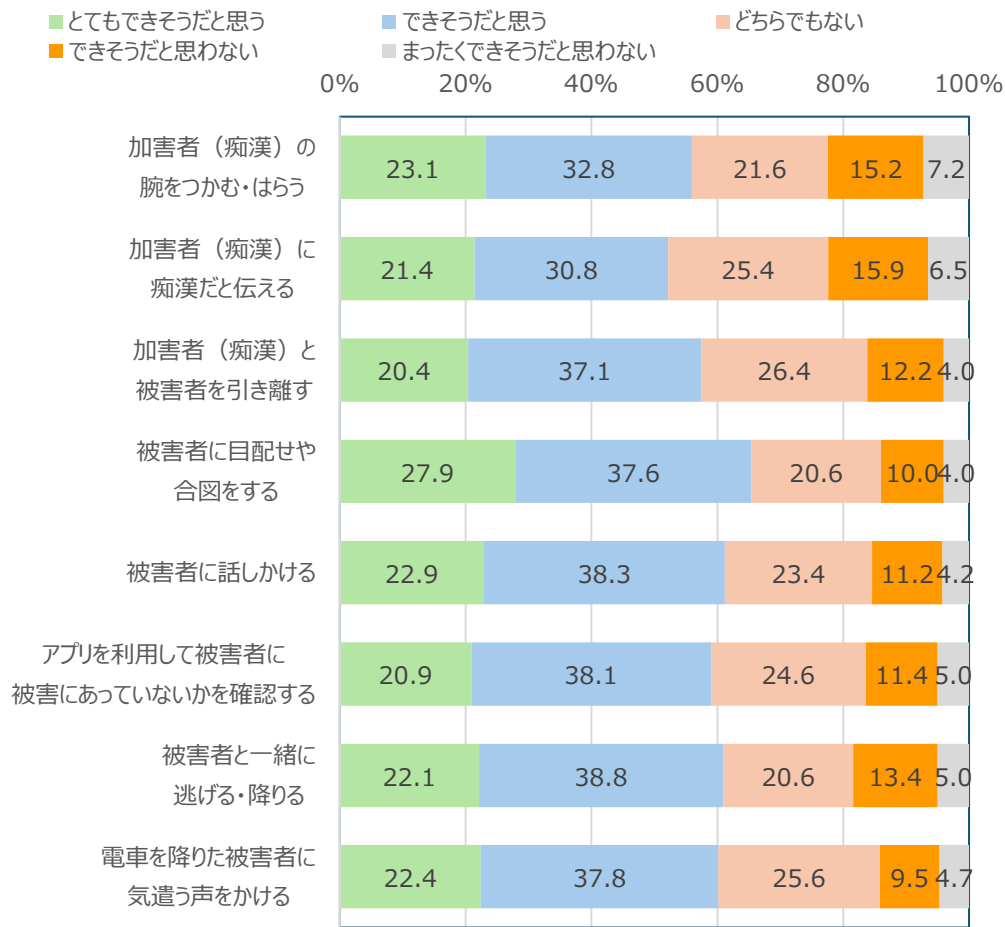
【R7調査】(n数)  
(n=754)

	とてもでき そうだと 思う	できそうだ と思う	どちらでも ない	できそうだ と思わない	まったくでき そうだと思 わない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	137	254	197	115	51
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	130	261	191	132	40
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	142	267	195	113	37
被害者に目配せや合図をする	171	287	184	85	27
被害者に話しかける	141	319	180	80	34
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	163	292	178	87	34
被害者と一緒に逃げる・降りる	134	258	211	113	38
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	135	307	192	83	37

	とてもでき そうだと 思う	できそうだ と思う	どちらでも ない	できそうだ と思わない	まったくでき そうだと思 わない
周囲に目配せや合図をする	138	306	190	85	35
周囲に対して声をだして助けを 求める	126	280	197	113	38
周りに気がついている人がいない か探す	141	309	213	63	28
記録する・メモを取る	122	324	191	86	31
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	118	259	193	114	70
駅員を呼ぶ	142	294	213	76	29
駅員に被害を証言する	168	319	189	54	24

Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ 1 つずつお答えください。

【R6調査】(n=402)



Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

【R6調査】(n数)  
(n=402)

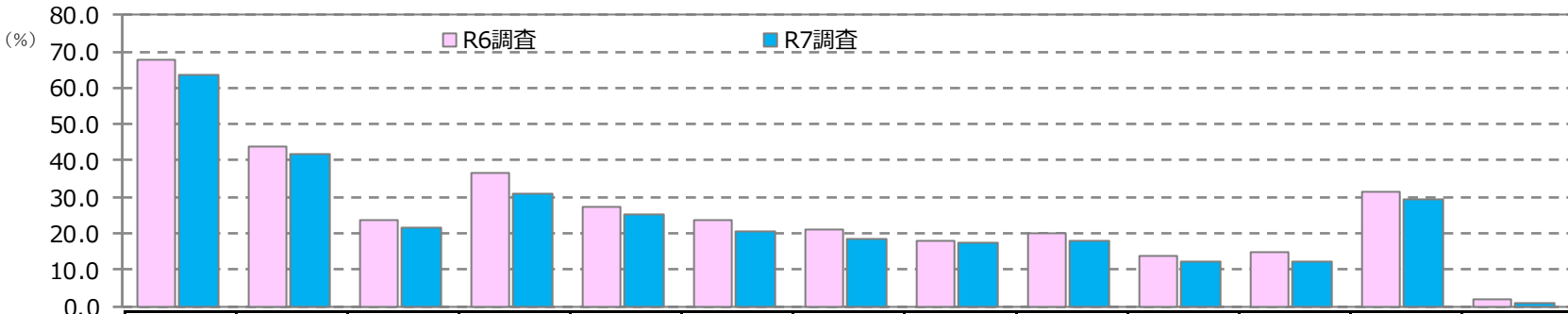
	とてもでき そうだと 思う	できそうだ と思う	どちらでも ない	できそうだ と思わない	まったくでき そうだと思 わない
加害者（痴漢）の腕を つかむ・はらう	93	132	87	61	29
加害者（痴漢）に痴漢だと 伝える	86	124	102	64	26
加害者（痴漢）と被害者を 引き離す	82	149	106	49	16
被害者に目配せや合図をする	112	151	83	40	16
被害者に話しかける	92	154	94	45	17
アプリを利用して被害者に被害 にあっていないかを確認する	84	153	99	46	20
被害者と一緒に逃げる・降りる	89	156	83	54	20
電車を降りた被害者に気遣う 声をかける	90	152	103	38	19

	とてもでき そうだと 思う	できそうだ と思う	どちらでも ない	できそうだ と思わない	まったくでき そうだと思 わない
周囲に目配せや合図をする	101	152	76	56	17
周囲に対して声をだして助けを 求める	84	149	85	53	31
周りに気がついている人がいない か探す	102	160	81	38	21
記録する・メモを取る	83	162	90	52	15
緊急停止ボタン・通報ボタンを 押す	79	113	114	61	35
駅員を呼ぶ	94	155	86	48	19
駅員に被害を証言する	100	185	72	30	15

Q58. あなたは次のようなことはどの程度自分もできそうだと思いますか。それぞれ1つずつお答えください。

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑨ Q59.痴漢撲滅に向けた効果がありそうな取り組み(MA)：全体比較

- 回答者全体：「防犯カメラの設置」(63.6%)、「防犯ブザーの普及」(41.8%)、「届け出・連絡の簡素化・簡略化」(30.9%)、「痴漢の厳罰化」(29.5%)、「匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談(被害時)」(25.1%)の順で多くっており、上位項目は昨年度調査と同様となっている。
- 被害状況別：被害者、目撃・居合わせ、被害者兼目撃・居合わせで、「痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリ」がやや多く、被害・目撃経験なしで、「防犯カメラの設置」、「痴漢の厳罰化」がやや多い。



※R7調査全体比  
+10pt以上(= ■)  
+5pt以上(= ■)  
-5pt以下(= ■)  
-10pt以下(= ■)

		n数	防犯カメラ の設置	防犯 ブザーの 普及	痴漢撲滅 に賛同する 人が共通 で身に着ける アクセサ リー	届け出・ 連絡の 簡素化 ・簡略化	匿名で行政の相談 窓口へ連絡・相談 (被害時)	匿名で行政の相談 窓口へ連絡・相談 (事後)	正しい知識の広報 (ワンストップのサイト など)	警視庁防 犯アプリ「デ ジボリス」の 普及	加害者の 再犯防止 プログラム	官民連携 による ハード 整備	官民連携 による 啓発活動	痴漢の厳 罰化	その他
全 体	R6調査	1,247	67.8	43.9	23.5	36.4	27.4	23.6	21.2	17.9	20.2	13.6	14.6	31.6	1.8
	R7調査	2,245	63.6	41.8	21.7	30.9	25.1	20.8	18.3	17.6	18.0	12.4	12.2	29.5	1.1
被 害 状 況	被害者	1,007	57.2	39.7	27.1	31.7	26.9	21.3	18.4	16.1	17.0	12.2	10.5	22.6	0.9
	目撃・居合わせ	754	50.8	43.4	30.4	30.2	24.8	17.9	16.3	14.3	14.1	12.3	10.2	16.8	0.9
	被害者兼目撃・居合わせ	589	46.9	40.1	30.7	27.3	23.9	17.0	14.6	13.2	12.4	11.5	8.7	13.9	0.5
	被害・目撃経験なし	1,073	69.4	41.8	15.5	28.6	22.9	20.3	17.6	19.0	18.7	12.2	13.2	36.3	1.0

(n数)															
全体	R6調査	1,247	845	547	293	454	342	294	264	223	252	170	182	394	23
	R7調査	2,245	1,428	939	487	693	563	467	411	396	405	279	274	662	24
被害状況	被害者	1,007	576	400	273	319	271	214	185	162	171	123	106	228	9
	目撃・居合わせ	754	383	327	229	228	187	135	123	108	106	93	77	127	7
	被害者兼目撃・居合わせ	589	276	236	181	161	141	100	86	78	73	68	51	82	3
	被害・目撃経験なし	1,073	745	448	166	307	246	218	189	204	201	131	142	389	11

Q.59 痴漢撲滅に向けて効果がありそうだと思う取り組みをお答えください。(いくつでも)

# 意見・要望① Q60. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
広報・周知	広報・啓発不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回初めて知った施策も多かったのも、もっと広報に力を入れた方が良いと思う。</li> <li>・テレビなどの身近なメディアでのわかりやすい広告を配信すると良いと思う。</li> <li>・痴漢行為を行おうとしている人間の手が思わず止まるような警告(捕まった際の具体的な罰金や処罰の内容を広告に大きく張り出す等)をして、やらない。やらせない空間を何かなんでも作って欲しいです。</li> <li>・なんとか対策しようと制作を進めているかと思うが、なかなか普及していなかったり、効果が現われているのか分からない状況。</li> <li>・もっと「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方を広めるべきだと思います。痴漢だけでなく、盗撮への取り締まりを強化していただくと安心できます。</li> <li>・学校教育で扱ってほしい。</li> <li>・周りの人が、どんな行動をとると効果的なのか、知ってもらふ事を強化すると良い。</li> </ul>
	被害者に寄り添った広報、メッセージ配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「痴漢は犯罪です」というキャッチコピーが軽すぎる。誰も「殺人は犯罪です」とは言わないように、どこかで痴漢の罪を軽く考えているように感じます。</li> <li>・痴漢されたことを証拠がないのに駅員に伝えてもいいのか教えて欲しい。</li> </ul>
	SNSでの周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あまり知る機会がないので、もっとSNSとかで普及させていくことが大切だと思う。</li> <li>・youtubeなどで伝えてほしい。</li> <li>・どこに問い合わせ何をしてもらえるか分からないので、SNSなどで大々的にアピールしてほしい。</li> </ul>
	ポスターでの周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できるだけポスターが貼ってあると犯罪の防止になると思う。</li> <li>・もっとポスターなどで対策を広めた方が良い。</li> </ul>
	防犯アプリ・防犯グッズの周知・普及促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アプリの取り組みは現代的で新しいと思う。</li> <li>・痴漢の被害にあっても怖くて声をあげることができない人がほとんどだと思う。デジボリスももっと普及すれば大きな効果はあると思う。</li> <li>・アプリや監視カメラはかなり役に立つと思う。やはり事が起きた瞬間の行動と証拠が1番ものを言うと思うので。</li> <li>・ラッシュ時はアプリで助けを求めるのは難しいかも。</li> </ul>
	痴漢行為についての周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今一度痴漢についての認識を世代問わず広めてほしい。</li> <li>・冤罪かもしれないという可能性がある限り、加害者とされてしまった人の人生を奪ってしまうかもという気持ちがあり、痴漢と判断することが難しいのかと思います。</li> </ul>

## 意見・要望② Q60. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
被害者・加害者等への対策	被害者への対策・被害者ケアの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと被害者が生きやすくなることを考えてほしい。被害者はまた痴漢されるのではないかと怯えて電車に乗ることがあるのでもっと痴漢が減る政策を考えてほしい。</li> <li>・時々、露出高い服を着ているから痴漢されるんだって意見があるけど自分をよりよく見せるために着ているのであって痴漢されたいからそういう服を着ているわけでないから、そういう時に被害者が責められないようにしてほしい。</li> </ul>
	男性・ジェンダー被害者への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・痴漢というと男性をイメージしやすいですが、被害者が男性(もしくは女性)で加害者が女性の場合の事案・事件もあると思います。ジェンダーや年齢の固定観念にとらわれないような痴漢対策を漸次策定して頂きたいです。</li> <li>・男性も痴漢の被害者になる事を広く知ってもらいたい、女性も加害者になる事を広く知ってもらいたい</li> </ul>
	加害者に対する厳罰化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・厳罰化 復讐されない方法。</li> <li>・よく報道番組で痴漢を逮捕する覆面警察の特集を観るが、捕まった犯人は初犯ではなく前科3,4犯が結構いて驚いた！つまり、運が悪かったぐらいにしか思っていないくギャンブル的に繰り返すのだと思う。厳罰化しなければならないと思う。</li> <li>・加害者への社会的制裁を強化する対策をするのが効果的だと思います。</li> </ul>
	痴漢未然防止への対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しっかり警察が取り組むことが重要だと思う。</li> <li>・再犯率の高さに目を向けるべき。</li> <li>・よく対策してくれていると思う。</li> <li>・警察官の巡回や朝夕混雑時の覆面パトロール警察官の配置を望む。</li> </ul>
	性犯罪者としての対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加害者に心的療法を受けさせる制度が必要だと思う。</li> <li>・加害者は金輪際被害女性に近付けないようにICチップを埋めて行動管理を行なう。</li> <li>・加害者をもっと犯罪者だという扱いをするべき。テレビで痴漢Gメンみたいなのを見ていた時に加害者にしっかりとモザイクをかけられていたが、犯罪者をそこまで守る必要はないと思う。</li> </ul>

# 意見・要望③ Q60. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
環境整備	痴漢行為をしづらい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"><li>防犯カメラやAI活用の強化。</li><li>声や音を発さなくても通報できるシステムがほしい。</li></ul>
	混雑緩和対策	<ul style="list-style-type: none"><li>具体的な作は難しいとは思いますが混雑する状況無くすることが痴漢被害を減らすことにおいて重要だと思う。</li></ul>
	痴漢行為の基準の明確化・グレーゾンの行為に対する対策	<ul style="list-style-type: none"><li>どこからが痴漢か正直わかりにくい 衣服の中を覗き込むのも痴漢なのかわからない。</li><li>やった人は罰することは当然だが、勘違いや悪意でやってない人の人生を奪わない仕組みも作る（やったことを明確に証明する方法を作る）。</li><li>どの程度の被害で助けを求めて良いのかわからない。</li><li>空振りだった場合の対処法も教えてほしい。</li><li>私はこれまで息を吹きかけられたり匂いがかがれたりすることが痴漢だということを知らず、嫌だなとは思いつつも大したことではないと思って過ごしていました。恐らく加害者側も痴漢だと思ってやっていないと思います。痴漢＝触れるというものだと捉えている人が多いと思うので、触れなくても痴漢だということを広めて欲しいです。</li></ul>
	近隣県との連携、全国レベルでの対策	<ul style="list-style-type: none"><li>東京都だけではなく、各都道府県において、毎年どのくらいの被害が発生しているのかを詳細にメディアを通して発表してもらいたいです。市民の認識を高めるために。</li><li>東京都だけではなく、ほかの地域とも連携してほしい。</li></ul>
	官民一体となった取組	<ul style="list-style-type: none"><li>鉄道会社によってはオフピーク乗車等キャンペーンを打ち出していることもありますが、乗車率緩和に向けた施策を官民連携して考案するのも対策になるのではないかと思います。</li><li>痴漢対策は官民総出で行うべきであると思います。</li></ul>
	現状の対策に満足	<ul style="list-style-type: none"><li>より良い社会への意義ある取り組みだと思います。</li><li>現状維持を続けてほしいです。</li></ul>

## 意見・要望④ Q60. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
相談等	相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが気軽に相談できるような窓口やセミナーなどを開いて痴漢対策してほしいと思います。</li> <li>みんなが恥ずかしいなど思わずに相談できるようなところが欲しい。</li> <li>言いやすく対面は避けられるような場所づくり。</li> <li>女性の相談員の対応が望ましい。</li> </ul>
	相談窓口および相談方法等の周知	<ul style="list-style-type: none"> <li>事前、発見時、通報後のそれぞれの動き方の具体や見通しを情報として広く伝えて欲しい。</li> <li>まだ、痴漢被害の現場で声を上げたらその後どのくらいの時間取られるかなど認識が広まっていない部分があると思う。</li> <li>駅に相談機関の掲出、痴漢は犯罪であること啓蒙する掲示物やSNSでの情報拡散必要。</li> </ul>
	相談者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> <li>被害を報告したところで、聴取に時間を取られたり犯人は捕まらなかったりで被害者のデメリットが大きいのは問題だと思う。</li> <li>痴漢による遅延や、その後の手続きなどで億劫になってしまう。また、相手にされるか不安に思い、通報しなくなると思う。</li> </ul>
	相談者が救済される仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>痴漢でなかった又は痴漢と断定されなかった場合に、助けた人や被害にあったと思われる人への配慮。</li> </ul>
	被害者の安全が守られる仕組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>痴漢に遭うことは想像以上に怖いですが、痴漢に逆ギレされて刺されたりしないか、暴力を振るわれたりしないか本当に怖いですし、痴漢された記憶は一生消えることはないと思います、とにかく厳罰化を早く検討して欲しいです。</li> </ul>
意識変革	社会全体の意識変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤で一番忙しい時間に痴漢が多いと思う。急いでいる人ばかりなので、捜査協力は難しいです。企業が痴漢捜査のための遅刻を認めると、協力しやすくなる。</li> <li>みんなが痴漢に対する意識を高めていけば少しは減ると思う。</li> </ul>
	被害者、周囲の人の意識変革	<ul style="list-style-type: none"> <li>なかなか声を上げられない事でもあると思うので、被害に遭われた方も、そうでない方も日頃から防犯の意識は必要だと思う。露出を避けるとか時間、車両を変えるなど対策をしたい。</li> <li>加害者は力もあるかもしれないので、男性の助けは必須と思う。</li> <li>一人一人の意識が大事だとおもう。被害にあっても報告できずに、1人で抱え込むというのがいちばん良くないと思っている。</li> </ul>
	痴漢被害者への周囲の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>痴漢被害の面倒さ、被害者への周囲からの圧力などを軽減してほしい。</li> <li>被害者が悪いと当然のように言う人もいます。（実際言われました。当時は長袖長いワンピースだったので露出は顔と足首程度しか見えていなかったと思います。）そんな人達の意識改革をしてくれたら、被害相談がしやすくなると思います。</li> </ul>

意見・要望⑤ Q60. 東京都による痴漢対策などに関する意見・要望

大項目	中項目	主な意見
その他、意見・要望		<ul style="list-style-type: none"><li>・実際に実行する痴漢もそうだけど、痴漢の冤罪の対策もして欲しい。</li><li>・もし、冤罪や人違いの場合のリスク回避が可能な法律があったらいいなと。</li><li>・勘違いだった際にどのようなことになるかを、あえてはっきりさせることが覚悟につながる。</li><li>・AVの規制。</li><li>・効果があったか検証してほしい。</li><li>・助けた後の二次被害が怖いと感じる。</li><li>・見かけた時に反撃されるのが怖いです。</li><li>・痴漢含め、電車内のマナーは低下がひどくなっていると思います。旅行客の対応含め、現実的な対応をお願いします。</li></ul>

## 令和7年度 痴漢被害実態把握調査 報告書

2025年12月

調査企画：東京都都民安全総合対策本部 総合推進部 治安対策課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎北側34階

連絡先 電話：03-5388-2279

調査実施：株式会社イード

〒164-0012 東京都中野区本町一丁目32番2号 ハーモニータワー17階

連絡先 電話：03-6635-1962